

岡崎市介護保険等実態調査 結果報告書

令和8年3月

岡崎市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	2
2	調査対象及び調査方法	2
3	回収数・回収率	3
4	報告書の見方	4
II	一般高齢者調査の結果	5
1	調査対象者について	6
2	からだを動かすことや食べることについて	12
3	毎日の生活について	17
4	地域での活動について	25
5	たすけあいについて	29
6	健康について	32
7	居場所や通いの場について	39
8	各種のリスク判定について	44
III	若年者調査の結果	51
1	調査対象者について	52
2	日常生活の状況や介護予防について	54
3	介護・介護サービスについて	62
4	認知症について	67
IV	在宅サービス利用者調査の結果	71
1	調査対象者について	72
2	高齢者福祉・介護サービスについて	76
3	施設への入所意向について	83
4	調査対象者の主な介護者について	86
V	居宅介護支援事業者調査の結果	95
1	サービス事業者の運営形態や状況について	96
2	提供サービスの状況について	105
3	高齢者虐待の状況について	110
4	その他	112

VI	在宅介護サービス事業者調査の結果.....	115
1	サービス事業者の運営形態や状況について.....	116
2	提供サービスの状況について.....	128
3	高齢者虐待・リスクマネジメントについて.....	131
4	事業種別の状況について.....	135
VII	入所施設事業者調査の結果.....	143
1	サービス事業者の運営形態や状況について.....	144
2	提供サービスの状況について.....	158
3	過去1年間の新規の入居者・退去者について.....	161
4	その他.....	166
VIII	介護支援専門員調査の結果.....	167
1	ケアプラン業務の状況について.....	168
2	介護サービス提供に対する評価・要望等について.....	180
3	在宅介護の継続について.....	182
4	高齢者虐待の状況について.....	185
5	介護支援専門員の資質向上のための対策について.....	187
IX	調査結果のまとめ.....	189
1	本市の高齢者の状況.....	190
2	2040年を見据えた若年者の状況.....	190
3	認知症について.....	191
4	介護サービス等の状況.....	191
X	資料編.....	193
1	一般高齢者調査 調査票.....	194
2	若年者調査 調査票.....	201
3	在宅サービス利用者調査 調査票.....	205
4	居宅介護支援事業者調査 調査票.....	211
5	在宅介護サービス事業者調査 調査票.....	215
6	入所施設事業者調査 調査票.....	222
7	介護支援専門員調査 調査票.....	227

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、令和9年度を初年度とする第10期の「岡崎市地域包括ケア計画」の策定に向け、本市に居住する高齢者、介護サービス利用者、介護サービス事業者等の実態やニーズ、またその変化を把握し、高齢者福祉及び介護保険サービスのあり方を検討するための基礎資料として活用することを目的として実施しました。

2 調査対象及び調査方法

全体で7種の調査を実施しました。実施した調査別の調査対象等は以下のとおりです。

	調査種別	調査対象	調査方法	調査期間
1	一般高齢者	本市に居住する65歳以上の市民（要支援及び事業対象者を含む。）から3,600人を無作為抽出	郵送配付 郵送回収	令和7年 11月10日 (月)～26 日(水)
2	若年者	要介護等認定を受けていない40～64歳の市民から1,500人を無作為抽出	郵送配付 郵送・ウェブ回収	
3	在宅サービス利用者	在宅で介護サービスを利用する要介護認定者から1,500人を無作為抽出	郵送配付・郵送回収	
4	居宅介護支援事業者	本市でサービスを提供する居宅介護支援事業者92件(全数)	郵送配付 郵送・ウェブ回収	
5	在宅介護サービス事業者	本市でサービスを提供する在宅介護サービス事業者328件(全数)		
6	入所施設事業者	本市でサービスを提供する入所施設事業者119件(全数)		
7	介護支援専門員	居宅介護支援事業者調査の対象となった事業所に勤務する介護支援専門員(1事業所2名まで)※		

※居宅介護支援事業者調査に同封して92事業所に184件を配付、回答者の選定は各事業者の任意による。

3 回収数・回収率

アンケートの回収結果は以下のとおりです。回収された調査票のうち、調査対象者が何らかの事情（施設入所等）で回答できない旨の回答のみがあったもの、及び質問への回答が全くなかったものについては無効回答とし、有効回収数には含めていません。家族による代理回答は有効回収としています。

■回収数・回収率

	調査種別	配付数	回収数	有効回収数	有効回収率	前回（R4年） 有効回収率
1	一般高齢者	3,600	2,650	2,630	73.1%	74.6%
2	若年者	1,500	700	698	46.5%	54.1%
3	在宅サービス利用者	1,500	935	741	49.4%	56.3%
4	居宅介護支援事業者	92	81	81	88.0%	83.7%
5	在宅介護サービス事業者	328	236	236	72.0%	72.2%
6	入所施設事業者	119	86	86	72.3%	71.7%
7	介護支援専門員	184	134	134	72.8%	78.8%

■回収方法別回収数

	調査種別	郵送	ウェブ	合計
1	一般高齢者	2,650	-	2,650
2	若年者	373	327	700
3	在宅サービス利用者	935	-	935
4	居宅介護支援事業者	65	16	81
5	在宅介護サービス事業者	173	63	236
6	入所施設事業者	64	22	86
7	介護支援専門員	111	23	134

4 報告書の見方

- 本調査結果については、前回調査で同様の設問があるものについては、基本的に前回調査結果と今回の調査結果を併記して示しています。R7年と表記しているのが今回の調査結果、R4年と表記しているのが前回の調査結果です。一部の調査結果については、R1年と表記して前々回調査の結果も示しています。
- 回答結果の割合「%」は集計対象者総数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、選択肢からいずれか1つの選択肢を選ぶ設問であっても合計値が100.0%ちょうどにならない場合があります。
- 複数回答（特に表記のない場合は、当てはまる選択肢をすべて選択する形式）の設問の場合、各選択肢の回答割合の合計が100.0%を超える場合があります。この形式の設問については、質問文の末尾に「複数回答」と表記しています。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N (number of case)」は、集計対象者総数（回答者を限定する設問の限定条件に該当する人の総数）を表しています。
- 本文中の設問・選択肢は簡略化している場合があります。

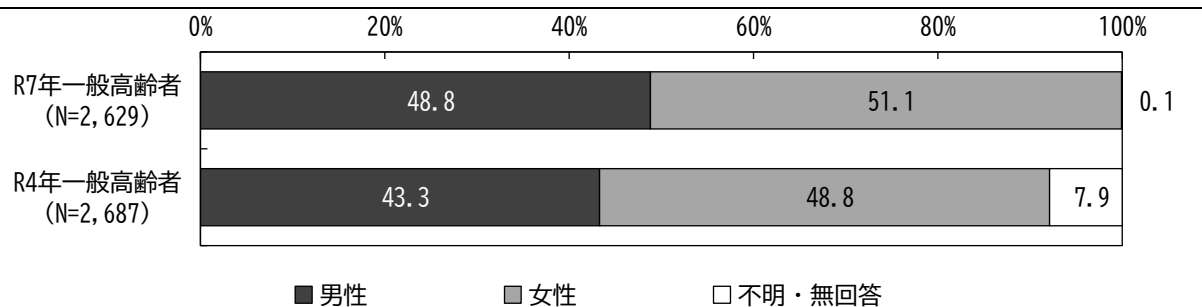
Ⅱ 一般高齢者調査の結果

1 調査対象者について

性別

男性が48.8%、女性が51.1%となっています。

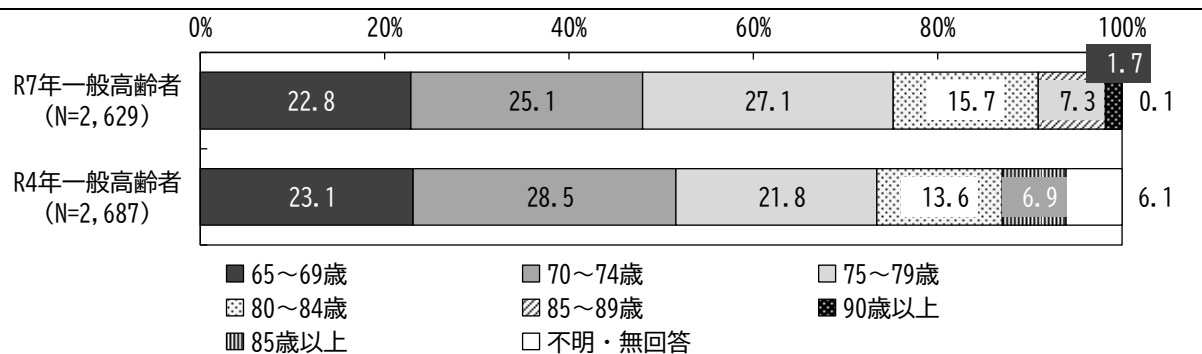
なお、性別・年齢・居住圏域については、前回（R4年）調査では調査票の設問でしたが、本調査では被保険者データとの突合による集計となっています。



※R7年調査の不明・無回答は、回収された調査票において、被保険者データと突合するための調査票番号が確認できなかったものです。

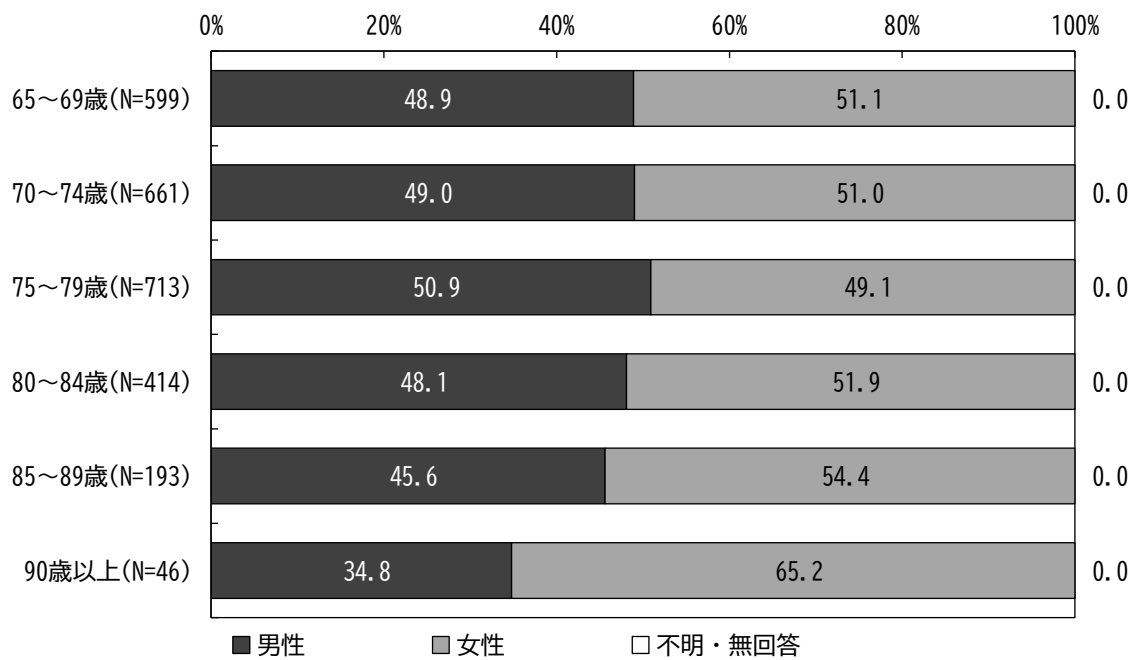
年齢

「75～79歳」が27.1%で最も多く、次いで「70～74歳」が25.1%となっています。前回調査と比べると、75歳以上の年代の割合が増加し、74歳以下が減少しています。年齢別に性別をみると、上の年齢ほど男性の割合が少なくなる傾向です。



※R4年調査は「85～89歳」と「90歳以上」を区分せず、「85歳以上」で集計

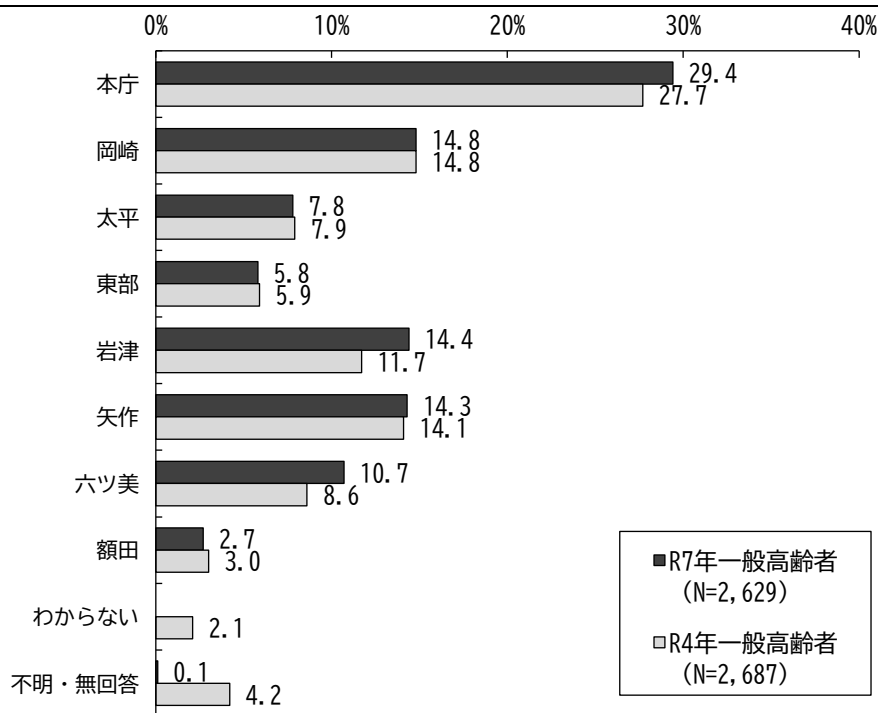
■年齢別にみた性別



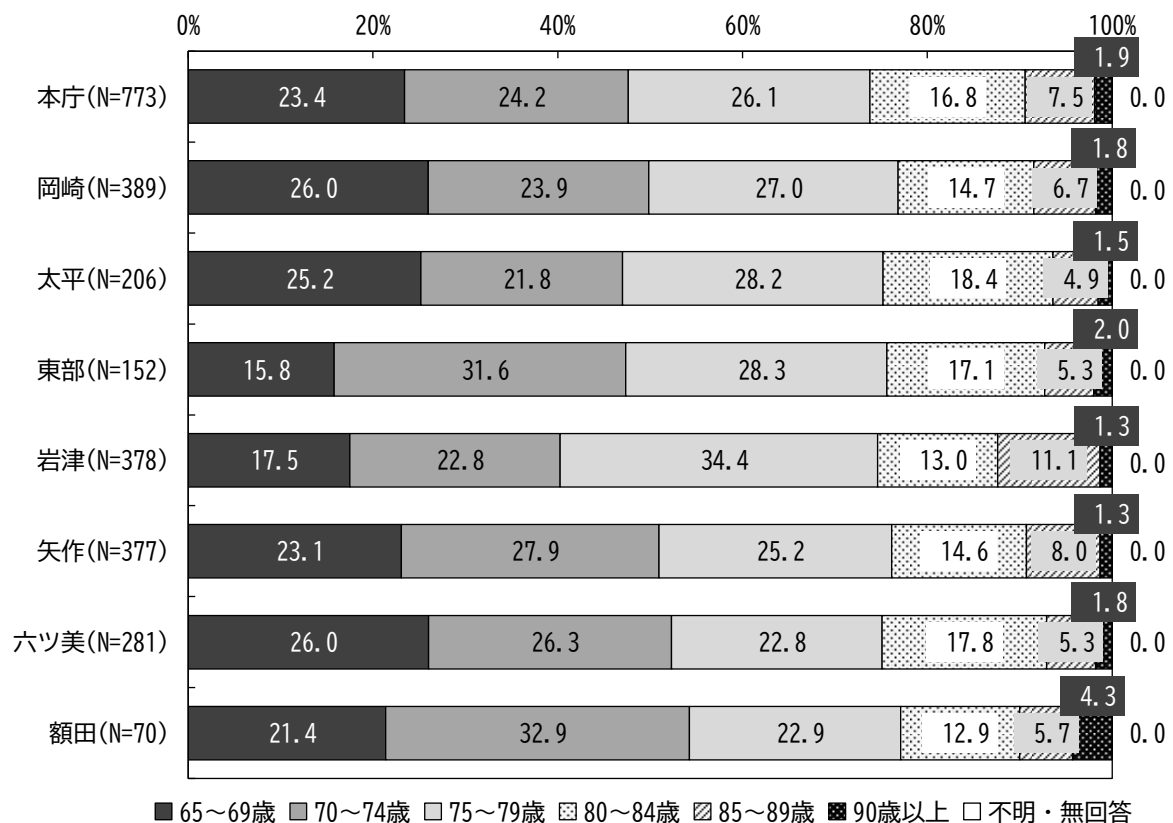
居住圏域

「本庁」が29.4%で最も多く、次いで「岡崎」が14.8%、「岩津」が14.4%となっています。

居住圏域別に年齢をみると、75歳以上は「岩津」で最も多く、「額田」で最も少なくなっています。



■居住圏域別にみた年齢



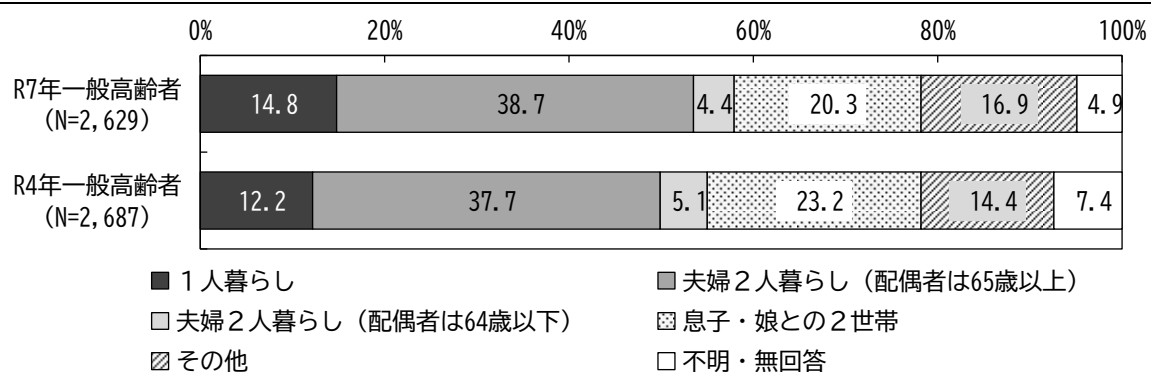
問1. 現在の世帯状況をお答えください。

「夫婦2人暮らし（配偶者は65歳以上）」が38.7%で最も多く、次いで「息子・娘との2世帯」が20.3%となっています。

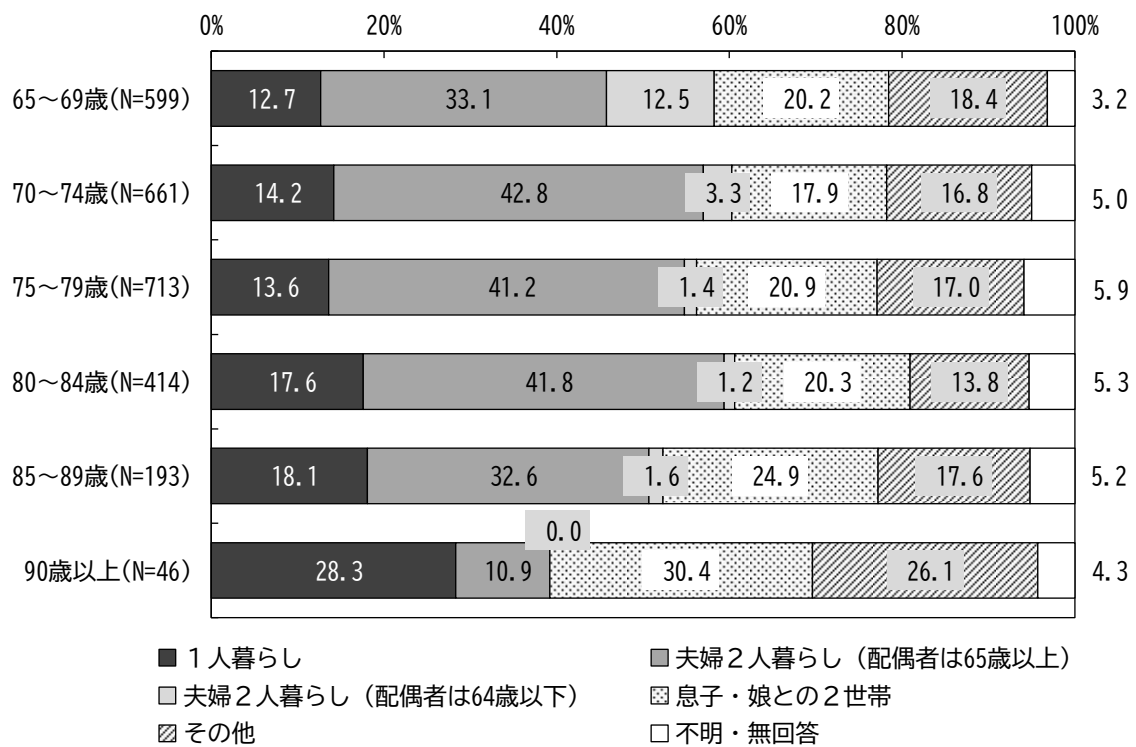
前回調査と大きな差はありませんが、「1人暮らし」がやや増加しており、これは前々回調査（R1年）から継続した傾向となっています。

年齢別にみると、上の年齢ほど「夫婦2人暮らし」が減少し「1人暮らし」「息子・娘との2世帯」「その他」が多くなる傾向です。

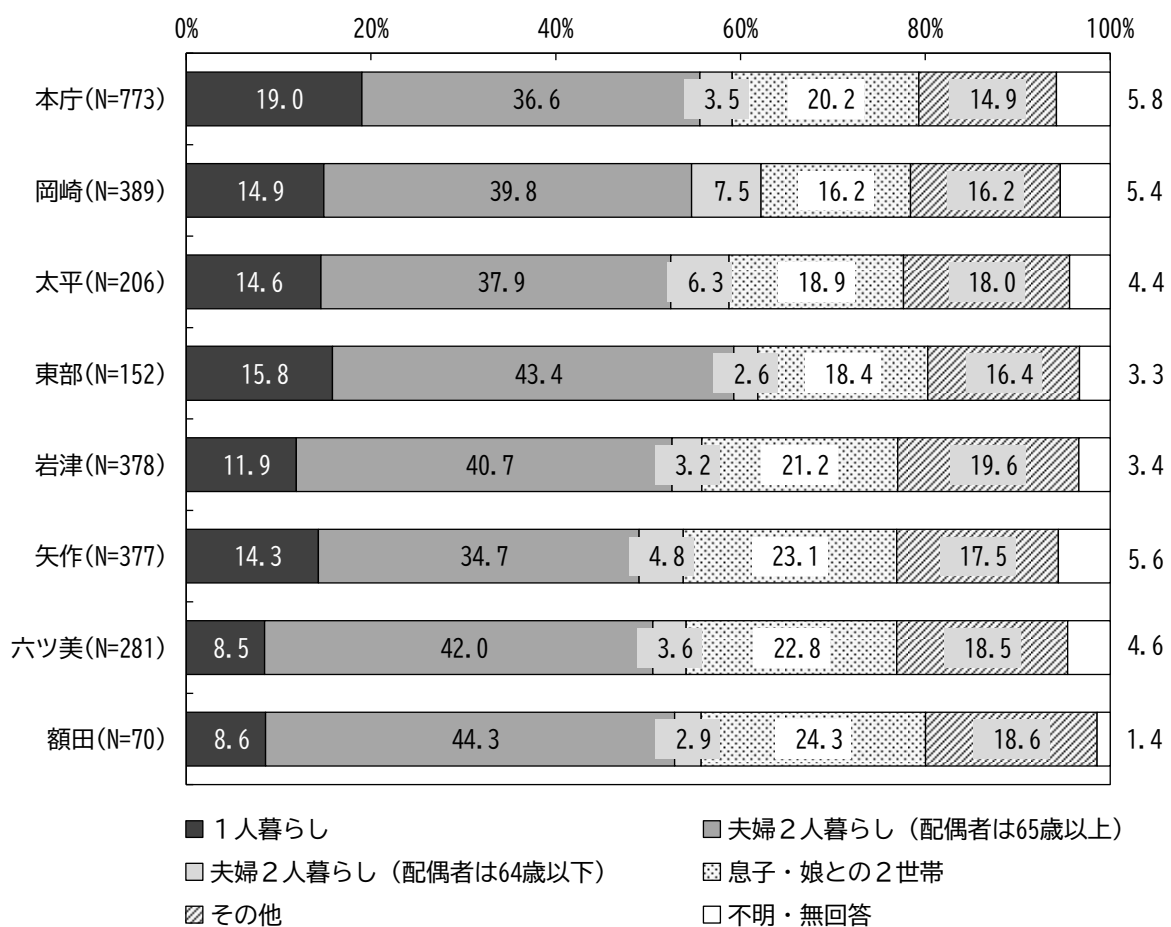
居住圏域別にみると、「1人暮らし」は「本庁」で最も多く、「息子・娘との2世帯」は「額田」で最も多くなっています。



■年齢別にみた世帯状況

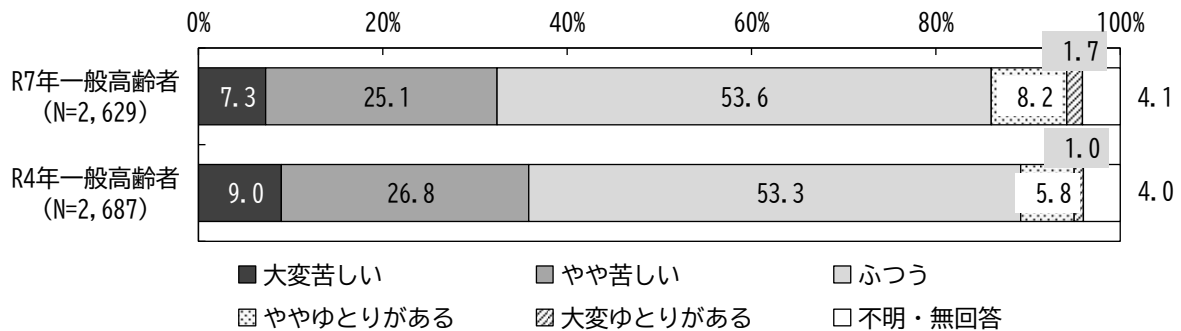


■居住圏域別にみた世帯状況



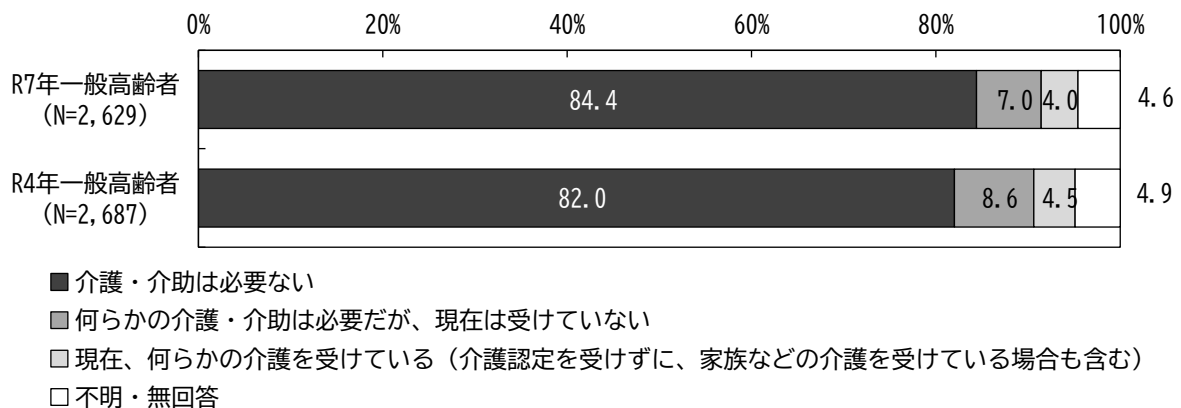
問2. 今の暮らしは、経済的にみてどう感じますか。

「ふつう」が53.6%で最も多く、次いで「やや苦しい」が25.1%となっています。



問3. 普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

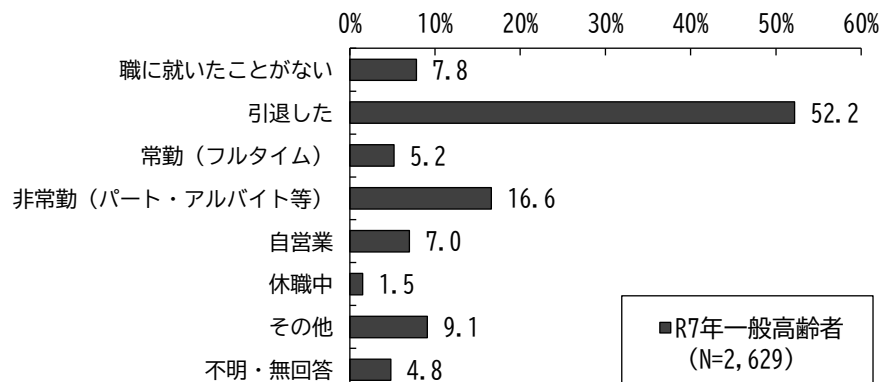
「介護・介助は必要ない」が84.4%で最も多く、何らかの介護・介助が必要という回答は11.0%となっています。



問4. 現在のあなたの就労状態はどれですか。【複数回答】

「引退した」が52.2%で最も多く、次いで「非常勤（パート・アルバイト等）」が16.6%となっています。現在就労している人は、28.8%（「休職中」「その他」を除く）となっています。

年齢別にみると、現在就労している人は、「65～69歳」で50.3%、「70～74歳」で35.2%、「75～79歳」で19.3%となっています。



■年齢別にみた就労状態

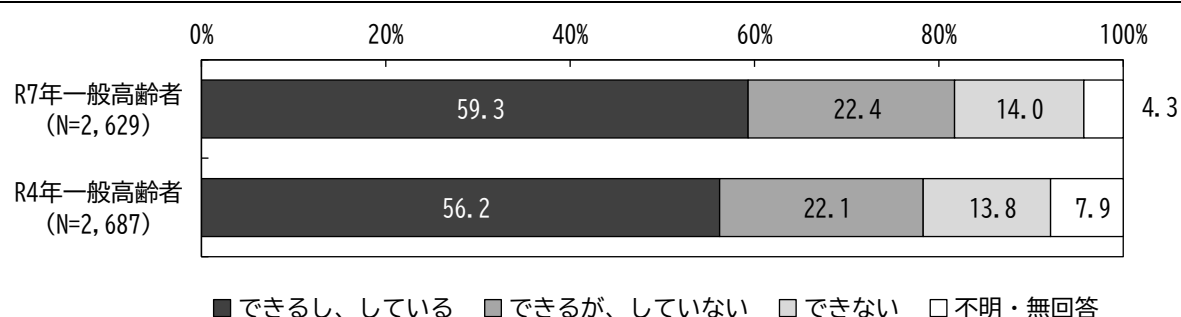
単位 (%)

	職に就いた ことがない	引退した	常勤（フル タイム）	非常勤 （パート・ アルバイト 等）	自営業	休職中	その他	不明・無回 答
65～69歳（N=599）	2.5	38.2	13.9	30.2	6.2	2.5	6.0	2.7
70～74歳（N=661）	5.6	48.9	4.8	22.2	8.2	1.5	9.1	4.2
75～79歳（N=713）	10.2	57.5	2.5	10.5	6.3	1.4	10.7	5.3
80～84歳（N=414）	10.4	63.3	1.0	5.1	7.2	0.2	9.7	7.2
85～89歳（N=193）	14.0	61.7	0.5	6.2	6.7	2.1	11.4	4.7
90歳以上（N=46）	19.6	58.7	0.0	0.0	8.7	0.0	10.9	8.7

2 からだを動かすことや食べることについて

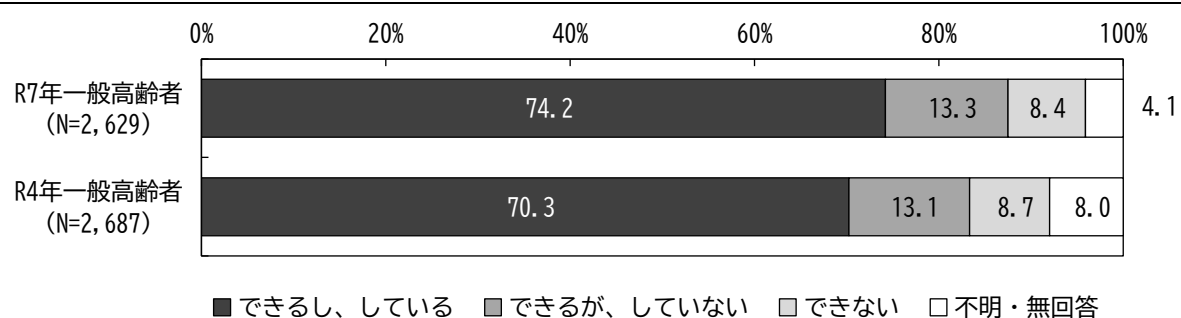
問5. 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。

前回調査と比べると「できるし、している」がやや多くなっています。



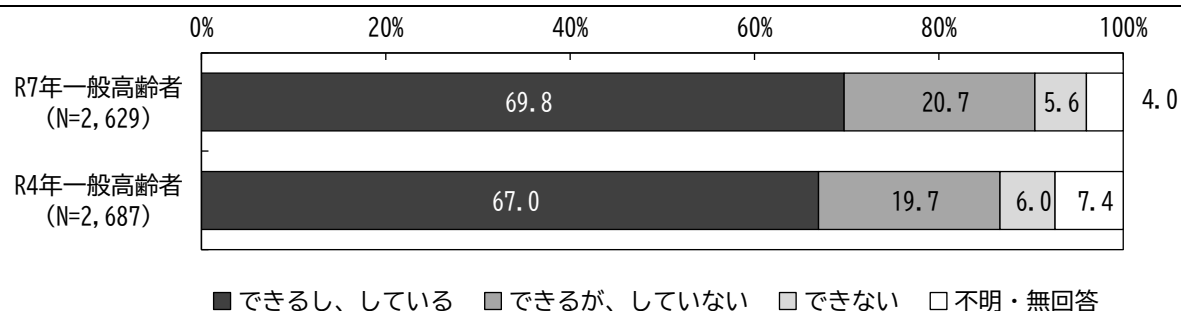
問6. 椅子に座った状態から何にもつかまらずに立ち上がっていますか。

前回調査と比べると「できるし、している」がやや多くなっています。



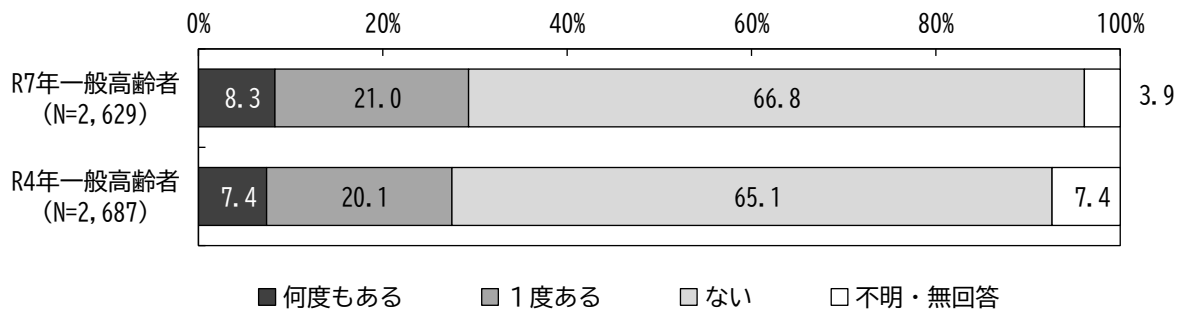
問7. 15分くらい続けて歩いていますか。

前回調査とほぼ同様の結果となっています。



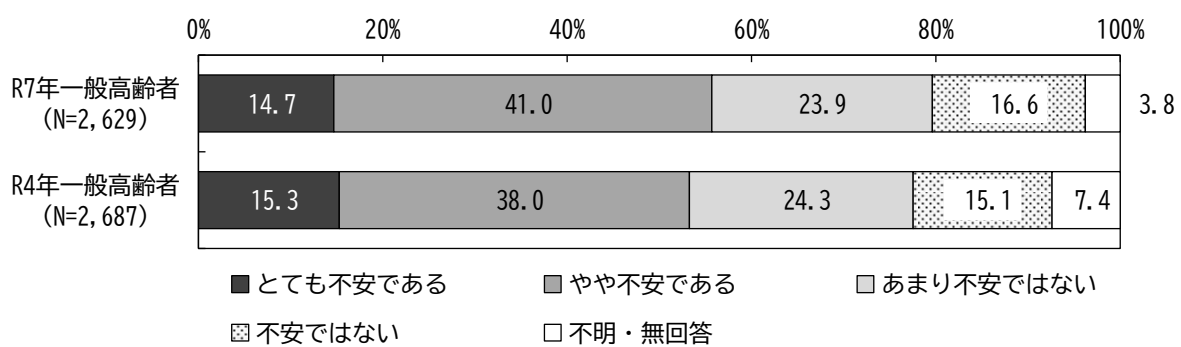
問8. 過去1年間に転んだ経験がありますか。

前回調査とほぼ同様の結果となっています。



問9. 転倒することへの不安は大きいですか。

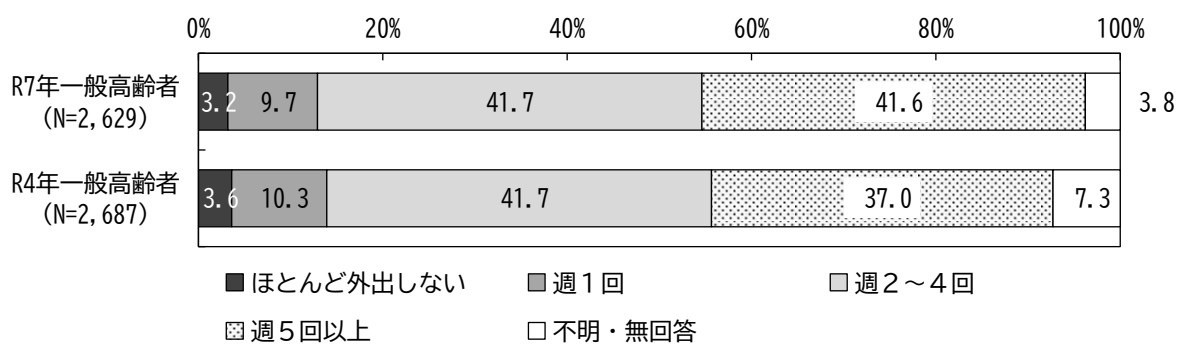
不安があるという回答が55.7%となっています。



問10. 週に1回以上は外出していますか。

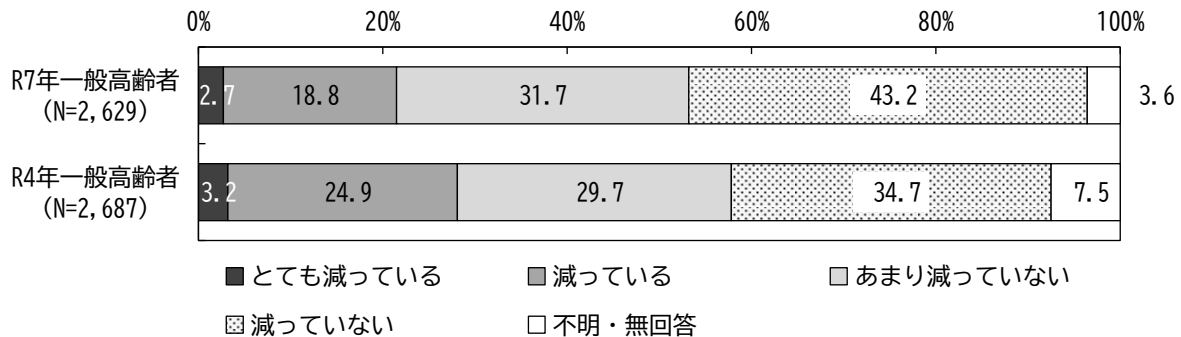
閉じこもり傾向が懸念される「ほとんど外出しない」は3.2%となっています。

前回調査と比べると「週5回以上」が増加しています。



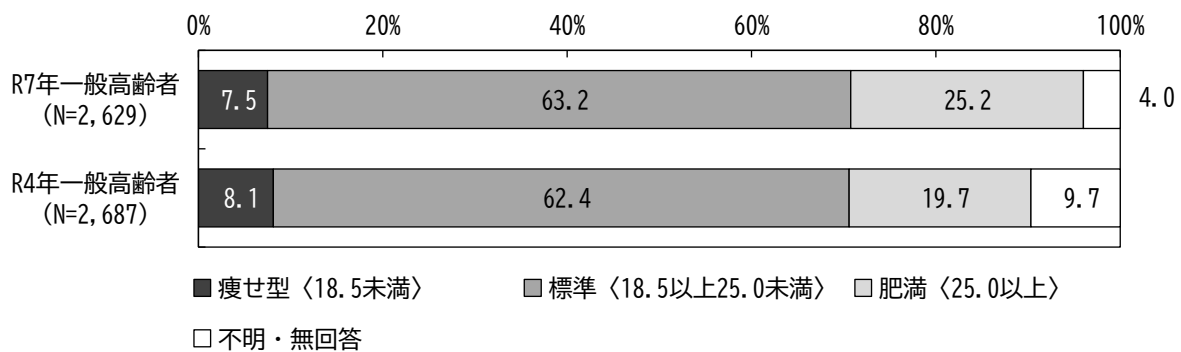
問 11. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。

減っているという回答は21.5%、減っていないという回答は74.9%となっています。
 前回調査と比べると、減っているという回答が減少し、減っていないという回答が増加しています。



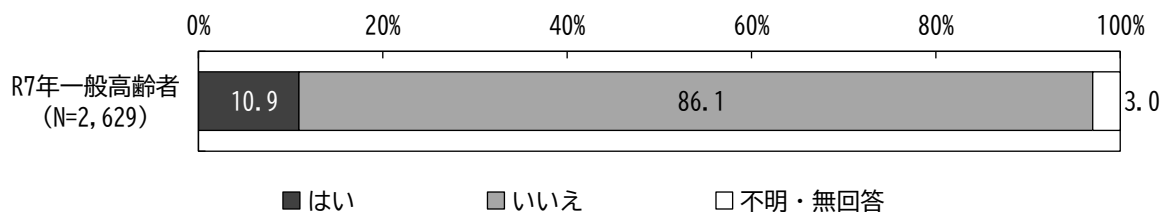
問 12. 身長・体重をご記入ください。

回答された身長・体重からBMI指数 (体重(kg)÷身長(m)²) を算出しています。
 前回調査と比べると「肥満」が増加しています。



問 13. 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありますか。

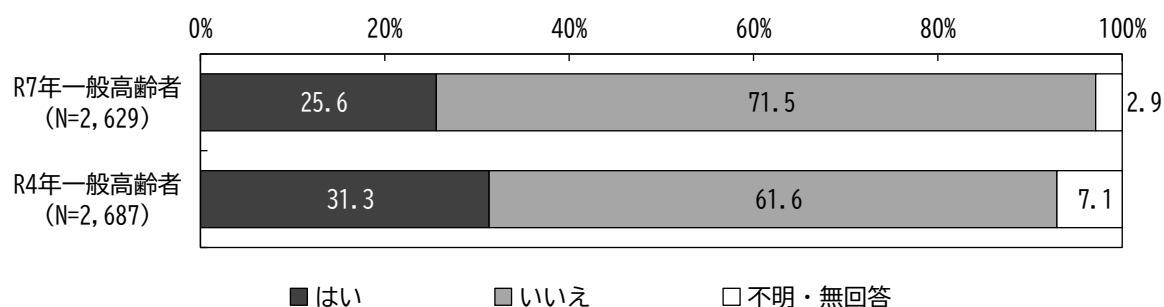
「はい」が10.9%となっています。



問 14. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。

「はい」が25.6%となっています。

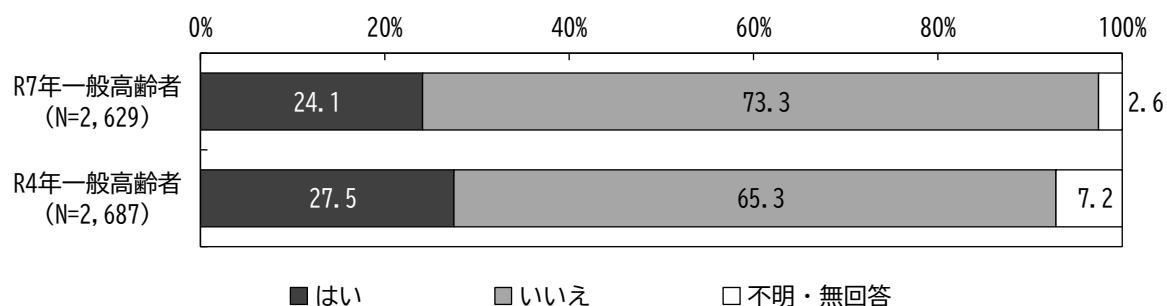
前回調査と比べると「はい」が減少しています。



問 15. お茶や汁物等でむせることがありますか。

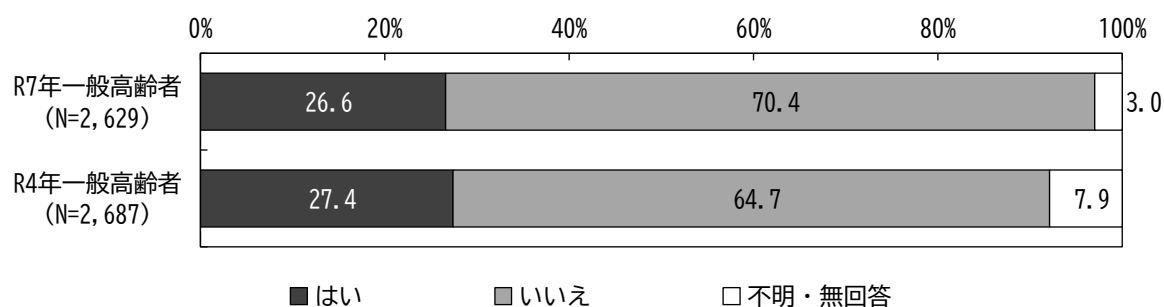
「はい」が24.1%となっています。

前回調査と比べると「はい」が減少しています。



問 16. 口の渇きが気になりますか。

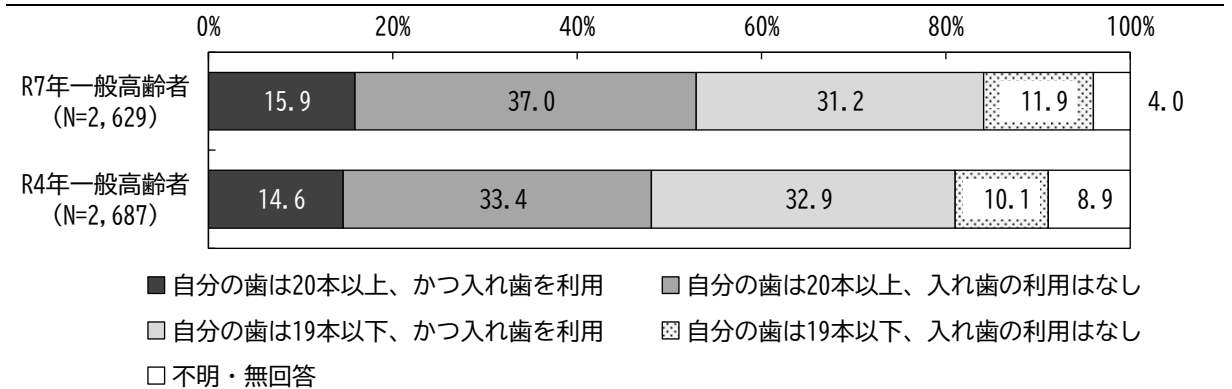
「はい」が26.6%となっています。



問 17. 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。

「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用はなし」が 37.0%で最も多く、次いで「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 31.2%となっています。

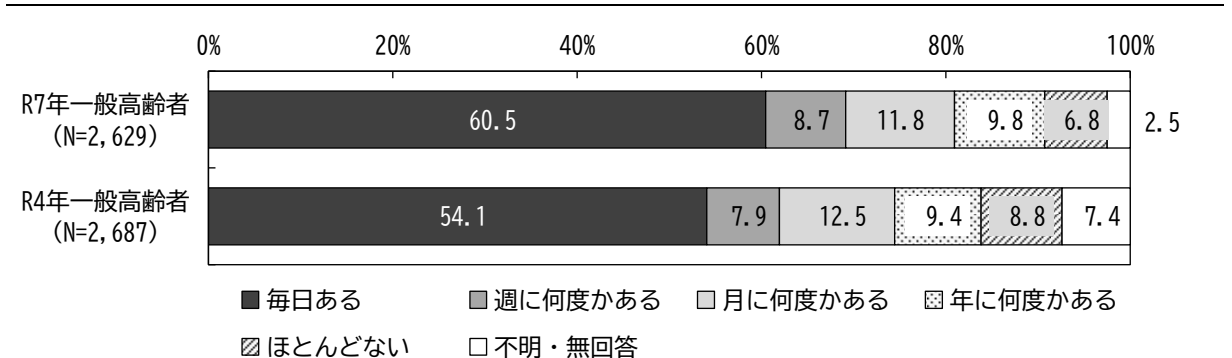
前回調査と比べると「自分の歯は 20 本以上」という回答がやや増加しています。



問 18. どなたかと食事をとにもする機会がありますか。

「毎日ある」が 60.5%で最も多くなっています。

前回調査と比べると「毎日ある」が増加しています。

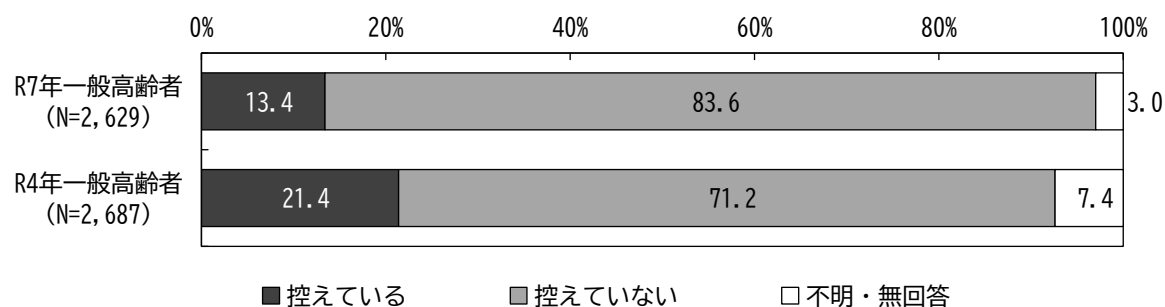


3 毎日の生活について

問 19. 心身の状態等により、外出を控えていますか。

「控えている」が13.4%となっています。

前回調査と比べると「控えている」が減少しています。

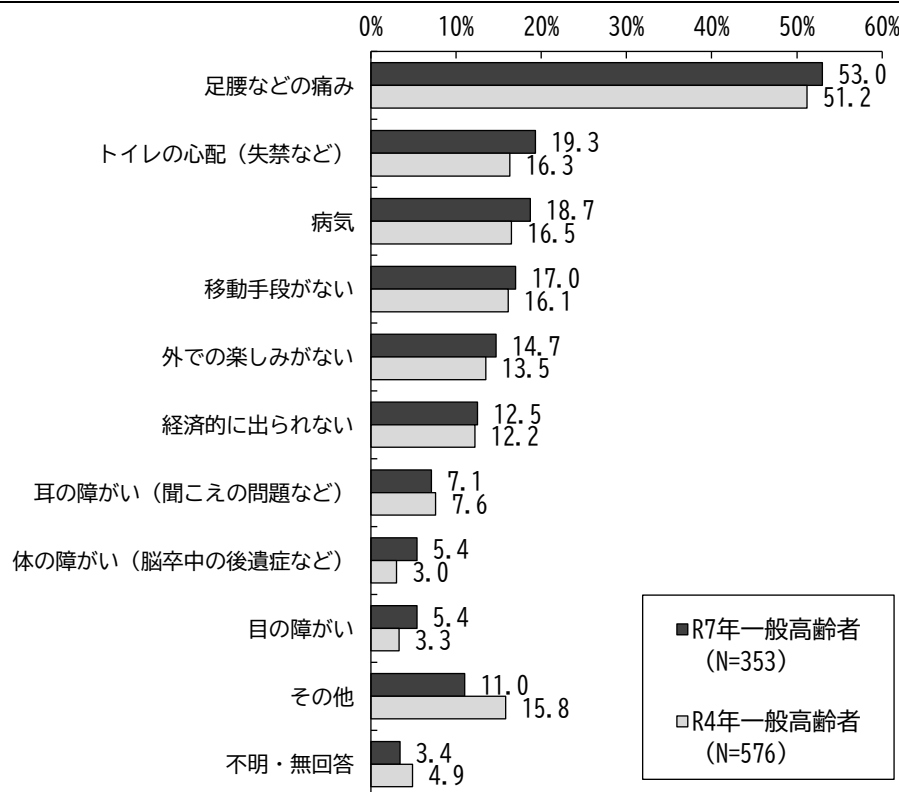


【問 19 で「控えている」と回答した人のみ】

外出を控えている理由は、次のどれですか。【複数回答】

「足腰などの痛み」が53.0%で最も多くなっています。

前回調査と比べると「その他」が減少しており、これは感染症の影響の減少が考えられます。

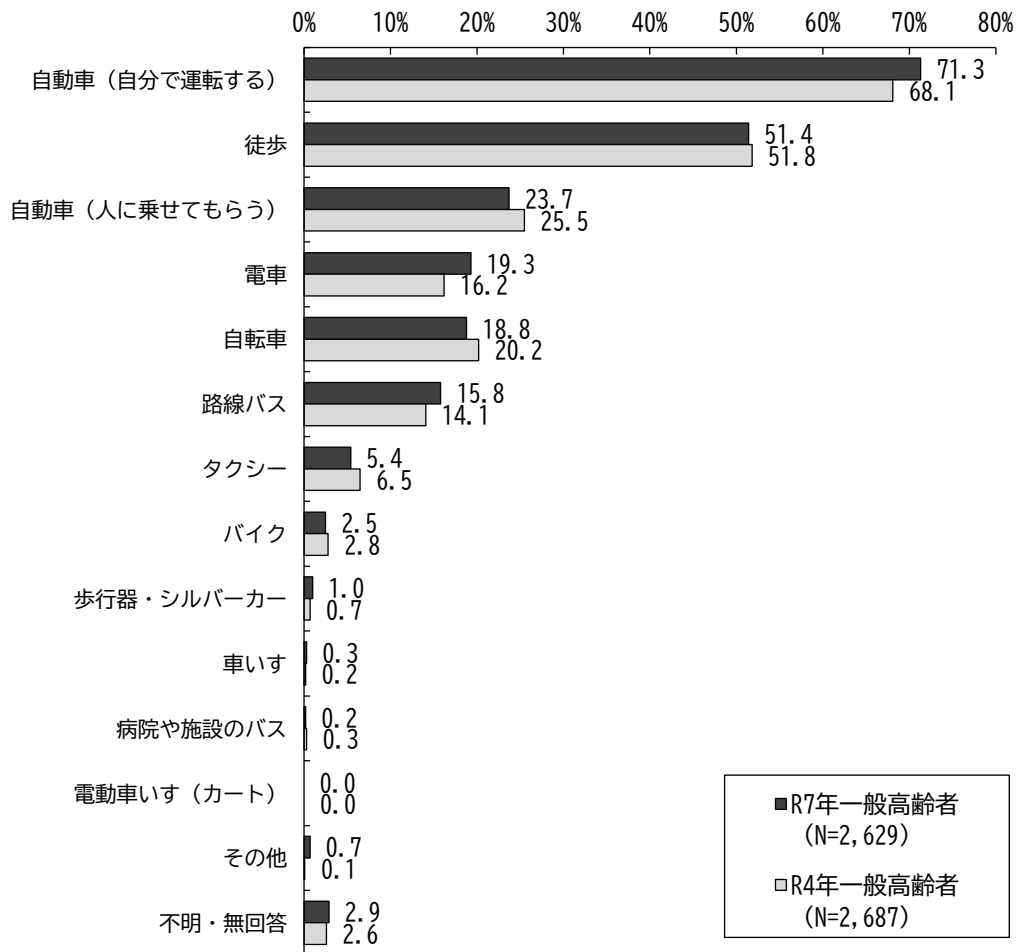


問 20. 外出する際の移動手段は何ですか。【複数回答】

「自動車（自分で運転する）」が 71.3%で最も多く、次いで「徒歩」が 51.4%となっています。

年齢別にみると「自動車（自分で運転する）」「電車」は年齢が上がるほど減少し、「自動車（人に乗せてもらう）」「タクシー」は年齢が上がるほど増加する傾向です。

居住圏域別にみると「自動車（自分で運転する）」は「額田」、「電車」は「岡崎」「東部」、「路線バス」は「本庁」「岡崎」、「自転車」は「矢作」「六ツ美」でそれぞれ多くなっています。



■年齢別にみた移動手段

単位 (%)

	自動車（自分で運転する）	徒歩	電車	自動車（人に乗せてもらう）	自転車	路線バス	バイク	タクシー	車いす
65～69歳 (N=599)	85.0	51.3	25.2	17.2	17.0	14.4	2.8	2.8	0.3
70～74歳 (N=661)	79.1	52.2	21.0	20.7	18.9	12.9	3.6	3.8	0.2
75～79歳 (N=713)	71.2	52.9	16.5	24.5	18.1	15.1	1.8	4.8	0.3
80～84歳 (N=414)	56.5	51.9	17.6	28.7	20.0	21.3	1.7	8.7	0.2
85～89歳 (N=193)	46.6	44.0	11.4	34.2	25.4	19.7	2.1	10.4	0.0
90歳以上 (N=46)	17.4	45.7	8.7	52.2	15.2	21.7	0.0	21.7	2.2

	病院や施設のバス	歩行器・シルバーカー	電動車いす（カート）	その他	不明・無回答
65～69歳 (N=599)	0.2	0.2	0.0	0.2	1.7
70～74歳 (N=661)	0.2	0.0	0.0	0.5	3.3
75～79歳 (N=713)	0.1	0.3	0.0	0.7	2.9
80～84歳 (N=414)	0.2	1.9	0.0	1.7	3.1
85～89歳 (N=193)	1.0	5.7	0.0	0.5	4.1
90歳以上 (N=46)	0.0	8.7	2.2	4.3	2.2

■居住圏域別にみた移動手段

単位 (%)

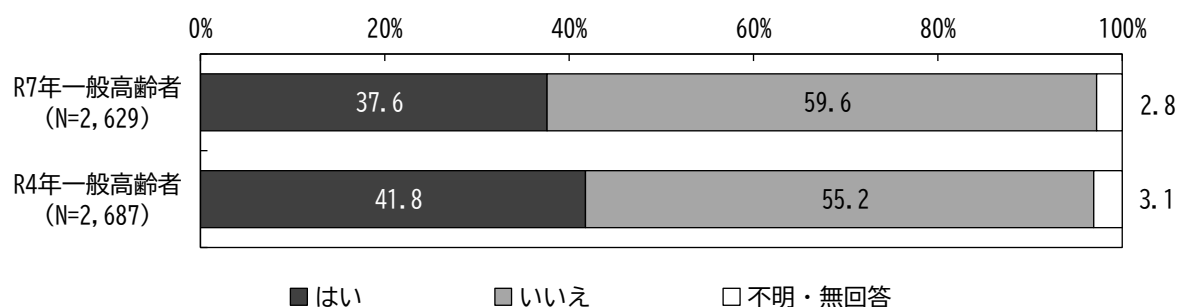
	自動車（自分で運転する）	徒歩	自動車（人に乗せてもらう）	電車	路線バス	自転車	タクシー	バイク	歩行器・シルバーカー
本庁 (N=773)	68.3	58.2	25.0	20.8	20.4	18.6	7.8	2.3	1.0
岡崎 (N=389)	71.2	58.6	22.9	26.2	20.3	20.3	7.7	2.1	1.0
大平 (N=206)	75.2	57.3	22.3	23.3	17.0	11.7	3.9	1.9	0.0
東部 (N=152)	73.0	45.4	22.4	27.0	7.2	13.8	1.3	2.6	0.0
岩津 (N=378)	69.6	43.7	24.9	12.7	18.8	11.6	5.3	1.3	1.1
矢作 (N=377)	70.6	45.1	26.8	20.2	7.7	28.6	3.7	4.2	1.9
六ツ美 (N=281)	75.4	47.3	19.9	10.7	11.0	25.3	2.8	2.8	0.7
額田 (N=70)	85.7	24.3	15.7	1.4	1.4	5.7	0.0	2.9	1.4

	車いす	病院や施設のバス	電動車いす（カート）	その他	不明・無回答
本庁 (N=773)	0.6	0.1	0.0	0.9	1.9
岡崎 (N=389)	0.3	0.0	0.0	0.5	3.9
大平 (N=206)	0.0	0.5	0.5	0.5	1.9
東部 (N=152)	0.0	0.7	0.0	1.3	2.6
岩津 (N=378)	0.3	0.3	0.0	0.8	4.2
矢作 (N=377)	0.0	0.3	0.0	0.8	2.9
六ツ美 (N=281)	0.0	0.0	0.0	0.4	2.1
額田 (N=70)	0.0	1.4	0.0	0.0	5.7

問 21. 物忘れが多いと感じますか。

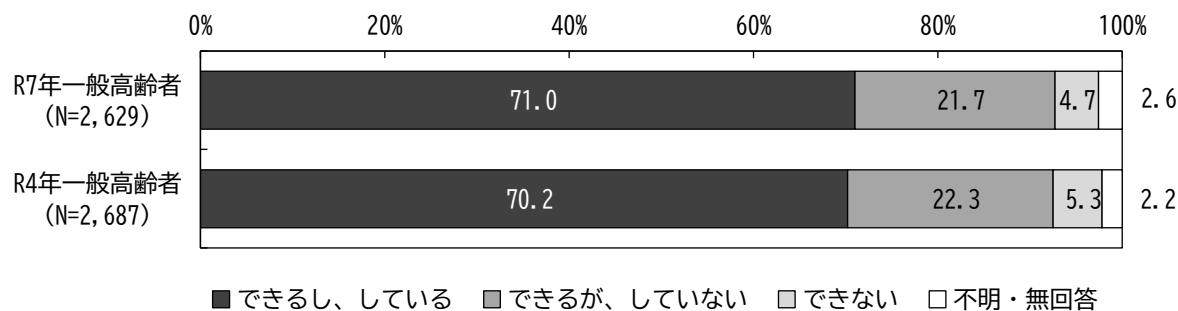
「はい」が37.6%となっています。

前回調査と比べると「はい」がやや減少しています。



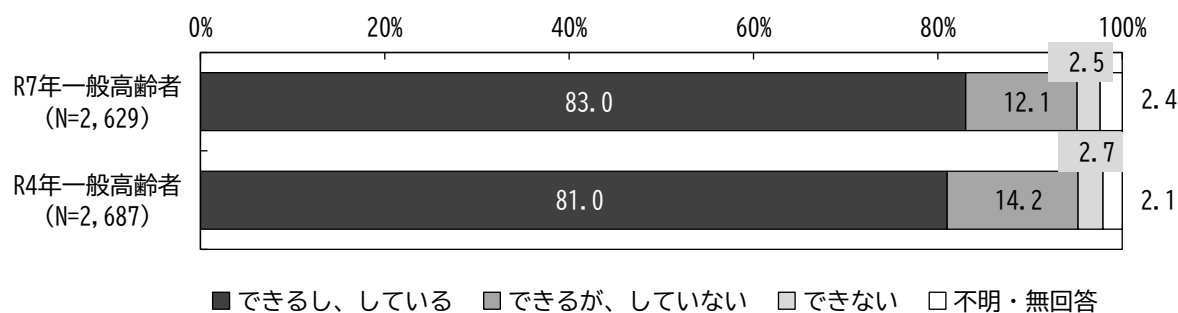
問 22. バスや電車を使って1人で外出していますか。

前回調査とほぼ同様の結果となっています。



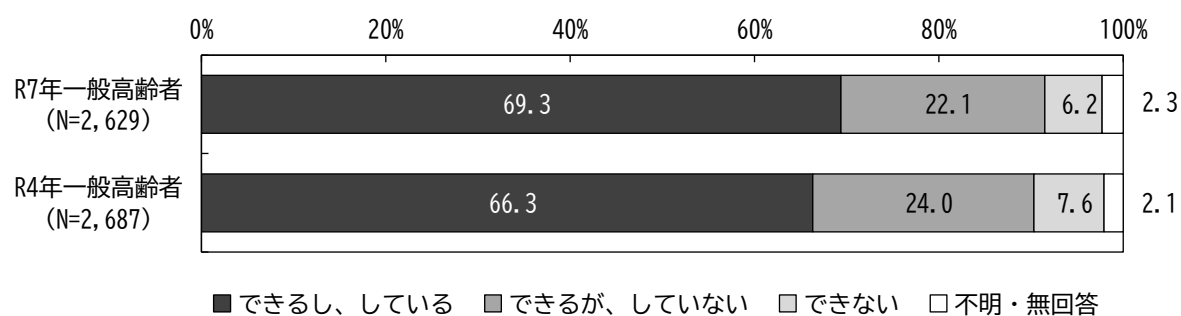
問 23. 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。

前回調査とほぼ同様の結果となっています。



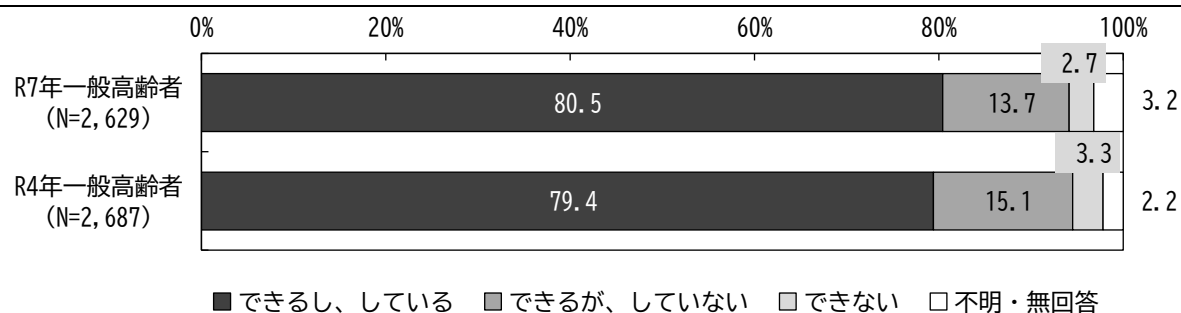
問 24. 自分で食事の用意をしていますか。

前回調査と比べると「できるし、している」がやや増加しています。



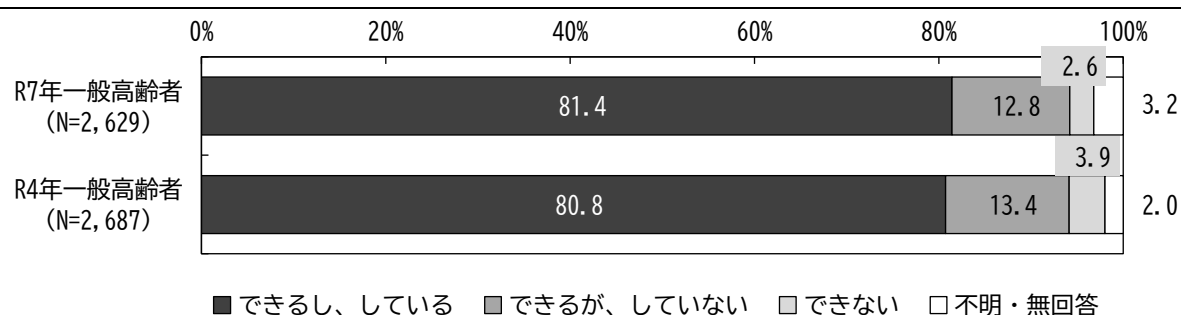
問 25. 自分で請求書の支払いをしていますか。

前回調査とほぼ同様の結果となっています。



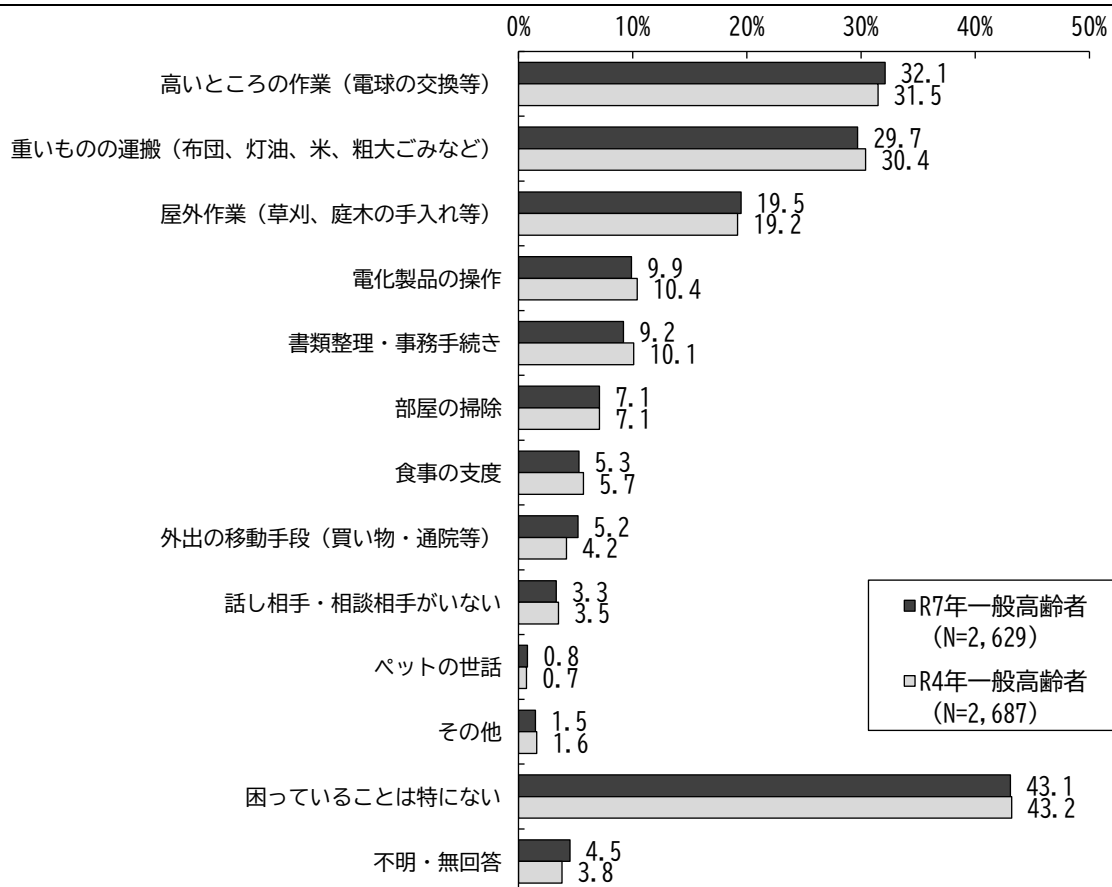
問 26. 自分で預貯金の出し入れをしていますか。

前回調査とほぼ同様の結果となっています。



問 27. 日常生活において困っていることは何ですか。【複数回答】

「困っていることは特にない」が43.1%で最も多く、次いで「高いところの作業（電球の交換等）」が32.1%、「重いものの運搬（布団、灯油、米、粗大ごみなど）」が29.7%となっています。

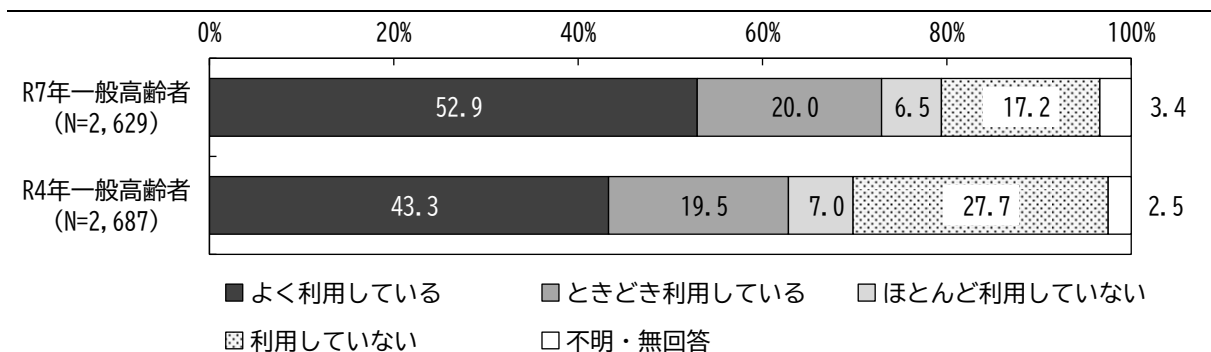


問 28. あなたは、パソコン、スマートフォンやタブレット端末等の情報通信機器を利用していますか。

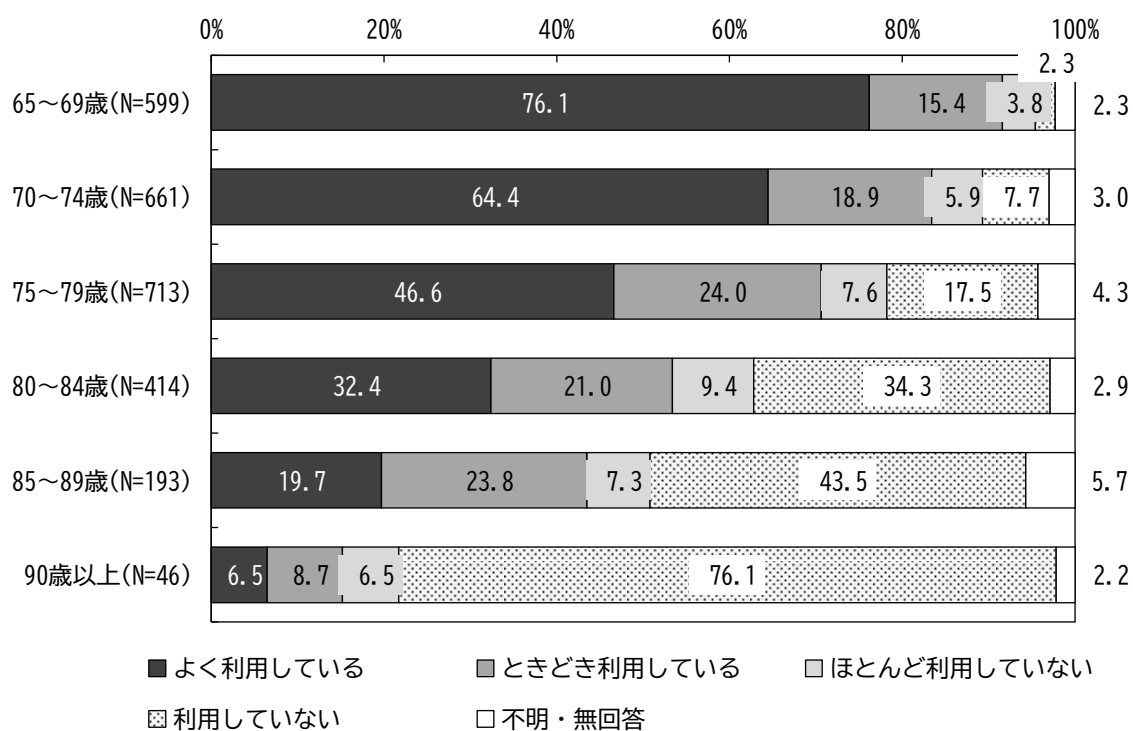
「よく利用している」が52.9%で最も多くなっています。

前回調査と比べると「よく利用している」が増加し、「利用していない」が減少しています。

年齢別にみると「よく利用している」は若い年齢ほど多くなっています。



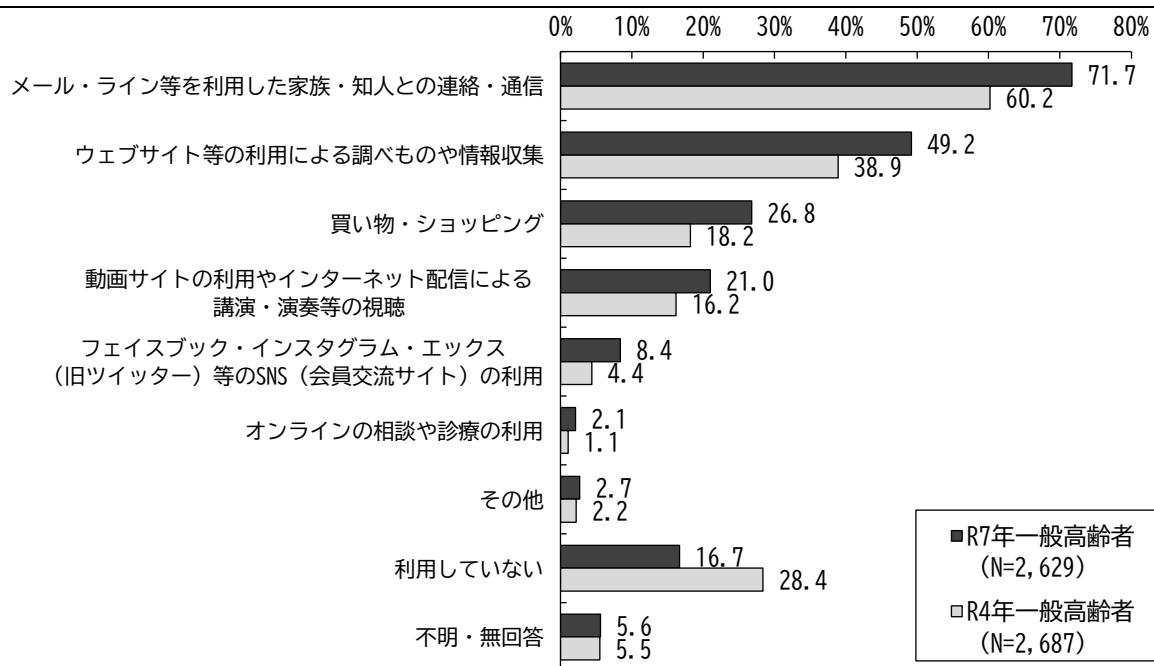
■年齢別にみた情報通信機器の利用



問 29. あなたは普段、パソコンやスマートフォン等の情報通信機器を利用して、次のようなことをしていますか。【複数回答】

「メール・ライン等を利用した家族・知人との連絡・通信」が71.7%で最も多く、次いで「ウェブサイト等の利用による調べものや情報収集」が49.2%となっています。

前回調査と比べると「利用していない」を除くすべての項目で、回答が増加しています。年齢別にみると上の年齢ほど「利用していない」以外の回答が少ない傾向です。



■年齢別にみた情報通信機器を利用してしていること

単位 (%)

	メール・ライン等を利用した家族・知人との連絡・通信	ウェブサイト等の利用による調べものや情報収集	フェイスブック・インスタグラム・エックス等のSNSの利用	動画サイトの利用やインターネット配信による講演・演奏等の視聴	買い物・ショッピング	オンラインの相談や診療の利用	その他	利用していない	不明・無回答
65～69歳 (N=599)	90.2	72.5	17.7	38.7	44.2	3.3	2.3	2.8	2.3
70～74歳 (N=661)	82.3	59.2	8.8	25.0	32.7	2.3	2.3	8.3	3.5
75～79歳 (N=713)	69.6	46.1	6.0	15.8	19.9	1.3	2.2	17.8	6.3
80～84歳 (N=414)	52.7	23.4	1.4	8.2	11.6	1.2	3.9	31.9	8.7
85～89歳 (N=193)	40.4	19.2	3.6	3.6	14.5	2.1	5.2	41.5	11.4
90歳以上 (N=46)	10.9	6.5	0.0	0.0	6.5	0.0	2.2	63.0	15.2

4 地域での活動について

問 30. 以下のような会、グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

週1回以上の参加が最も多いのは「⑧収入のある仕事」の23.8%、次いで「②スポーツ関係のグループやクラブ」が19.7%、「③趣味関係のグループ」が10.6%となっています。

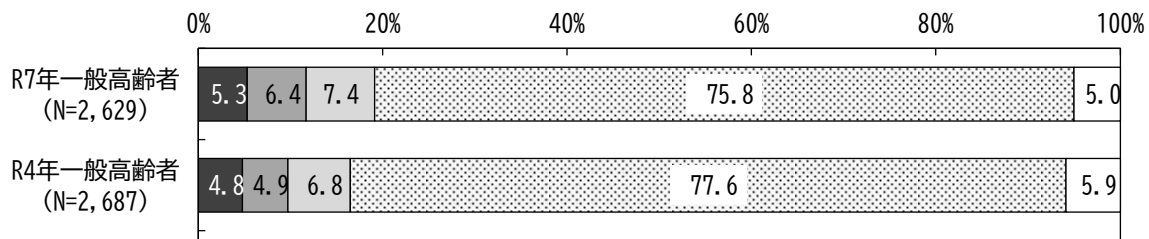
年に数回以上の参加が最も多いのは、「⑦町内会・自治会」の30.4%となっています。

前回調査と比べると、「⑦町内会・自治会」の「参加していない」が減少しています。

	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	単位：% 不明・無回答
①ボランティアのグループ							
R7年一般高齢者 (N=2, 629)	1.0	2.0	2.3	6.4	7.4	75.8	5.0
R4年一般高齢者 (N=2, 687)	1.1	2.0	1.7	4.9	6.8	77.6	5.9
②スポーツ関係のグループやクラブ							
R7年一般高齢者 (N=2, 629)	4.0	8.7	7.0	4.1	2.2	69.3	4.7
R4年一般高齢者 (N=2, 687)	4.1	7.1	6.1	4.4	2.8	70.7	4.7
③趣味関係のグループ							
R7年一般高齢者 (N=2, 629)	1.5	4.1	5.0	10.5	5.6	68.5	4.7
R4年一般高齢者 (N=2, 687)	1.5	4.0	4.7	11.1	4.5	69.5	4.6
④学習・教養サークル							
R7年一般高齢者 (N=2, 629)	0.3	0.8	1.9	4.3	2.8	84.6	5.4
R4年一般高齢者 (N=2, 687)	0.2	0.6	1.6	3.6	3.1	85.7	5.3
⑤介護予防のための通いの場							
R7年一般高齢者 (N=2, 629)	0.7	1.2	4.0	2.4	1.8	85.4	4.5
R4年一般高齢者 (N=2, 687)	0.8	1.4	3.8	2.1	2.2	86.7	3.1
⑥老人クラブ							
R7年一般高齢者 (N=2, 629)	0.3	0.7	1.4	2.1	4.3	86.9	4.3
R4年一般高齢者 (N=2, 687)	0.2	0.9	1.2	2.1	4.7	87.4	3.5
⑦町内会・自治会							
R7年一般高齢者 (N=2, 629)	0.3	0.6	1.1	5.8	22.6	65.3	4.3
R4年一般高齢者 (N=2, 687)	0.3	0.9	0.7	4.5	17.2	72.5	3.9
⑧収入のある仕事							
R4年一般高齢者 (N=2, 687)	13.9	8.5	1.4	2.2	1.9	68.0	4.1
R4年一般高齢者 (N=2, 687)	14.1	7.3	1.4	1.2	1.4	70.6	3.9

◆ 「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を「週1回以上」にまとめたグラフ

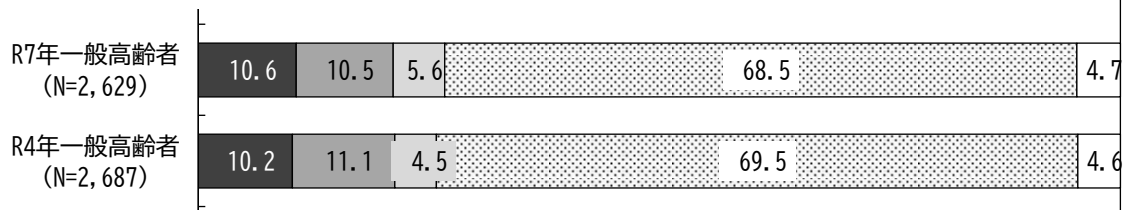
①ボランティアのグループ



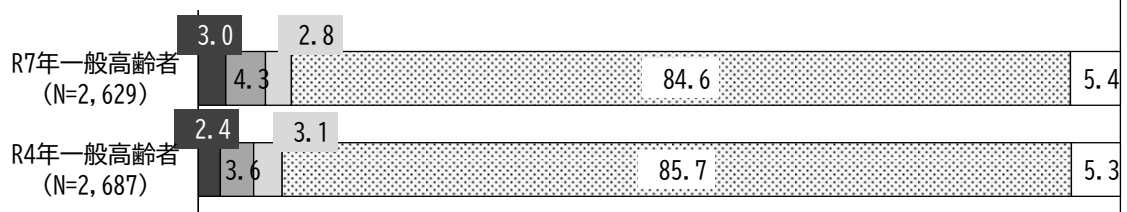
②スポーツ関係のグループやクラブ



③趣味関係のグループ

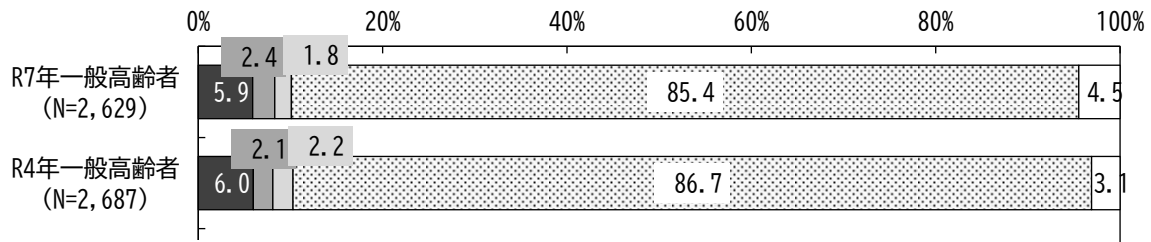


④学習・教養サークル

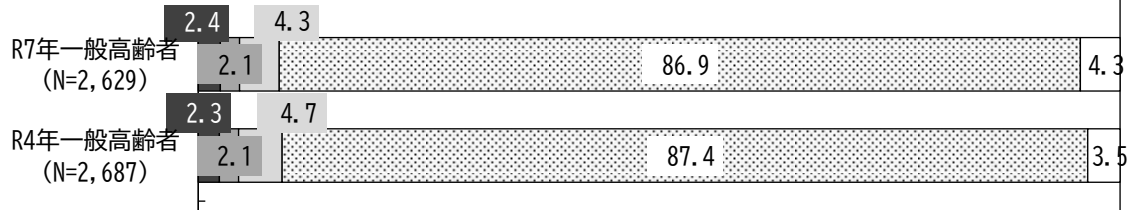


■ 週1回以上 ■ 月1～3回 □ 年に数回 ▨ 参加していない □ 不明・無回答

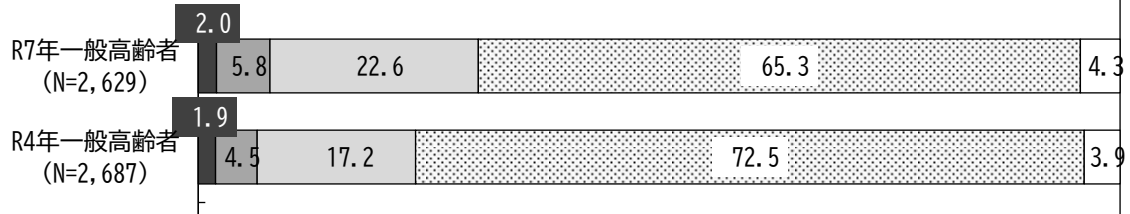
⑤介護予防のための通いの場



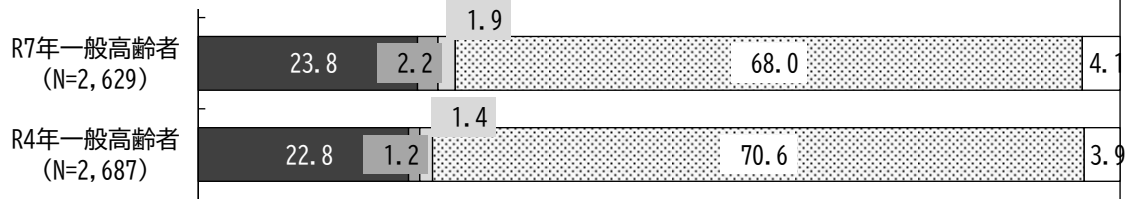
⑥老人クラブ



⑦町内会・自治会



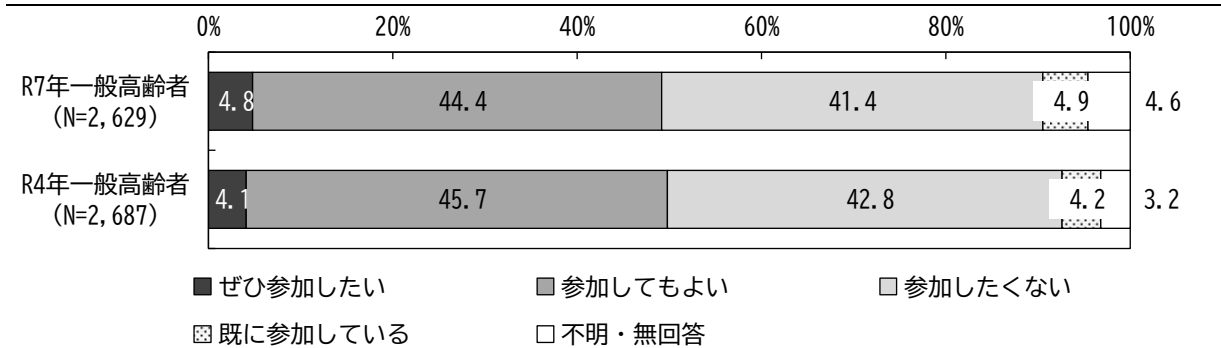
⑧収入のある仕事



■ 週1回以上 ■ 月1~3回 □ 年に数回 ▨ 参加していない □ 不明・無回答

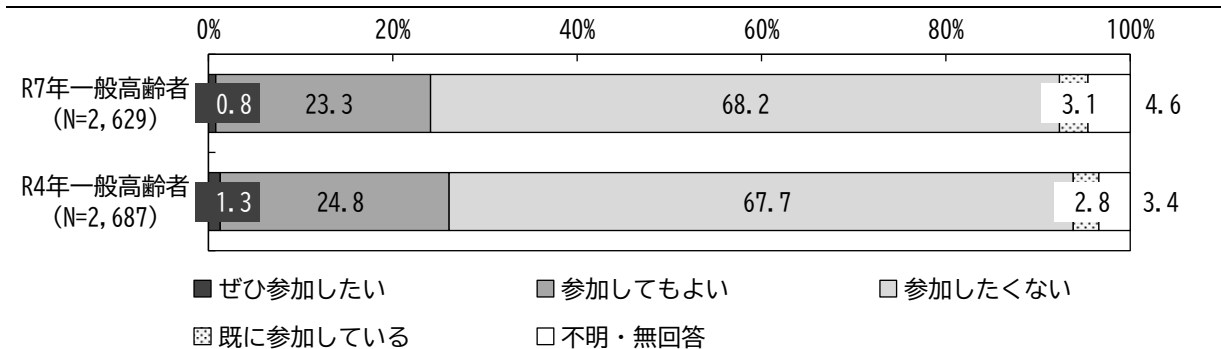
問 31. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。

「既に参加している」を含めた参加に前向きな回答が 54.1% となっています。



問 32. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。

「既に参加している」を含めた参加に前向きな回答が 27.2% となっています。

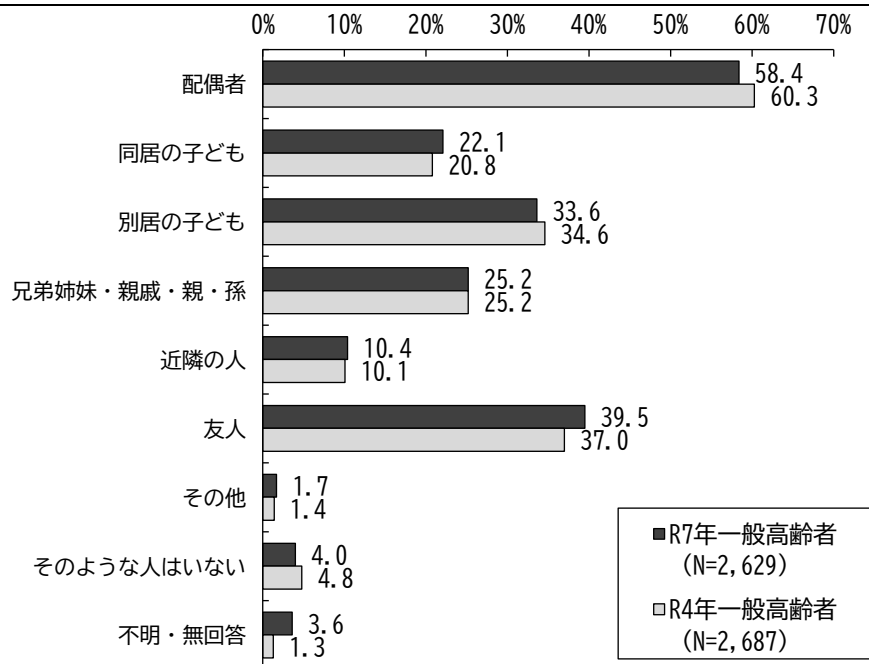


5 たすけあいについて

問 33. あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人は誰ですか。【複数回答】

「配偶者」が58.4%で最も多く、次いで「友人」が39.5%となっています。

世帯状況別にみると「1人暮らし」では「そのような人はいない」が多くなっています。これは問34～36にも共通する傾向です。



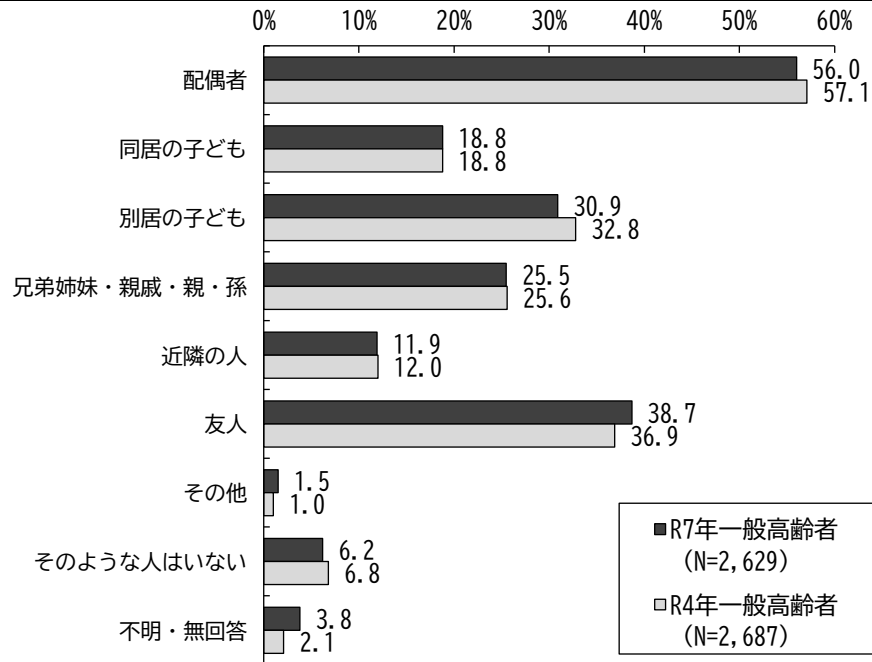
■世帯状況別にみた心配事や愚痴を聞いてくれる人

単位 (%)

	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣の人	友人	その他	そのような人はいない	不明・無回答
1人暮らし (N=388)	3.6	1.3	42.0	35.8	14.2	48.5	2.8	13.1	2.1
夫婦2人暮らし (配偶者は65歳以上) (N=1,018)	81.9	3.7	39.5	23.1	8.3	37.7	1.2	1.9	3.2
夫婦2人暮らし (配偶者は64歳以下) (N=115)	80.0	6.1	22.6	12.2	4.3	28.7	0.9	4.3	4.3
息子・娘との2世帯 (N=535)	55.3	56.3	23.6	25.2	10.7	38.5	0.9	2.6	3.6
その他 (N=445)	50.8	46.7	28.1	26.7	11.5	42.0	3.4	2.5	3.1

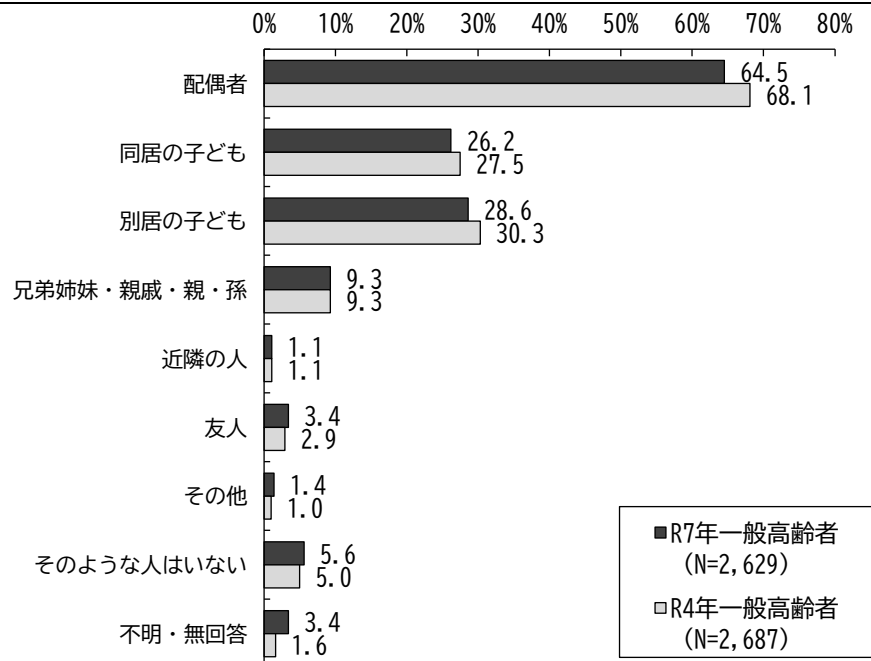
問 34. 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人は誰ですか。【複数回答】

「配偶者」が56.0%で最も多く、次いで「友人」が38.7%となっています。



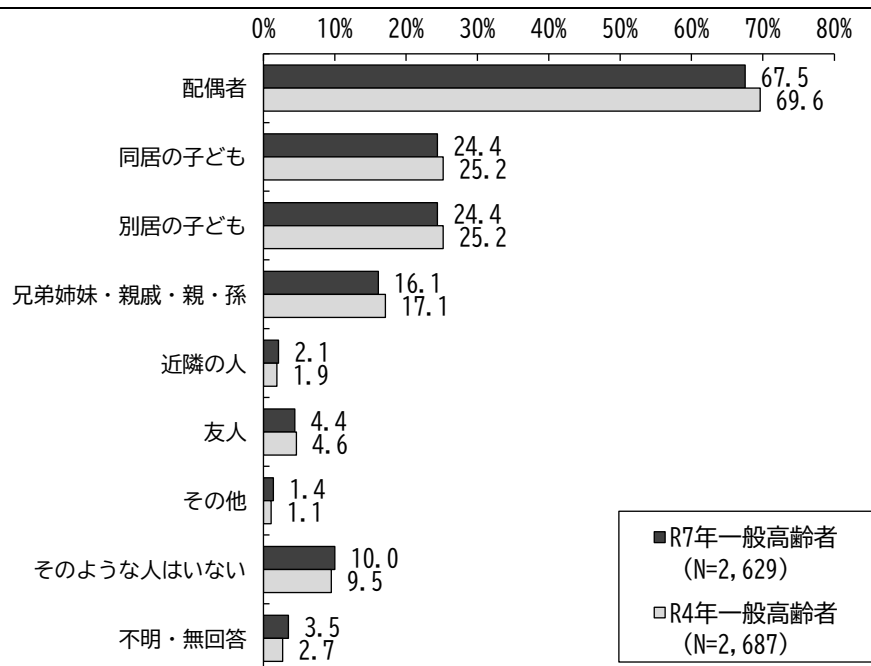
問 35. あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人は誰ですか。【複数回答】

「配偶者」が64.5%で最も多く、次いで「別居の子ども」が28.6%となっています。



問 36. 反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人は誰ですか。【複数回答】

「配偶者」が67.5%で最も多く、次いで「同居の子ども」と「別居の子ども」がいずれも24.4%となっています。

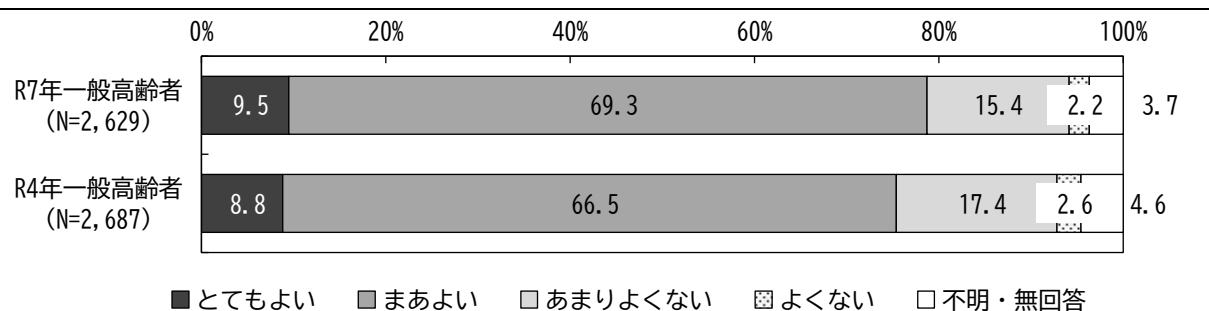


6 健康について

問 37. 現在のあなたの健康状態はいかがですか。

「まあよい」が69.3%で最も多く、「とてもよい」を含めた「よい」という回答は78.8%、よくないという回答は17.6%となっています。

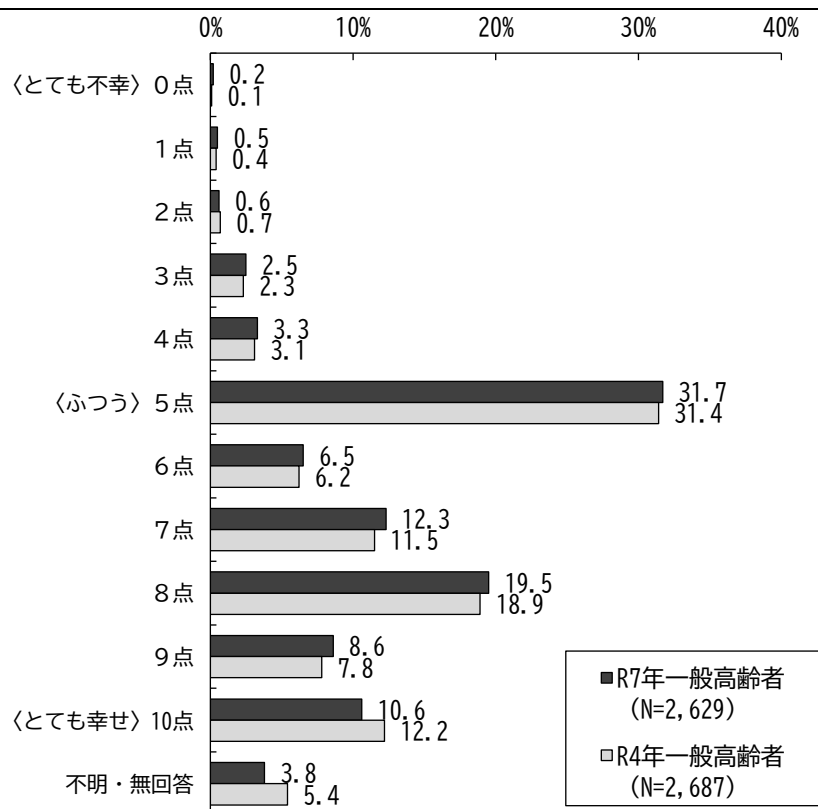
前回調査と比べると「よい」という回答がやや多くなっています。



問 38. あなたは、現在どの程度幸せですか。(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として回答してください)

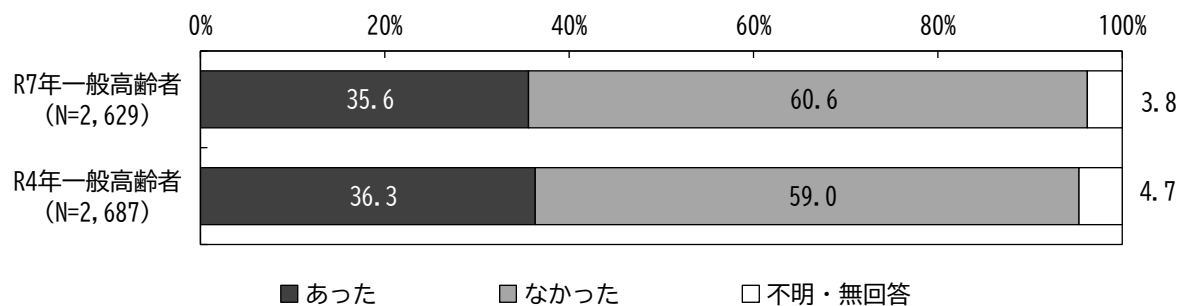
「5点」が31.7%で最も多く、次いで「8点」が19.5%となっています。

回答の平均は6.71点で、前回調査の6.75点とほぼ等しくなっています。



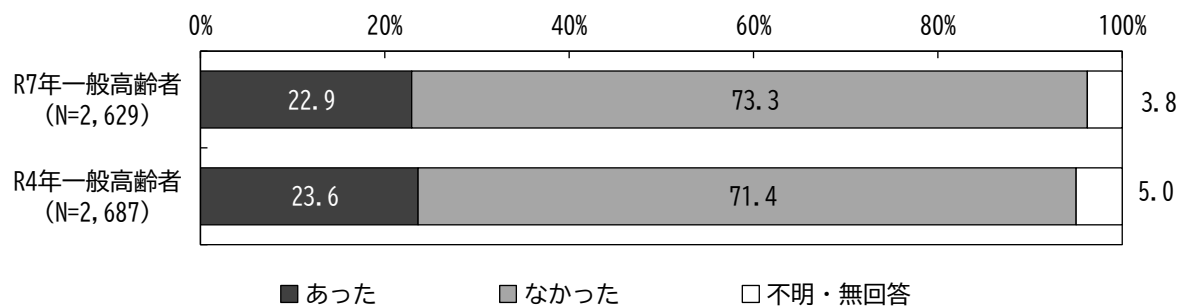
問 39. この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

「あった」が35.6%となっています。



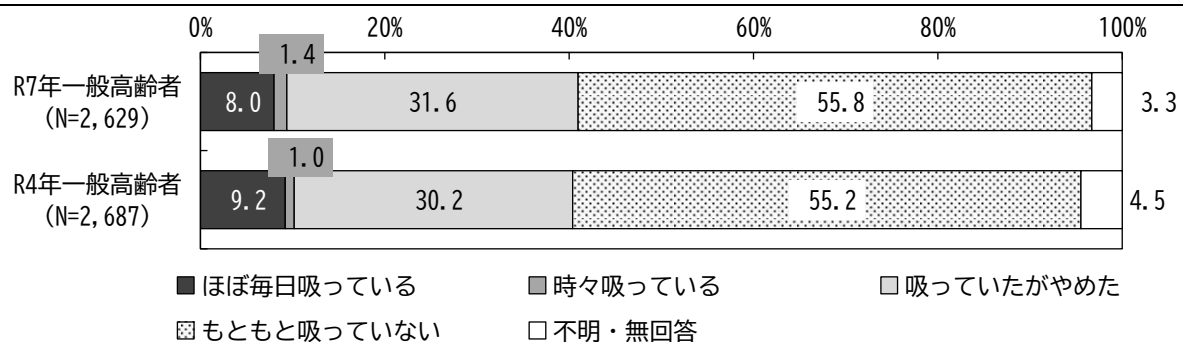
問 40. この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。

「あった」が22.9%となっています。



問 41. タバコは吸っていますか。

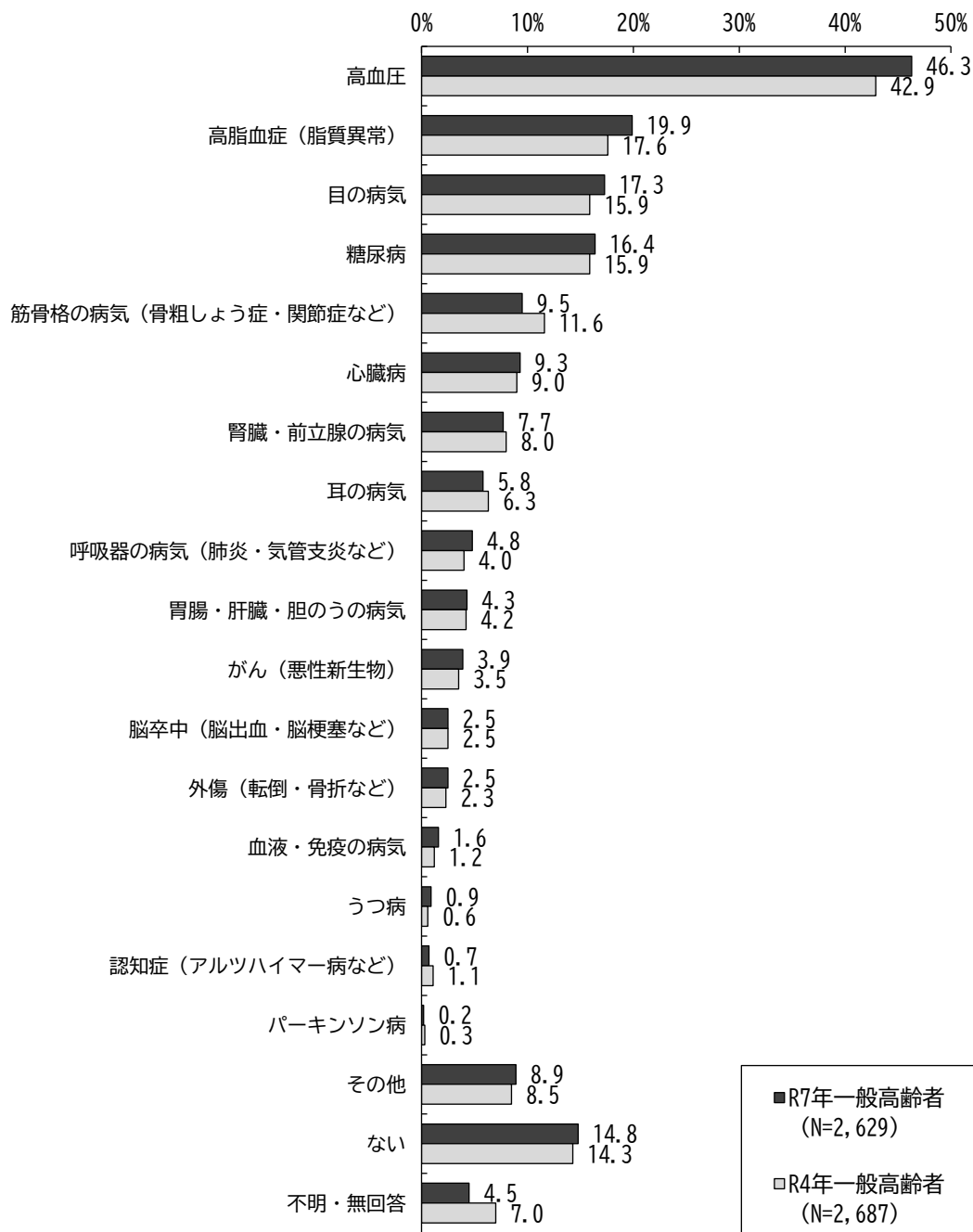
「もともと吸っていない」が55.8%で最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が31.6%となっています。現在喫煙している人は9.4%となっています。



問 42. 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。【複数回答】

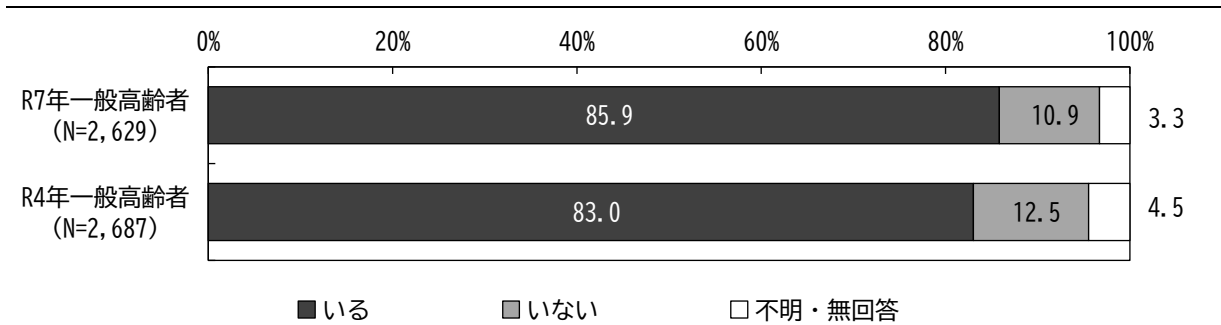
「高血圧」が46.3%で最も多く、次いで「高脂血症（脂質異常）」が19.9%、「目の病気」が17.3%となっています。

「ない」は14.8%で、80.7%の人が「その他」を含む何らかの病気を回答しています。



問 43. かかりつけの医師がいますか。

「いる」が85.9%となっています。

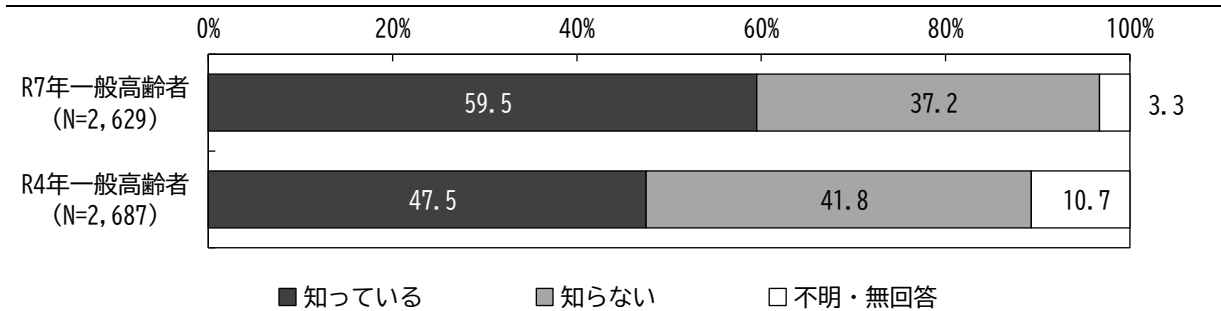


問 44. 高齢者の生活について相談ができる「地域包括支援センター」が市内にあるのを知っていますか。

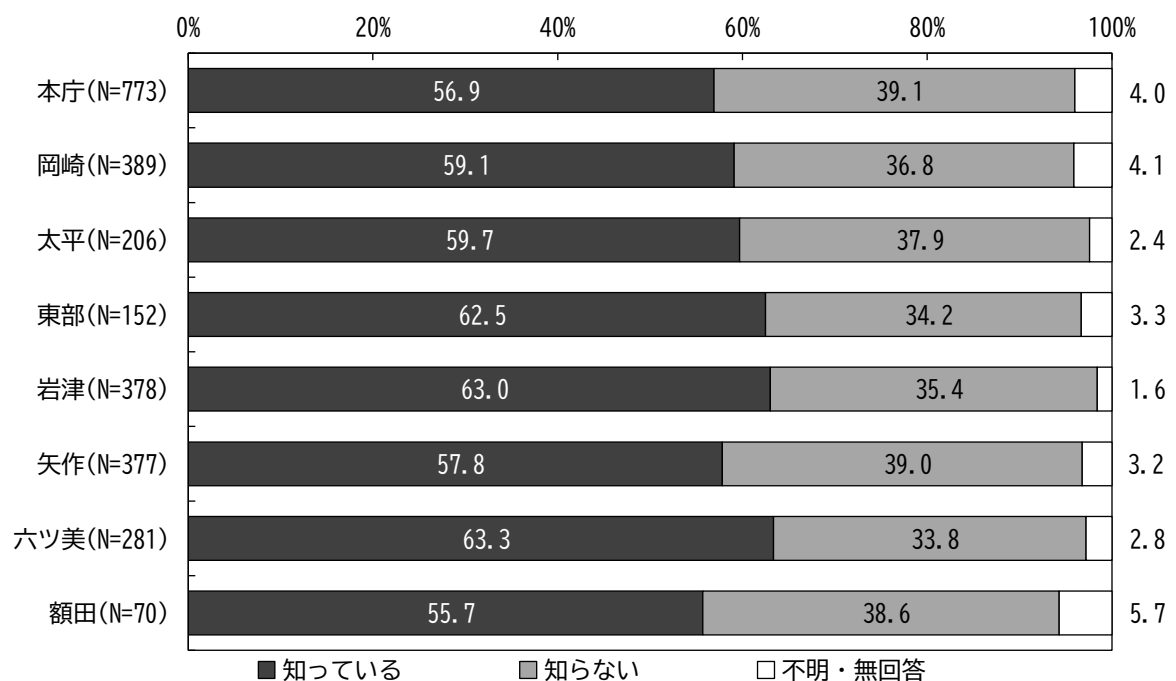
「知っている」が59.5%となっています。

前回調査と比べると「知っている」が増加しています。

居住圏域別にみると「知っている」は「六ツ美」で最も多く、「額田」で最も少なくなっています。

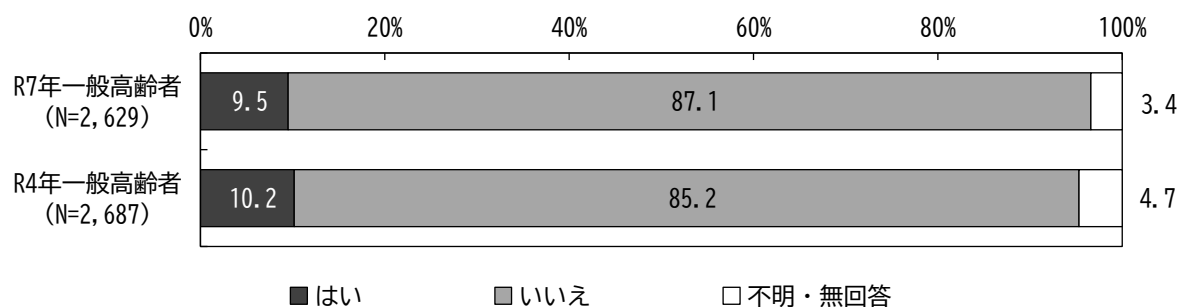


■ 居住圏域別に見た「地域包括支援センター」の認知



問 45. 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。

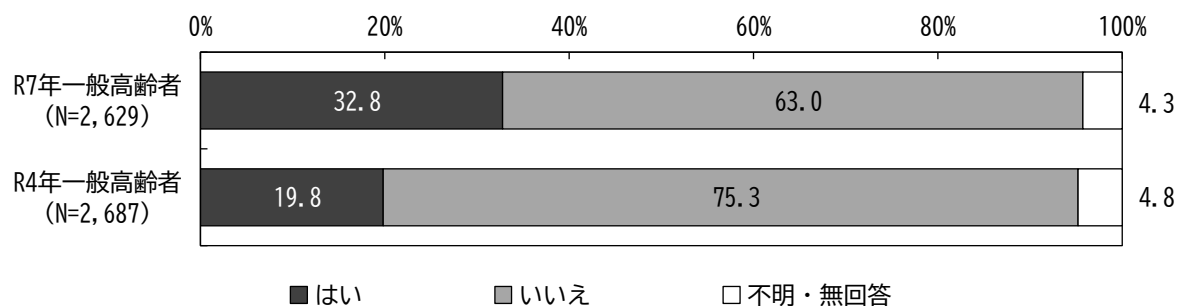
「はい」が9.5%となっています。



問 46. 認知症に関する相談窓口を知っていますか。

「はい」が32.8%となっています。

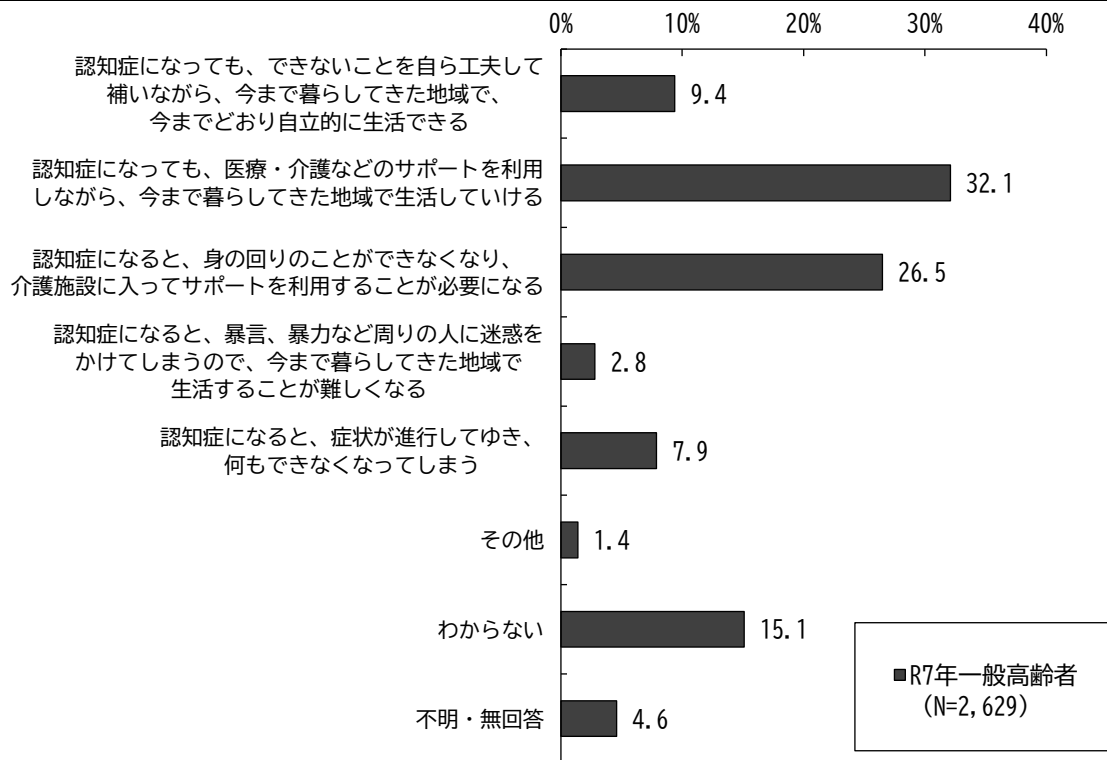
前回調査と比べると「はい」が増加しています。



問 47. あなたは認知症に対してどのようなイメージを持っていますか。あなたが思う最も近いものを1つだけお答えください。

「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける」が32.1%で最も多く、次いで「認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる」が26.5%となっています。

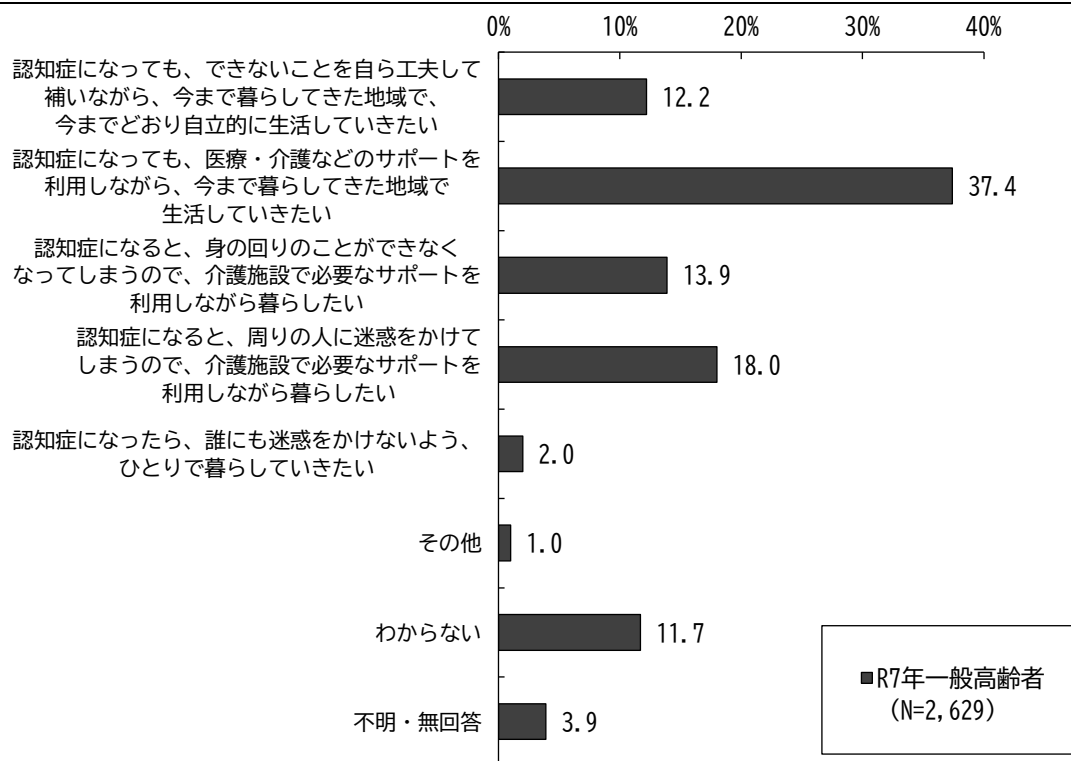
いわゆる「新しい認知症観」に属する回答（上2つの選択肢）の合計は、41.5%となっています。



問 48. もし、あなたが認知症になったら、どのように暮らしたいと思いますか。あなたが思う最も近いものを1つだけお答えください。

「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していきたい」が37.4%で最も多く、次いで「認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい」が18.0%となっています。

いわゆる「新しい認知症観」に属する回答（上2つの選択肢）の合計は、49.6%となっています。

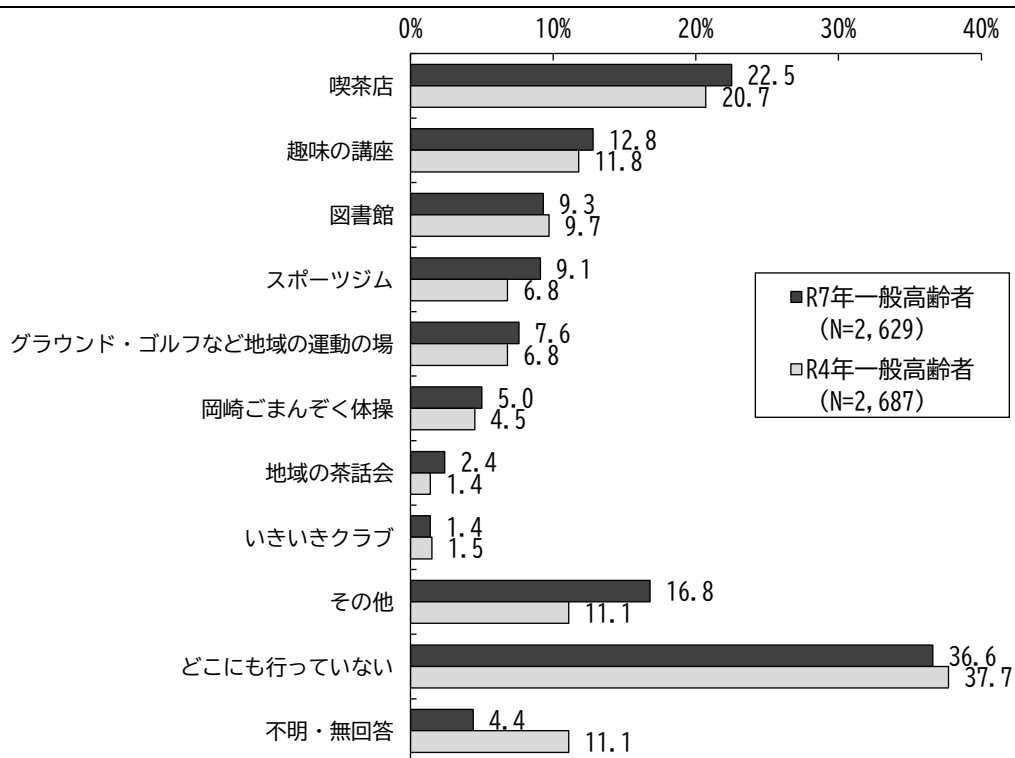


7 居場所や通いの場について

問 49. 自宅以外で居場所（通いの場）はありますか。【複数回答】

「どこにも行っていない」が36.6%で最も多く、次いで「喫茶店」が22.5%、「その他」が16.8%となっています。

圏域別にみると、「岡崎ごまんぞく体操」は額田で多くなっています。



■圏域別にみた自宅以外の居場所（通いの場）

単位（％）

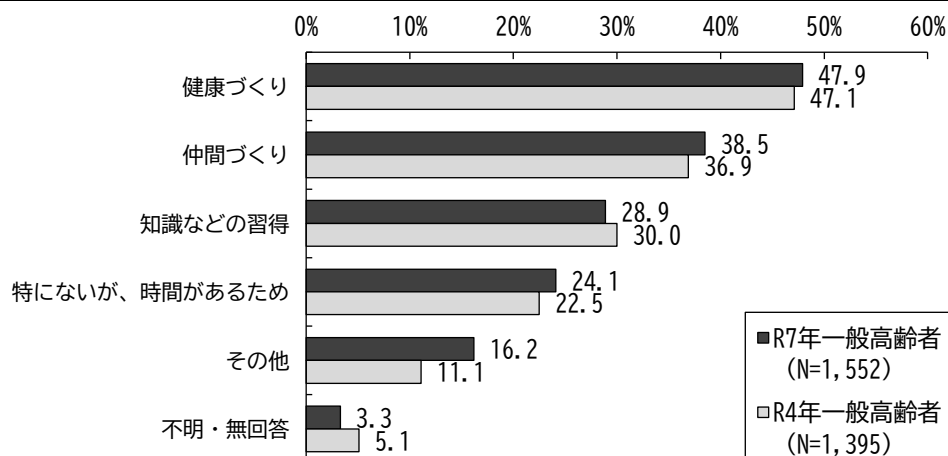
	喫茶店	趣味の講座	図書館	スポーツジム	グラウンド・ゴルフなど地域の運動の場	岡崎ごまんぞく体操	地域の茶話会	いきいきクラブ	その他
全体 (N=2,629)	22.5	12.8	9.3	9.1	7.6	5.0	2.4	1.4	16.8
本庁 (N=745)	19.5	13.8	11.4	10.9	7.0	4.4	1.6	1.3	16.9
岡崎 (N=397)	26.5	14.4	11.3	8.5	6.7	3.9	1.8	0.8	13.6
大平 (N=211)	23.3	14.6	8.3	9.7	5.3	5.3	3.4	2.9	18.4
東部 (N=159)	16.4	11.8	7.2	6.6	7.9	6.6	0.7	1.3	17.8
岩津 (N=315)	24.1	11.6	7.9	9.3	9.5	4.8	3.2	1.6	18.0
矢作 (N=380)	21.5	12.2	9.3	5.8	8.8	4.2	3.4	1.3	15.9
六ツ美 (N=230)	27.0	10.3	6.0	11.7	7.8	6.4	2.5	1.8	17.8
額田 (N=80)	21.4	8.6	2.9	2.9	7.1	12.9	7.1	1.4	18.6

	どこにも行っていない	不明・無回答
全体 (N=2,629)	36.6	4.4
本庁 (N=745)	36.9	4.5
岡崎 (N=397)	34.4	5.1
大平 (N=211)	35.9	2.9
東部 (N=159)	40.8	3.3
岩津 (N=315)	38.4	2.6
矢作 (N=380)	37.4	5.6
六ツ美 (N=230)	33.1	5.0
額田 (N=80)	38.6	5.7

【問49で「どこにも行っていない」以外を回答した人のみ】

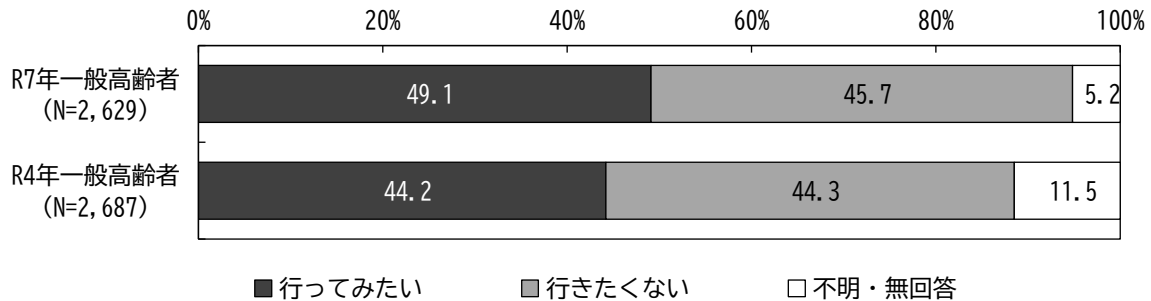
通いの場に行く理由は何ですか。【複数回答】

「健康づくり」が47.9%で最も多く、次いで「仲間づくり」が38.5%となっています。



問 50. 近所に気軽に集まることができる「通いの場」があったら、行ってみたいと思いますか。

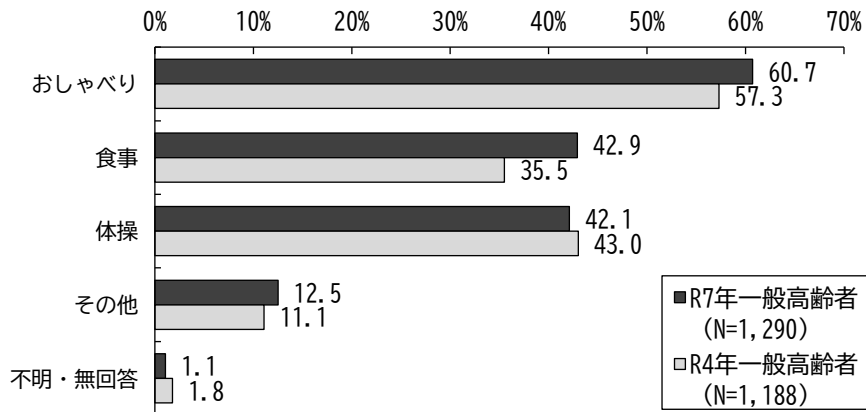
「行ってみたい」が49.1%となっています。
 前回調査と比べると「行ってみたい」が増加しています。



【問 50 で「行ってみたい」と回答した人のみ】

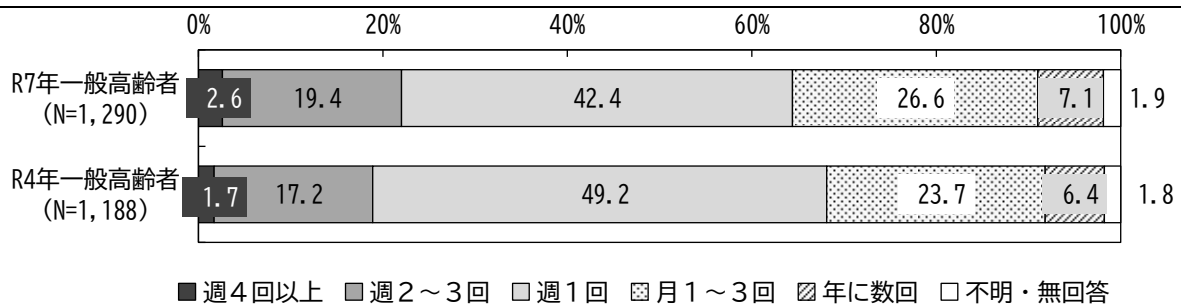
①どのような「通いの場」が欲しいと思いますか。【複数回答】

「おしゃべり」が60.7%で最も多くなっています。
 前回調査と比べると「食事」が増加しています。



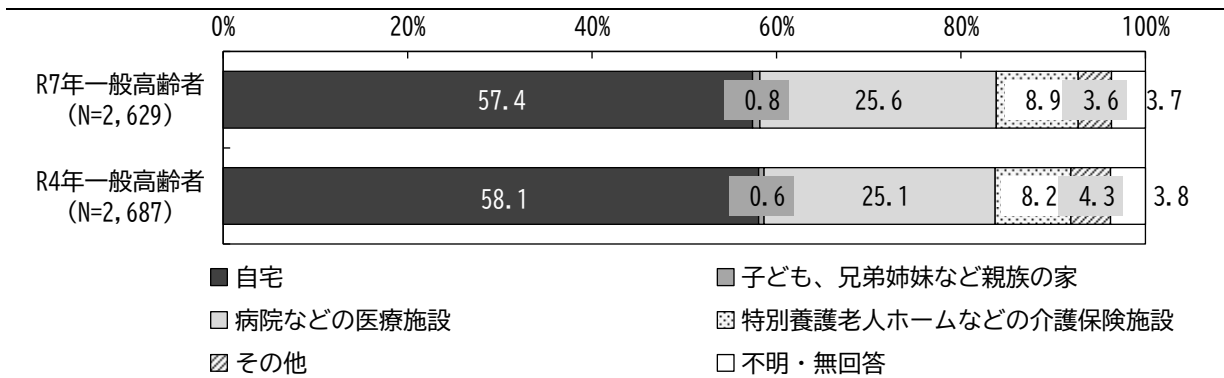
②どれくらいの頻度で通いたいと思いますか。

「週1回」が42.4%で最も多く、次いで「月1～3回」が26.6%となっています。
 前回調査と比べると、週2回以上の回答がやや増加しています。



問 51. 将来あなたが人生の最期を迎えるとき、それをどこで迎えたいですか。

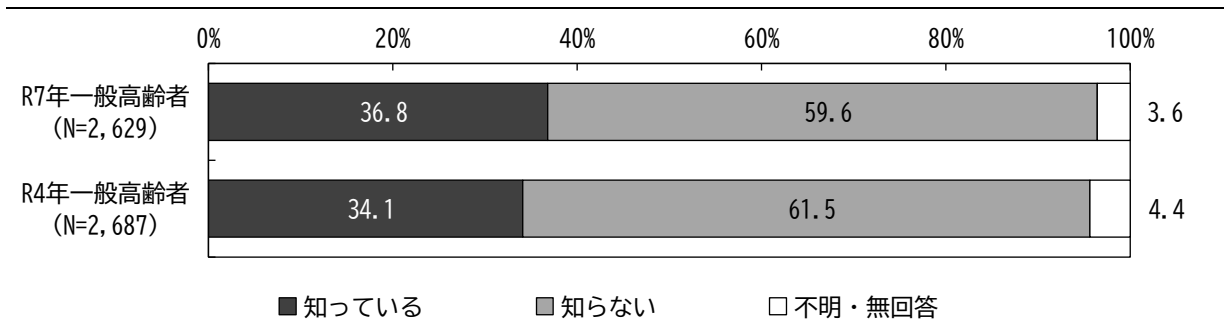
「自宅」が 57.4%で最も多く、次いで「病院などの医療施設」が 25.6%となっています。



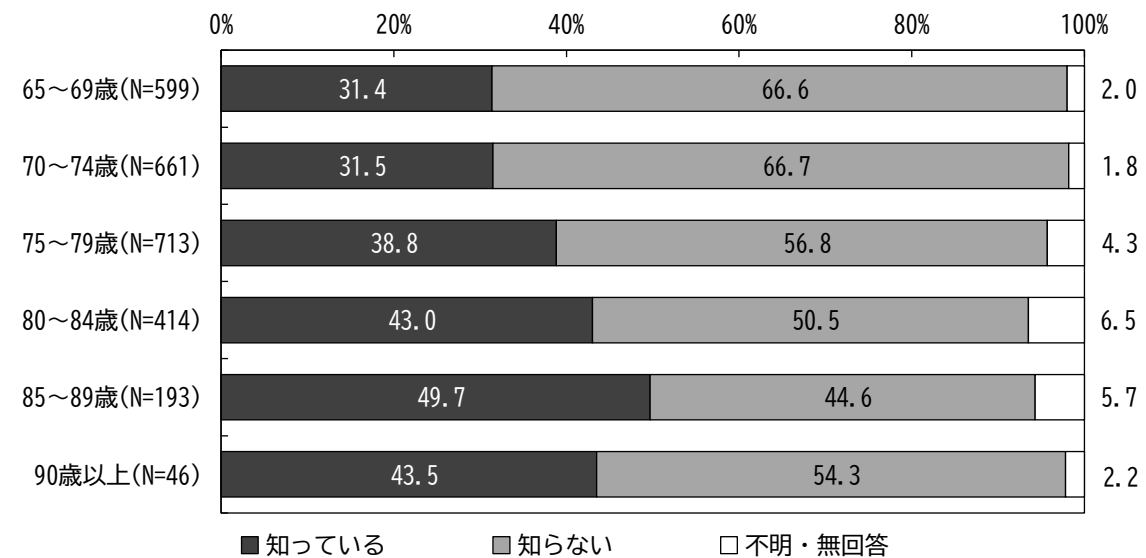
問 52. もし、あなたが終末期医療の希望を明示できなくなったとき、あなたの代理人となる方は、あなたの人生最期の迎え方の希望（終末期医療や最期を迎えたい場所）を知っていますか。

「知っている」が 36.8%となっています。

年齢別にみると、90歳未満では年齢があがるほど「知っている」が多い傾向です。

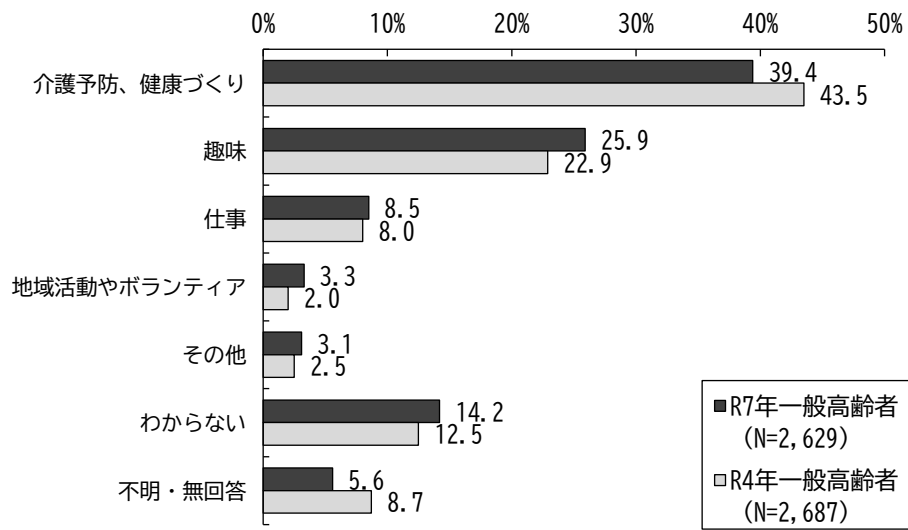


■年齢別にみた代理人が本人の希望を知っているかどうか



問 53. 充実した老後を過ごすために、あなたがしたいことは何ですか。

「介護予防、健康づくり」が39.4%で最も多く、次いで「趣味」が25.9%、「わからない」が14.2%となっています。



8 各種のリスク判定について

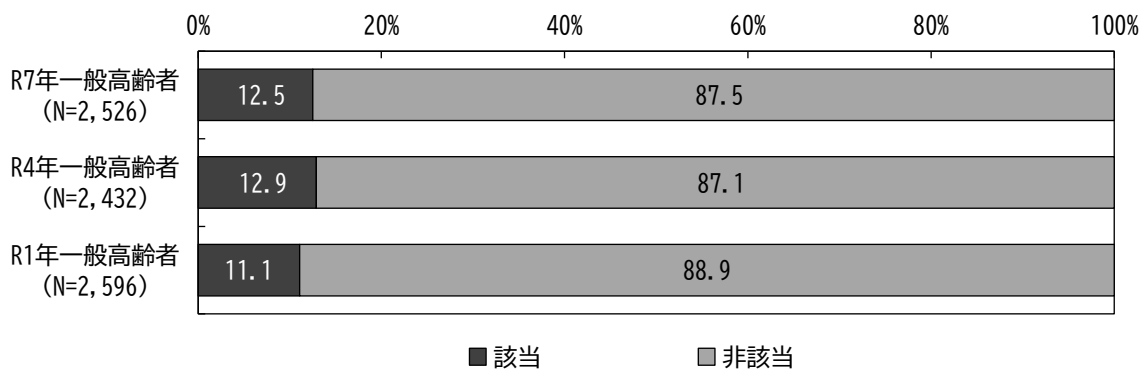
一般高齢者調査は、国が示したひな型に基づき、1つまたは複数の質問の回答状況に基づいて、各種の要介護リスクを判定することができます。

本調査に基づいて算出可能なリスク判定について、以下に示します。

(1) 運動器の機能低下

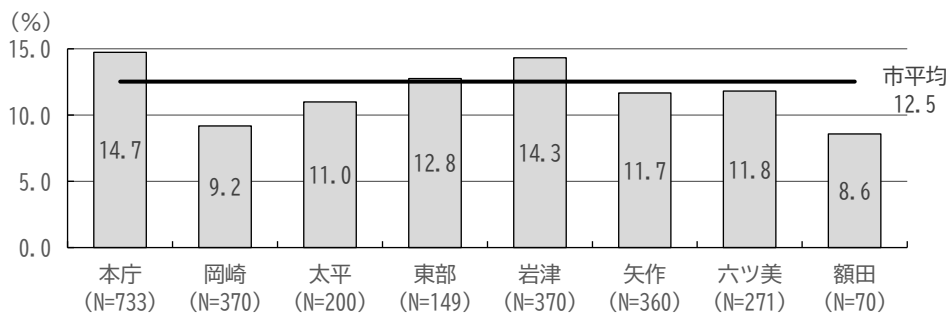
運動器の機能低下リスクの該当者の割合は12.5%となっており、前回調査とほぼ同程度となっています。

判定条件		
問5 階段を手すりや壁を伝わらずに昇っていますか	1. できるし、している 2. できるが、していない 3. できない	左記の5つの設問において、3問以上、該当する選択肢（網掛け箇所）を回答された場合、運動器機能の低下している高齢者となります。
問6 椅子に座った状態から何にもつかまらず立ち上がっていますか	1. できるし、している 2. できるが、していない 3. できない	
問7 15分くらい続けて歩いていますか	1. できるし、している 2. できるが、していない 3. できない	
問8 過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない	
問9 転倒することへの不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない	



※該当する質問に無回答があり、判定できなかった件数（R7年103件、R4年255件、R1年103件）を除いた割合で比較

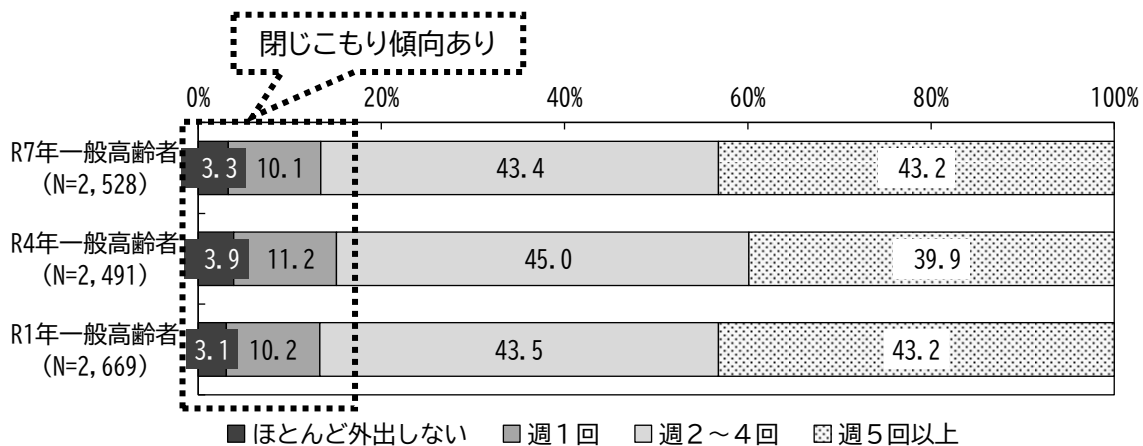
■圏域別にみた運動器の機能低下リスクの該当者の割合



(2) 閉じこもり傾向

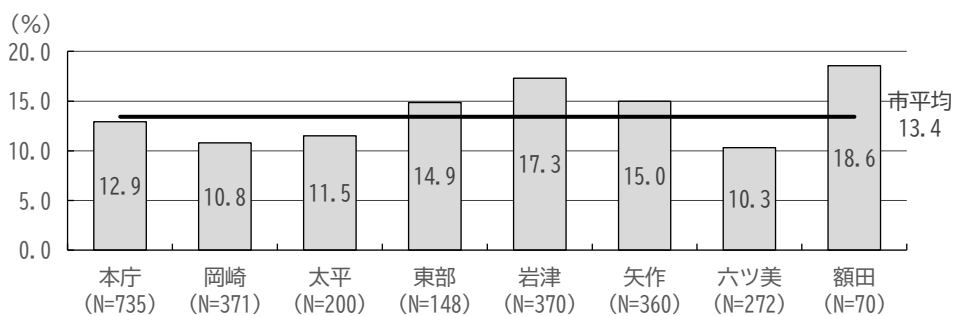
閉じこもり傾向のある高齢者の割合は13.4%で、前回調査よりやや減少し、ほぼR1年調査の水準と等しくなっています。

判定条件		
問 10 週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2～4回 4. 週5回以上	左記の設問において、該当する選択肢（網掛け箇所）を回答された場合、閉じこもり傾向となります。



※該当する質問に無回答があり、判定できなかった件数（R7年101件、R4年196件、R1年30件）を除いた割合で比較

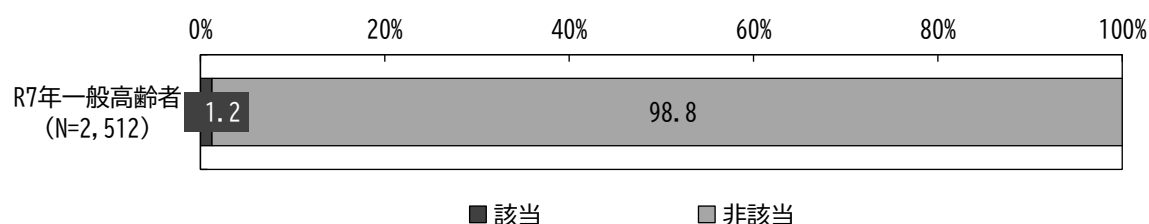
■圏域別にみた閉じこもり傾向のある高齢者の割合



(3) 低栄養

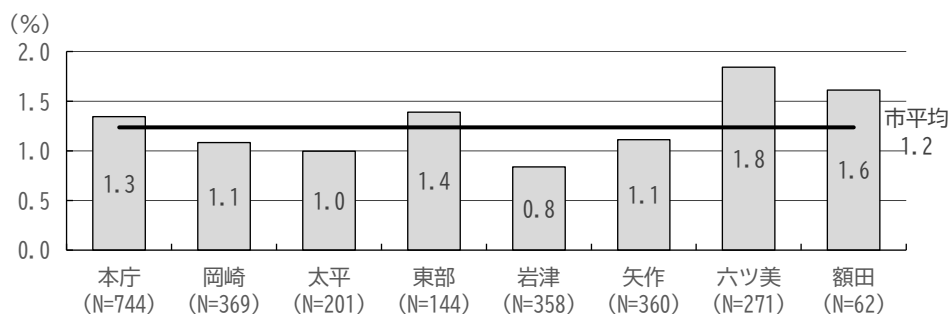
低栄養の傾向のある高齢者の割合は1.2%となっています。

判定条件		
問 12 身長・体重をご記入ください	BMI ≤ 18.5	身長・体重から算出されたBMI指数（体重(kg)÷身長(m) ² ）が18.5以下で、かつ問13で「はい」と回答された場合、低栄養傾向のある高齢者となります。
問 13 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありますか。	1. はい 2. いいえ	



※該当する質問に無回答があり、判定できなかった件数（117件）を除いた割合。R4年以前の調査では問13がなく、低栄養傾向の比較はできない。

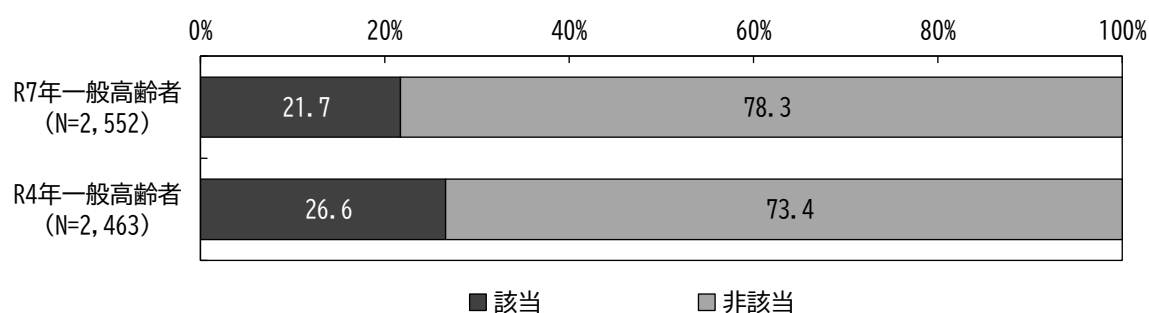
■圏域別にみた低栄養の傾向のある高齢者の割合



(4) 口腔機能の低下

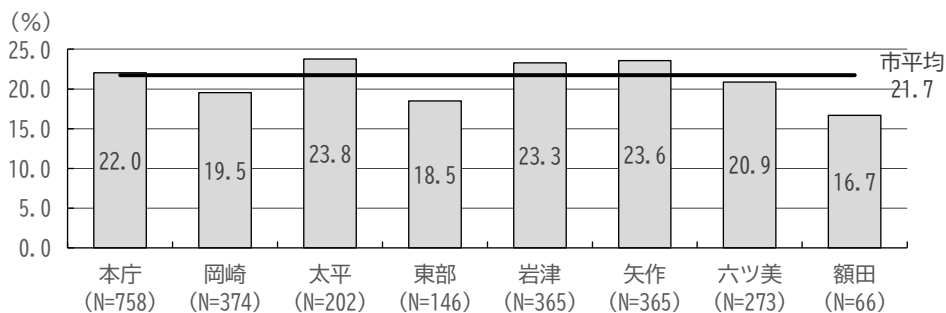
口腔機能の低下している高齢者の割合は21.7%で、前回より減少しています。

判定条件		
問 14 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい 2. いいえ	左記の3つの設問において、2問以上、該当する選択肢（表の網掛け箇所）を回答された場合、口腔機能の低下している高齢者となります。
問 15 お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい 2. いいえ	
問 16 口の渇きが気になりますか	1. はい 2. いいえ	



※該当する質問に無回答があり、判定できなかった件数（R7年77件、R4年224件）を除いた割合で比較。R1年は必要な質問が調査に含まれておらず、比較できない。

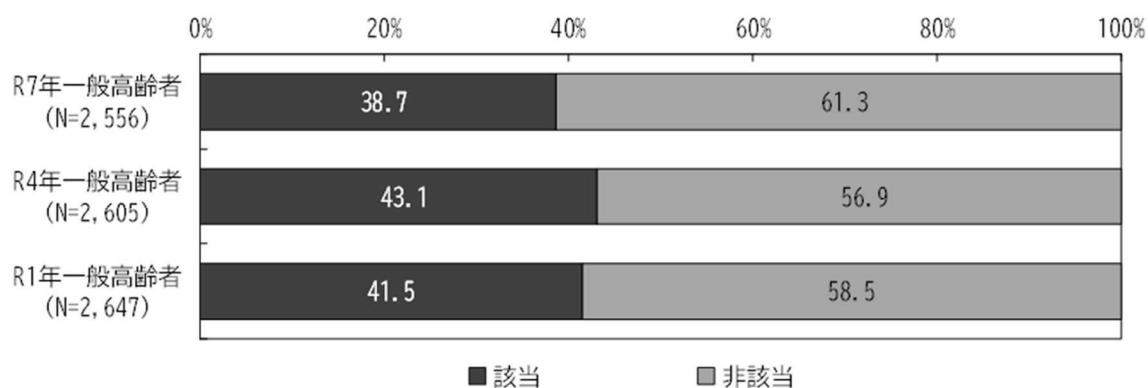
■圏域別にみた口腔機能の低下がみられる高齢者の割合



(5) 認知機能の低下

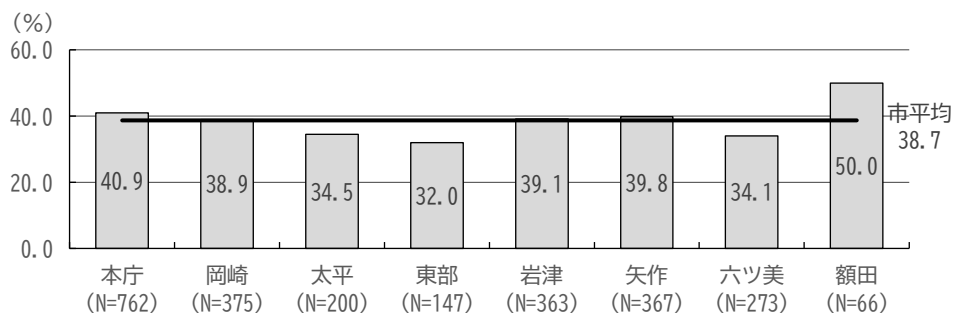
認知機能の低下がみられる高齢者の割合は 38.7%で、前回よりやや減少しています。

判定条件		
問 21 物忘れが多いと感じますか	1. はい 2. いいえ	左記の設問において、該当する選択肢（網掛け箇所）を回答された場合、認知機能の低下がみられる高齢者となります。



※該当する質問に無回答があり、判定できなかった件数（R7年 73件、R4年 82件、R1年 52件）を除いた割合で比較

■圏域別にみた認知機能の低下がみられる高齢者の割合

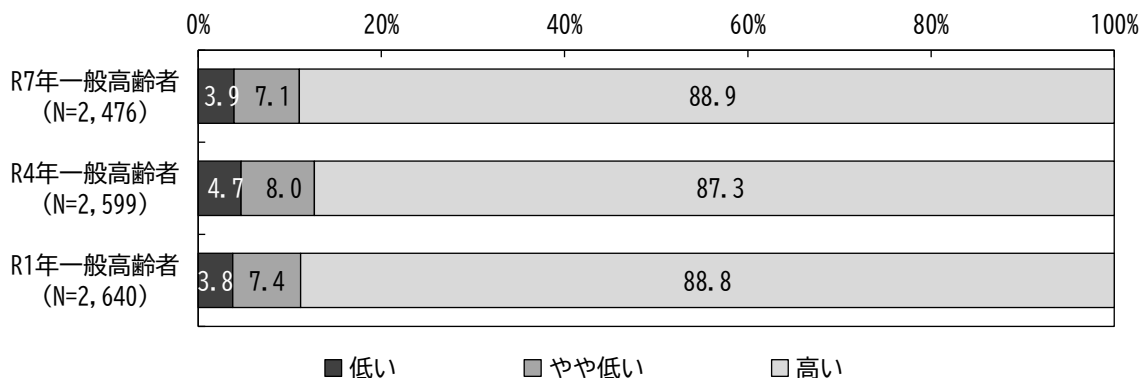


(6) IADLの※低下

IADLの低下についてみると、「低い」は3.9%、「やや低い」が7.1%となっており、いずれも前回調査よりやや減少しています。

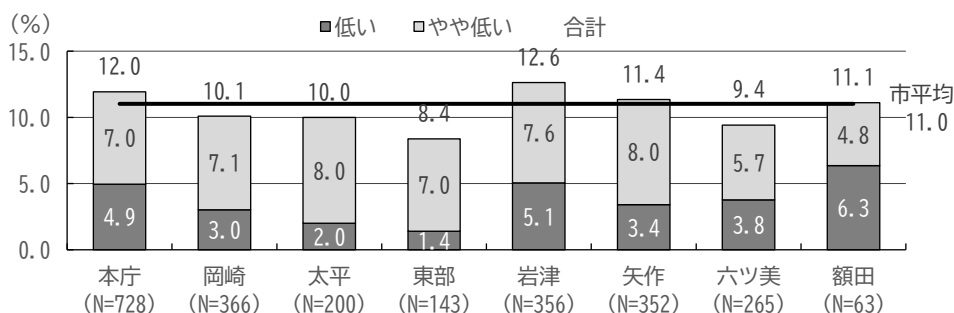
判定条件		
問 22 バスや電車を使って1人で外出していますか	1. できるし、している 2. できるが、していない 3. できない	左記の5つの設問において、該当する選択肢（表の網掛け箇所）を2問以上回答された場合、IADLが低い、1問ならやや低い、0問なら高いと判定されます。
問 23 自分で食品・日用品の買い物をしていますか	1. できるし、している 2. できるが、していない 3. できない	
問 24 自分で食事の用意をしていますか	1. できるし、している 2. できるが、していない 3. できない	
問 25 自分で請求書の支払いをしていますか	1. できるし、している 2. できるが、していない 3. できない	
問 26 自分で預貯金の出し入れをしていますか	1. できるし、している 2. できるが、していない 3. できない	

※「IADL」とは、「Instrumental Activity of Daily Living」の略で、「手段的日常生活動作」と訳されます。例えば、掃除・料理・洗濯・買い物などの家事やコミュニケーション、交通機関の利用、自分の薬の管理、お金の管理など、単純な運動能力ではなく、日常生活を問題なく送る上で必要な活動を行う力を意味します。高齢者の自立度を評価する指標として活用されています。



※該当する質問に無回答があり、判定できなかった件数（R7年153件、R4年88件、R1年59件）を除いた割合で比較

■圏域別にみたIADLの低下がみられる高齢者の割合



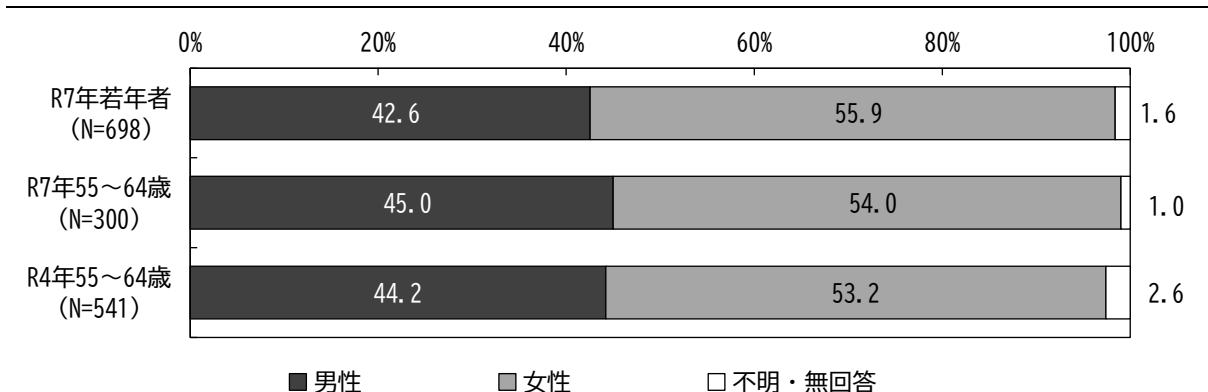
Ⅲ 若年者調査の結果

1 調査対象者について

※若年者調査については、今回は40～64歳が対象となっていますが、前回調査（R4年）は55～64歳が対象となっているため、前回との比較のために今回の調査における55～64歳の結果のグラフも示しています。

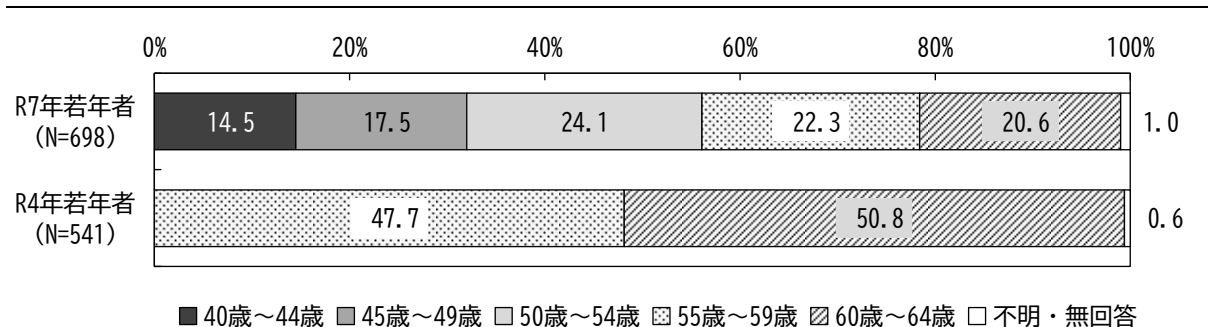
問1. あなたの性別をお答えください。

「男性」が42.6%、「女性」が55.9%となっています。



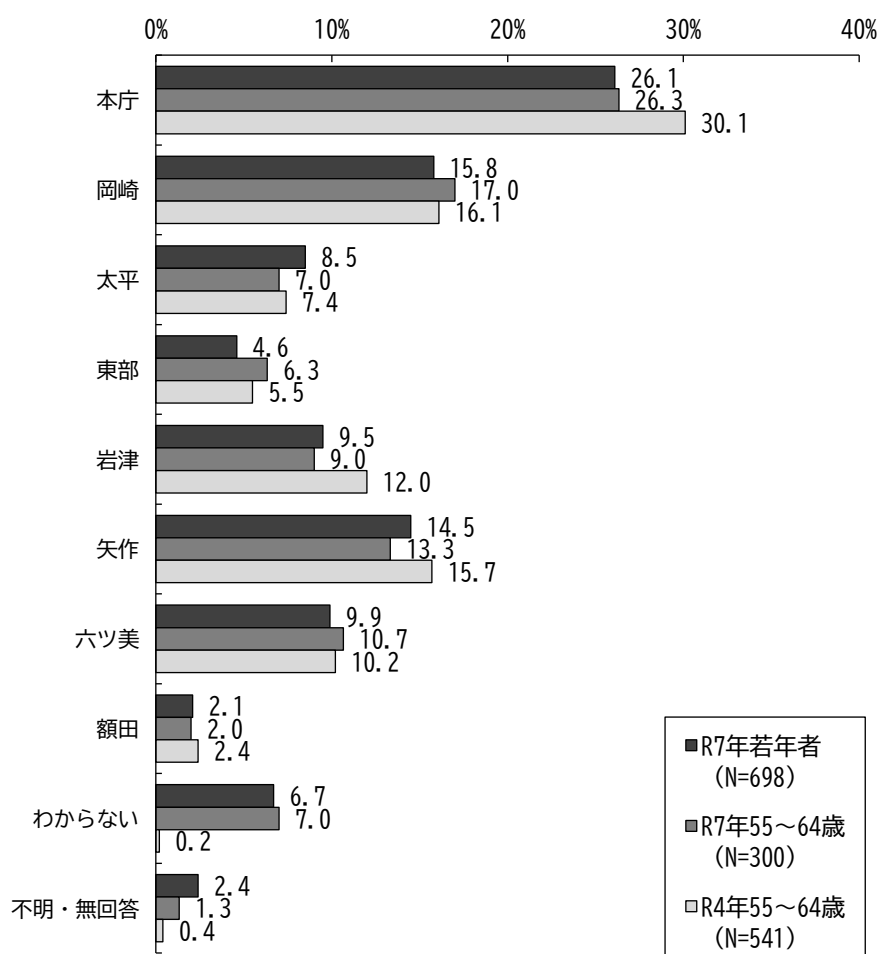
問2. あなたの年齢（令和7年11月1日現在）をお答えください。

「50～54歳」が24.1%で最も多く、次いで「55～59歳」が22.3%となっています。前回調査とは対象年齢が異なります。



問3. あなたはどの小学校区にお住まいですか。

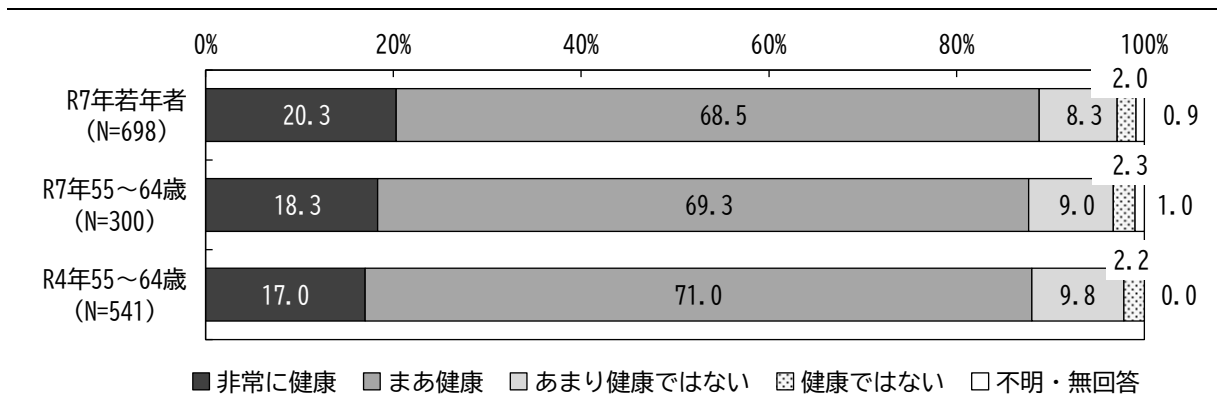
居住小学校区を市内8圏域で集計した結果を示しています。「本庁」が26.1%で最も多く、次いで「岡崎」が15.8%、「矢作」が14.5%となっています。



2 日常生活の状況や介護予防について

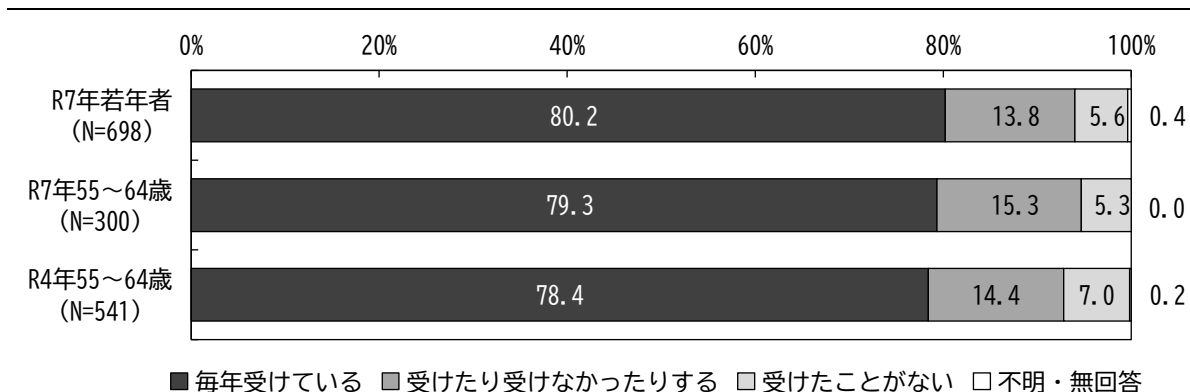
問4. 現在の健康状態はどのような状況ですか。

「まあ健康」が68.5%で最も多く、「非常に健康」を加えた健康という回答が88.8%となっています。



問5. 人間ドックや特定健診などの健康診査（検尿、血圧測定、血液検査等）を定期的に受けていますか。

「毎年受けている」が80.2%で最も多くなっています。

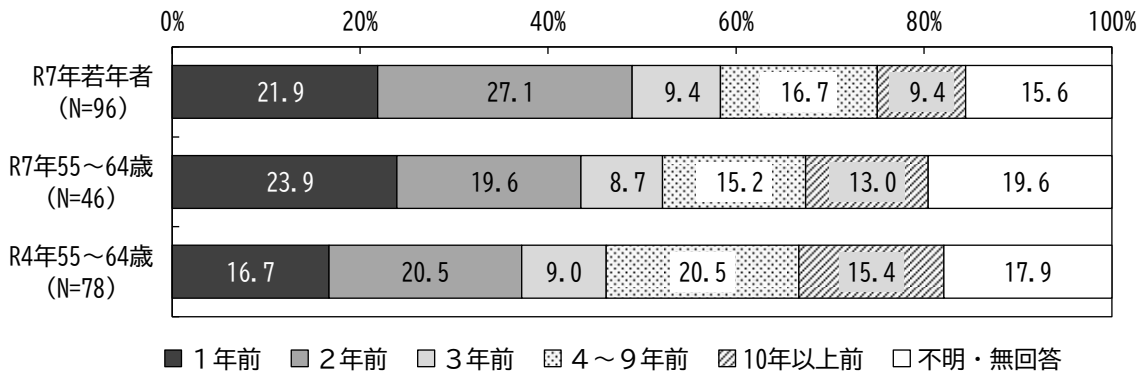


【問5で「受けたり受けなかったりする」と回答した人のみ】

最後に受けた年

「2年前」が27.1%で最も多く、次いで「1年前」が21.9%となっています。

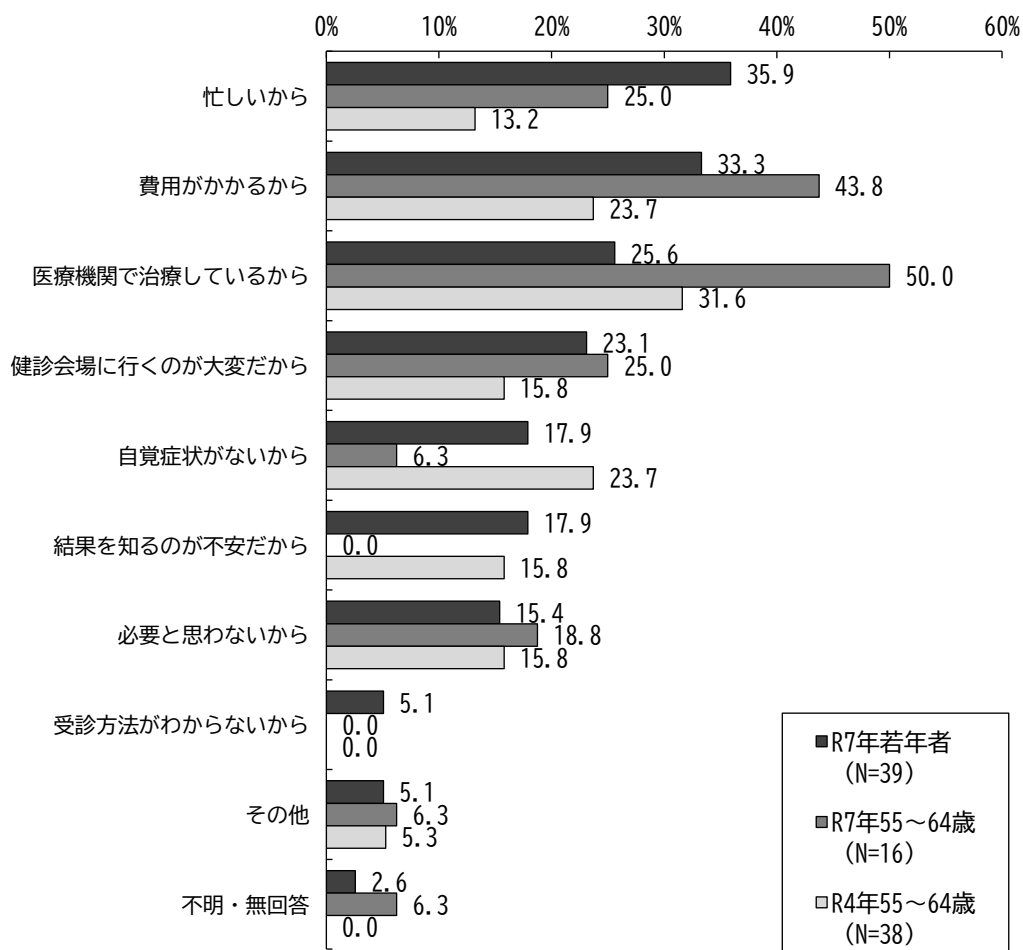
前回調査と比べると「1年前」がやや増加していますが、前は感染症の影響で受けていない人があったと考えられます。



【問5で「受けたことがない」と回答した人のみ】

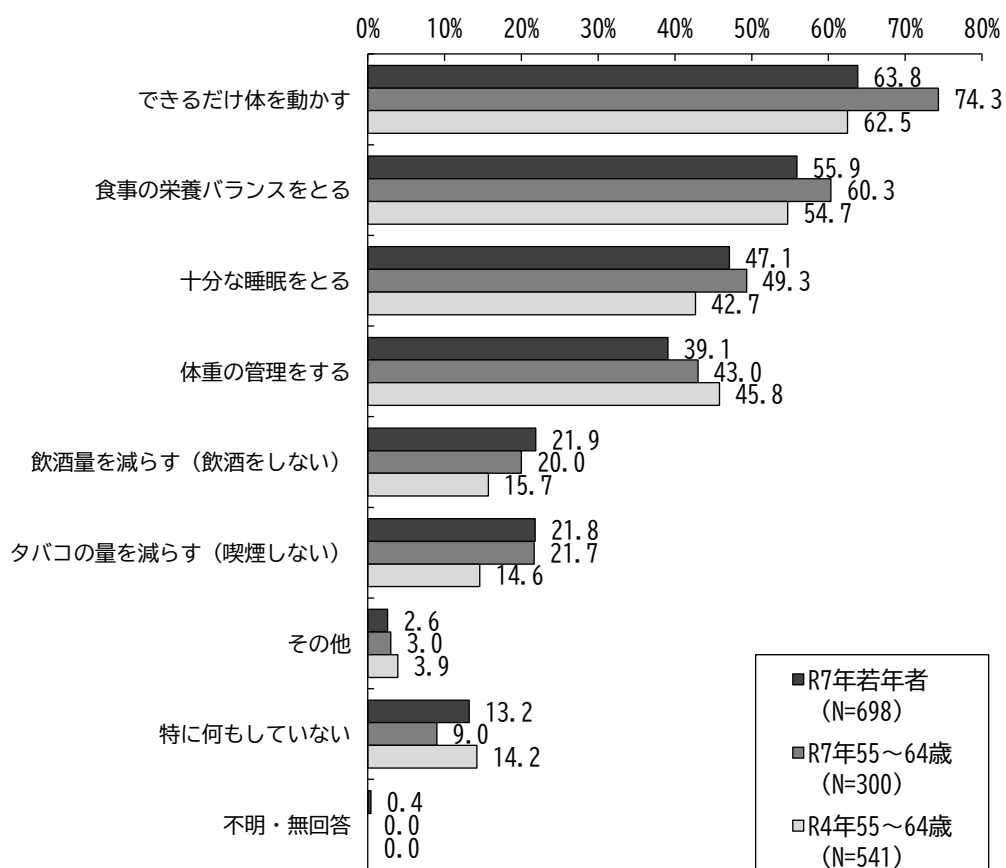
あなたが健康診査を受診しない理由は何ですか。【複数回答】

「忙しいから」が35.9%で最も多く、次いで「費用がかかるから」が33.3%となっています。



問6. 要介護状態にならないために、何を心がけていますか。【複数回答】

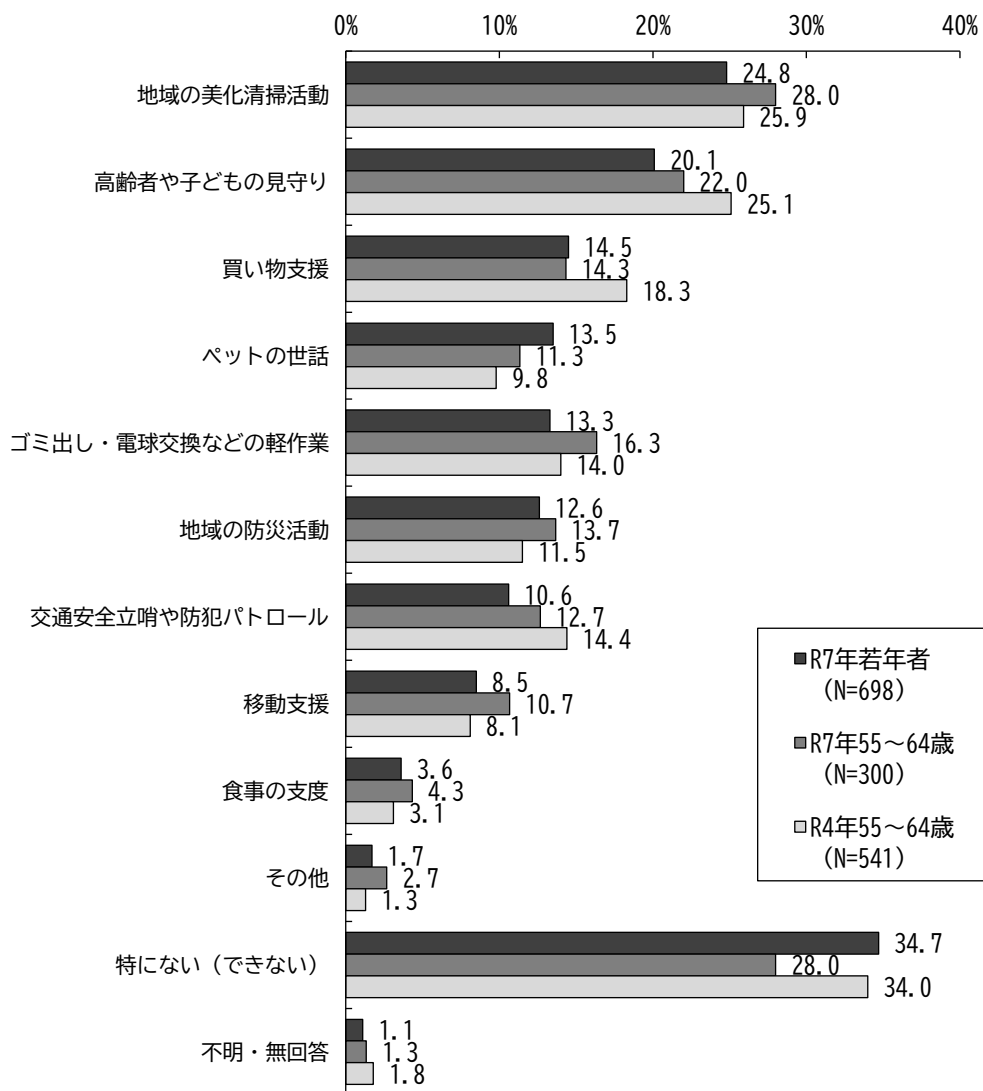
「できるだけ体を動かす」が63.8%で最も多く、次いで「食事の栄養バランスをとる」が55.9%となっています。



問7. 地域住民の力を生かしたたすけあい活動で、あなたがやってみたいと思うことはどれですか。【複数回答】

「特にない（できない）」が34.7%で最も多く、次いで「地域の美化清掃活動」が24.8%、「高齢者や子どもの見守り」が20.1%となっています。

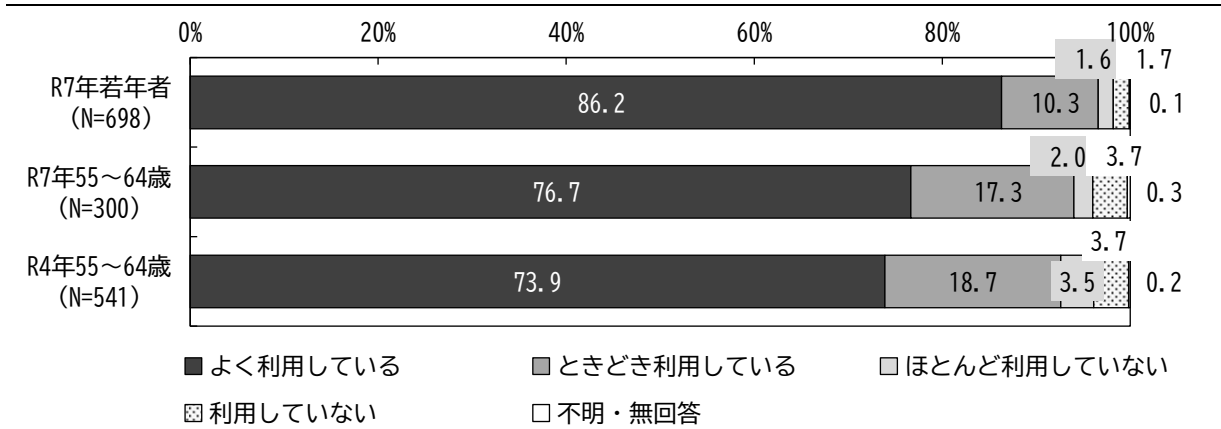
前回調査と比べると、55～64歳で比較した場合「特にない（できない）」がやや減少しています。



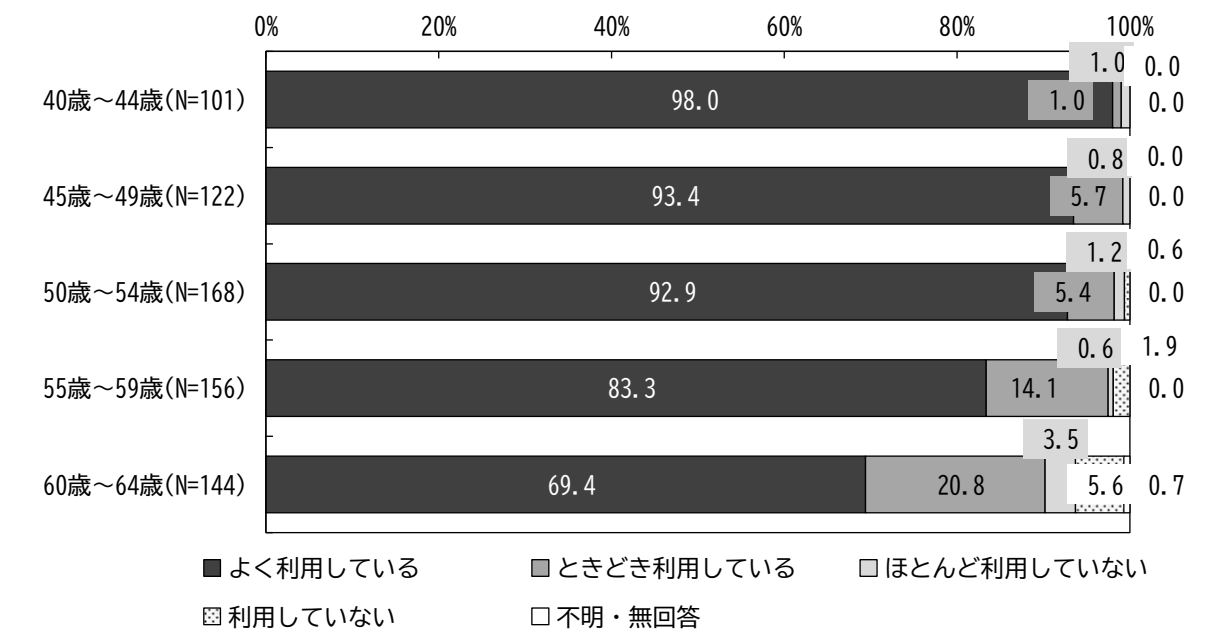
問8. あなたは、パソコン、スマートフォンやタブレット端末等の情報通信機器を利用していますか。

「よく利用している」が86.2%で最も多くなっています。

前回調査と比べると「よく利用している」がやや増加しています。



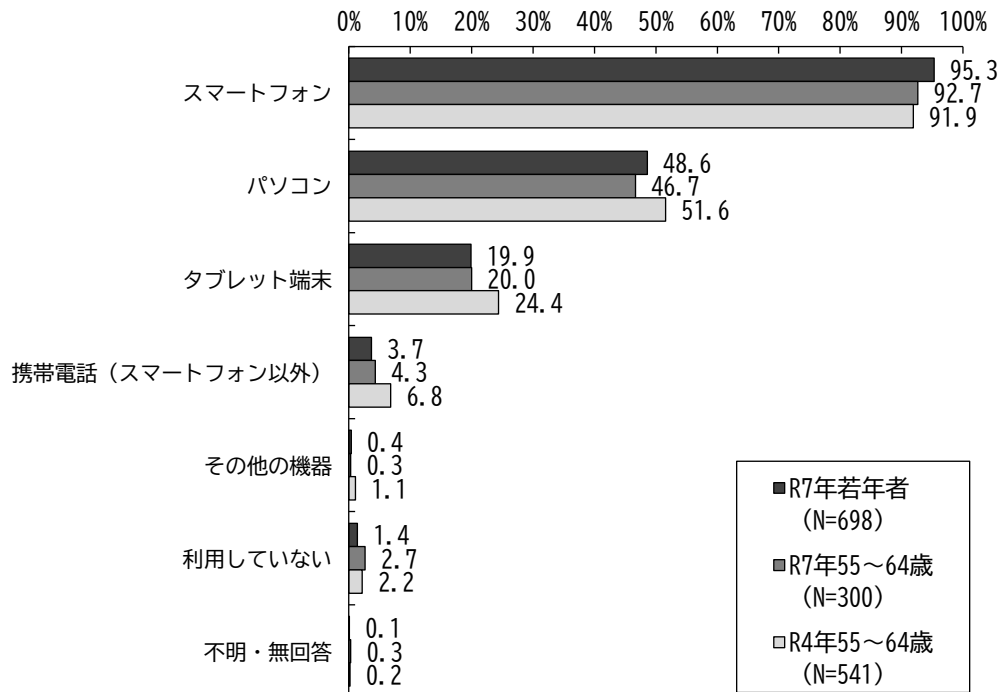
■年齢別にみた情報通信機器の利用



問9. あなたは、どのような情報通信機器を利用していますか。普段利用している機器をお答えください。【複数回答】

「スマートフォン」が95.3%で最も多くなっています。

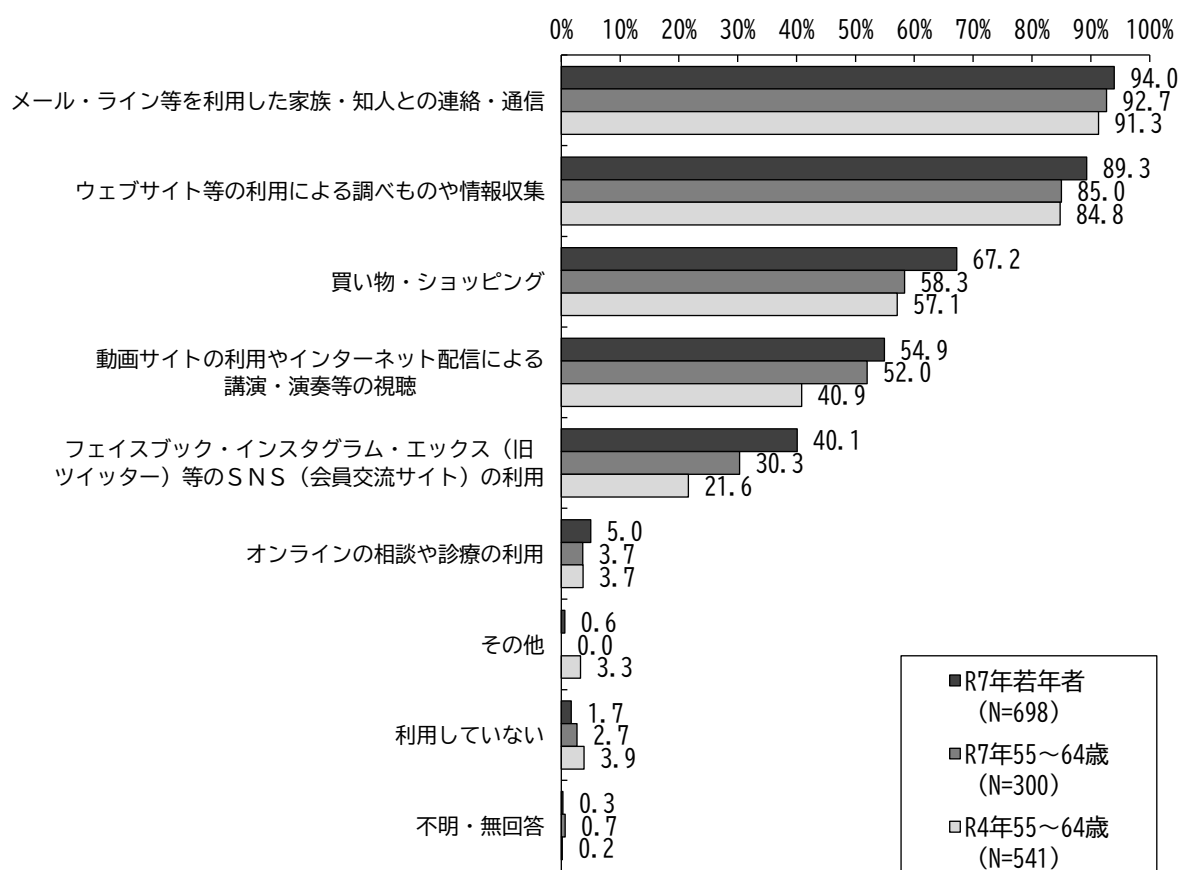
前回調査と比べると、「パソコン」「タブレット端末」がやや減少しています。



問 10. あなたは普段、パソコンやスマートフォン等の情報通信機器を利用して、次のようなことをしていますか。【複数回答】

「メール・ライン等を利用した家族・知人との連絡・通信」が94.0%で最も多く、次いで「ウェブサイト等の利用による調べものや情報収集」が89.3%となっています。

前回調査と比べると、「動画サイトの利用やインターネット配信による講演・演奏等の視聴」「フェイスブック・インスタグラム・エックス（旧ツイッター）等のSNS（会員交流サイト）の利用」が増加しています。



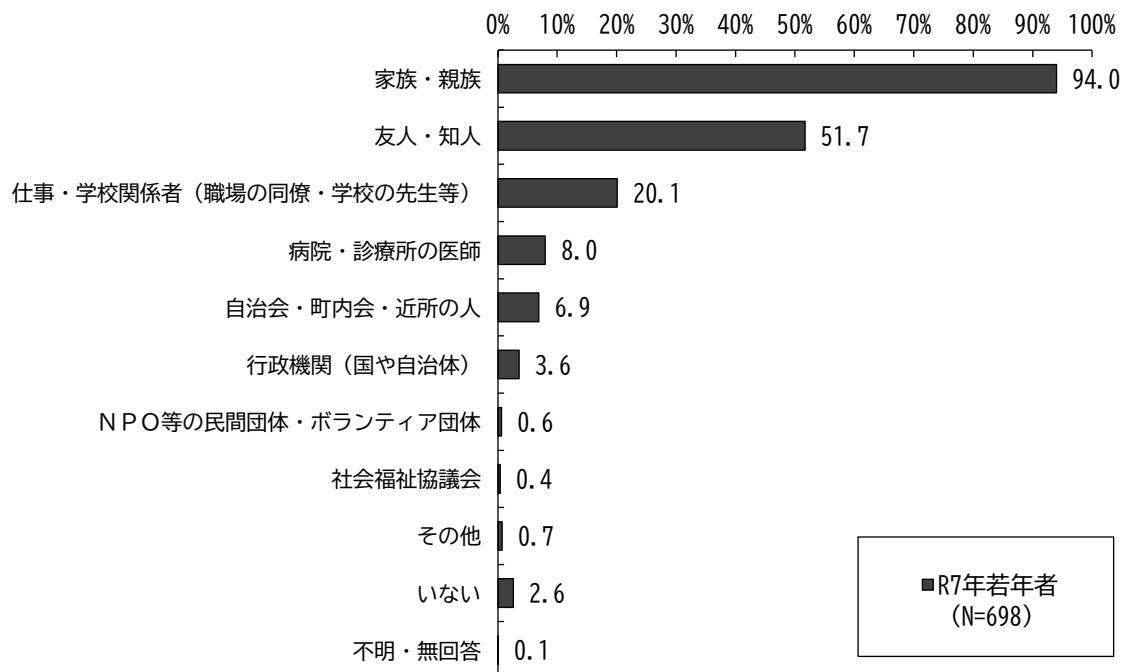
■年齢別にみた情報通信機器を利用してしていること

単位 (%)

年齢	メール・ライン等を利用した家族・知人との連絡・通信	ウェブサイト等の利用による調べものや情報収集	フェイスブック・インスタグラム・エックス等のSNSの利用	動画サイトの利用やインターネット配信による講演・演奏等の視聴	買い物・ショッピング	オンラインの相談や診療の利用	その他	利用していない	不明・無回答
40～44歳 (N=101)	96.0	90.1	53.5	54.5	73.3	9.9	0.0	1.0	0.0
45～49歳 (N=122)	95.9	95.9	50.8	63.1	77.9	5.7	1.6	0.0	0.0
50～54歳 (N=168)	94.6	92.3	42.3	55.4	73.2	4.2	1.2	1.2	0.0
55～59歳 (N=156)	94.2	91.7	30.8	58.3	59.0	4.5	0.0	1.9	0.6
60～64歳 (N=144)	91.0	77.8	29.9	45.1	57.6	2.8	0.0	3.5	0.7

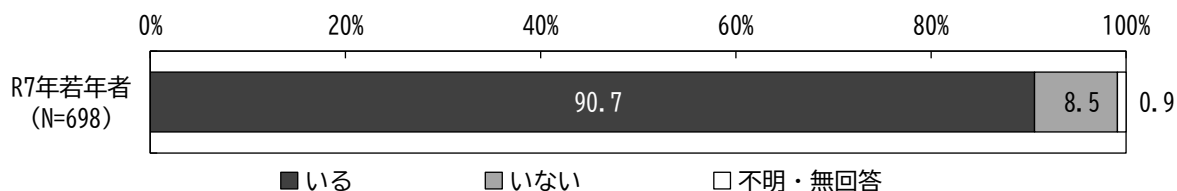
問 11. あなたには、困った時に頼れる人はいますか。【複数回答】

「家族・親族」が94.0%で最も多く、次いで「友人・知人」が51.7%となっています。



問 12. あなたには、ふだん気軽に話せる相手はいますか。

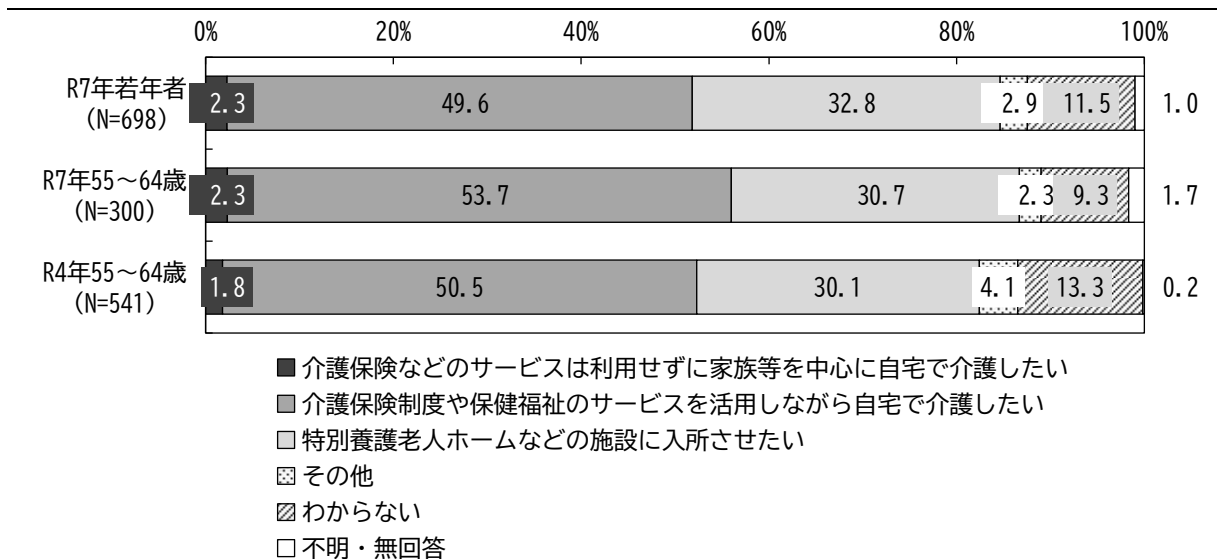
「いる」が90.7%、「いない」が8.5%となっています。



3 介護・介護サービスについて

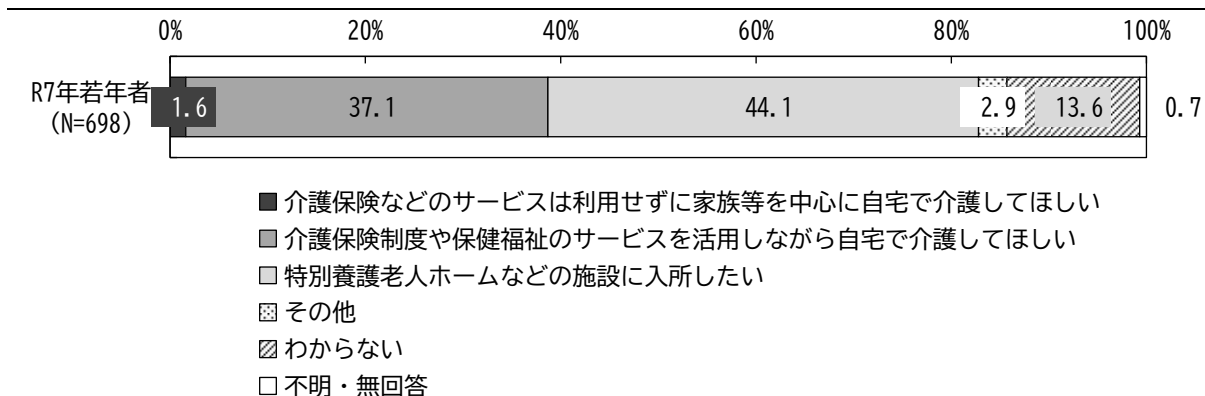
問 13. 家族に介護が必要となった場合、主としてどのように介護したいですか。

「介護保険制度や保健福祉のサービスを活用しながら自宅で介護したい」が49.6%で最も多く、次いで「特別養護老人ホームなどの施設に入所させたい」が32.8%となっています。



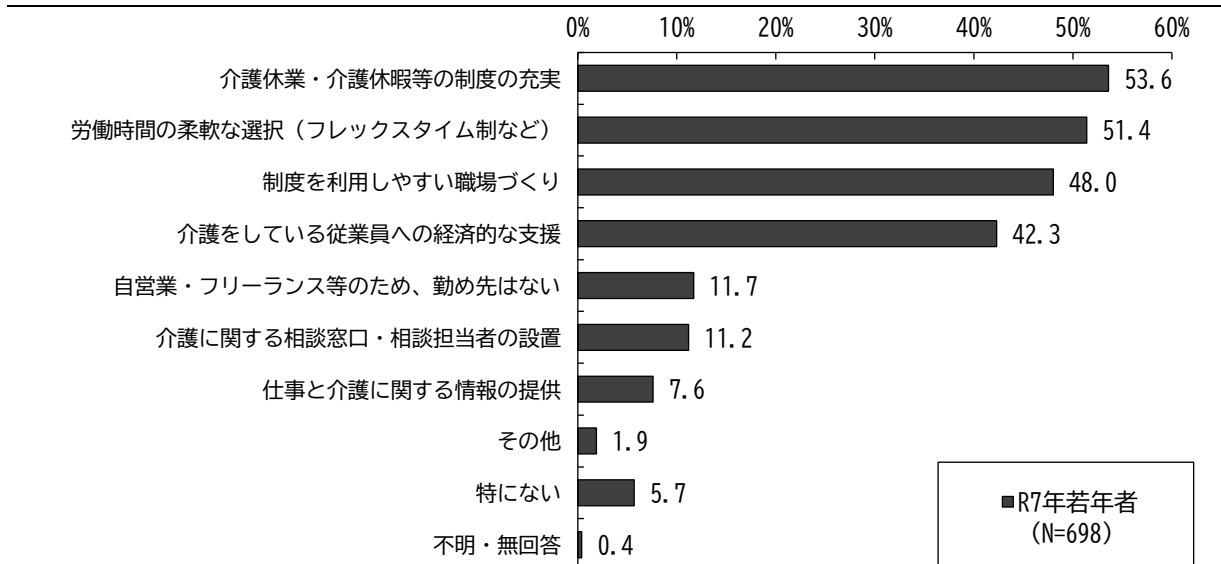
問 14. あなた自身に介護が必要となった場合、主としてどのように介護してほしいですか。

「特別養護老人ホームなどの施設に入所したい」が44.1%で最も多く、次いで「介護保険制度や保健福祉のサービスを活用しながら自宅で介護してほしい」が37.1%となっています。



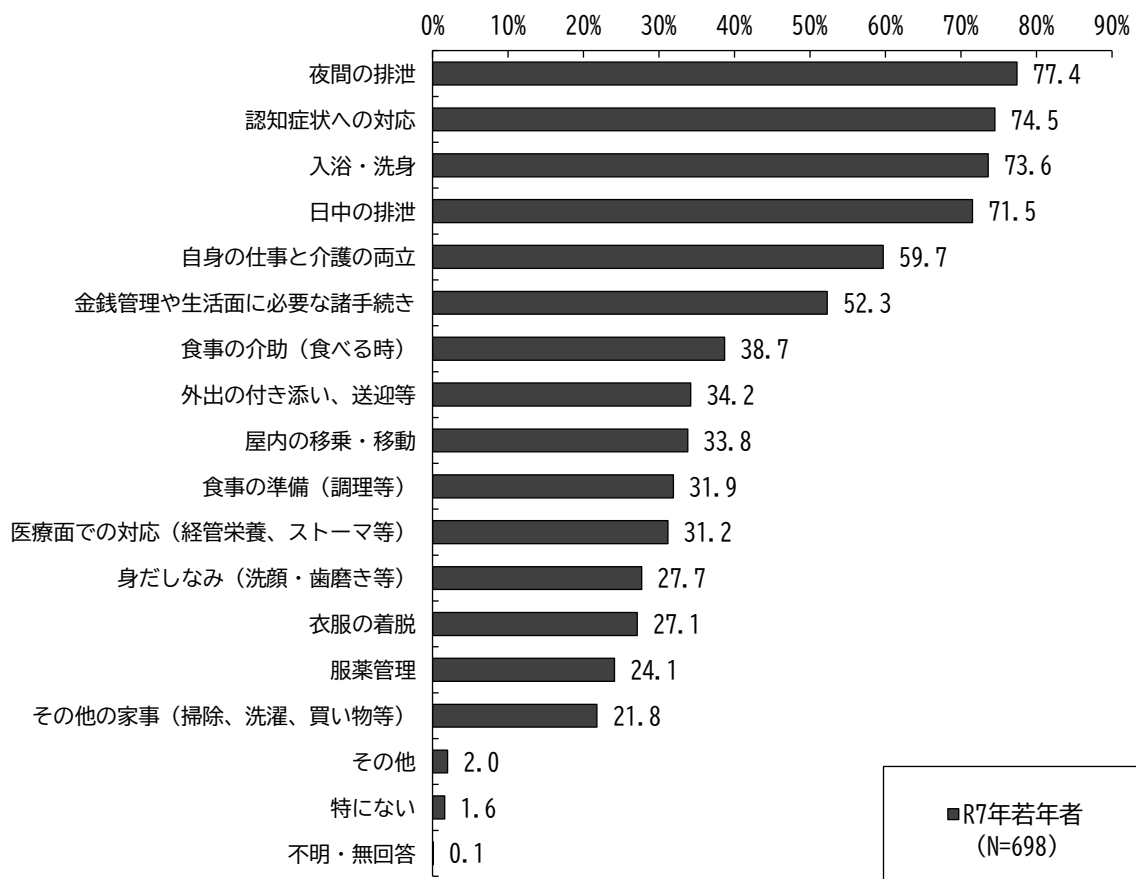
問 15. 家族に介護が必要になった場合、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。【3つまで複数回答】

「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が53.6%で最も多く、次いで「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が51.4%、「制度を利用しやすい職場づくり」が48.0%となっています。



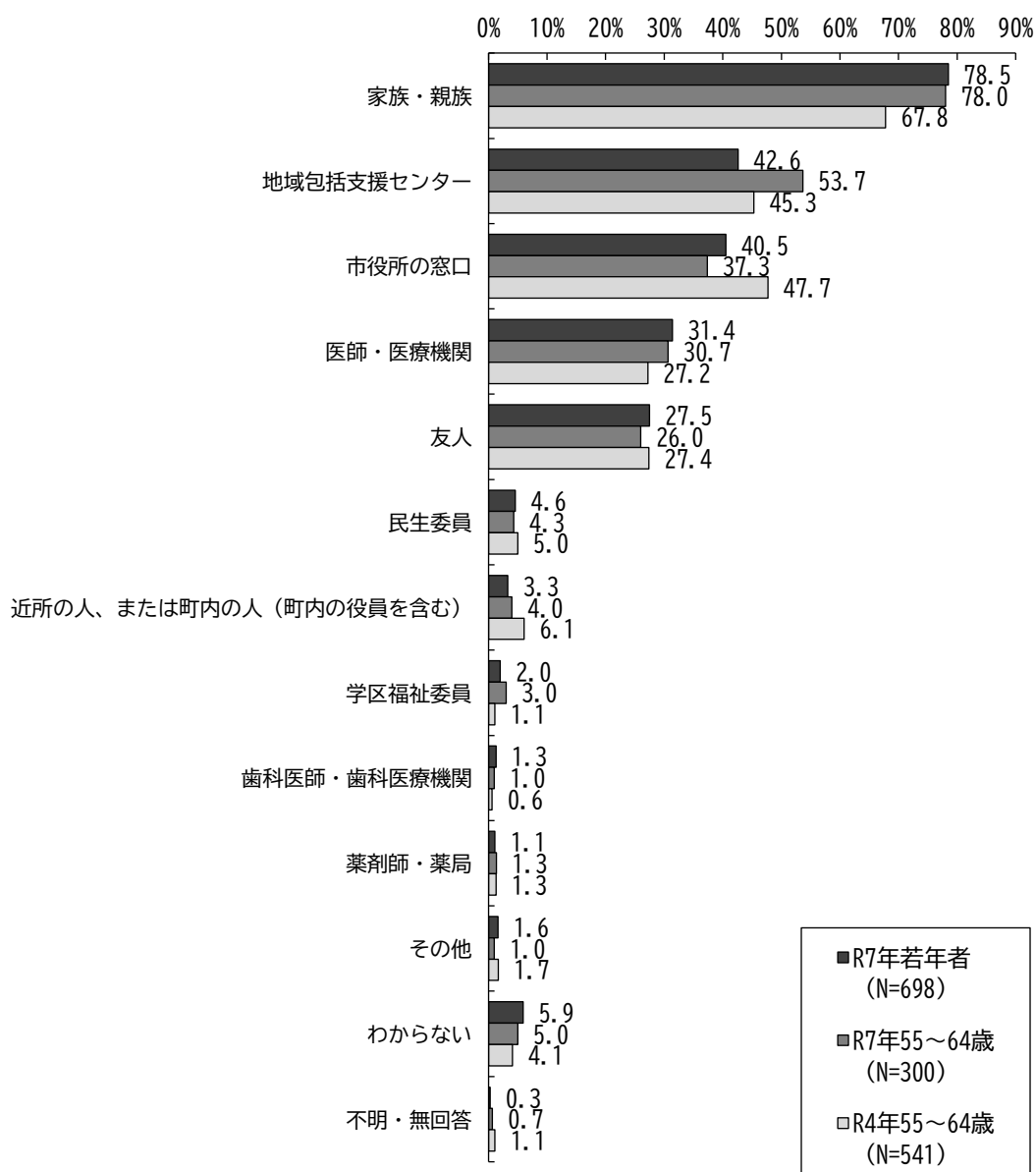
問 16. 家族に介護が必要になった場合、不安に感じる介護等についてお答えください。【複数回答】

「夜間の排泄」が77.4%で最も多く、次いで「認知症状への対応」が74.5%、「入浴・洗身」が73.6%、「日中の排泄」が71.5%となっています。



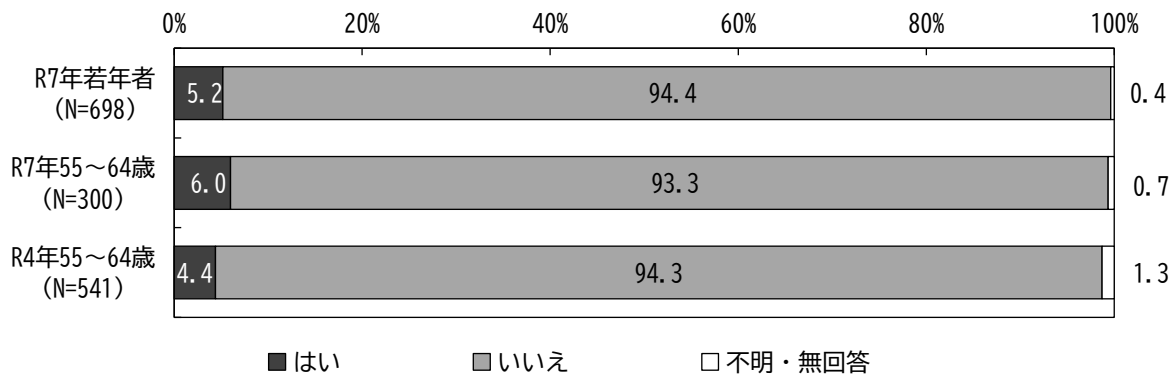
問 17. 介護のことで相談するとしたら、誰に（どこに）相談しますか。【複数回答】

「家族・親族」が78.5%で最も多く、次いで「地域包括支援センター」が42.6%、「市役所の窓口」が40.5%となっています。



問 18. 福祉の総合相談窓口「ふくサポ」を知っていますか。

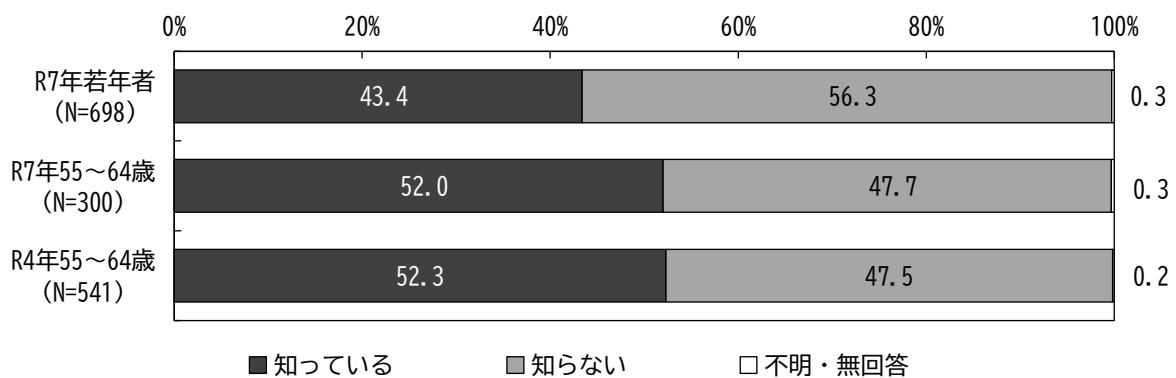
「はい」が5.2%となっています。



問 19. 高齢者の生活について相談ができる「地域包括支援センター」が市内にあるのを知っていますか。

「知っている」が43.4%となっています。

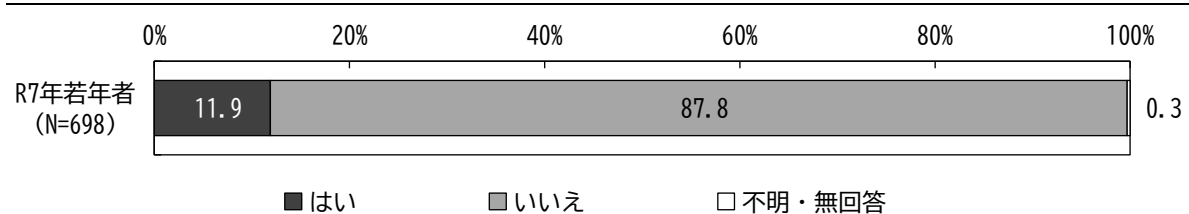
55～64歳については、前回とほぼ同様の結果となっています。



4 認知症について

問 20. 認知症に関する相談窓口を知っていますか。

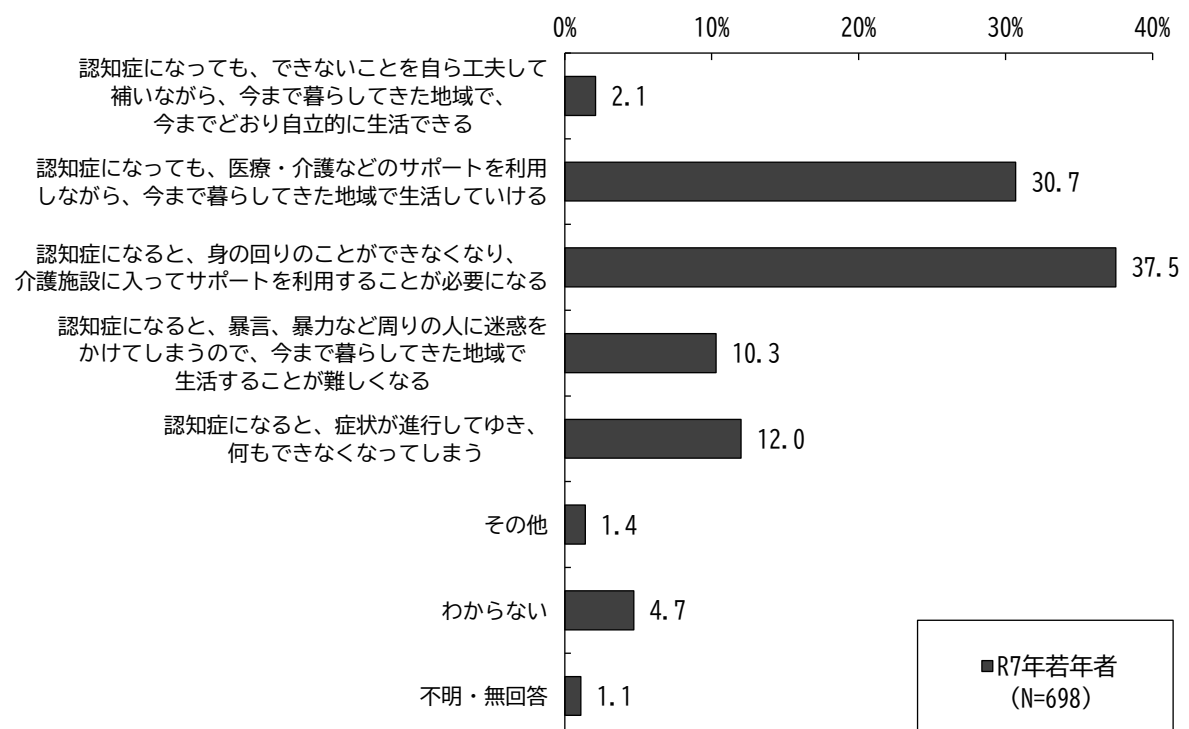
「はい」が11.9%となっています。



問 21. あなたは認知症に対してどのようなイメージを持っていますか。あなたが思う最も近いものを1つだけお答えください。

「認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる」が37.5%で最も多く、次いで「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける」が30.7%となっています。

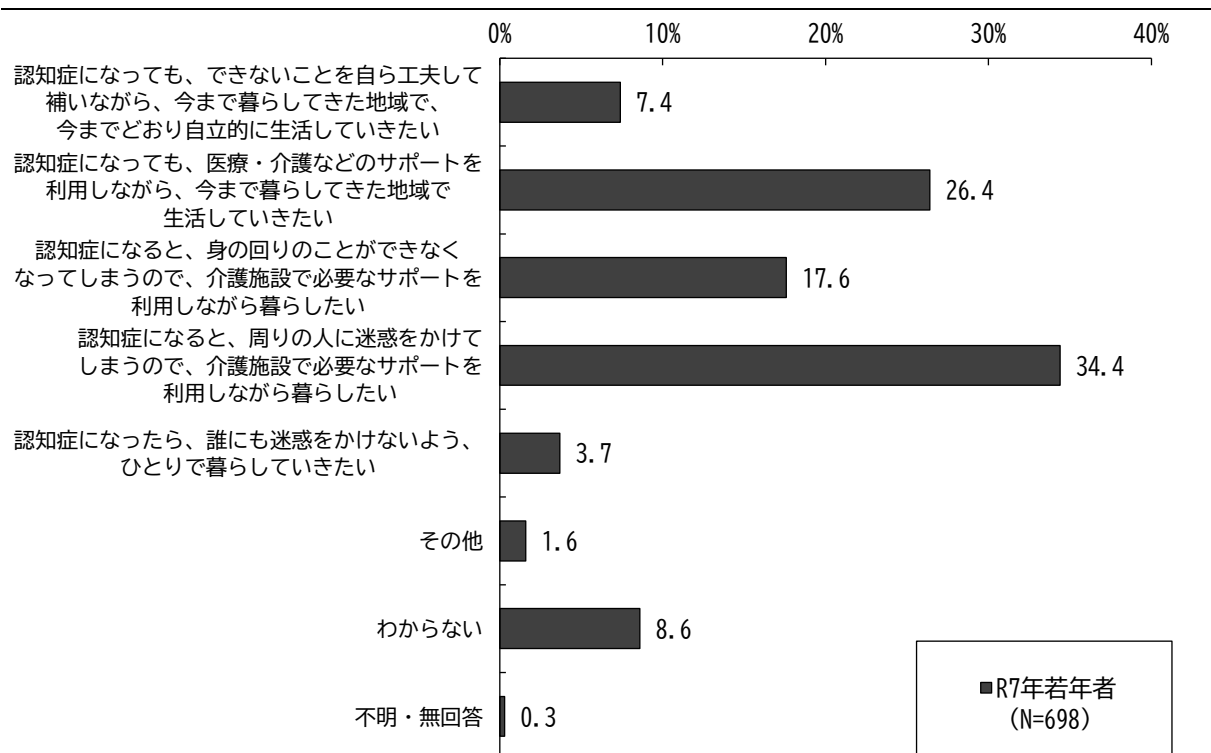
いわゆる「新しい認知症観」に属する回答（上2つの選択肢）の合計は、32.8%となっています。



問 22. もし、あなたが認知症になったら、どのように暮らしたいと思いますか。あなたが思う最も近いものを1つだけお答えください。

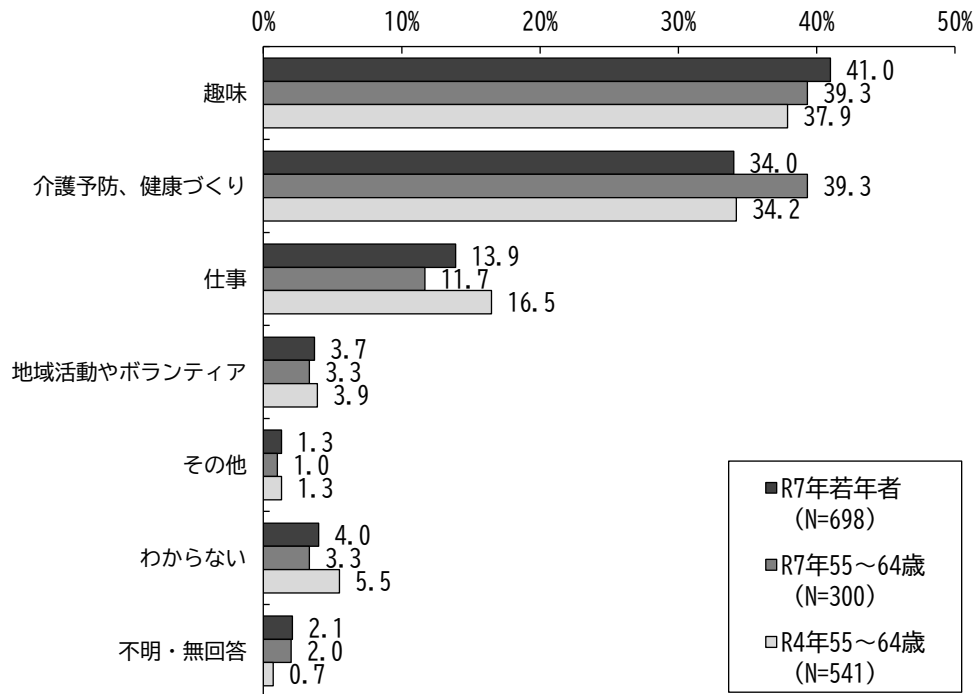
「認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい」が34.4%で最も多く、次いで「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していきたい」が26.4%となっています。

いわゆる「新しい認知症観」に属する回答（上2つの選択肢）の合計は、33.8%となっています。



問 23. 充実した老後を過ごすために、あなたがしたいことは何ですか。

「趣味」が41.0%で最も多く、次いで「介護予防、健康づくり」が34.0%となっています。前回調査と比べると「介護予防・健康づくり」がやや増加し、「仕事」がやや減少しています。



IV 在宅サービス利用者調査の結果

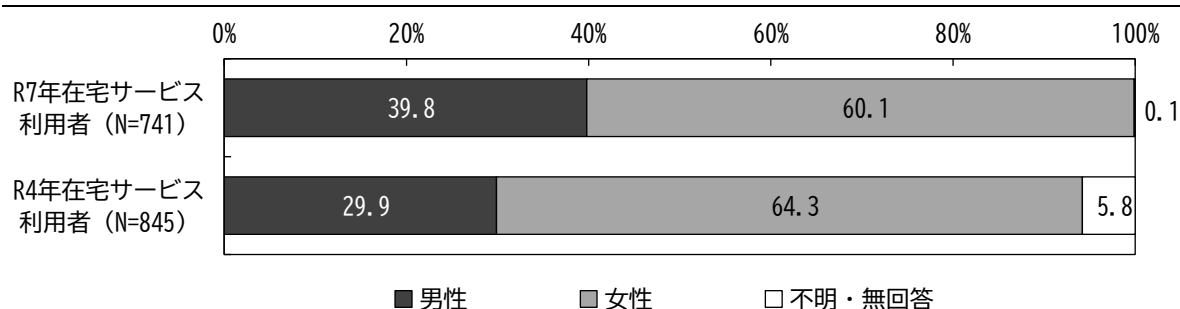
1 調査対象者について

性別

「男性」が39.8%、「女性」が60.1%となっています。

前回調査と比べると「男性」の割合が増加しています。

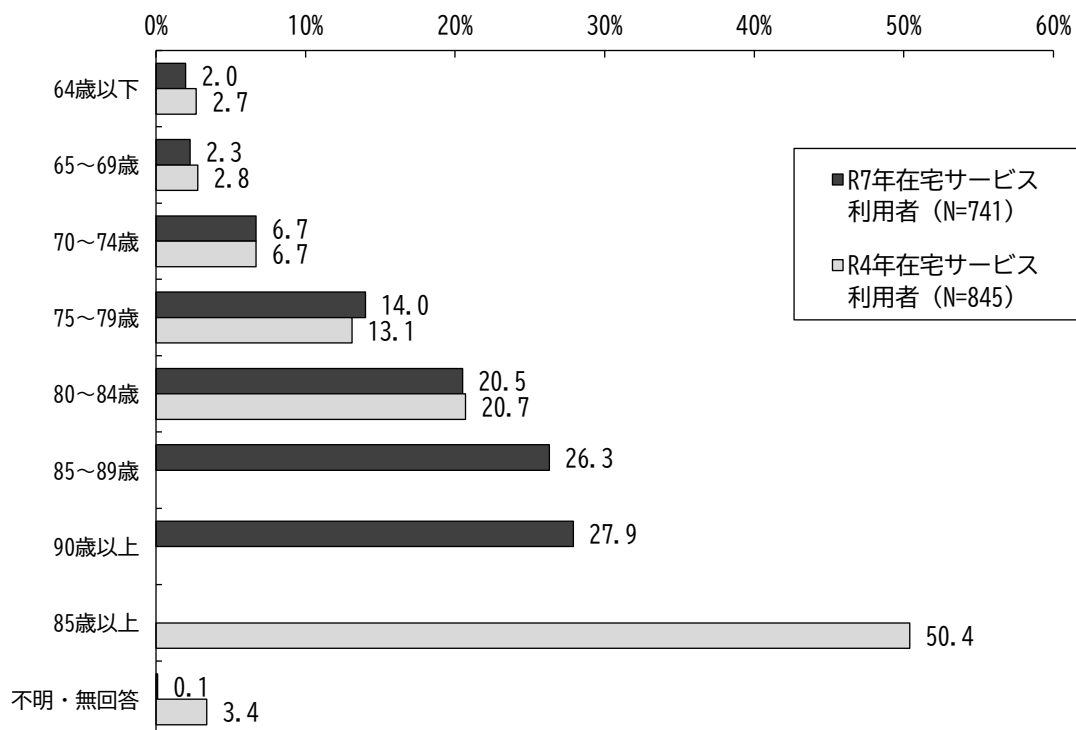
なお、性別・年齢・居住圏域・要介護度については、前回（R4年）調査では調査票の設問でしたが、本調査では被保険者データとの突合による集計となっています。



※R7年調査の不明・無回答は、回収された調査票において、被保険者データと突合するための調査票番号が確認できなかったものです。

年齢

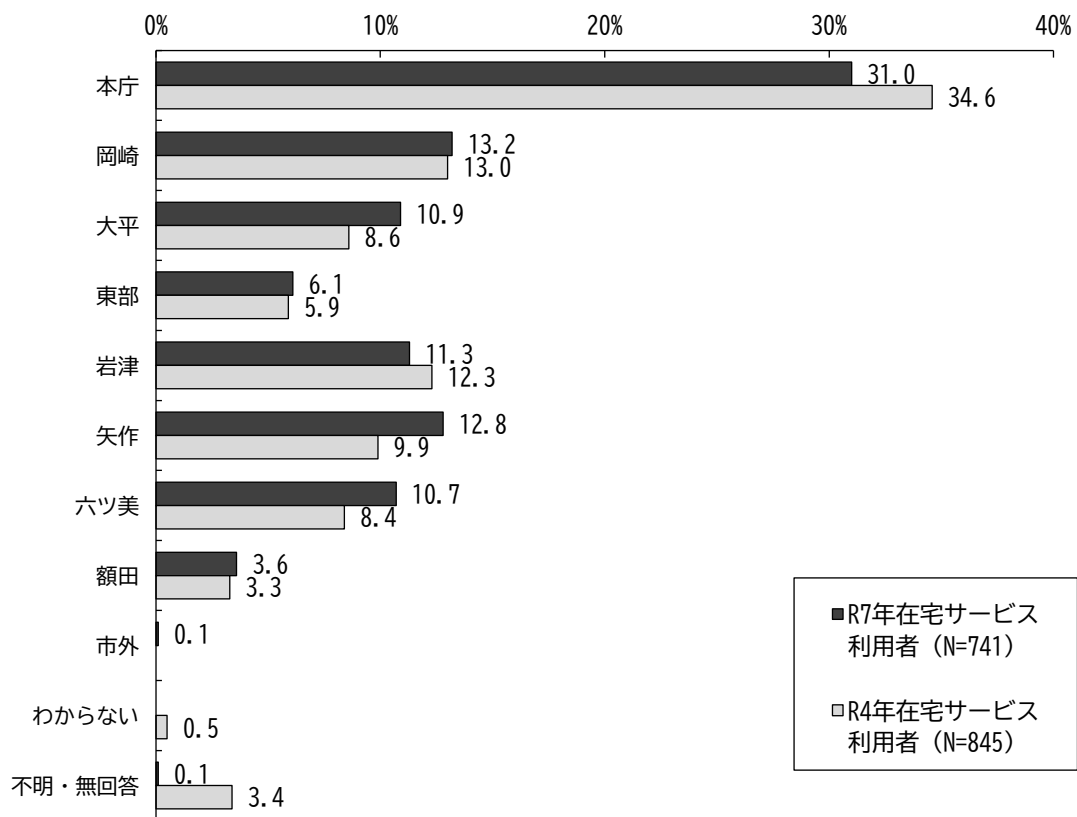
「90歳以上」が27.9%で最も多く、次いで「85～89歳」が26.3%となっています。



※前回調査は「85～89歳」と「90歳以上」をまとめて「85歳以上」で集計しています。

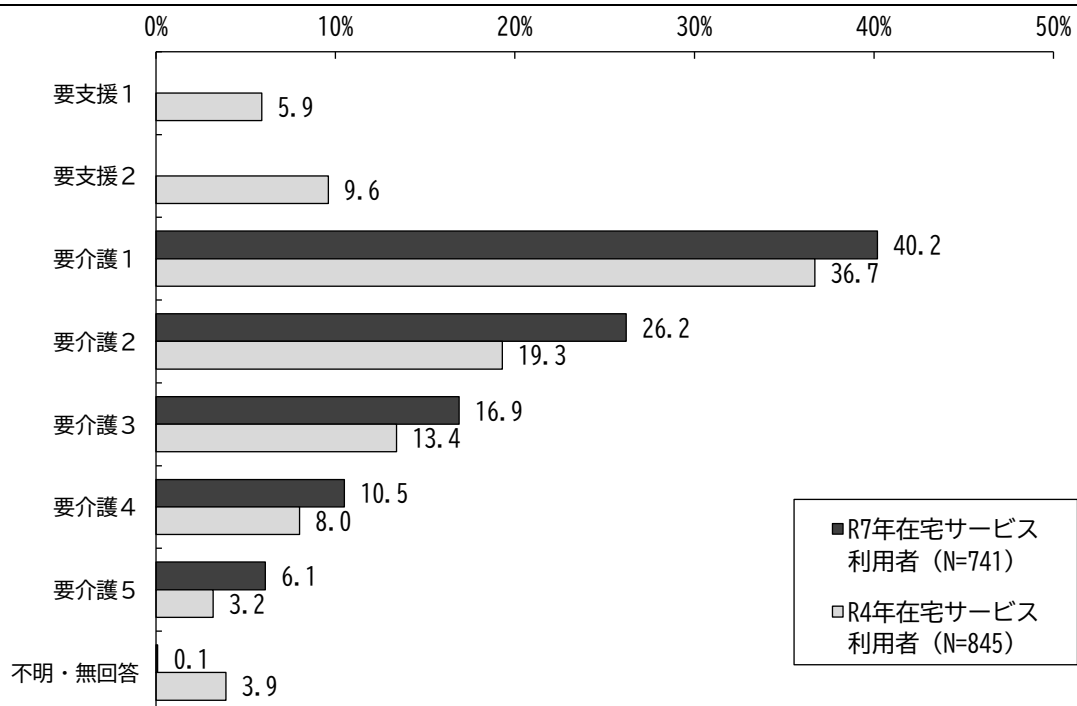
居住圏域

「本庁」が31.0%で最も多く、次いで「岡崎」が13.2%、「矢作」が12.8%となっています。



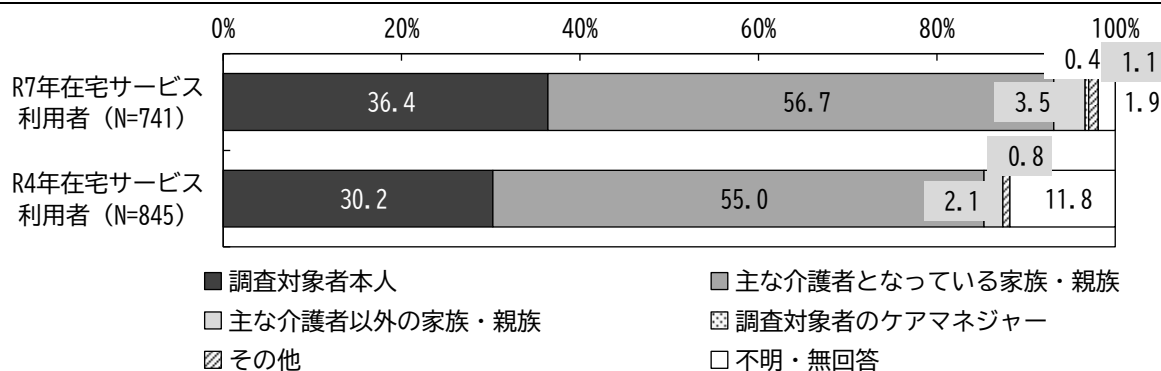
要介護度

「要介護1」が40.2%で最も多く、次いで「要介護2」が26.2%となっています。



問1. この調査票の記入者は、ご本人（宛名の方）からみて、どれにあてはまりますか。

「主な介護者となっている家族・親族」が 56.7%で最も多く、次いで「調査対象者本人」が 36.4%となっています。

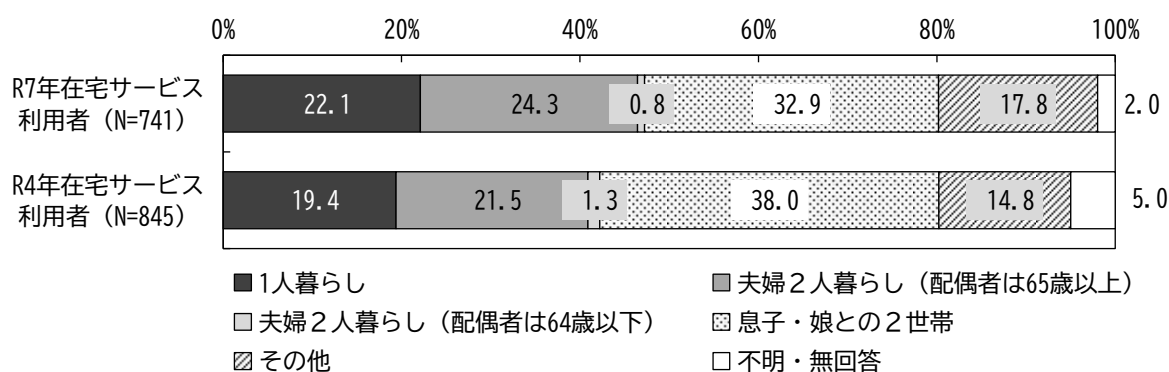


※R4年調査の選択肢には「調査対象のケアマネジャー」なし

問2. 現在の世帯状況をお答えください。

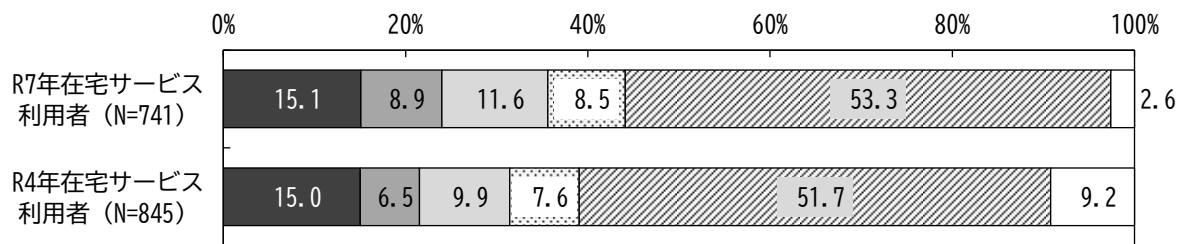
「息子・娘との2世帯」が 32.9%で最も多く、次いで「夫婦2人暮らし（配偶者は65歳以上）」が 24.3%となっています。

前回調査と比べると、高齢者のみの世帯（「1人暮らし」または「夫婦2人暮らし（配偶者は65歳以上）」）が増加しています。



問3. ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）。

「ほぼ毎日ある」が53.3%で最も多く、次いで「ない」が15.1%となっています。



- ない
- 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない
- 週に1～2日ある
- 週に3～4日ある
- ほぼ毎日ある
- 不明・無回答

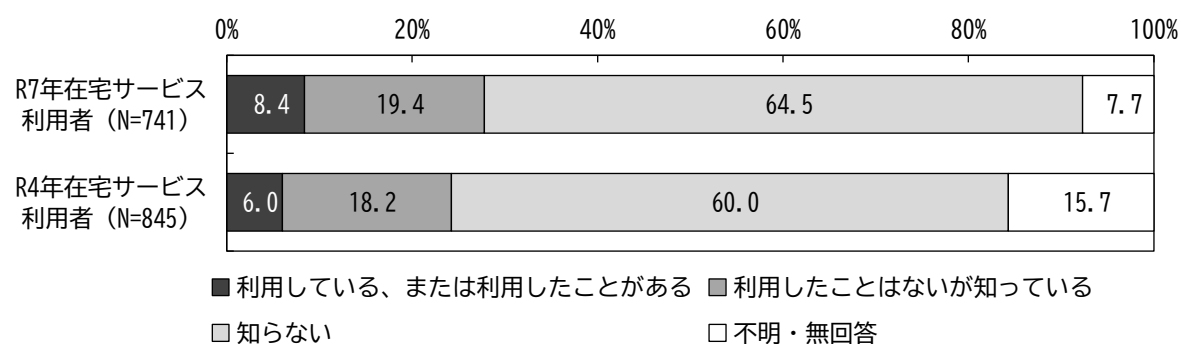
2 高齢者福祉・介護サービスについて

問4. 市が実施している介護保険対象外のサービスの利用状況をお答えください。

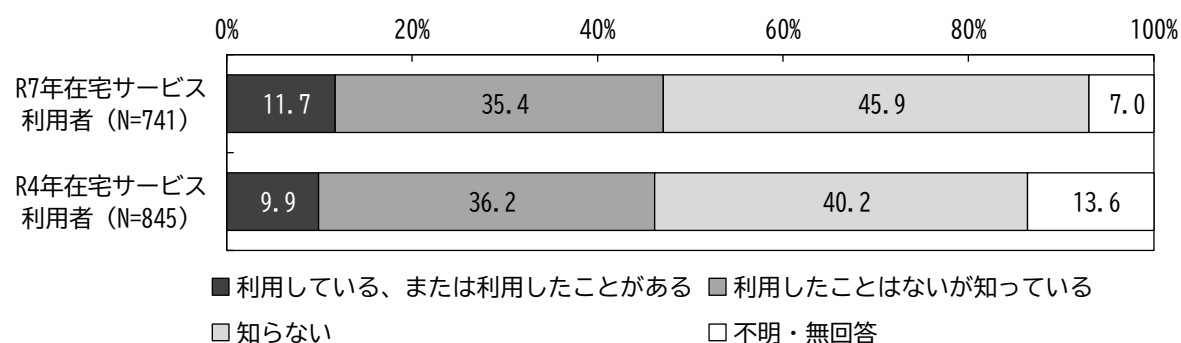
「利用している、または利用したことがある」が最も多いのは「②見守り配食サービス」の11.7%、次いで「①さわやか（ごみ）収集」が8.4%となっています。

前回調査と比べると、「②見守り配食サービス」「①さわやか（ごみ）収集」の「利用している、または利用したことがある」がやや増加しています。

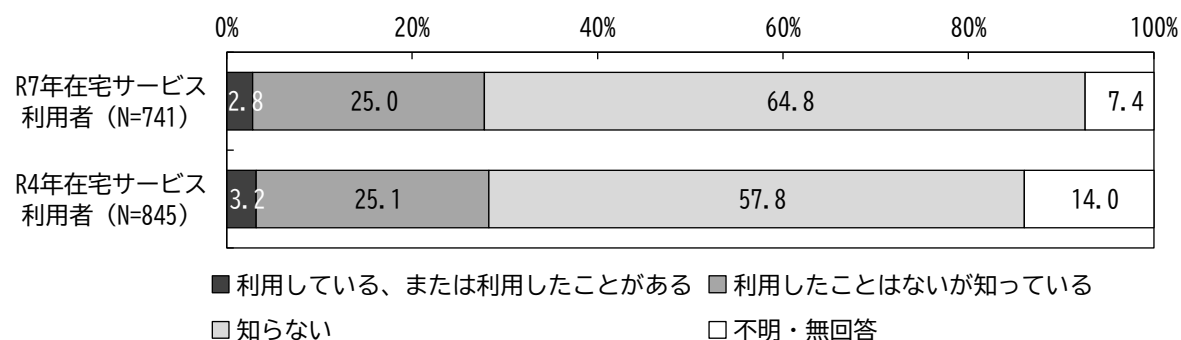
①さわやか（ごみ）収集



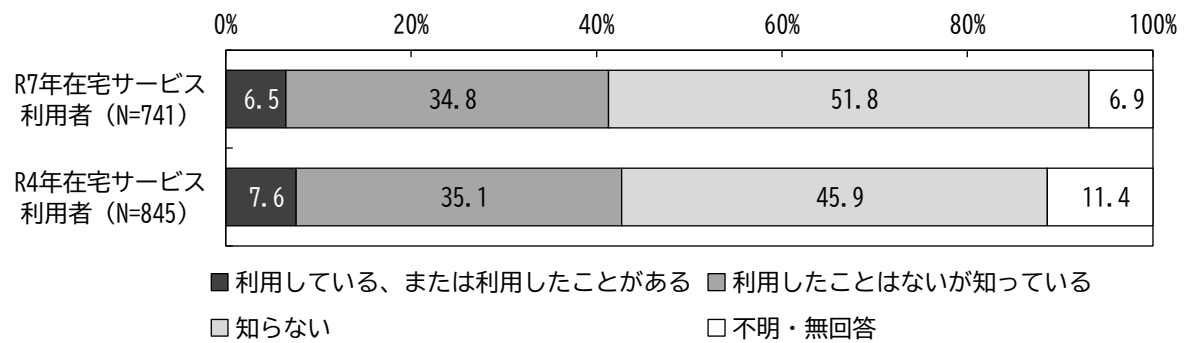
②見守り配食サービス



③緊急通報システム設置（貸与）



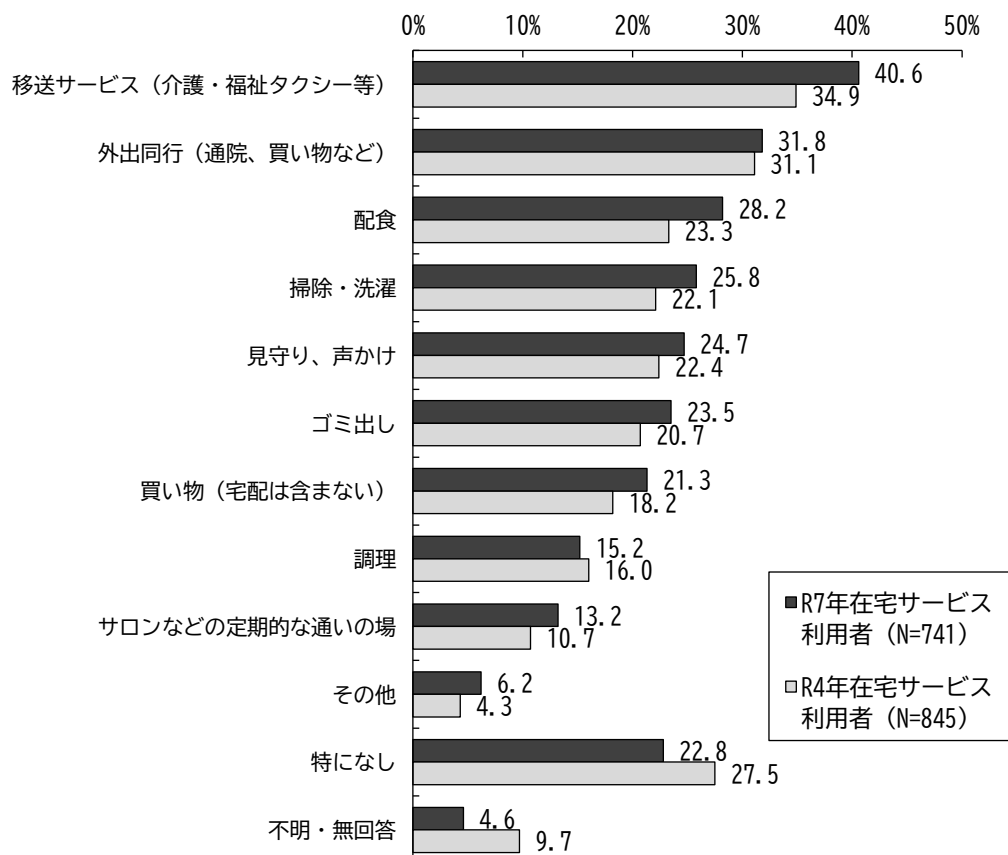
④家具転倒防止金具の取付け



問5. 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。【複数回答】

「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が40.6%で最も多く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が31.8%となっています。

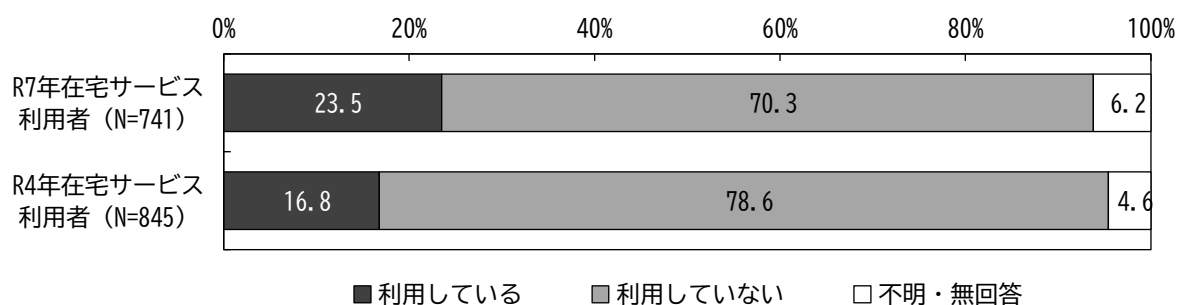
前回調査と比べると「配食」「掃除・洗濯」「買い物（宅配は含まない）」がやや増加し、「特になし」が減少しています。



問6. 現在、訪問診療を利用していますか。

「利用している」が23.5%となっています。

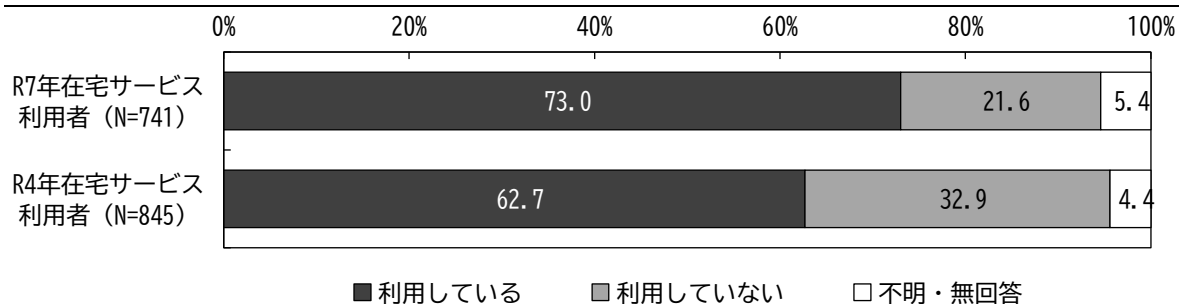
前回調査と比べると「利用している」が増加しています。



問7. 現在、住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスを利用していますか。

「利用している」が73.0%となっています。

前回調査と比べると「利用している」が増加しています。

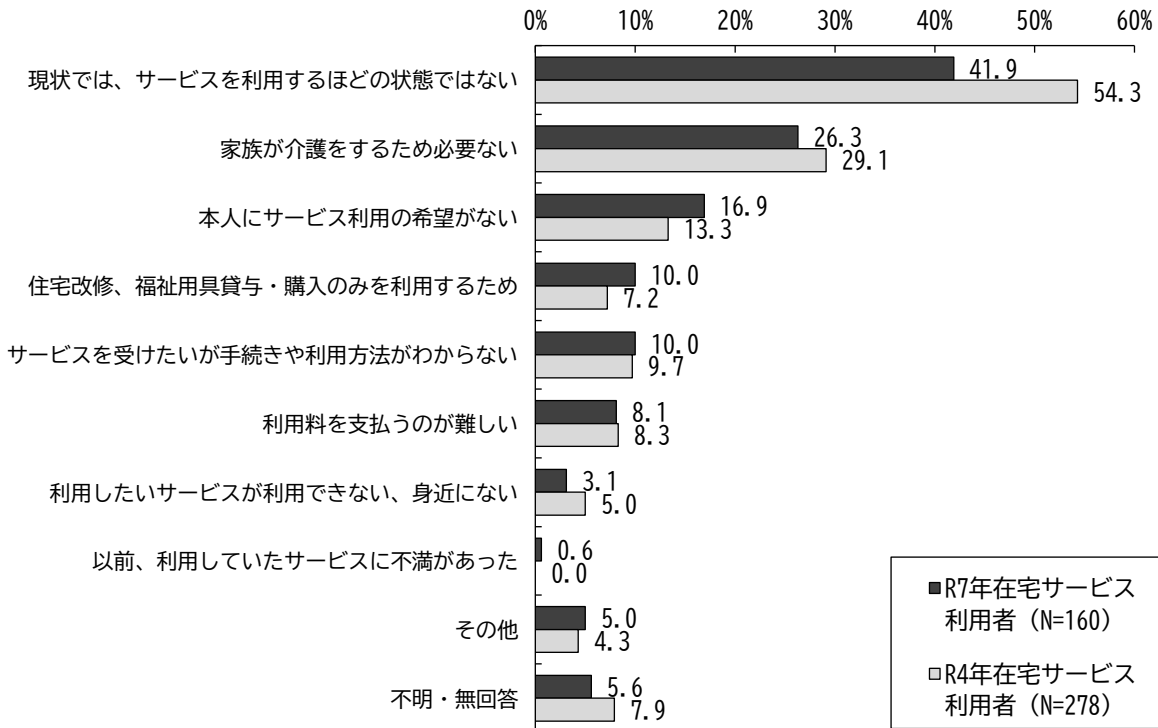


【問7で「利用していない」と回答した人のみ】

利用していない理由は何ですか。【複数回答】

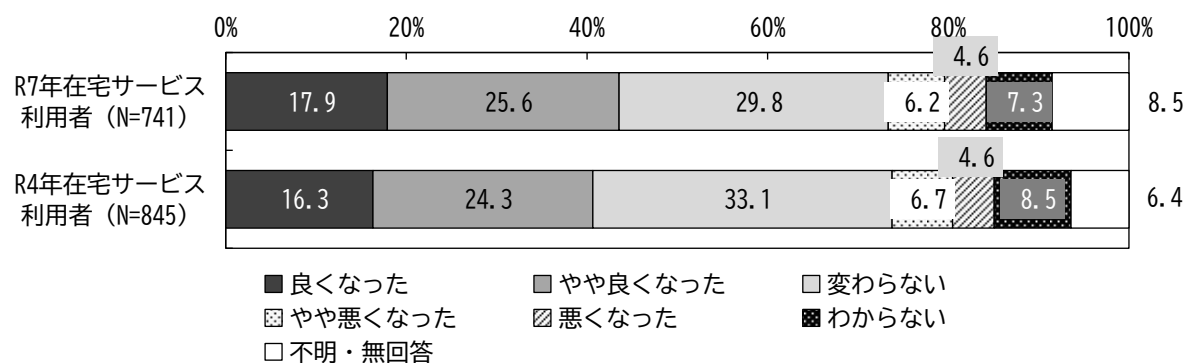
「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が41.9%で最も多く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が26.3%となっています。

前回調査と比べると「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が減少しています。



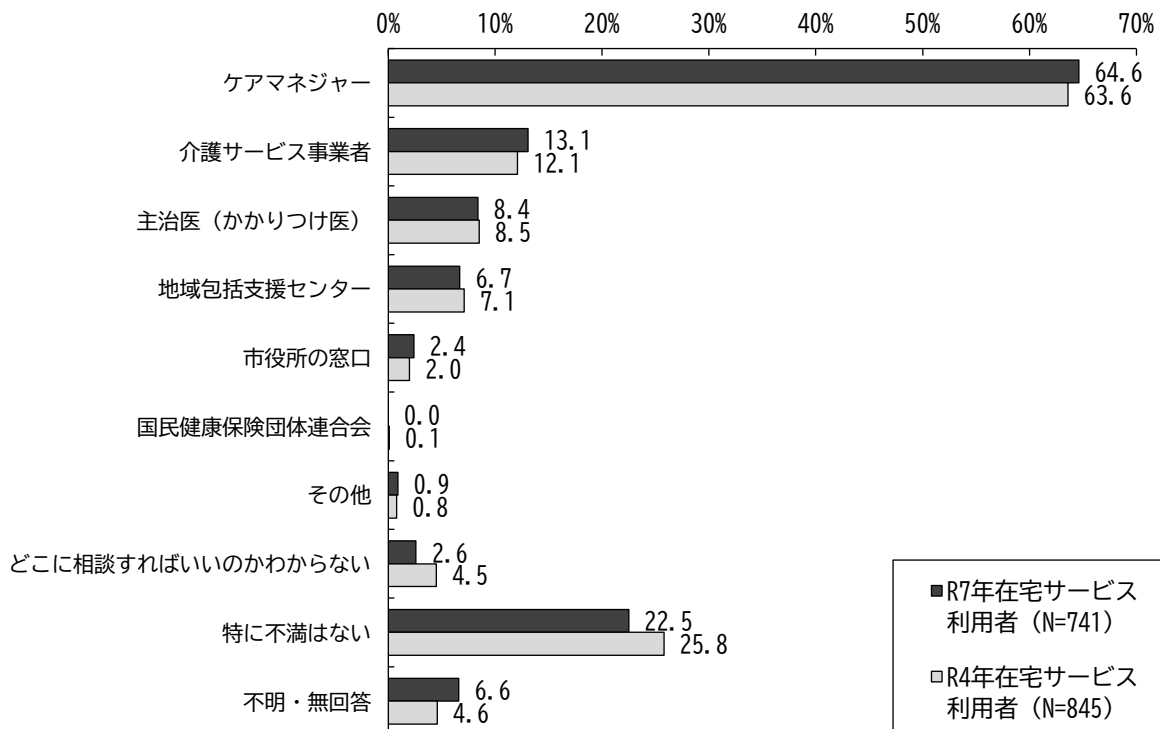
問8. 介護サービスを利用する前と比べて、身体の状態は良くなりましたか。

「変わらない」が29.8%で最も多くなっています。良くなったという回答が43.5%、悪くなったという回答が10.8%となっています。



問9. 介護サービスに不満があるとき、どこに相談していますか。【複数回答】

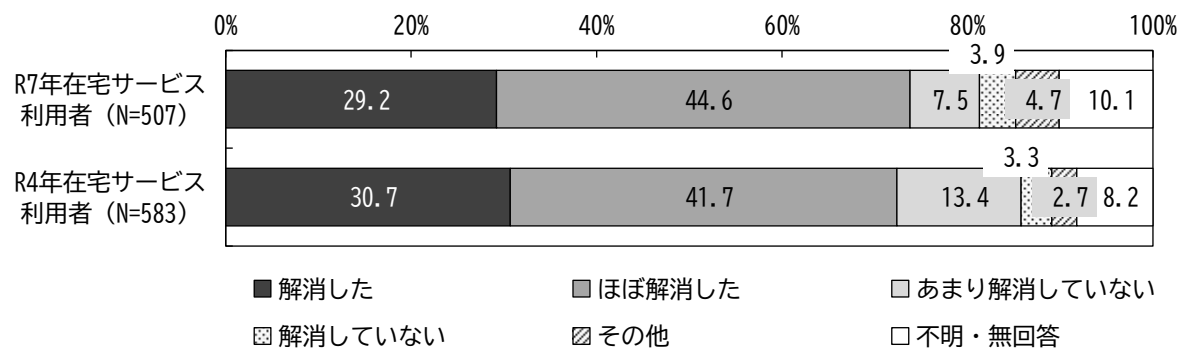
「ケアマネジャー」が64.6%で最も多く、次いで「特に不満はない」が22.5%、「介護サービス事業者」が13.1%となっています。



【問9で「どこに相談すればいいのかわからない」「特に不満はない」以外を回答した人のみ】

相談後、不満は解消しましたか。

解消したという回答が73.8%、解消していないという回答が11.4%となっています。



問 10. 今後、どのように介護を受けたいですか。

「介護保険などのサービスを利用しながら自宅で介護してほしい」が58.6%で最も多くなっています。

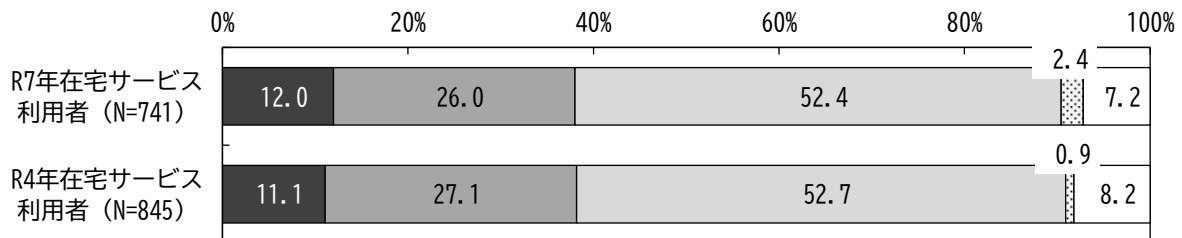


- 介護保険などのサービスは利用せずに自宅で介護してほしい
- 介護保険などのサービスを利用しながら自宅で介護してほしい
- 特別養護老人ホームなどの施設に入所したい
- ▨ その他
- ▨ わからない
- 不明・無回答

問 11. 介護保険料は、市全体の介護サービスの利用量に比例して決まります。

あなたの考えは次のどれに近いですか。

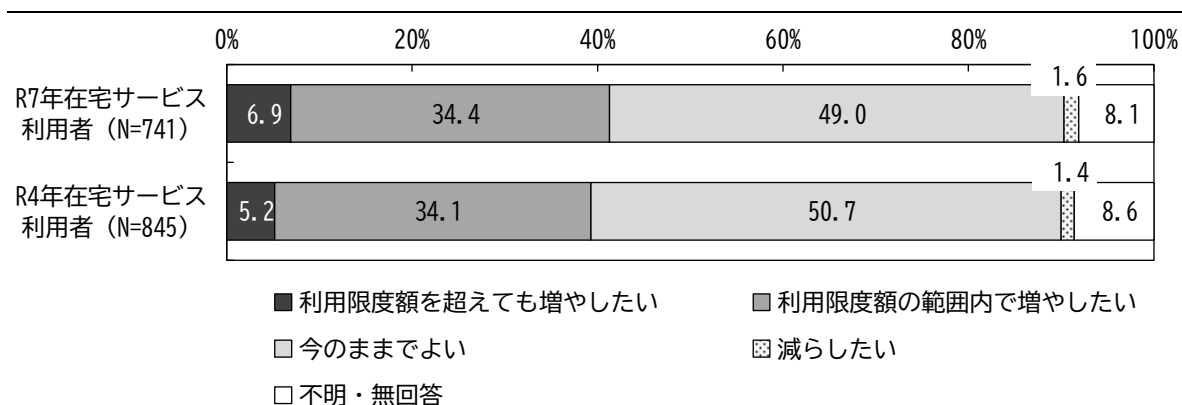
「どちらとも言えない」が52.4%で最も多く、次いで「サービス量は増やさず、保険料を低く抑えてほしい」が26.0%となっています。



- 保険料が高くなっても、サービス量を増やしてほしい
- サービス量は増やさず、保険料を低く抑えてほしい
- どちらとも言えない
- ▨ その他
- 不明・無回答

問 12. 今後の介護サービスの利用をどう考えていますか。

「今のままでよい」が49.0%で最も多く、次いで「利用限度額の範囲内で増やしたい」が34.4%となっています。

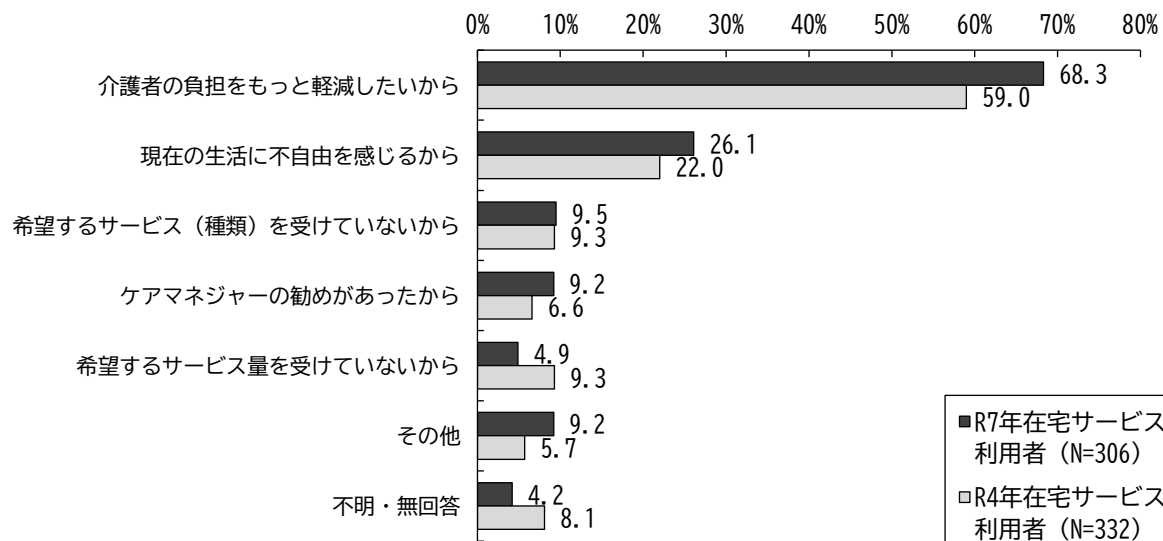


【問 12で「利用限度額を超えても増やしたい」または「利用限度額の範囲内で増やしたい」と回答した人のみ】

介護サービスの利用を増やしたいと思う理由は何ですか。【複数回答】

「介護者の負担をもっと軽減したいから」が68.3%で最も多く、次いで「現在の生活に不自由を感じるから」が26.1%となっています。

前回調査と比べると、「介護者の負担をもっと軽減したいから」が増加しています。

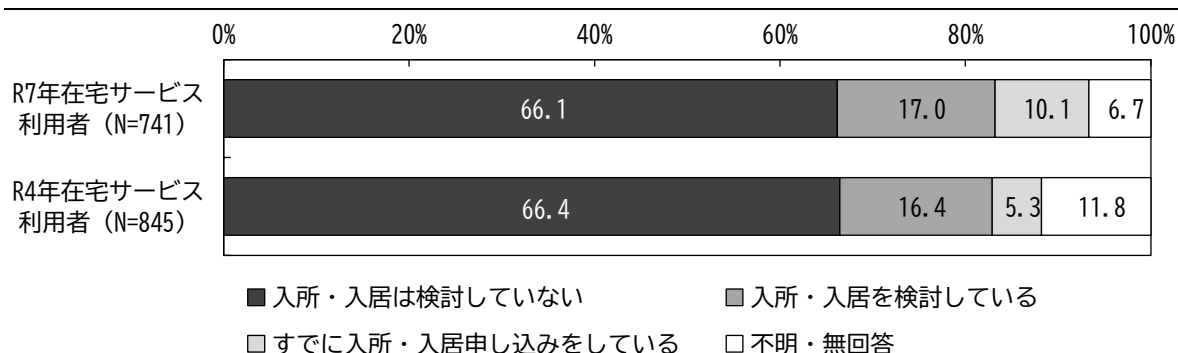


3 施設への入所意向について

問 13. 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。

「入所・入居を検討している」が17.0%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が10.1%となっています。

前回調査と比べると「すでに入所・入居申し込みをしている」が増加しています。

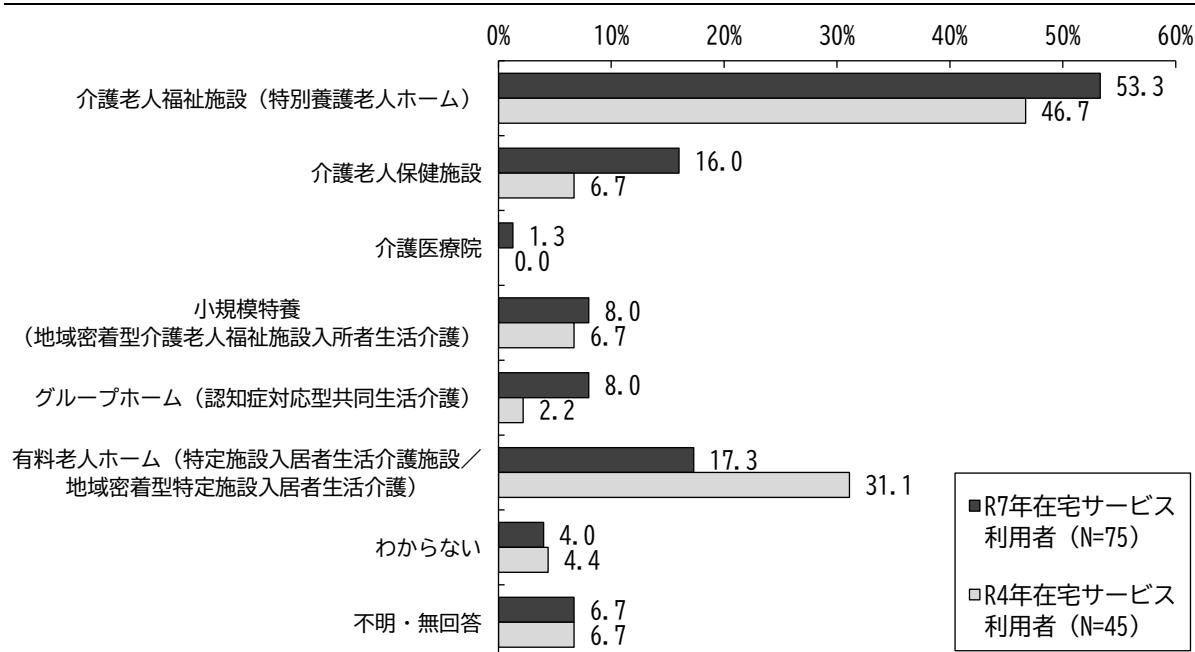


【問 13 で「すでに入所・入居申し込みをしている」と回答した人のみ】

①申し込みをしている施設をお答えください。【複数回答】

「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が53.3%で最も多く、次いで「有料老人ホーム」が17.3%となっています。

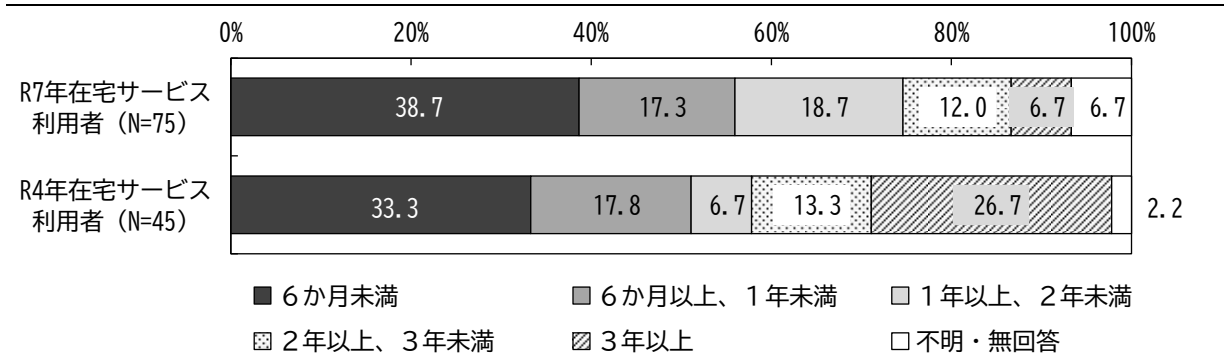
前回調査と比べると「有料老人ホーム」が減少しています。



②最初の入所・入居の申込みから、どれくらいたちましたか。

「6か月未満」が38.7%で最も多く、次いで「1年以上、2年未満」が18.7%となっています。

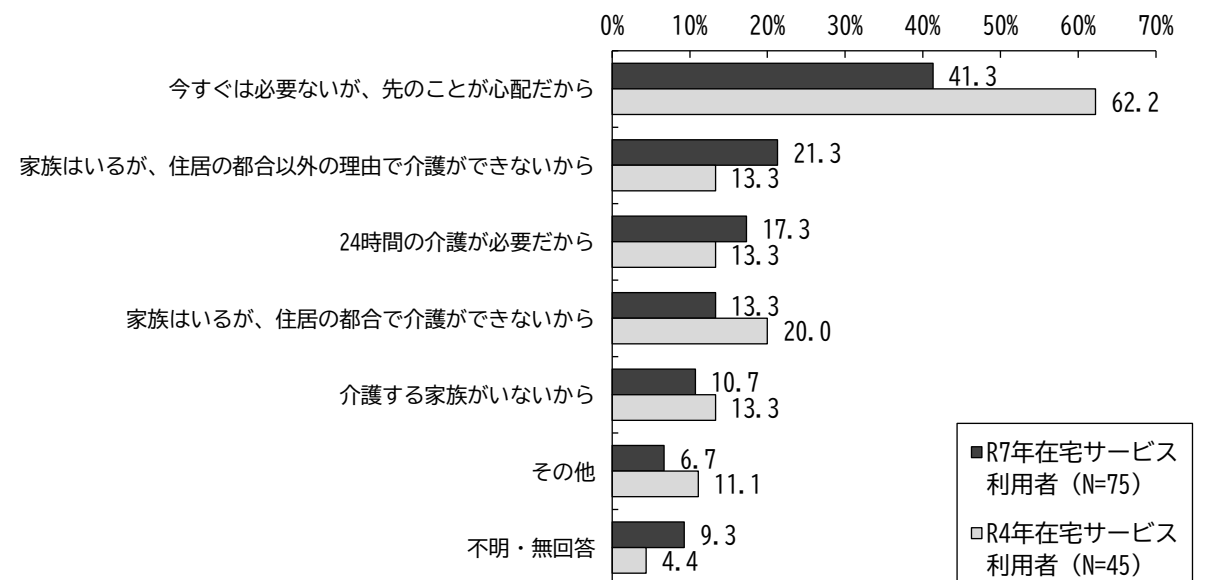
前回調査と比べると「3年以上」が減少しています。



③施設への入所を希望されている理由はどれですか。【複数回答】

「今すぐは必要ないが、先のことが心配だから」が41.3%で最も多く、次いで「家族はいるが、住居の都合以外の理由で介護ができないから」が21.3%となっています。

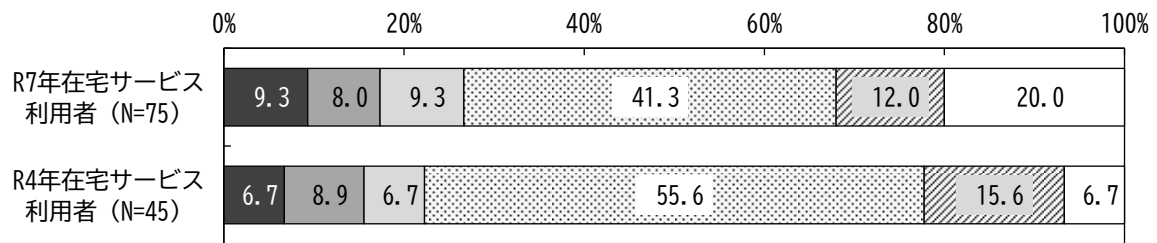
前回調査と比べると「今すぐは必要ないが、先のことが心配だから」が減少しています。



④施設への入所を希望する時期はどれですか。

「当面は入所するつもりはないが、必要となったら入所したい」が41.3%で最も多くなっています。

前回調査と比べると「当面は入所するつもりはないが、必要となったら入所したい」が減少しています。



- 今すぐにも入所したい
- 今後、数か月以内には入所したい
- 今後、1年以内には入所したい
- ▨ 当面は入所するつもりはないが、必要となったら入所したい
- ▨ その他
- 不明・無回答

4 調査対象者の主な介護者について

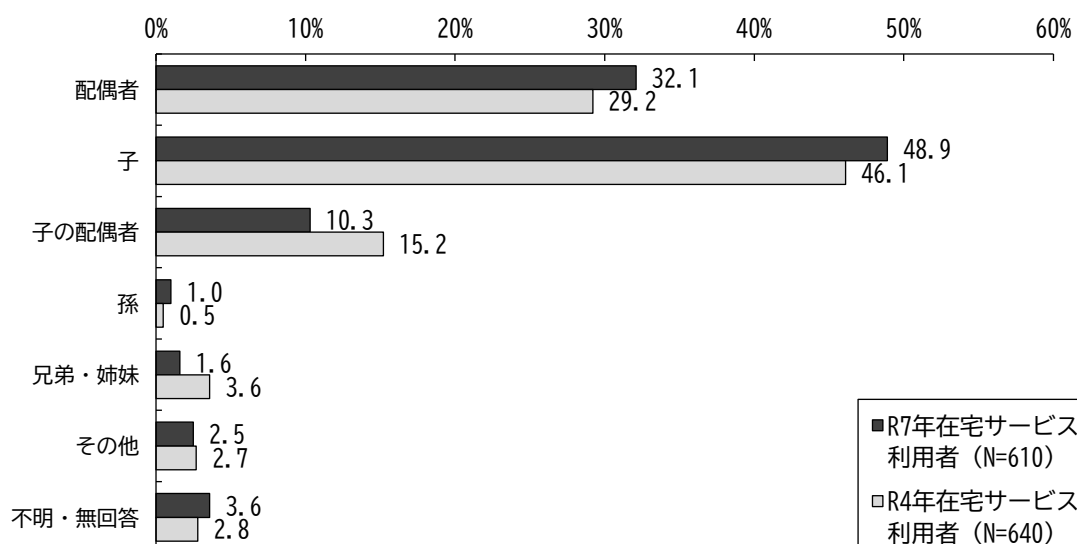
【問3で「ない」以外を回答した人のみ】

問 14. 家族や親族の中の主な介護者についてご回答ください。

①主な介護者の方は、どなたですか。

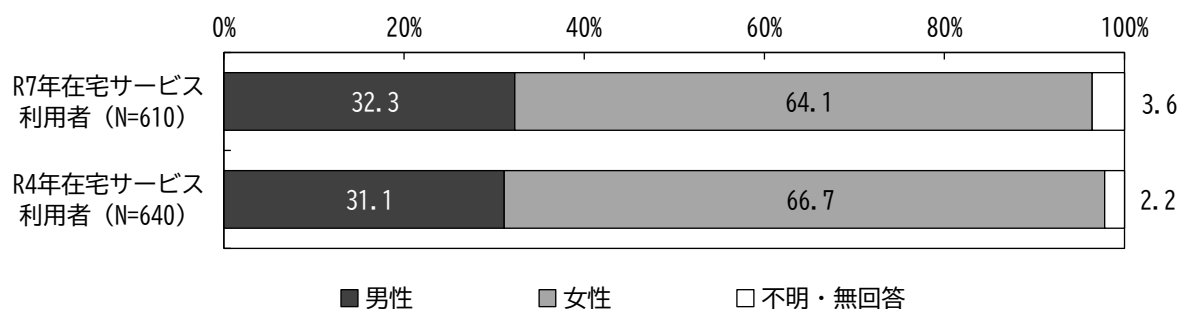
「子」が48.9%で最も多く、次いで「配偶者」が32.1%となっています。

前回調査と比べると「子の配偶者」が減少しています。



②主な介護者の方の性別について、ご回答ください。

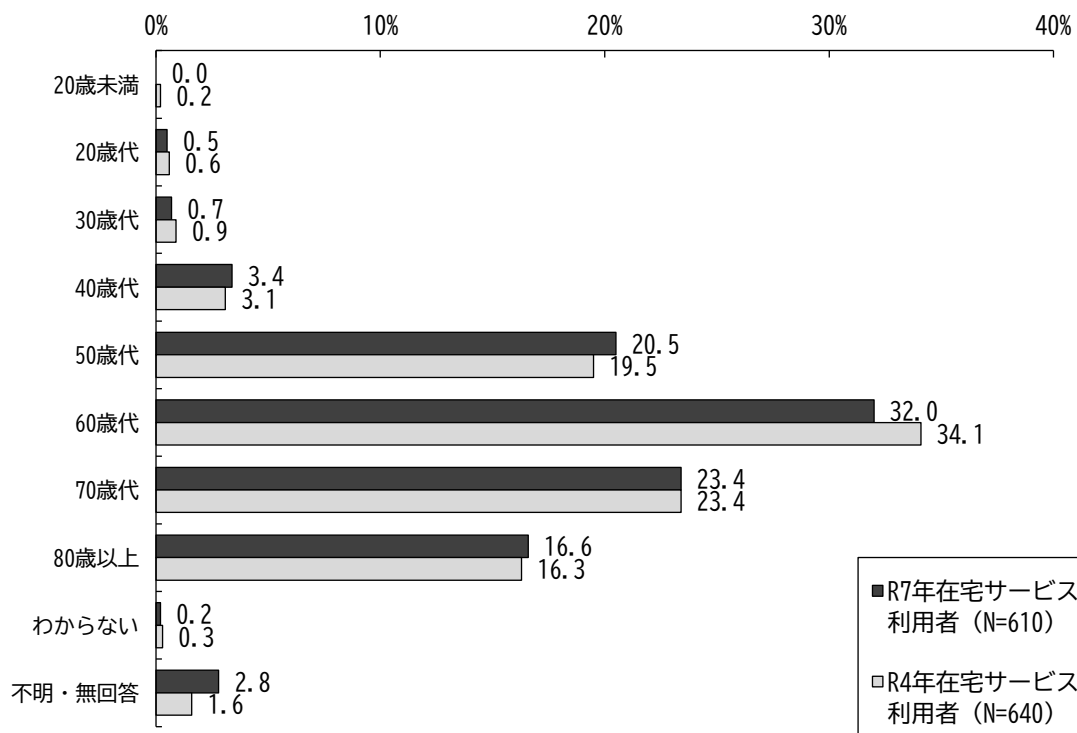
「男性」が32.3%、「女性」が64.1%となっています。



③主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。

「60歳代」が32.0%で最も多く、次いで「70歳代」が23.4%、「50歳代」が20.5%となっています。

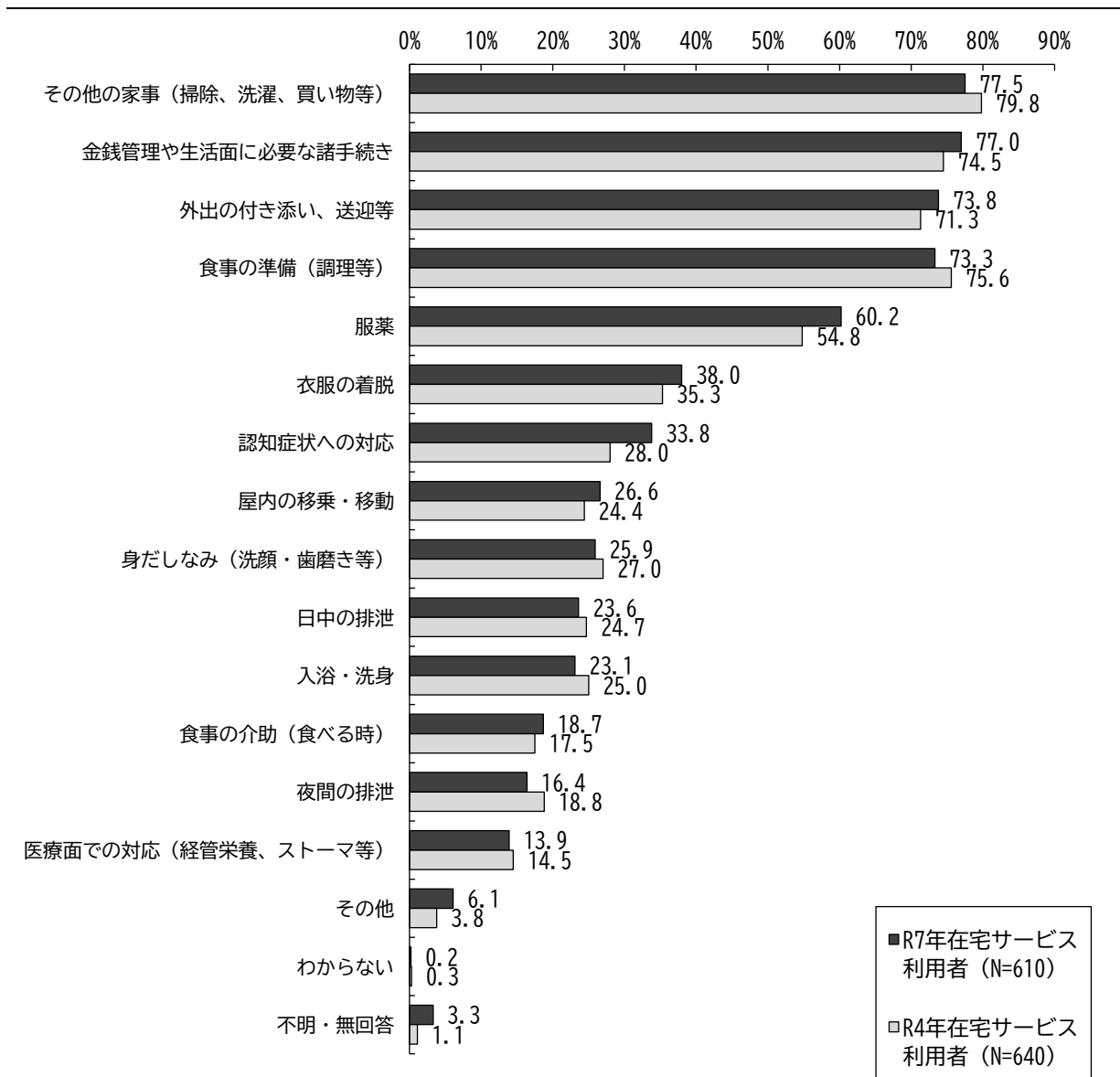
70歳以上の割合は40.0%で、前回調査とほぼ同様となっています。



④現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。

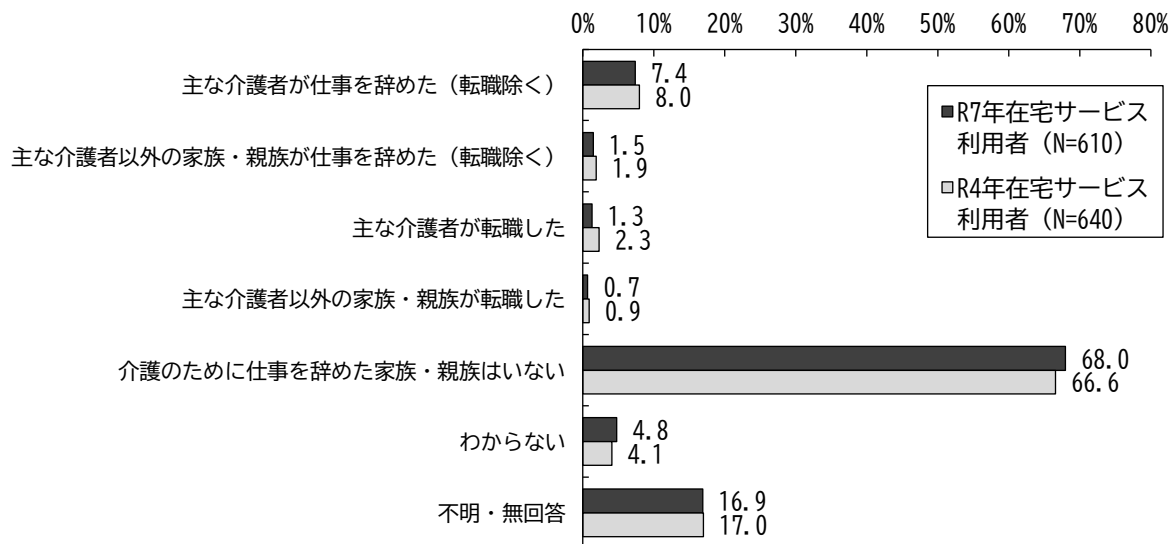
【複数回答】

「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が77.5%で最も多く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が77.0%、「外出の付き添い、送迎等」が73.8%、「食事の準備（調理等）」が73.3%となっています。



⑤ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）。【複数回答】

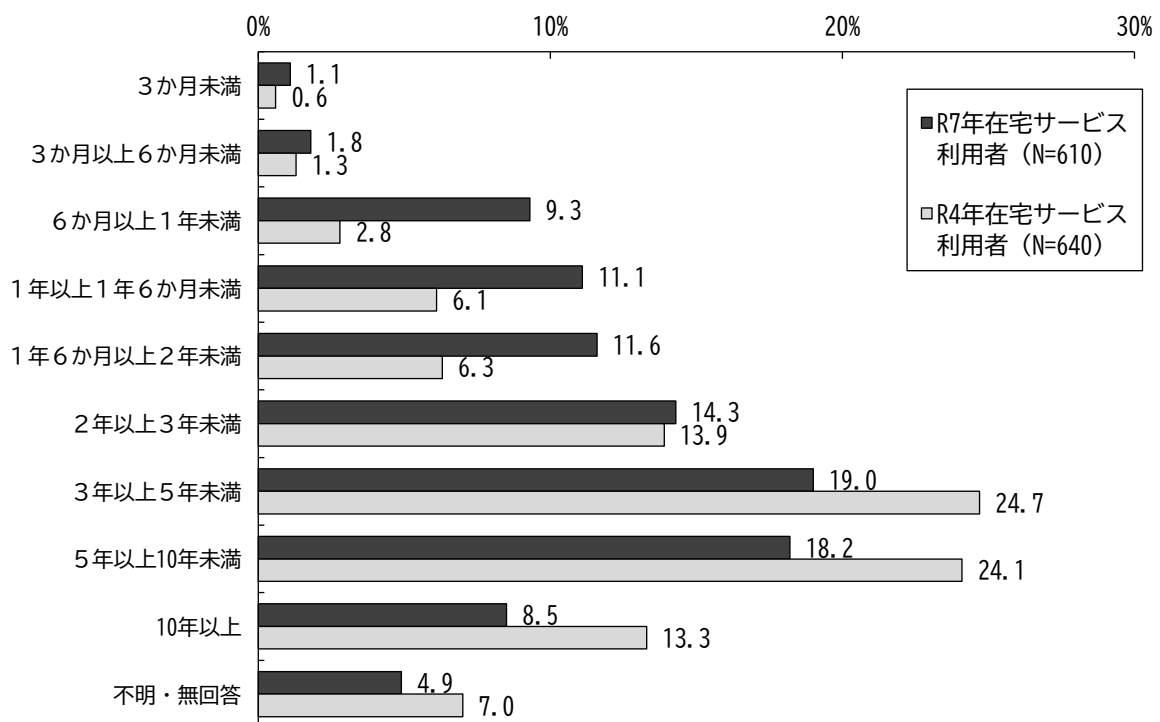
「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が7.4%、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）」が1.5%となっています。



問 15. 介護をするようになってから、どのくらいになりますか。

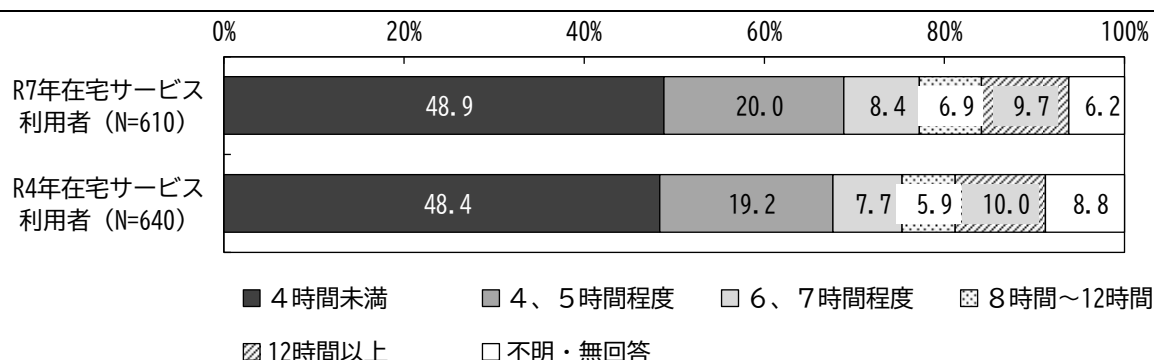
「3年以上5年未満」が19.0%で最も多く、次いで「5年以上10年未満」が18.2%となっています。

前回調査と比べると、2年未満の回答が増加し、3年以上の回答が減少しています。



問 16. 主に介護をしている時間は、1日あたり何時間くらいですか。

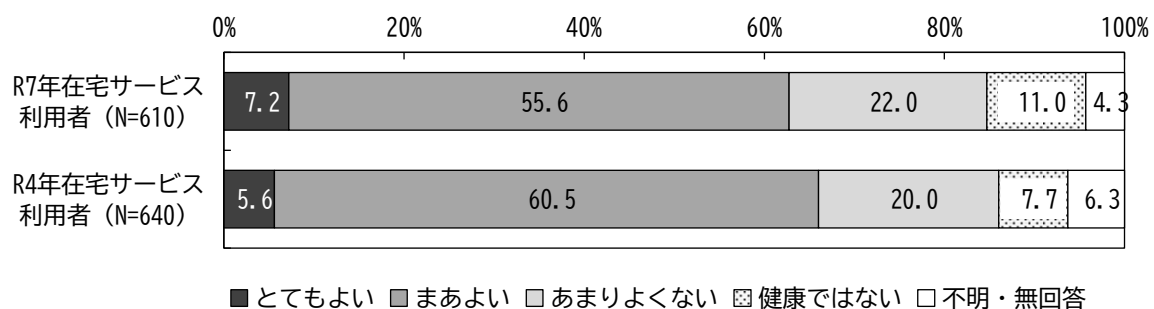
「4時間未満」が48.9%で最も多く、次いで「4、5時間程度」が20.0%となっています。



問 17. 主に介護をしている方の健康状態は、どれにあてはまりますか。

「まあよい」が55.6%で最も多く、次いで「あまりよくない」が22.0%となっています。

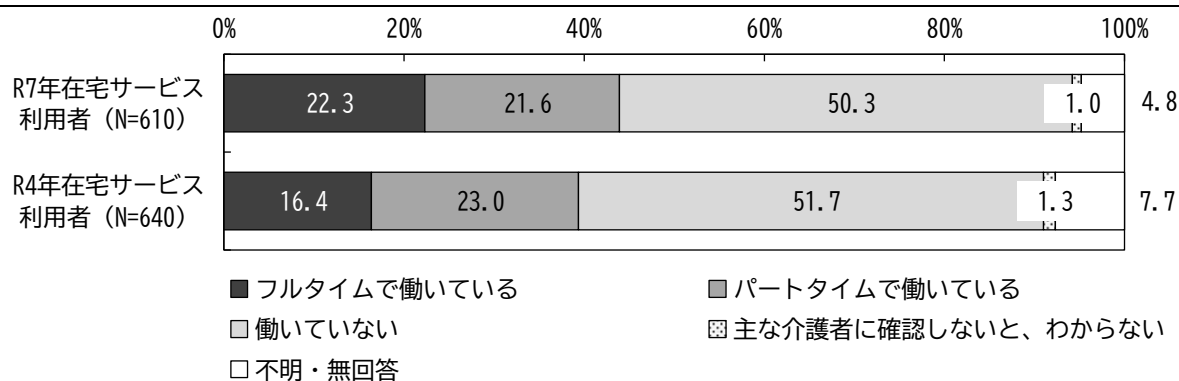
前回調査と比べると、よくないという回答（「あまりよくない」と「健康ではない」の合計）がやや増加しています。



問 18. 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。

「働いていない」が50.3%で最も多く、次いで「フルタイムで働いている」が22.3%となっています。働いているという回答は43.9%となっています。

前回調査と比べると「フルタイムで働いている」が増加しています。

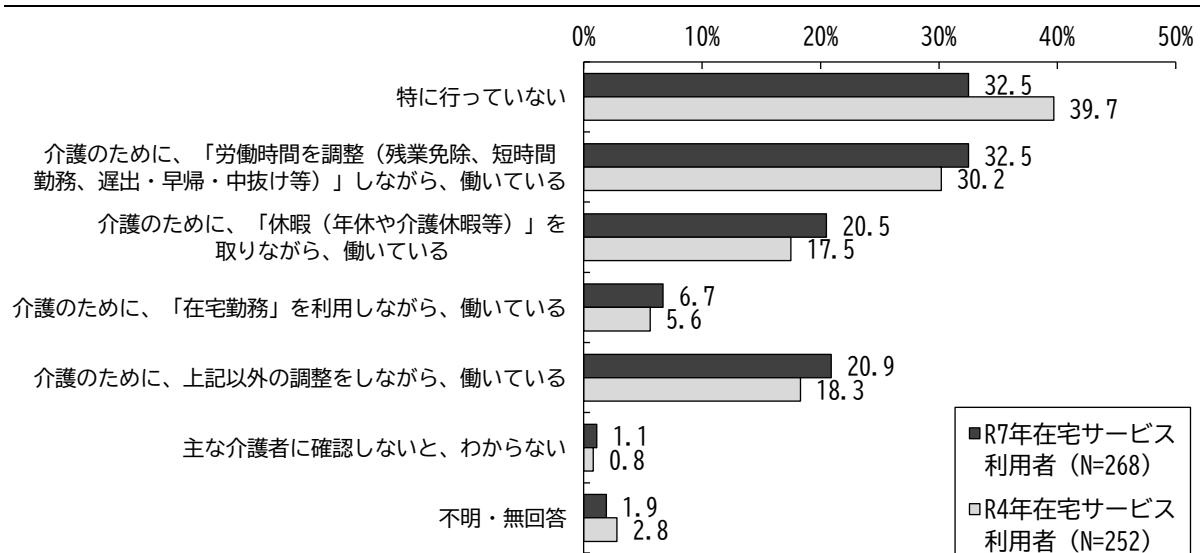


【問 18 で「フルタイムで働いている」または「パートタイムで働いている」と回答した人のみ】

①主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていきますか。【複数回答】

「特に行っていない」と「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が32.5%で最も多くなっています。

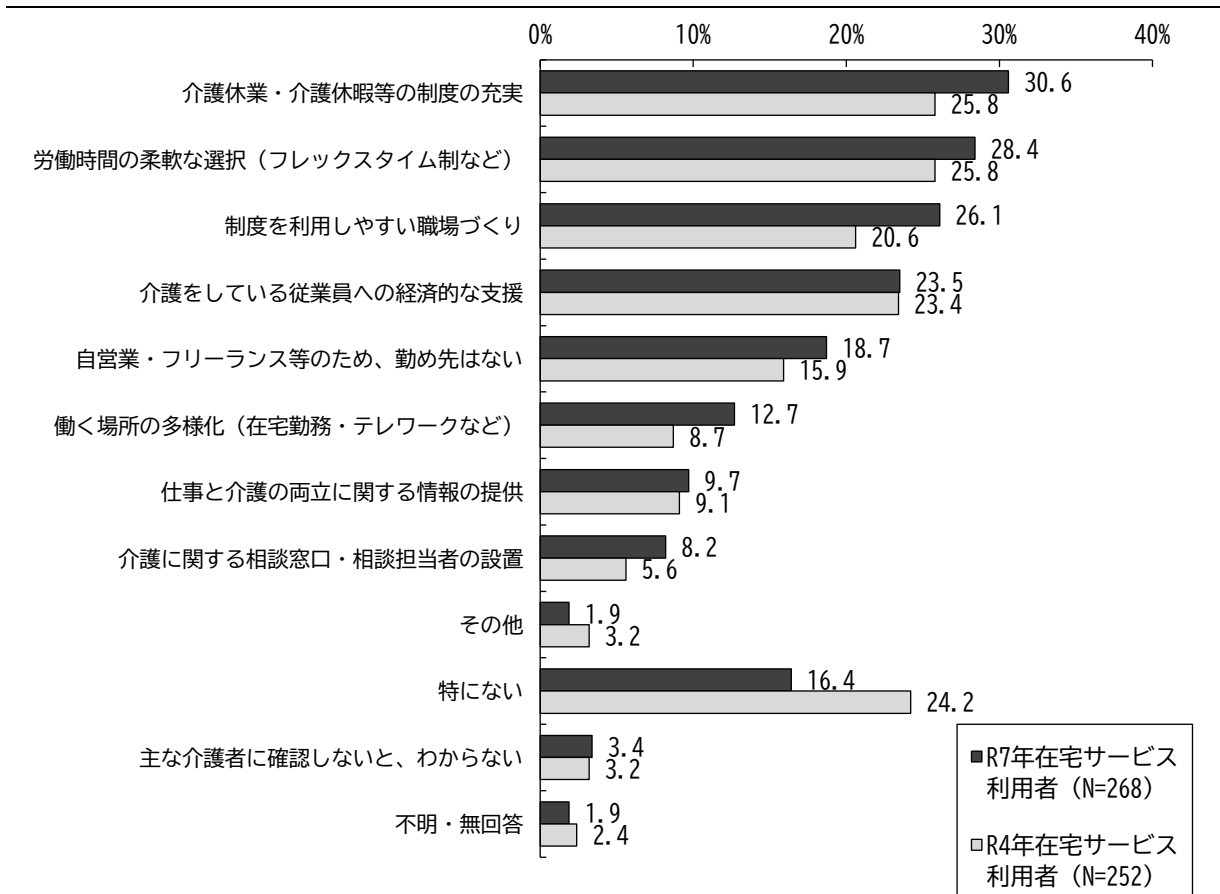
前回調査と比べると、「特に行っていない」がやや減少しています。



②主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。【3つまで複数回答】

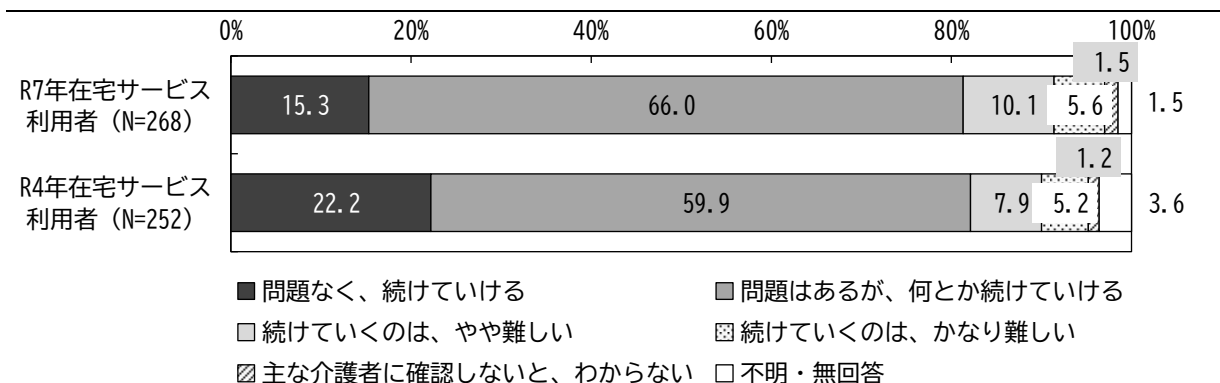
「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が30.6%で最も多く、次いで「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が28.4%、「制度を利用しやすい職場づくり」が26.1%となっています。

前回調査と比べると「制度を利用しやすい職場づくり」がやや増加しています。



③主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。

「問題はあるが、何とか続けていける」が66.0%で最も多く、「問題なく、続けていける」を含めた続けていけるという回答が81.3%、続けていくのは難しいという回答が15.7%となっています。

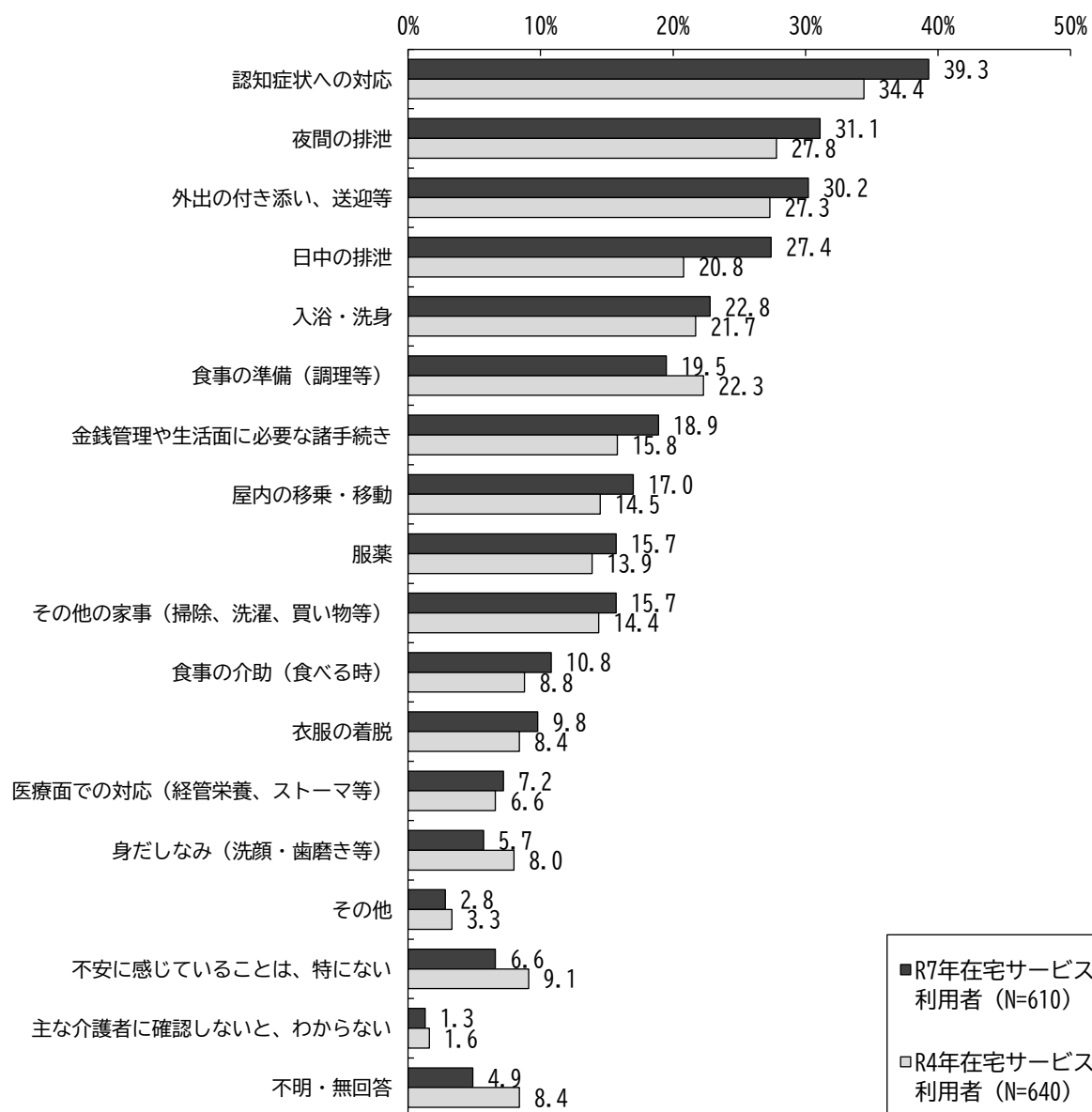


問 19. 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）。

【3つまで複数回答】

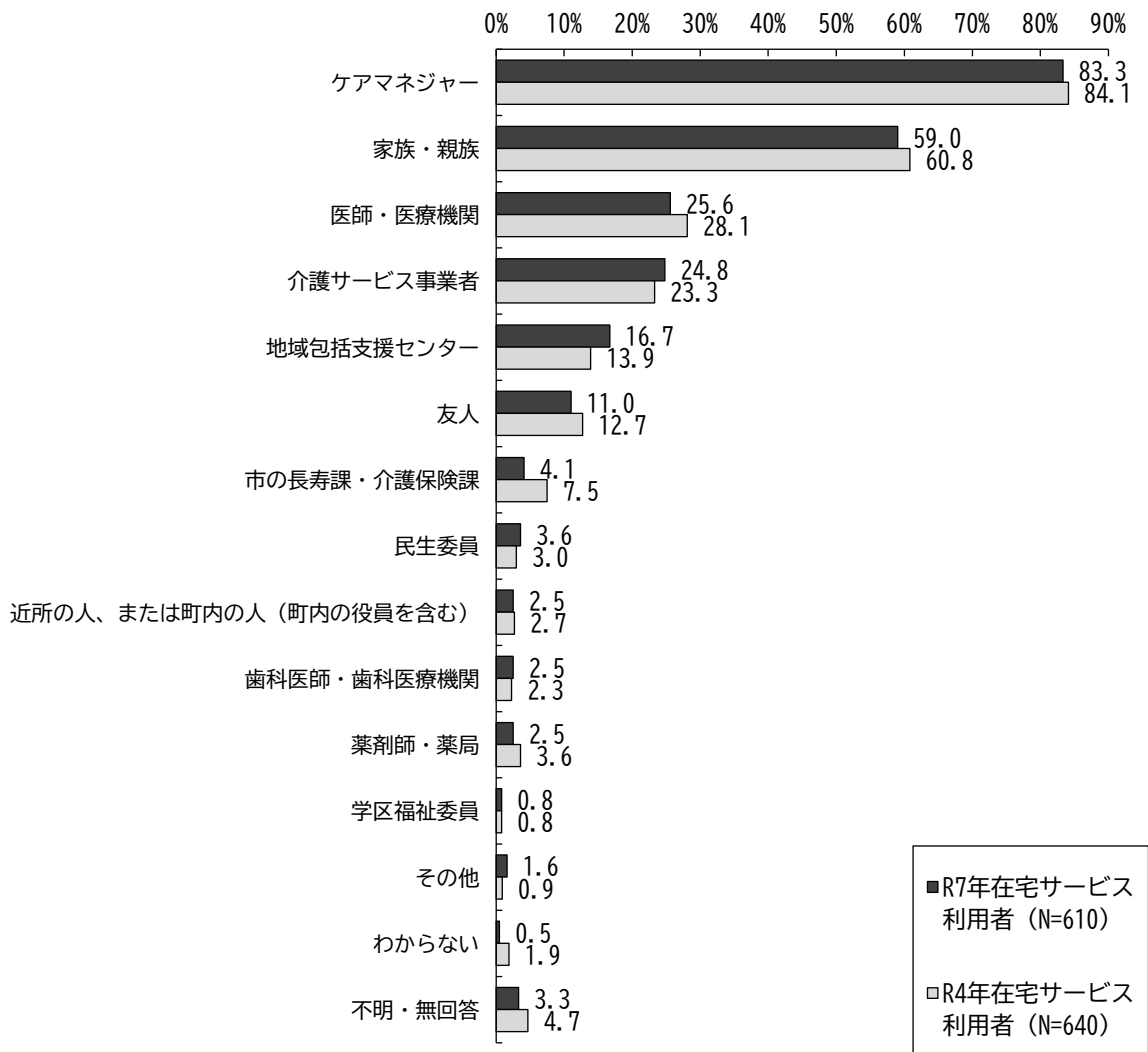
「認知症状への対応」が 39.3%で最も多く、次いで「夜間の排泄」が 31.1%、「外出の付き添い、送迎等」が 30.2%となっています。

前回調査と比べると、「認知症状への対応」「日中の排泄」等が増加しています。



問 20. 主に介護をしている方は、介護のことで相談するとしたら、誰に（どこに）相談しますか。【複数回答】

「ケアマネジャー」が83.3%で最も多く、次いで「家族・親族」が59.0%、「医師・医療機関」が25.6%、「介護サービス事業者」が24.8%となっています。

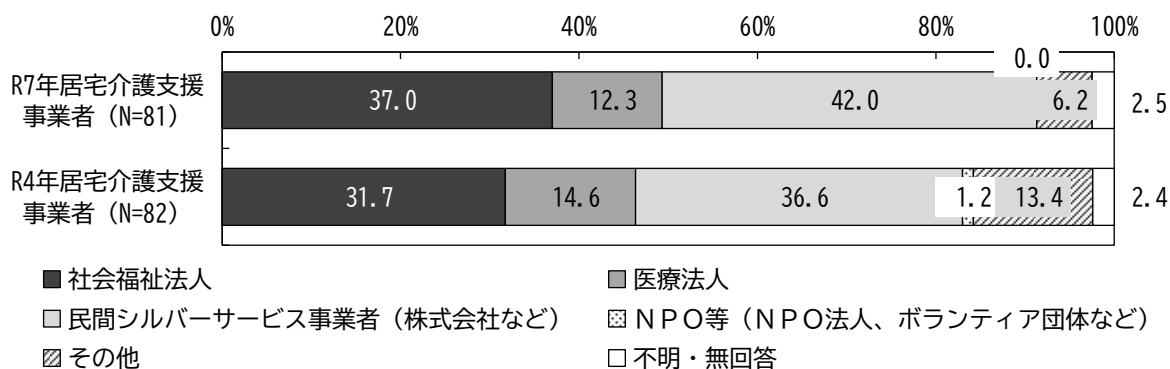


V 居宅介護支援事業者調査の結果

1 サービス事業者の運営形態や状況について

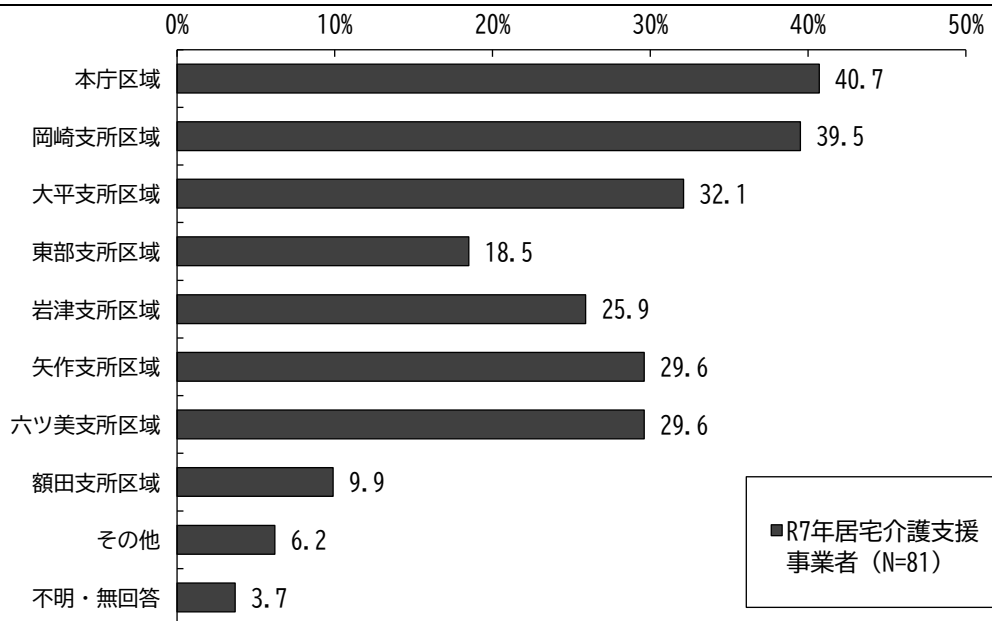
問1. 運営形態はどれにあてはまりますか。

「民間シルバーサービス事業者（株式会社など）」が42.0%で最も多く、次いで「社会福祉法人」が37.0%となっています。



問2. 主なサービス提供エリアはどこですか。【複数回答】

「本庁区域」が40.7%で最も多く、次いで「岡崎支所区域」が39.5%となっています。

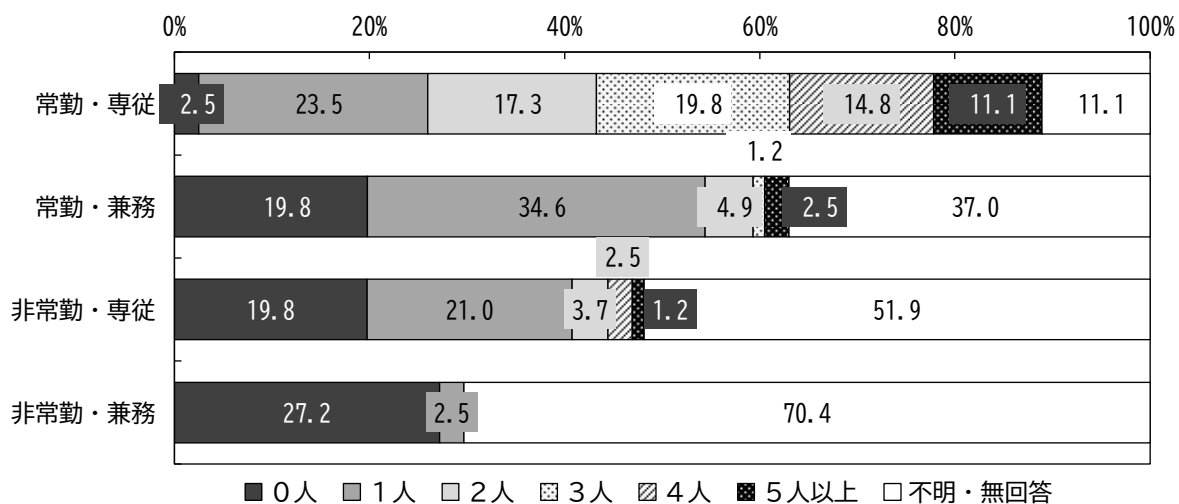


問3. 所属するケアマネジャーの人数は何人ですか。【数量回答】

「常勤・専従」の人数は、「1人」が23.5%で最も多く、次いで「3人」が19.8%となっています。

「常勤・兼務」の人数は、「1人」が34.6%、「非常勤・専従」は「1人」が21.0%でそれぞれ最も多く、「非常勤・兼務」は「1人」という回答が2事業所のみでした。

R7年居宅介護支援事業者 (N=81)



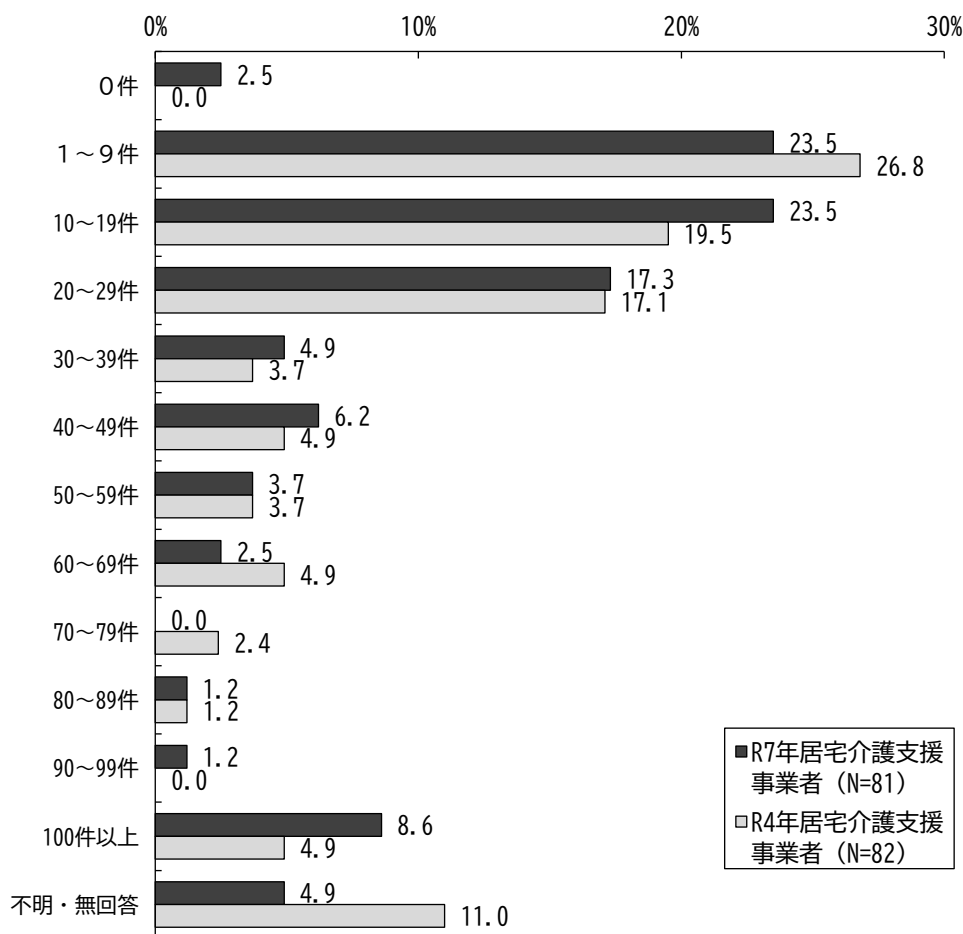
問4. 1人のケアマネジャーが担当する月平均の実施件数は何件ですか。

【数量回答】

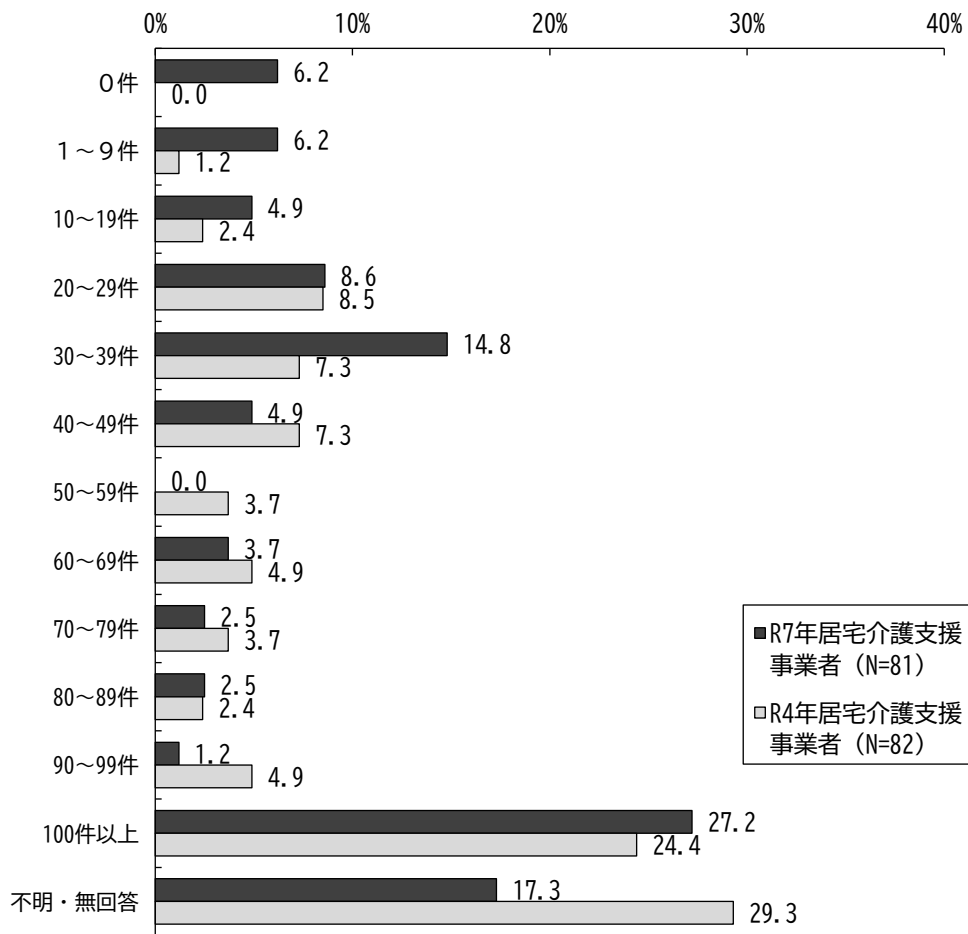
1人のケアマネジャーが担当する件数の、事業所全体での数値については、要支援では「1～9件」と「10～19件」が24.1%で最も多くなっています。要介護では、「100件以上」が最も多くなっています。

勤務形態別の数値については、要支援ではいずれの勤務形態も「1～9件」が最も多く、要介護では30件以上が最も多くなっています。

要支援・事業所全体

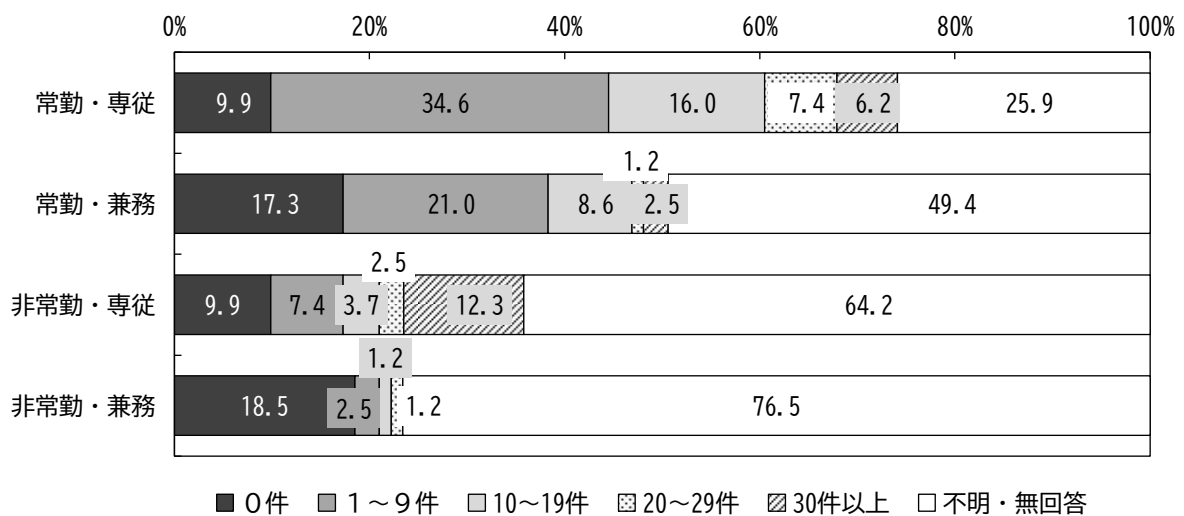


要介護・事業所全体



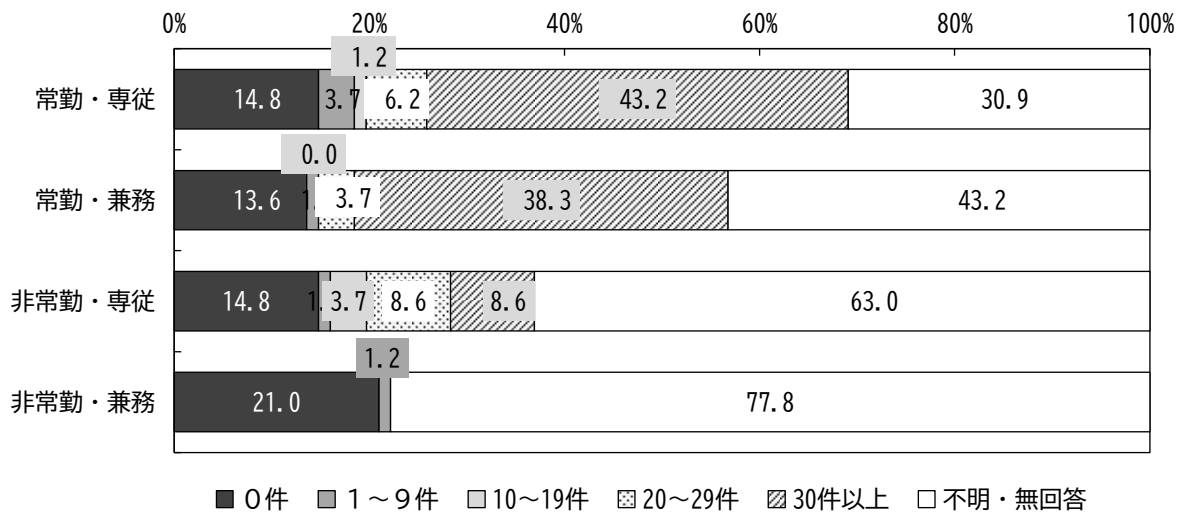
要支援・勤務形態別

R7年居宅介護支援事業者 (N=81)



要介護・勤務形態別

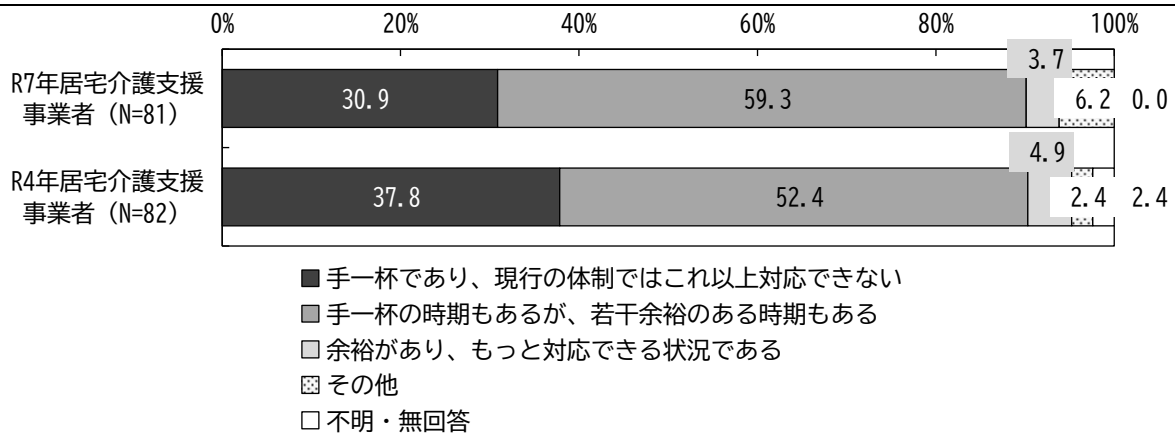
R7年居宅介護支援事業者 (N=81)



問5. ケアプランの作成について、貴事業所の現状をお答えください。

「手一杯の時期もあるが、若干余裕のある時期もある」が59.3%で最も多く、次いで「手一杯であり、現行の体制ではこれ以上対応できない」が30.9%となっています。

前回調査と比べると、「手一杯の時期もあるが、若干余裕のある時期もある」がやや増加し、「手一杯であり、現行の体制ではこれ以上対応できない」がやや減少しています。

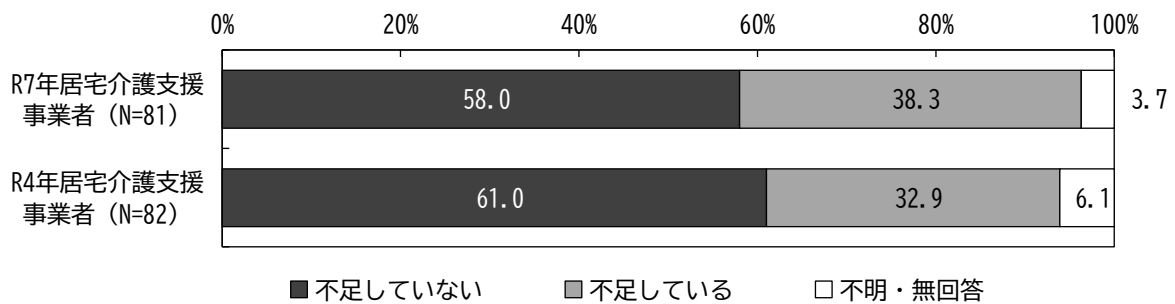


問6. 現在の業務を行ううえで、ケアマネジャーの人数が不足していますか。不足している場合は、不足人数（常勤・専従として）もお答えください。

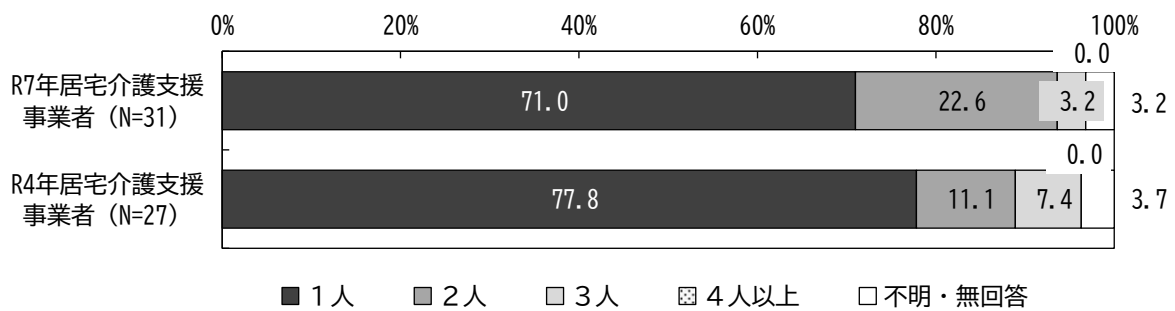
「不足している」が38.3%となっています。

前回調査と比べると「不足している」がやや増加しています。

不足している人数については、「1人」が71.0%で最も多く、次いで「2人」が22.6%となっています。

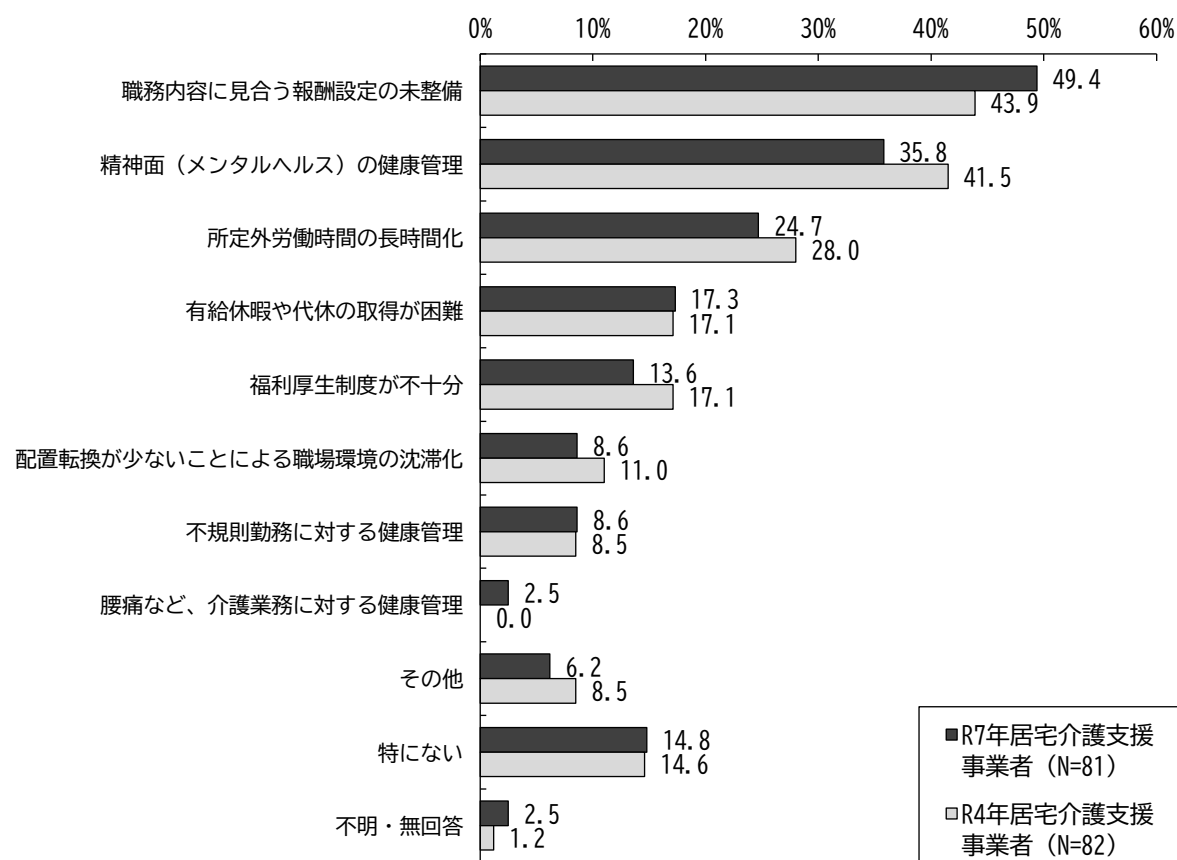


【不足している人数】



問7. 従業員の処遇における課題は何ですか。【複数回答】

「職務内容に見合う報酬設定の未整備」が49.4%で最も多く、次いで「精神面（メンタルヘルス）の健康管理」が35.8%、「所定外労働時間の長時間化」が24.7%となっています。

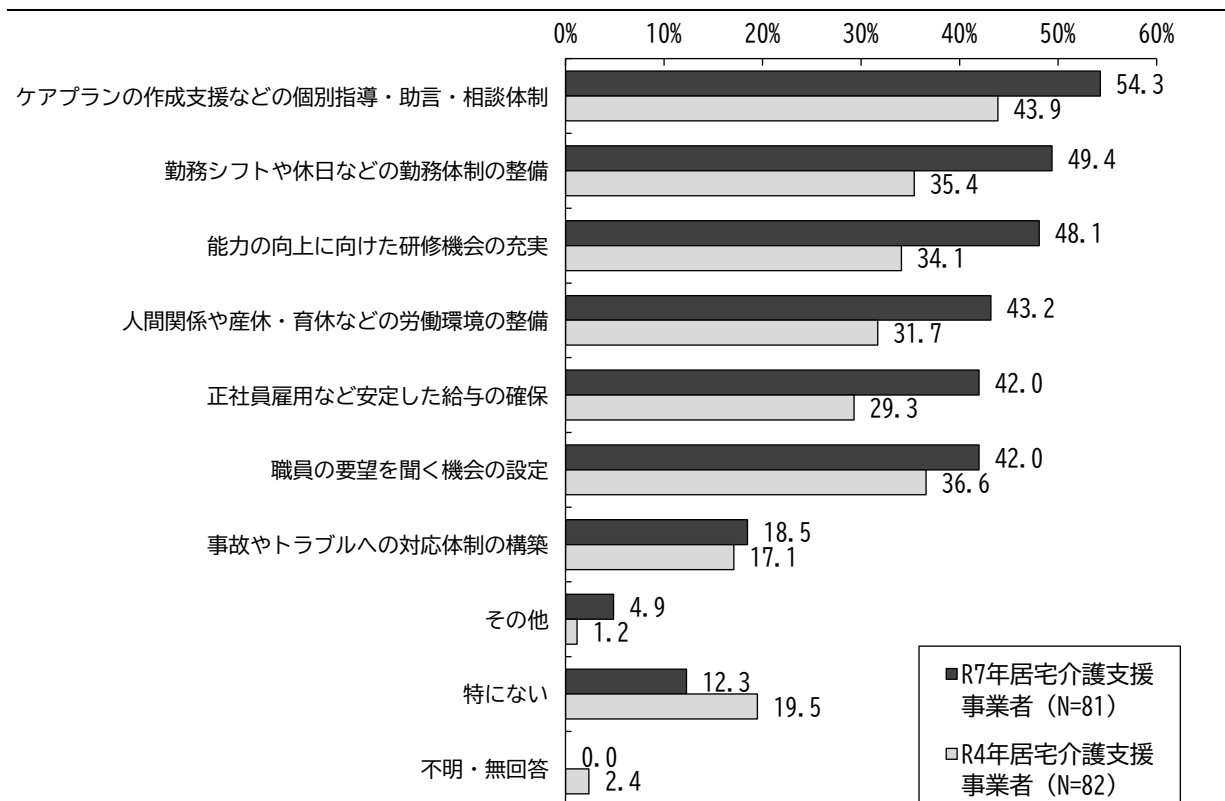


問8. ケアマネジャーを確保するために、取り組んでいることは何ですか。

【複数回答】

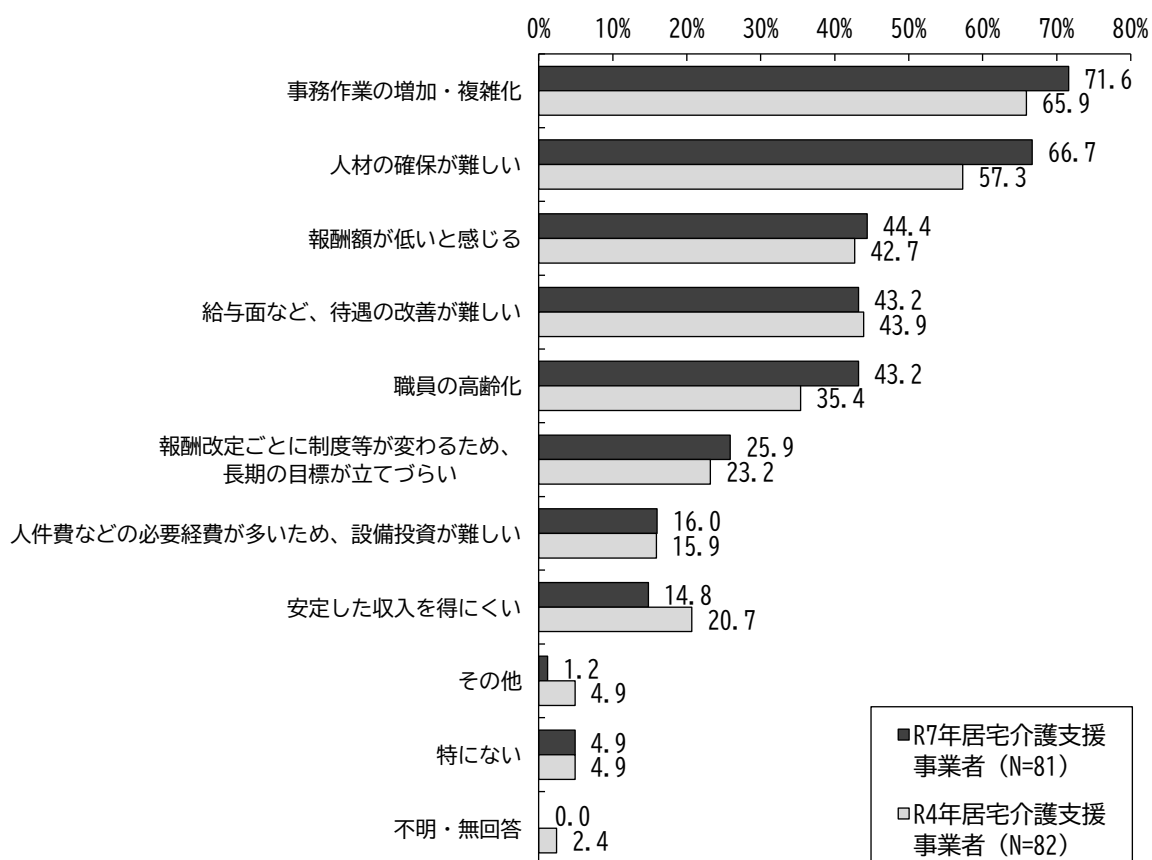
「ケアプランの作成支援などの個別指導・助言・相談体制」が54.3%で最も多く、次いで「勤務シフトや休日などの勤務体制の整備」が49.4%、「能力の向上に向けた研修機会の充実」が48.1%となっています。

前回調査と比べると「特にない」以外のすべての項目で回答が増加しています。



問9. 経営面における問題点や課題は何ですか。【複数回答】

「事務作業の増加・複雑化」が71.6%で最も多く、次いで「人材の確保が難しい」が66.7%となっています。

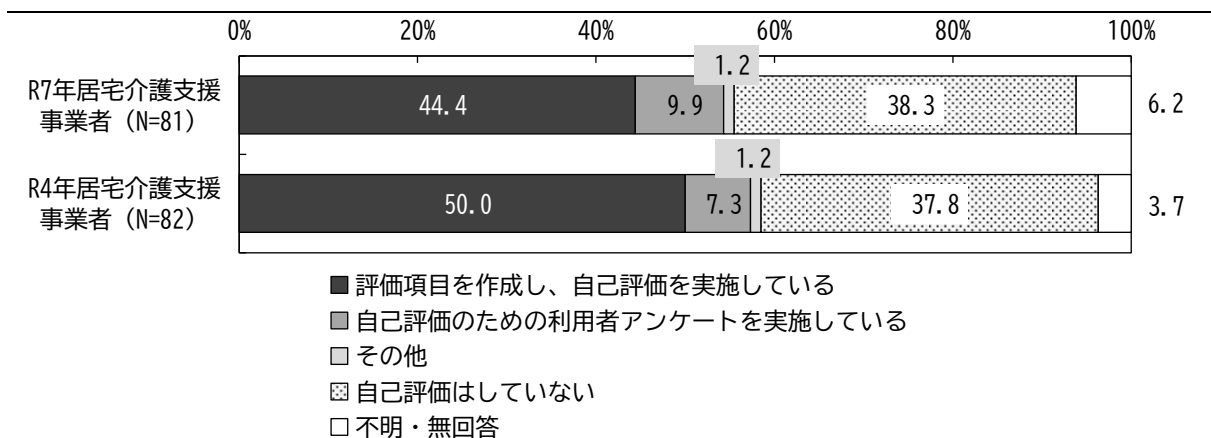


2 提供サービスの状況について

問 10. サービスの自己評価をしていますか。

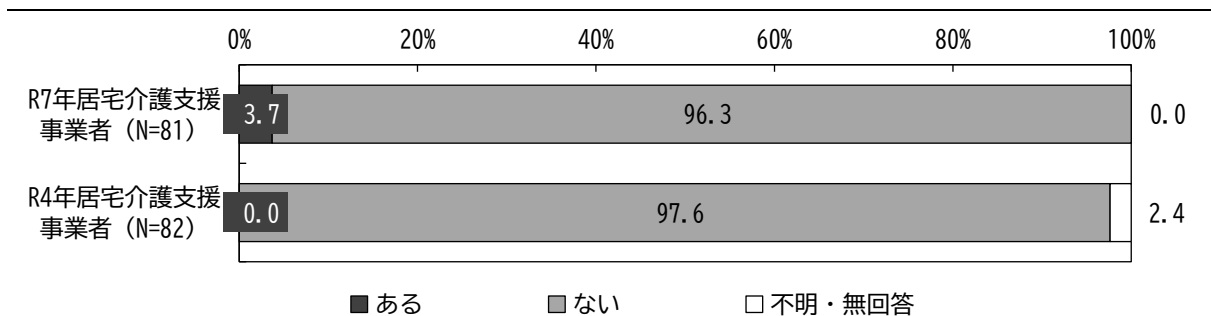
「評価項目を作成し、自己評価を実施している」が44.4%で最も多く、次いで「自己評価はしていない」が38.3%となっています。

何らかの自己評価をしていると回答したのは、55.5%となっています。



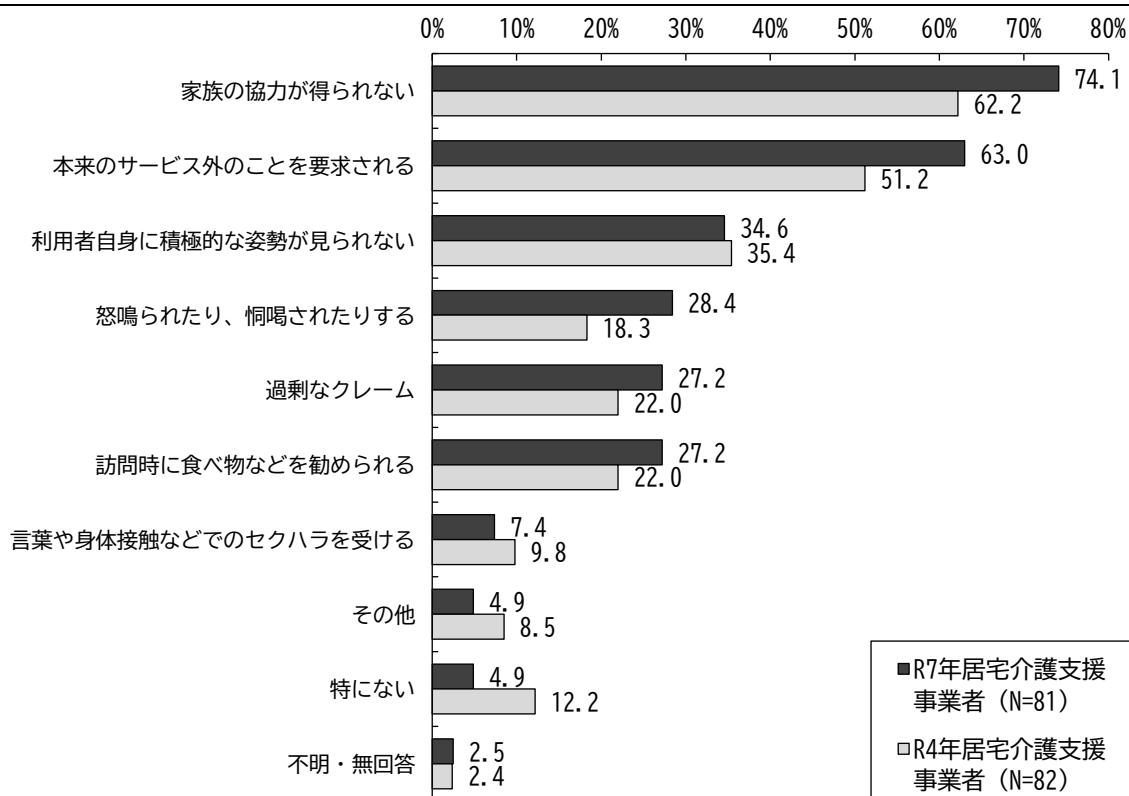
問 11. 利用者等の苦情から、第三者機関の介入や訴訟などに発展した事例はありますか。

「ある」が3.7%（3事業所）となっています。



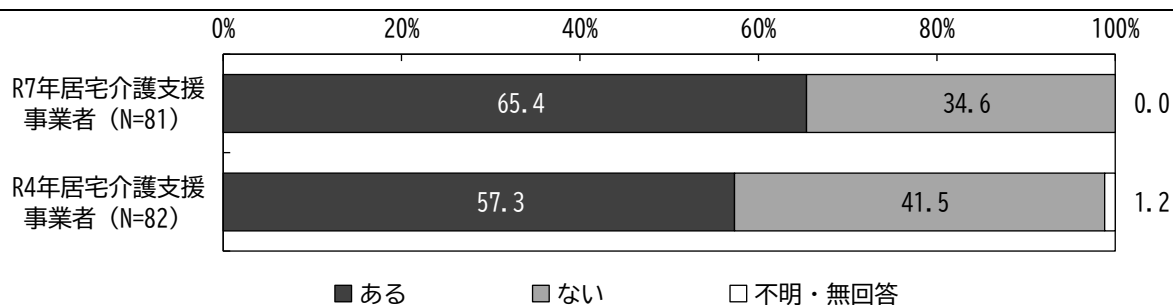
問 12. 利用者に関することで、お困りのことは何ですか。【複数回答】

「家族の協力が得られない」が74.1%で最も多く、次いで「本来のサービス外のことを要求される」が63.0%となっています。



問 13. サービス提供を断っている事例はありますか。

「ある」が65.4%となっています。

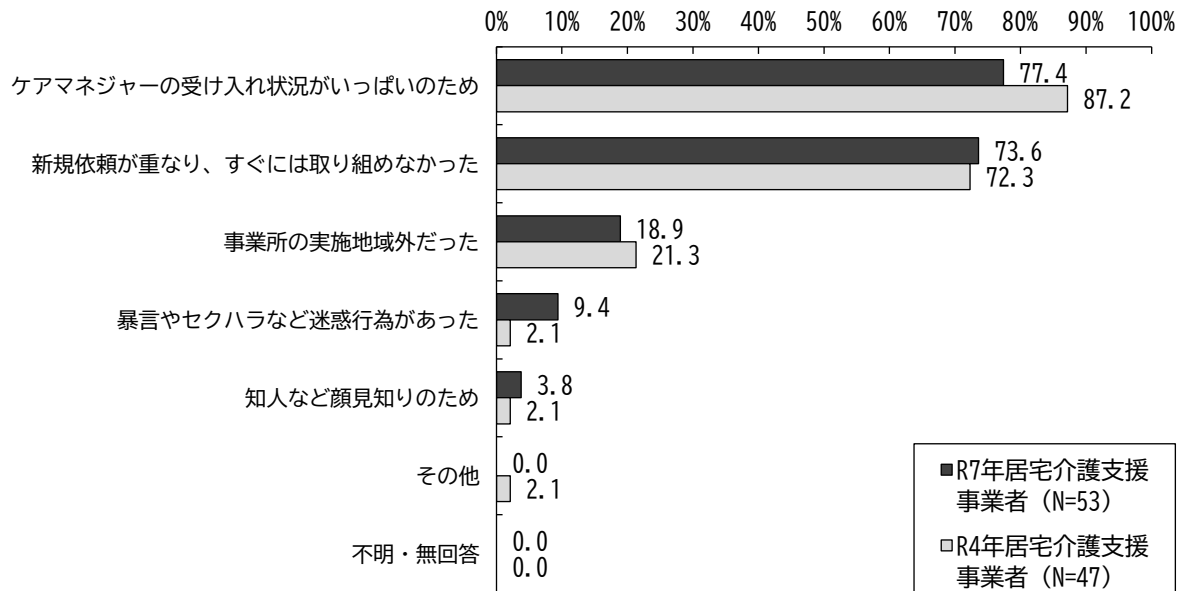


【問 13 で「ある」と回答した事業者のみ】

それはどのような内容でしたか。【複数回答】

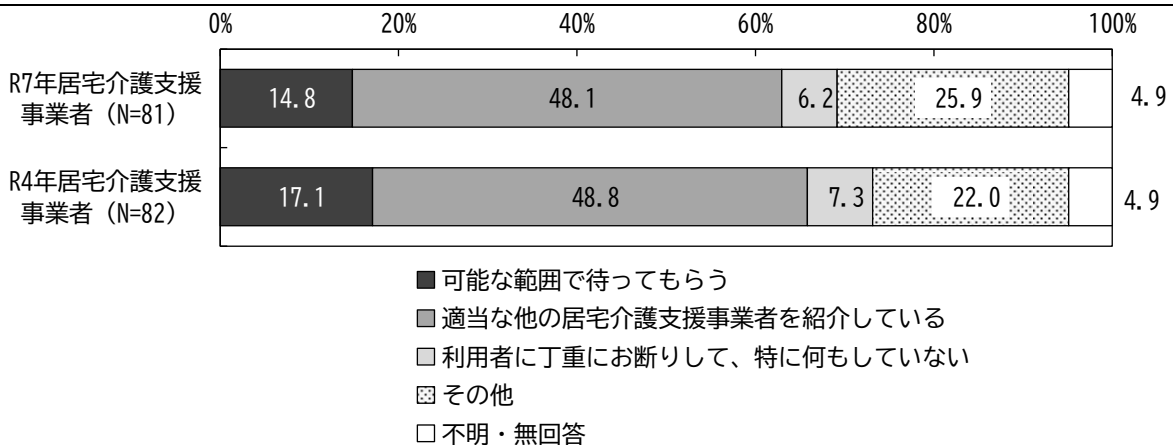
「ケアマネジャーの受け入れ状況がいっぱいのため」が77.4%で最も多く、次いで「新規依頼が重なり、すぐには取り組めなかった」が73.6%となっています。

前回調査と比べると、「暴言やセクハラなど迷惑行為があった」が増加しています。



問 14. 利用者への指定居宅介護支援の提供が困難なときの主な対応について、お答えください。

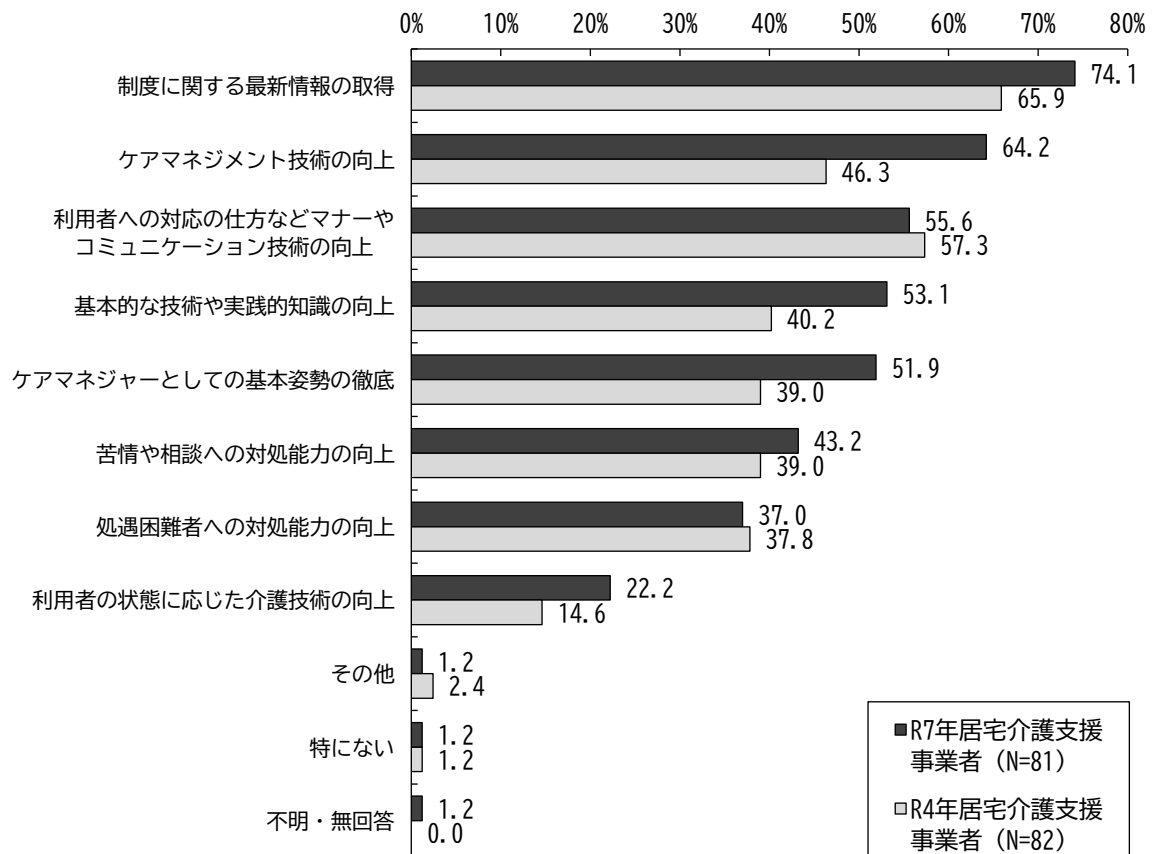
「適当な他の居宅介護支援事業者を紹介している」が48.1%で最も多く、次いで「その他」が25.9%となっています。



問 15. ケアマネジャーの質の確保・向上を図るために、どのような点を重視して取り組んでいますか。【複数回答】

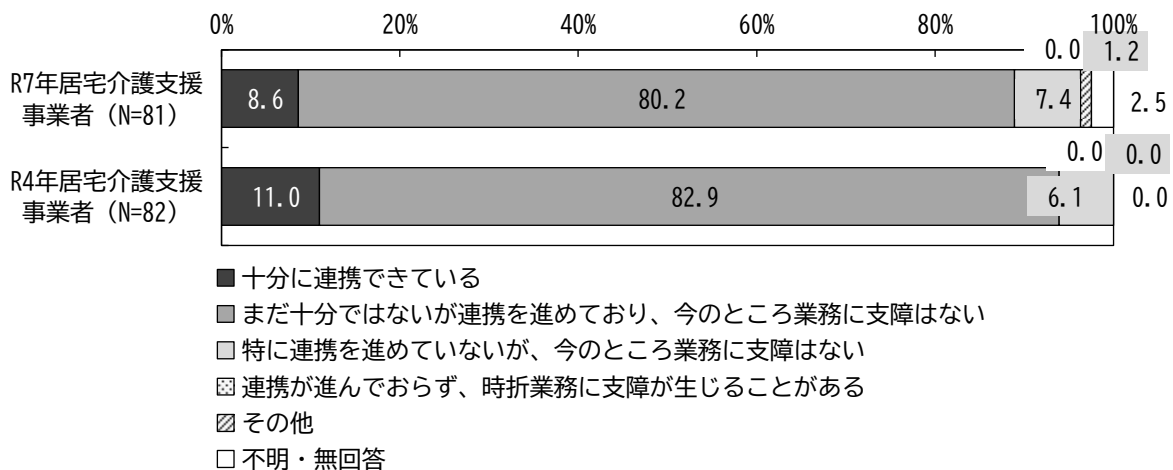
「制度に関する最新情報の取得」が74.1%で最も多く、次いで「ケアマネジメント技術の向上」が64.2%となっています。

前回調査と比べると「ケアマネジメント技術の向上」「基本的な技術や実践的知識の向上」「ケアマネジャーとしての基本姿勢の徹底」等が増加しています。



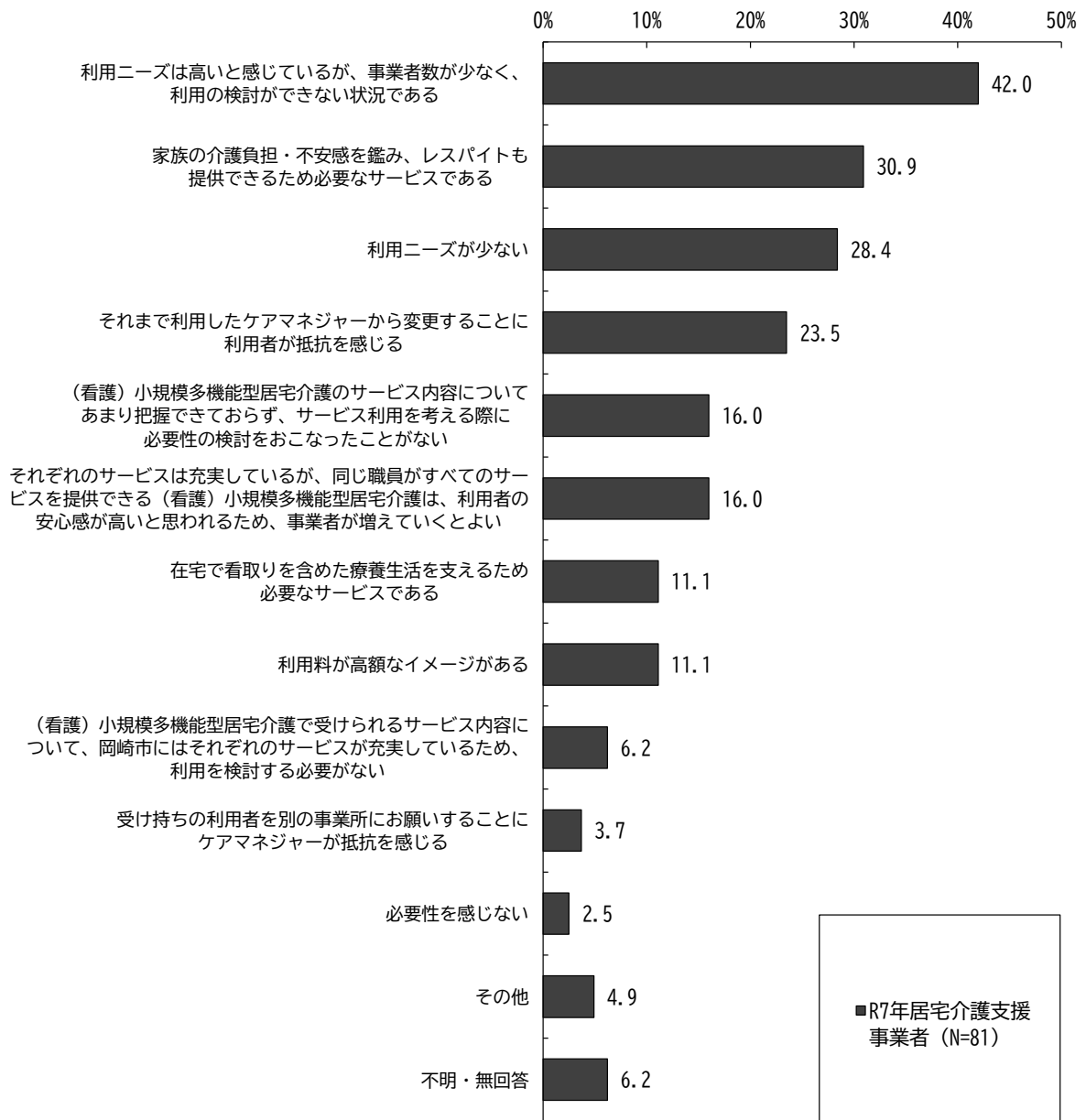
問 16. かかりつけ医との連携を進めていますか。

「まだ十分ではないが連携を進めており、今のところ業務に支障はない」が80.2%で最も多くなっています。



問 17. 小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護について、特にあてはまるものをお答えください。【3つまで複数回答】

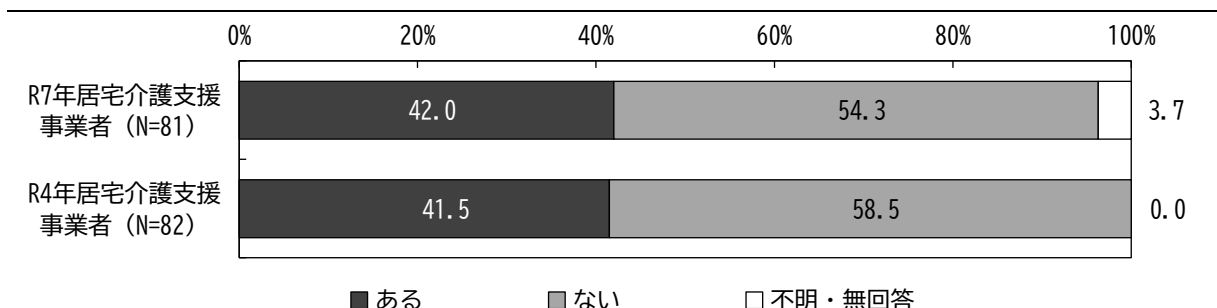
「利用ニーズは高いと感じているが、事業者数が少なく、利用の検討ができない状況である」が42.0%で最も多く、次いで「家族の介護負担・不安感を鑑み、レスパイトも提供できるため必要なサービスである」が30.9%、「利用ニーズが少ない」が28.4%となっています。



3 高齢者虐待の状況について

問 18. サービスを提供している要介護者の中で、高齢者虐待を受けている又は受けていると思われる事例がありますか。

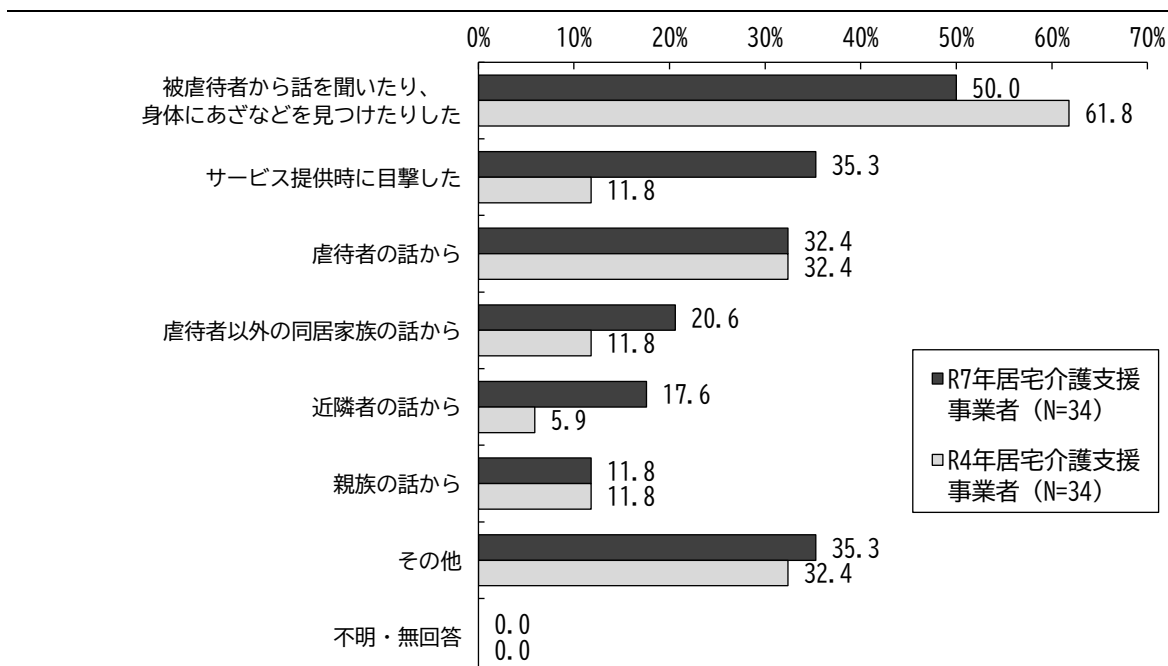
「ある」が42.0%となっています。



【問 18 で「ある」と回答した事業者のみ】

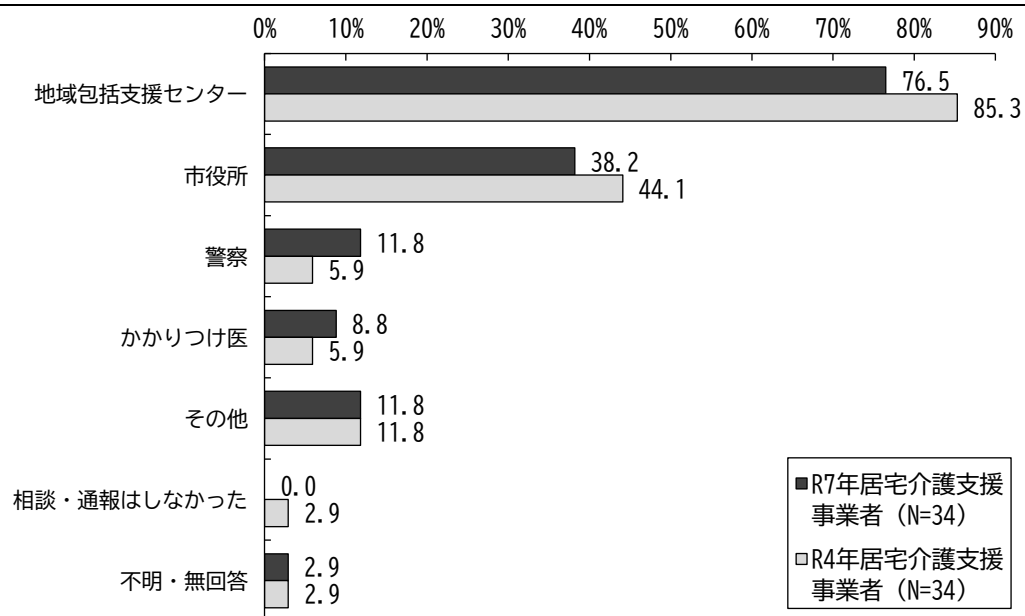
①それは、どのようにしてわかりましたか。【複数回答】

「被虐待者から話を聞いたり、身体にあざなどを見つけたりした」が 50.0%で最も多く、次いで「サービス提供時に目撃した」と「その他」が 35.3%となっています。



②相談・通報先はどこですか。【複数回答】

「地域包括支援センター」が76.5%で最も多く、次いで「市役所」が38.2%となっています。

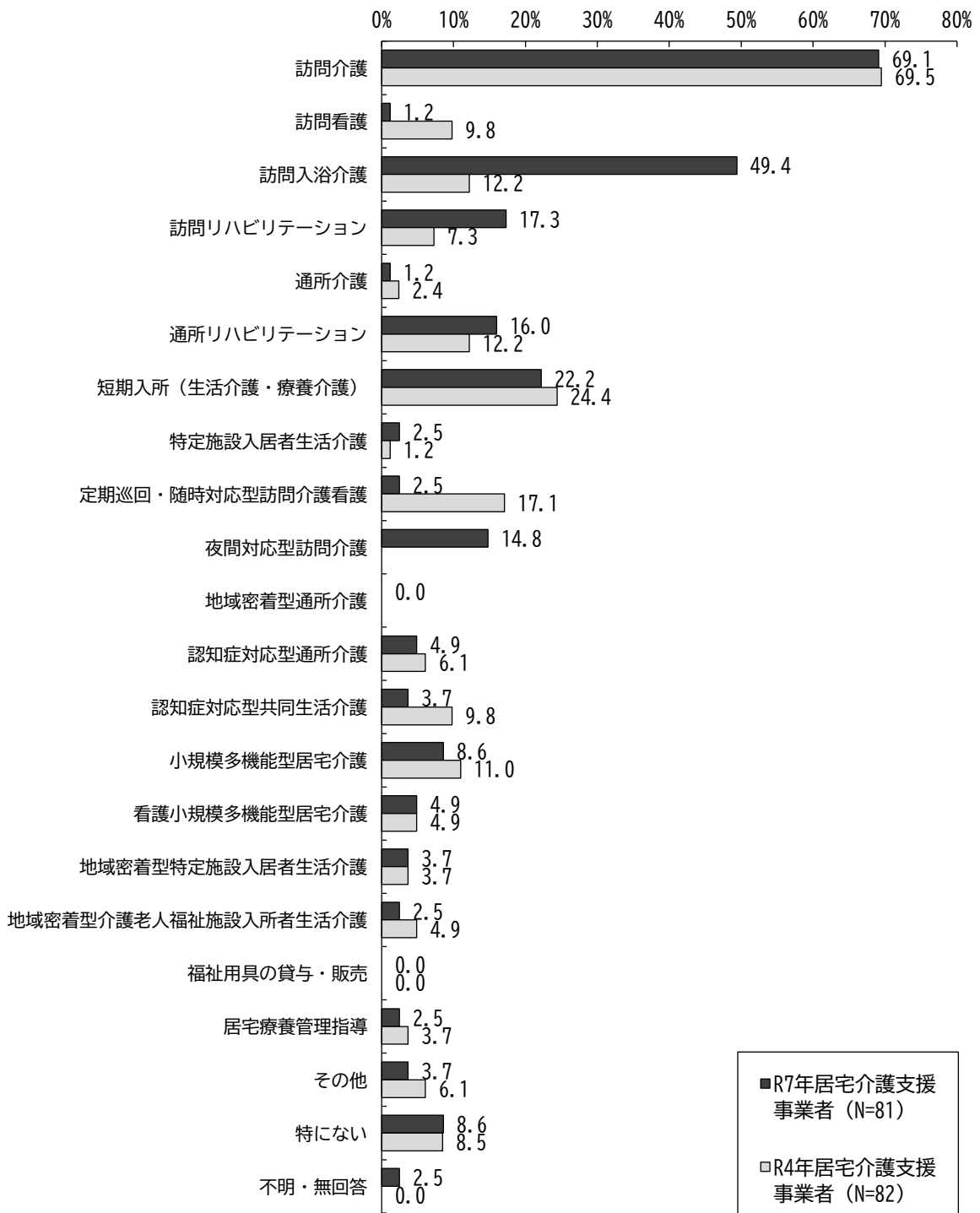


4 その他

問 19. 介護サービスのうち、供給が不足していると感じるサービスは何ですか。

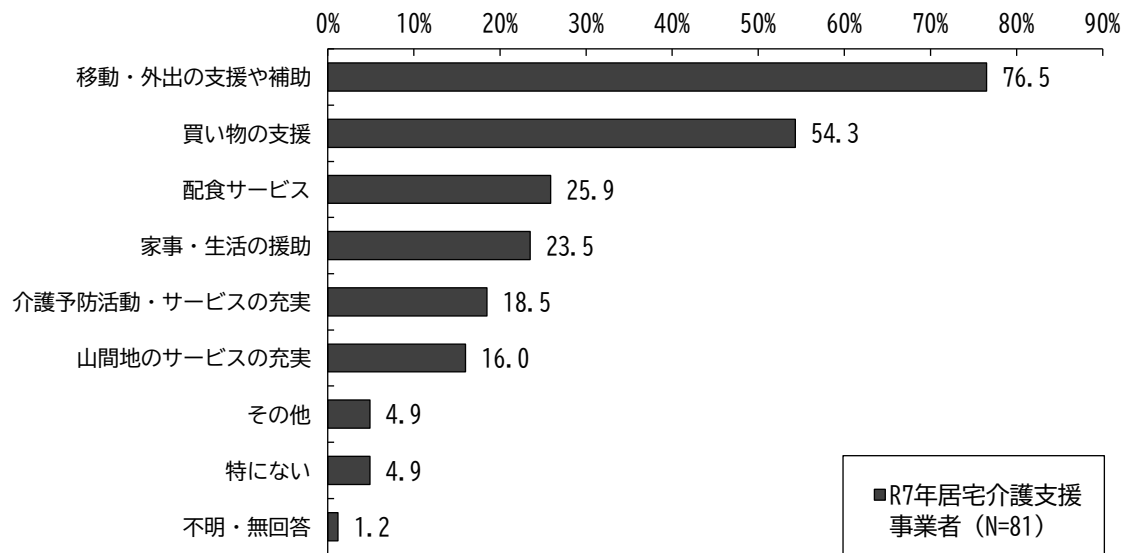
【複数回答】

「訪問介護」が69.1%で最も多く、次いで「訪問入浴介護」が49.4%となっています。
 前回調査と比べると「訪問入浴介護」が増加しています。



問 20. 法定の介護保険サービス以外で、岡崎市内で供給が不足していると考えるサービスはありますか。【複数回答】

「移動・外出の支援や補助」が76.5%で最も多く、次いで「買い物の支援」が54.3%となっています。

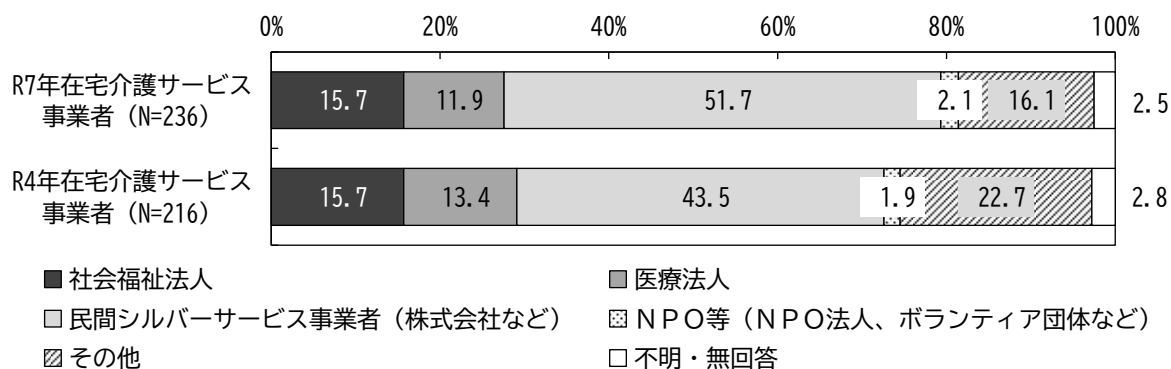


VI 在宅介護サービス事業者調査の結果

1 サービス事業者の運営形態や状況について

問1. 運営形態はどれにあてはまりますか。

「民間シルバーサービス事業者（株式会社など）」が51.7%で最も多くなっています。
 前回調査と比べると「民間シルバーサービス事業者（株式会社など）」が増加しています。

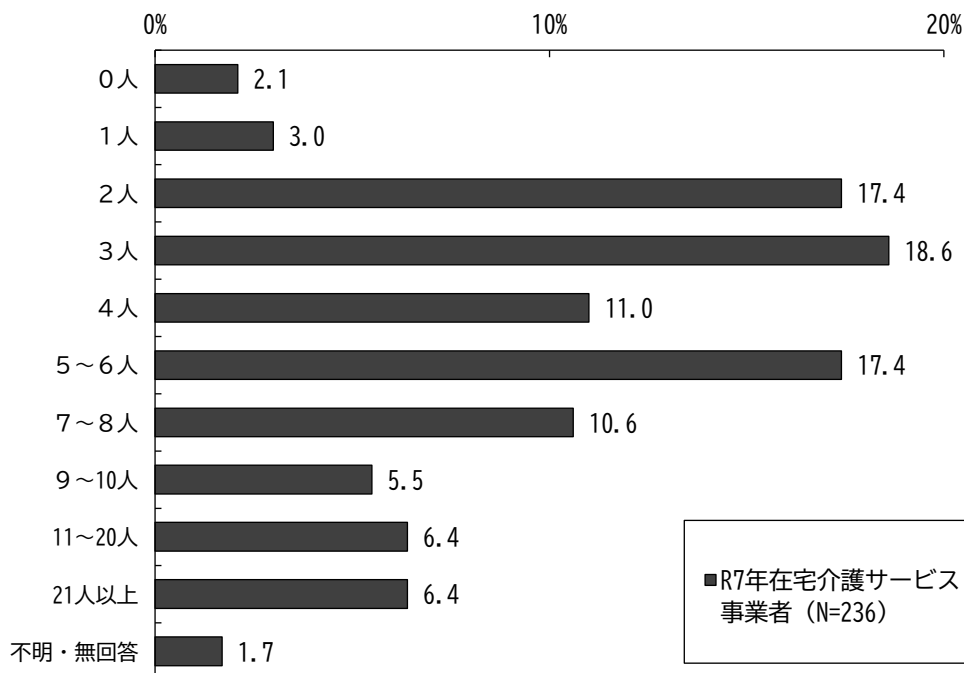


問2. 介護職員の総数を数字でお答えください。【数量回答】

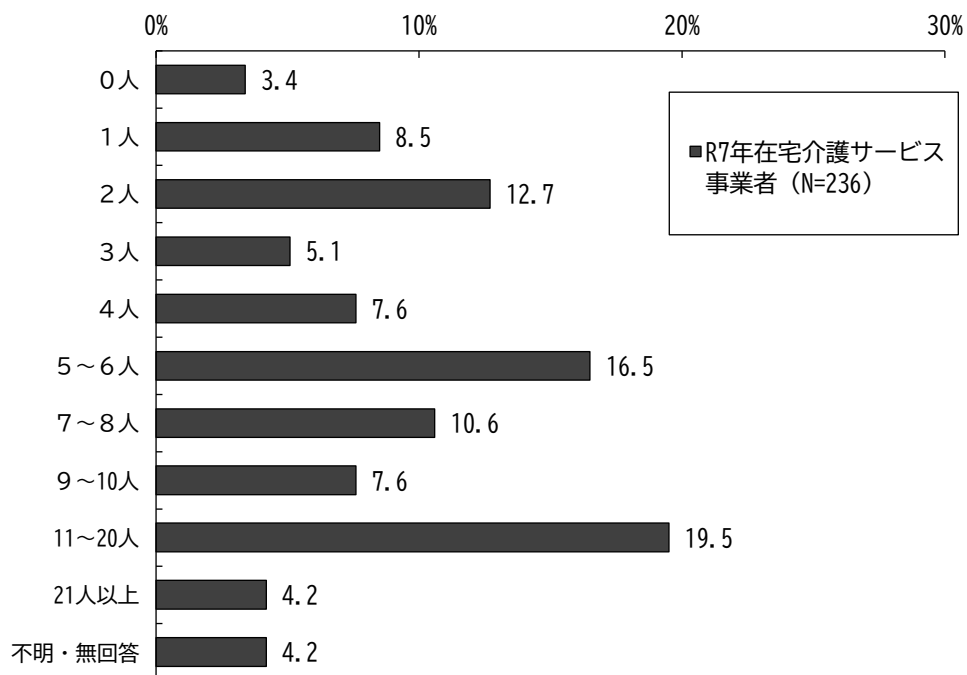
※介護職員には、看護職・リハ職等のケアに携わる職員を含めてお答えください（以下同様）。

- ①常勤職員は4人以下が52.1%、5～10人が33.5%、11人以上が12.8%となっています。
- ②非常勤職員は4人以下が37.3%、5～10人が34.7%、11人以上が23.7%となっています。

①常勤職員



②非常勤職員



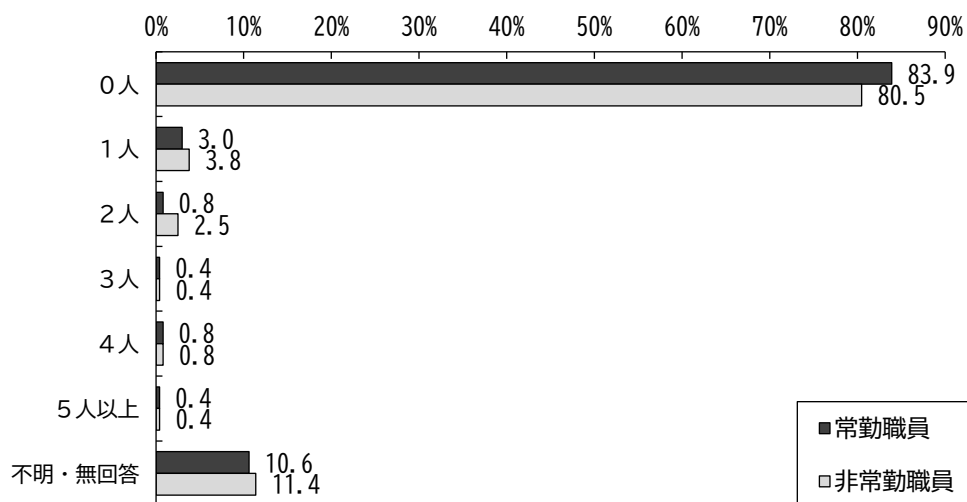
問3. 問2でご回答いただいた職員のうち、派遣職員、外国人職員はそれぞれ何人いますか。【数量回答】

①派遣職員については、常勤、非常勤とも「0人」が80%を超えて最も多く、派遣職員がいる事業所では「1人」が多くなっています。

②外国人職員については、常勤、非常勤とも「0人」が80%を超えて最も多く、外国人職員がいる事業所では「1人」が多くなっています。また、外国人職員の常勤職員が5人以上いる事業所が2.4%となっています。

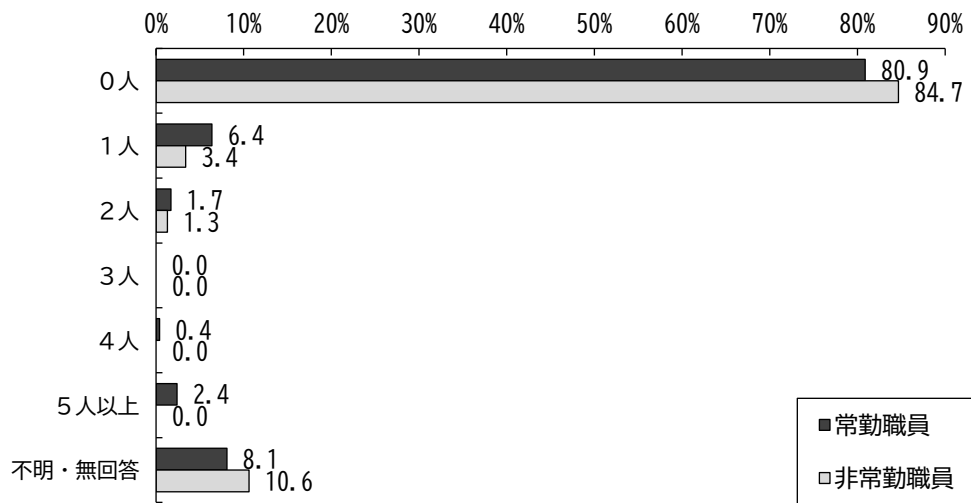
①派遣職員

R7年在宅介護サービス事業者 (N=236)



②外国人職員

R7年在宅介護サービス事業者 (N=236)



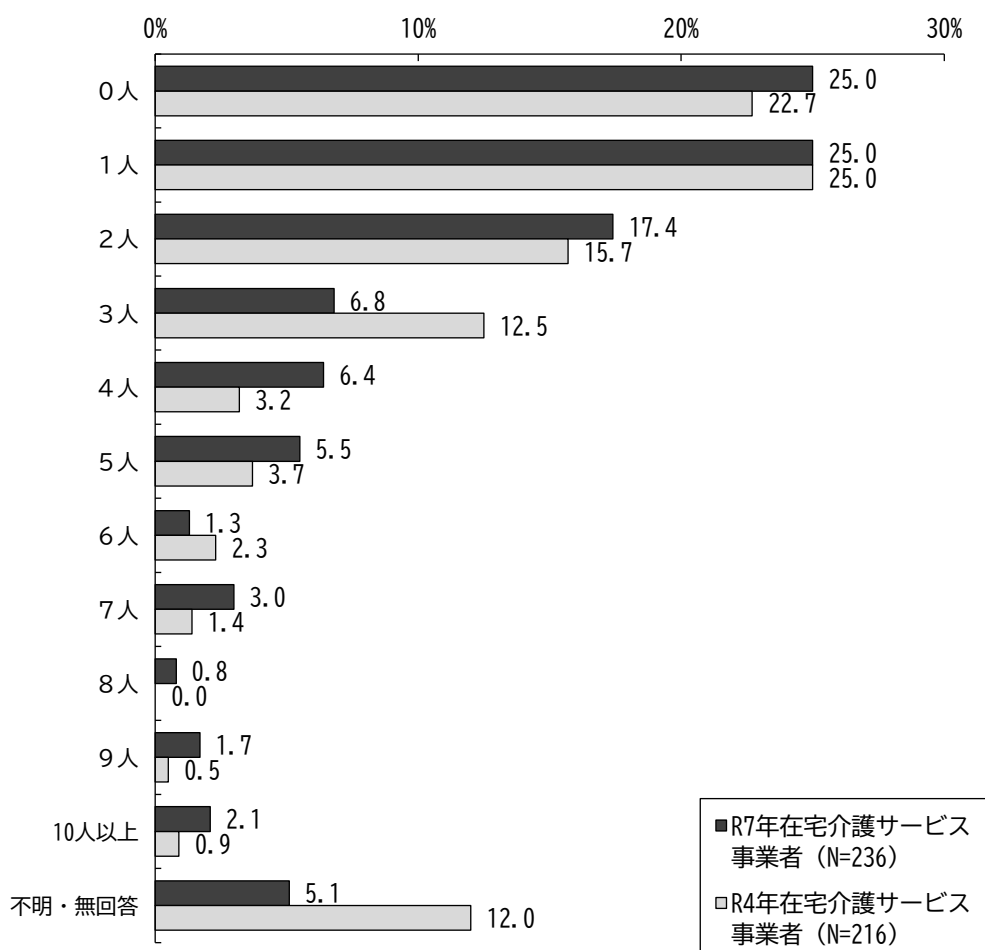
問4. 令和7年11月1日時点で、開設から1年以上を経過している事業所にお伺いします。過去1年間（令和6年11月1日～令和7年10月31日）の介護職員（看護職・リハ職等を含む）の採用者数と離職者数をご記入ください。

【数量回答】

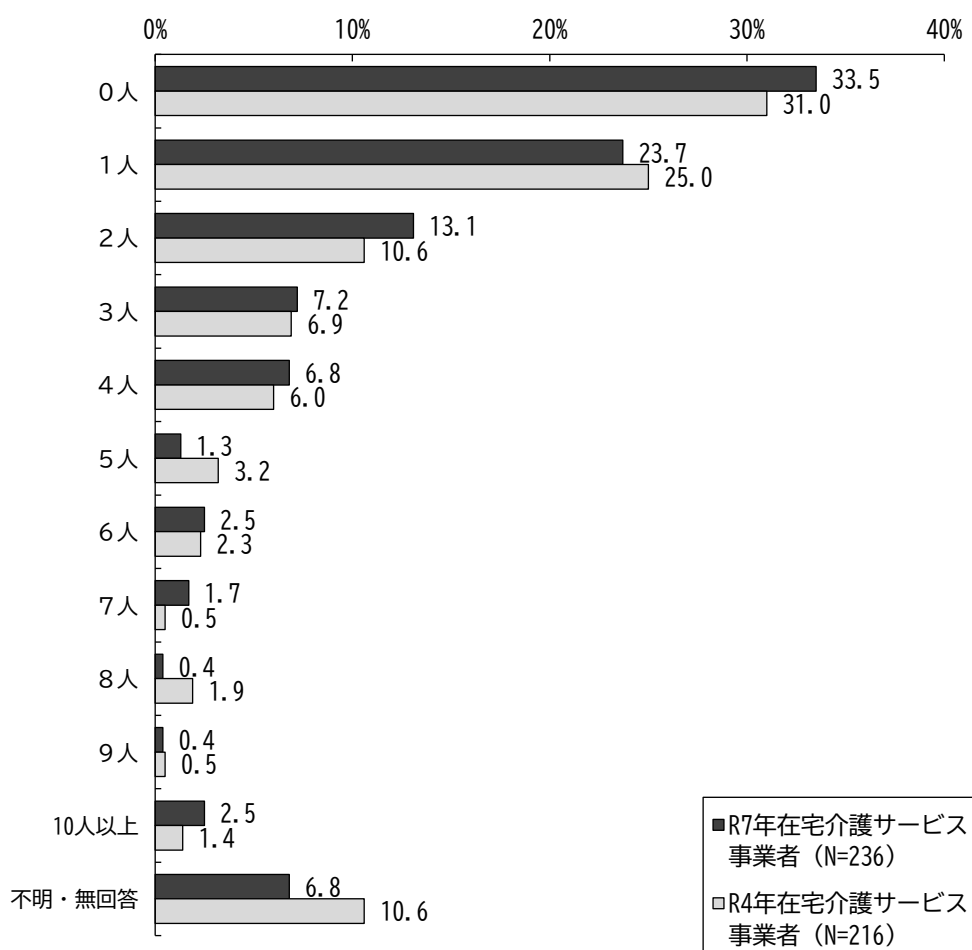
①採用者数については、「0人」と「1人」がそれぞれ25.0%で最も多くなっています。

②離職者数については、「0人」が33.5%で最も多く、次いで「1人」が23.7%となっています。

①採用者数



②離職者数



問5. 問4の採用者・離職者について、常勤・非常勤の別・年齢別をご記入ください。【数量回答】

勤務形態別に、回答された年齢別の人数を合計し、それぞれの年齢別割合を集計しました。

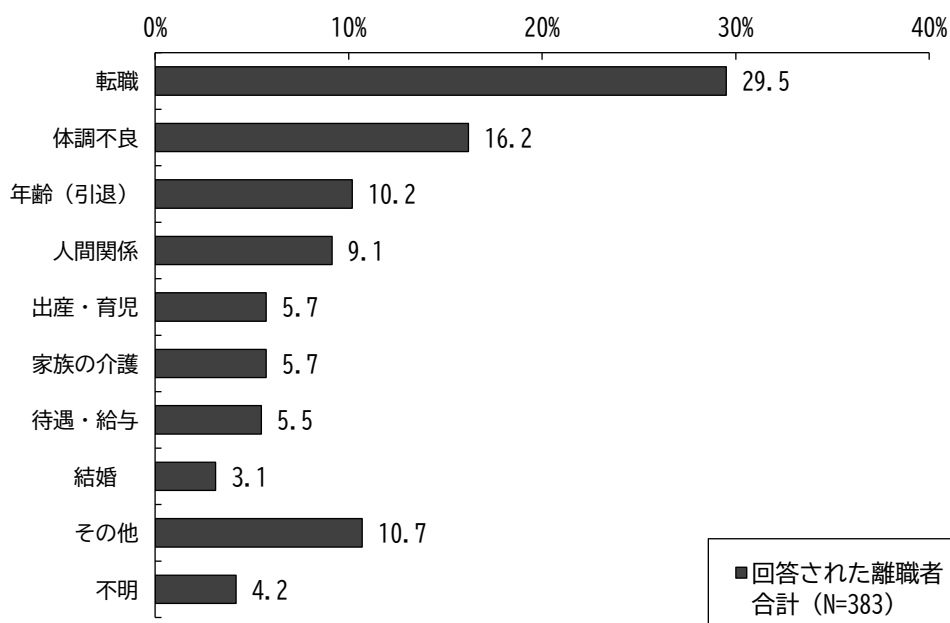
常勤職員の採用については「20～29歳」、非常勤職員の採用については「40～49歳」、常勤職員の離職については「40～49歳」、非常勤職員の離職については「40～49歳」がそれぞれ最も多くなっています。

		回答事業所数 (事業所)	合計人数 (人)	年齢別割合 (%)							
				20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	年齢不明
採用	常勤職員	106	291	2.7	26.5	19.6	23.7	19.9	6.2	1.4	0.0
	非常勤職員	121	315	1.3	7.3	17.1	29.5	17.8	17.5	8.3	1.3
離職	常勤職員	82	174	1.7	24.1	12.6	25.9	23.0	11.5	1.1	0.0
	非常勤職員	106	213	0.0	8.5	14.6	23.0	19.7	20.7	12.2	1.4

問6. 問5で回答した離職者の離職理由について、可能な範囲で件数をお答えください。1人の退職者につき、主なもの1つを数えてください。【数量回答】

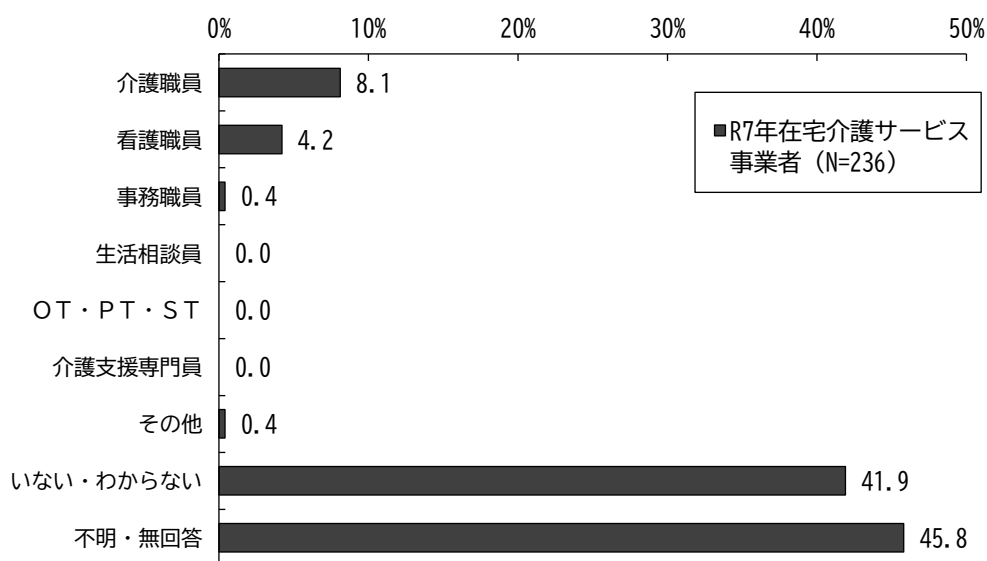
離職者の離職理由別の人数について、回答された人数の合計である383人について、理由別の割合を集計しました。

「転職」が29.5%で最も多く、次いで「体調不良」が16.2%、「年齢（引退）」が10.2%となっています。



問7. 家族の介護で離職された職員がいた場合、その職種をお聞かせください。【複数回答】

「介護職員」と回答した事業所が8.1%、「看護職員」が4.2%となっています。

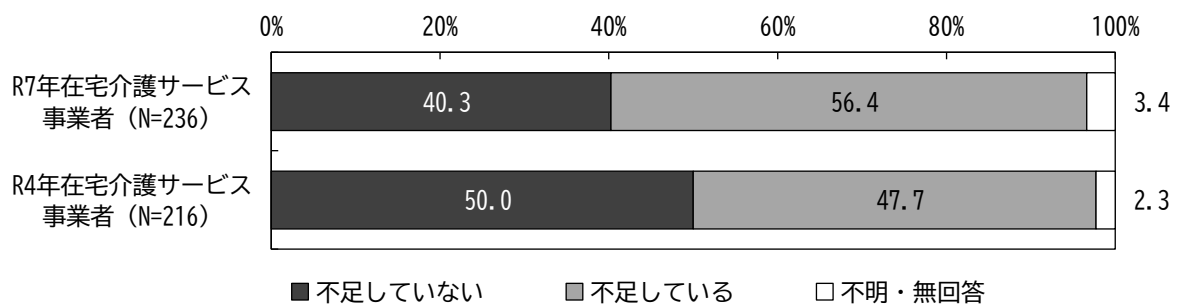


問8. 現在の業務を行ううえで、介護職員（看護職・リハ職等を含む）の人数が不足していますか。不足している場合は、不足人数（常勤職員として）もお答えください。

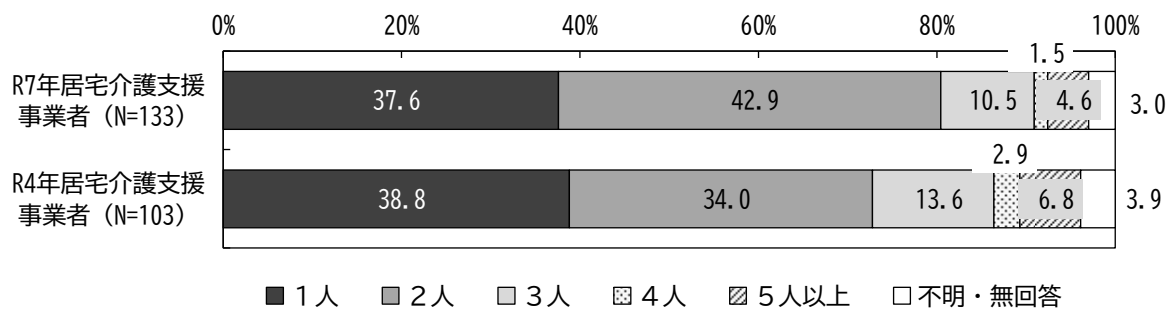
「不足している」が56.4%となっています。

前回調査と比べると「不足している」が増加しています。

不足している人数については、「2人」が42.9%で最も多く、次いで「1人」が37.6%となっています。

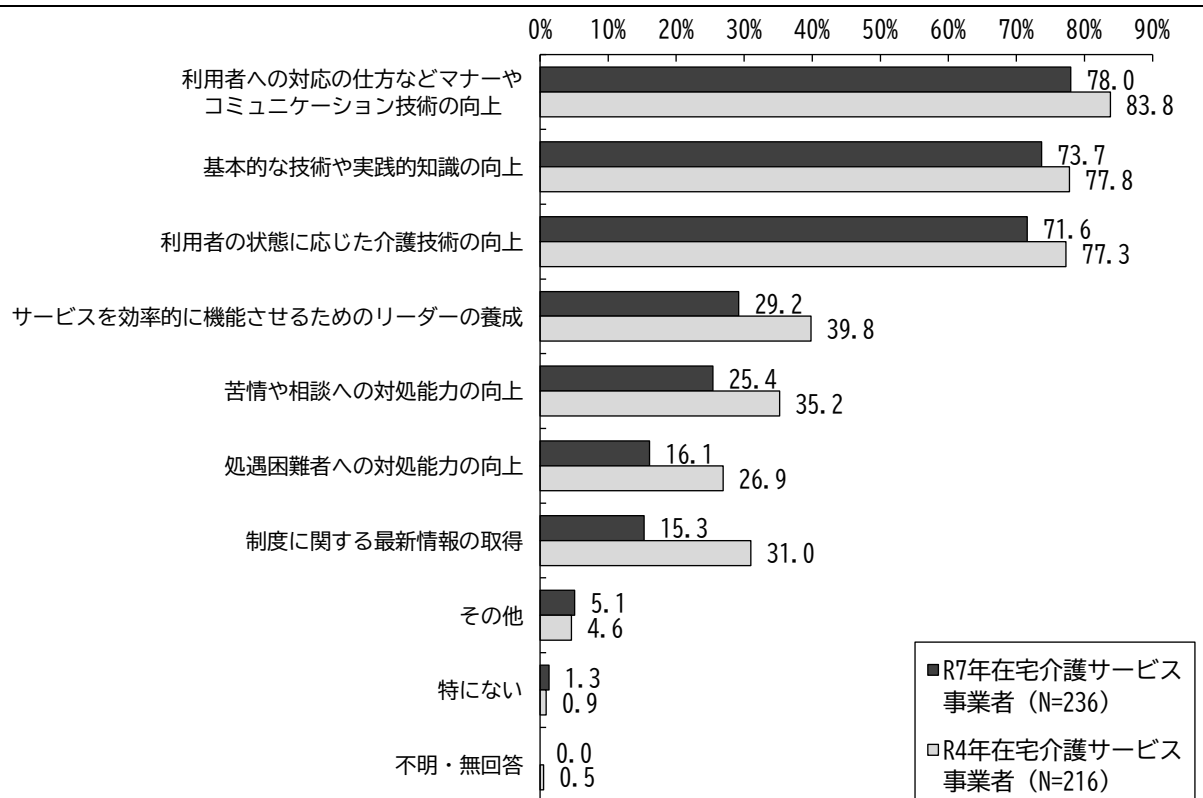


不足人数



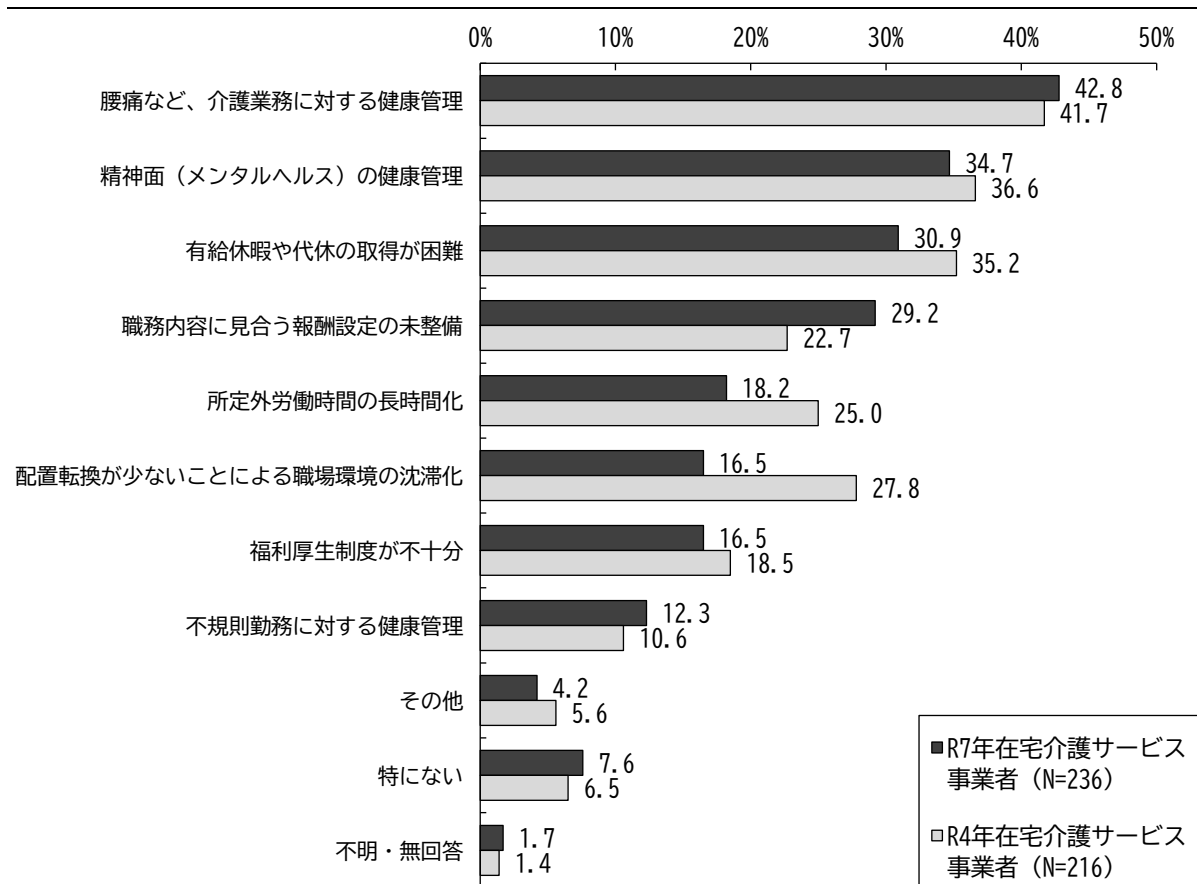
問9. 職員の質の確保・向上を図るために、どのような点を重視して取り組んでいますか。【複数回答】

「利用者への対応の仕方などマナーやコミュニケーション技術の向上」が78.0%で最も多く、次いで「基本的な技術や実践的知識の向上」が73.7%、「利用者の状態に応じた介護技術の向上」が71.6%となっています。



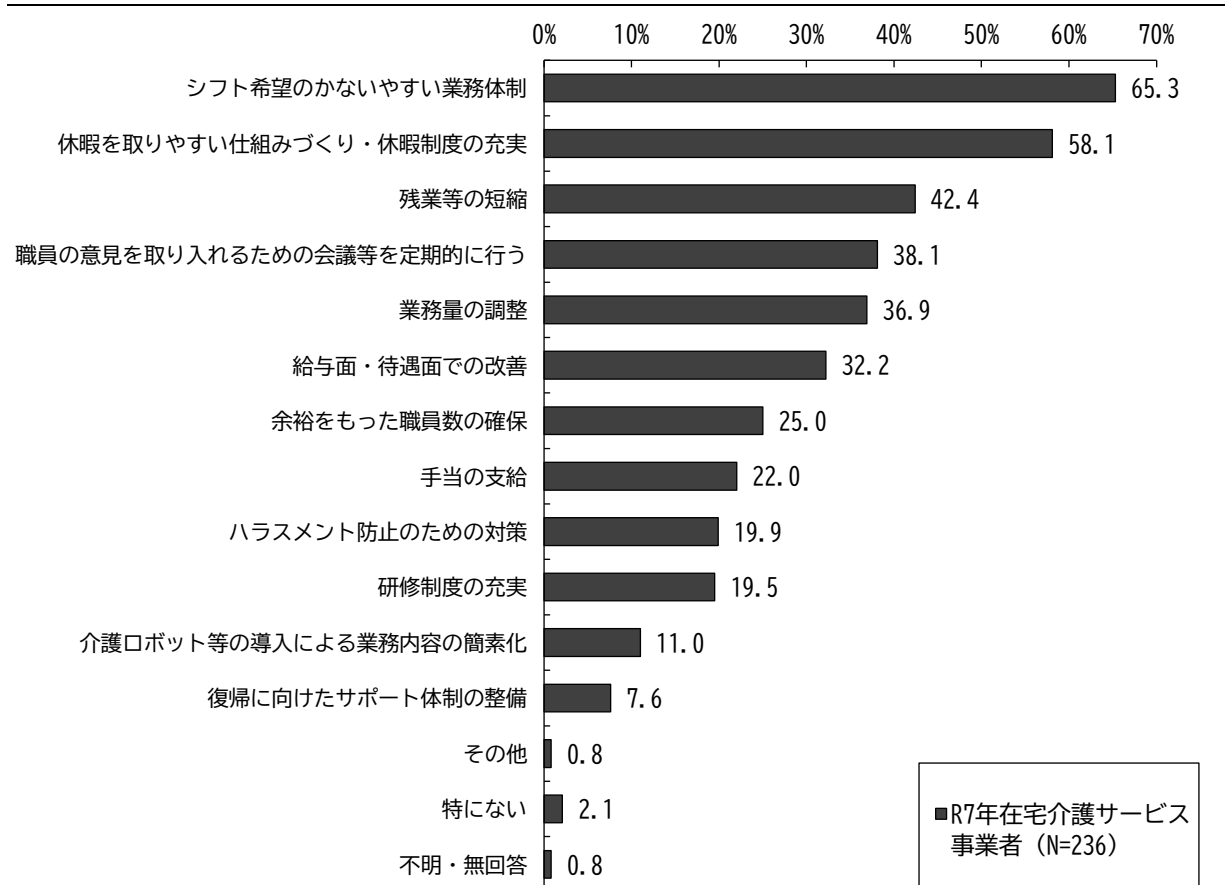
問 10. 職員の処遇における課題は何ですか。【複数回答】

「腰痛など、介護業務に対する健康管理」が42.8%で最も多く、次いで「精神面（メンタルヘルス）の健康管理」が34.7%、「有給休暇や代休の取得が困難」が30.9%となっています。



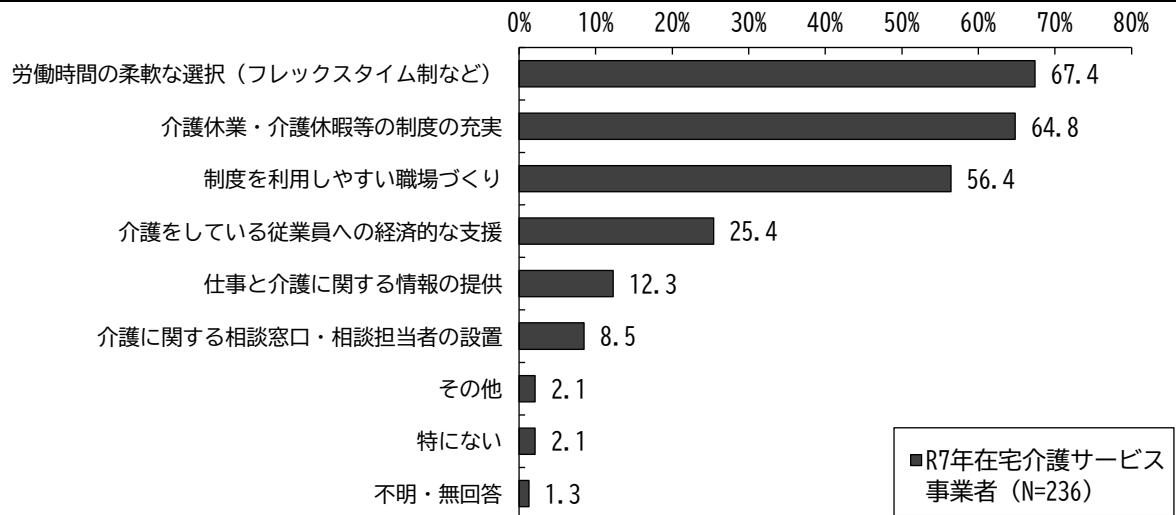
問 11. 職員の労働条件、労働環境の改善及び定着促進、離職防止のために工夫していることは何ですか。【複数回答】

「シフト希望のかないやすい業務体制」が65.3%で最も多く、次いで「休暇を取りやすい仕組みづくり・休暇制度の充実」が58.1%となっています。



問 12. 介護サービス事業者の職員にとって、家族に介護が必要になった場合、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。【3つまで複数回答】

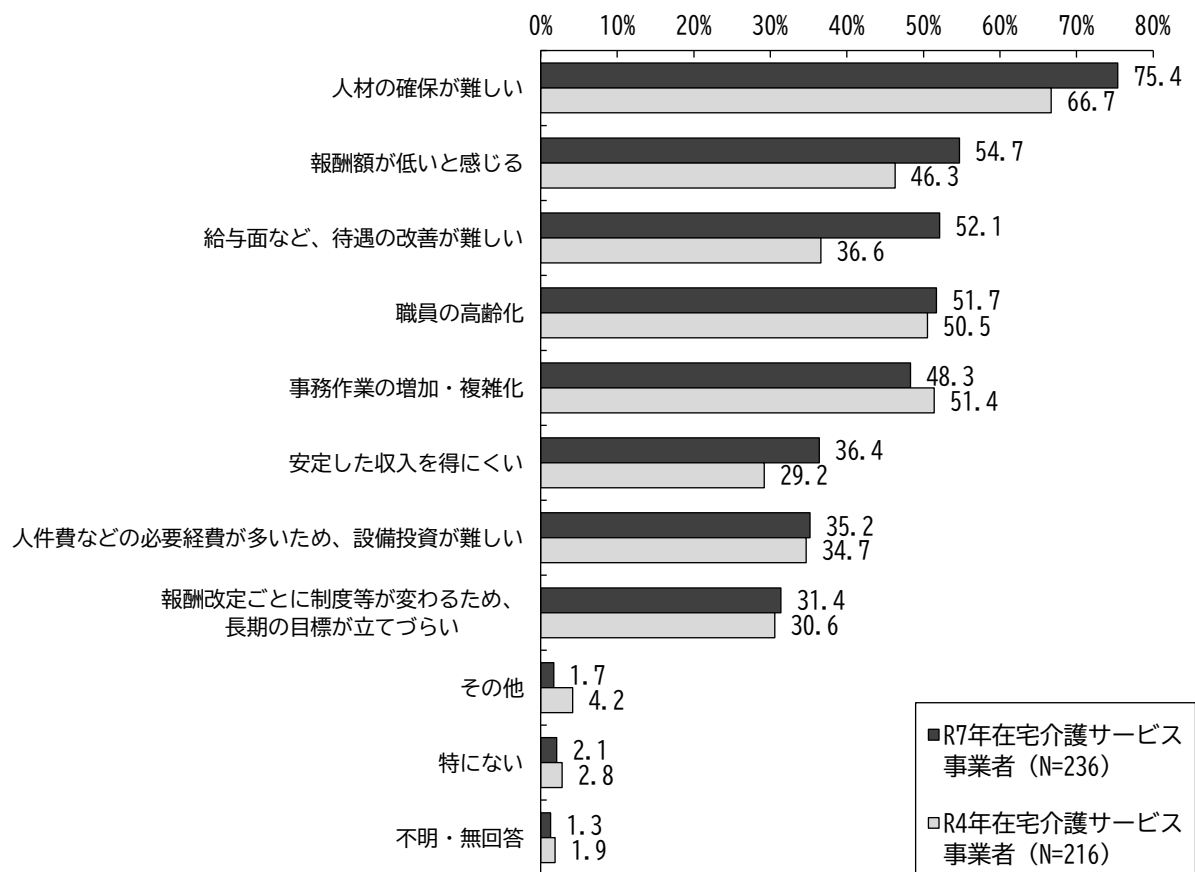
「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が67.4%で最も多く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が64.8%、「制度を利用しやすい職場づくり」が56.4%となっています。



問 13. 経営面における問題点や課題は何ですか。【複数回答】

「人材の確保が難しい」が75.4%で最も多く、次いで「報酬額が低いと感じる」が54.7%、「給与面など、待遇の改善が難しい」が52.1%です。

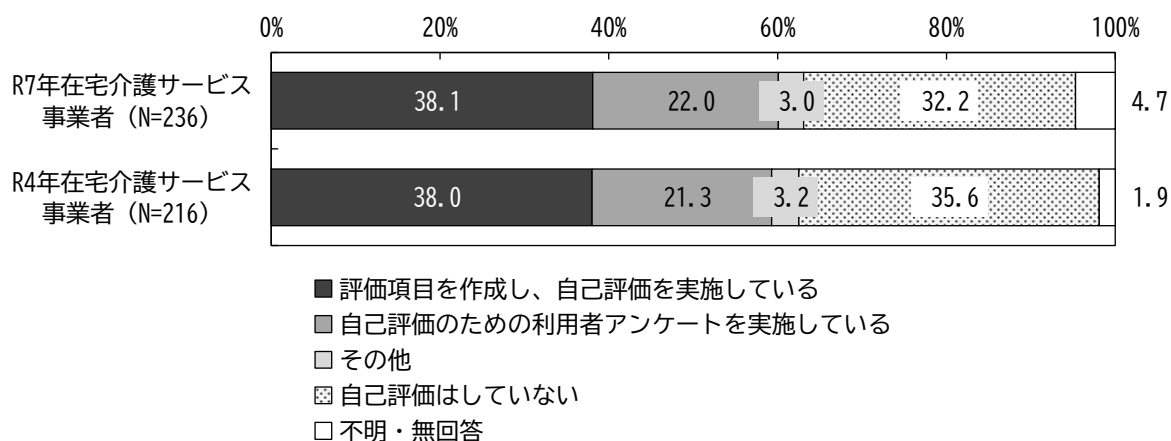
前回調査と比べると、上位の項目で回答が増加しています。



2 提供サービスの状況について

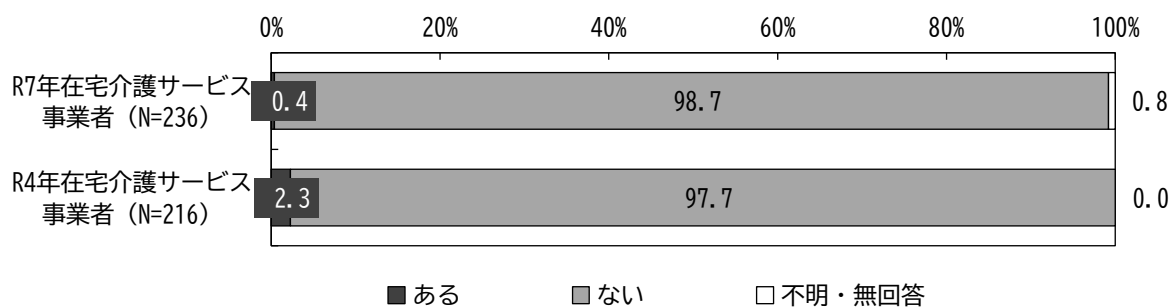
問 14. サービスの自己評価をしていますか。

「評価項目を作成し、自己評価を実施している」が38.1%で最も多く、次いで「自己評価はしていない」が32.2%となっています。



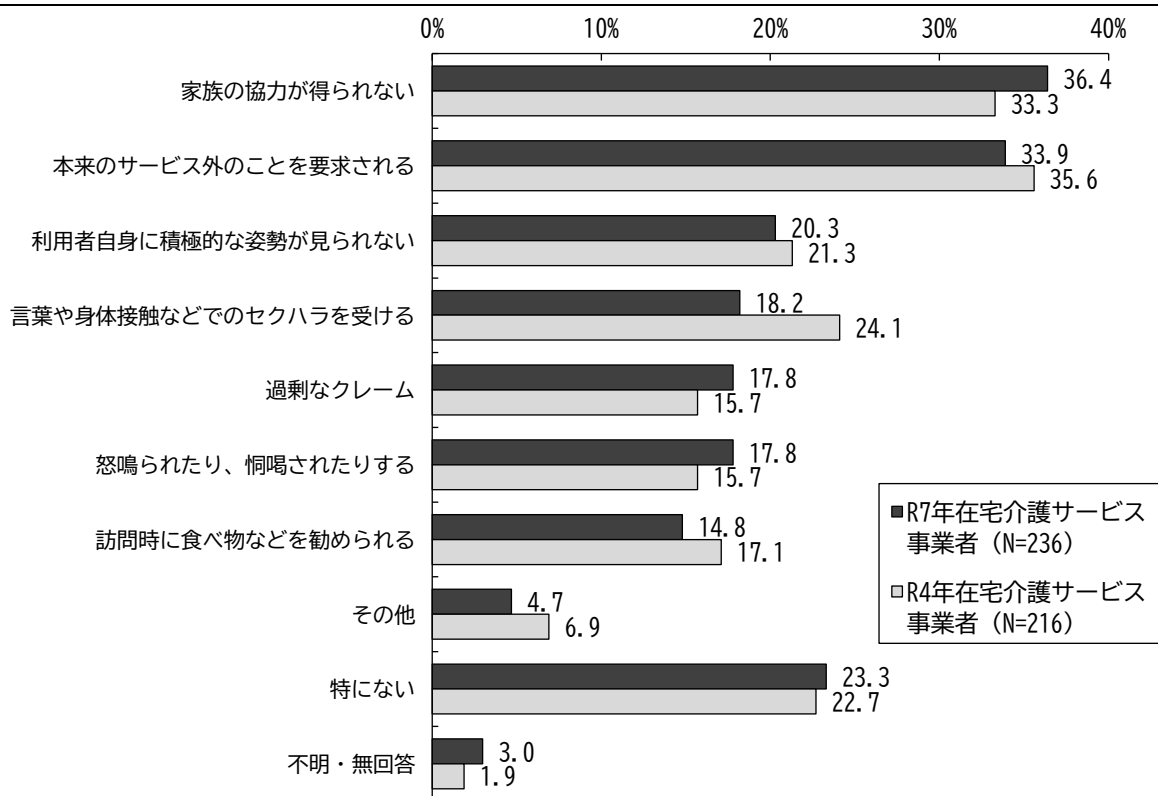
問 15. 利用者等の苦情から、第三者機関の介入や訴訟などに発展した事例はありますか。

「ある」が0.4%（1件）となっています。



問 16. 利用者に関することで、お困りのことは何ですか。【複数回答】

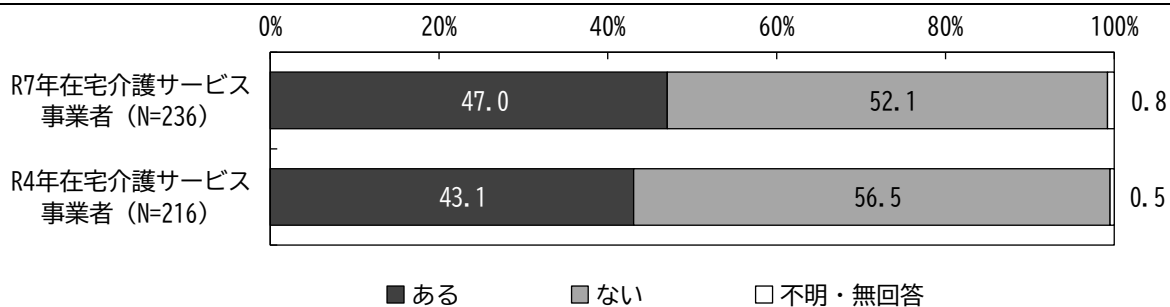
「家族の協力が得られない」が36.4%で最も多く、次いで「本来のサービス外のことを要求される」が33.9%となっています。



問 17. サービス提供を断っている事例はありますか。

「ある」が47.0%となっています。

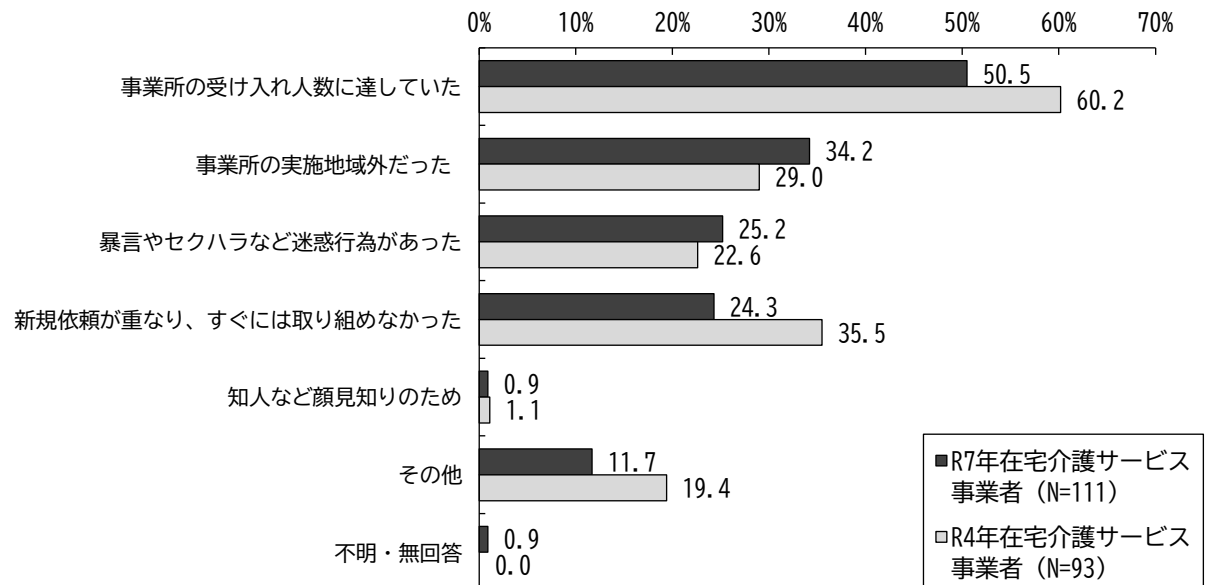
前回調査と比べると、「ある」がやや増加しています。



【問 17 で「ある」と回答した事業者のみ】

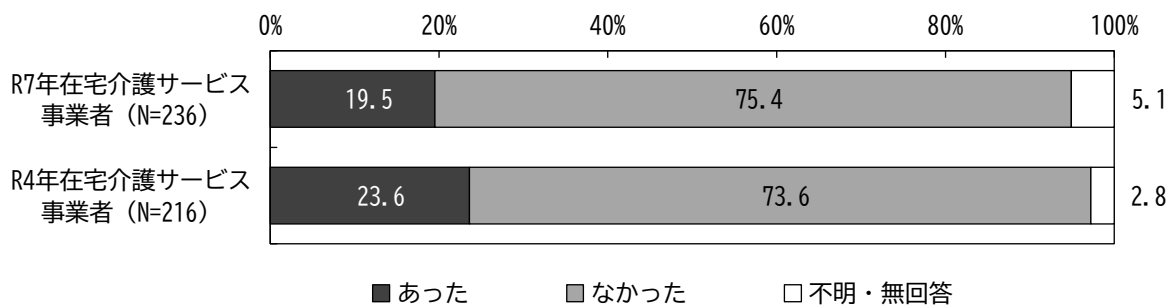
それはどのような内容でしたか。【複数回答】

「事業所の受け入れ人数に達していた」が 50.5% で最も多く、次いで「事業所の実施地域外だった」が 34.2% となっています。



問 18. 適切な介護サービスを提供することが困難であると自ら認めた場合は、居宅介護支援事業者への連絡や適当な他の事業所の紹介など、必要な措置を講じることになっていますが、貴事業所でサービス提供が困難な事例がありましたか。

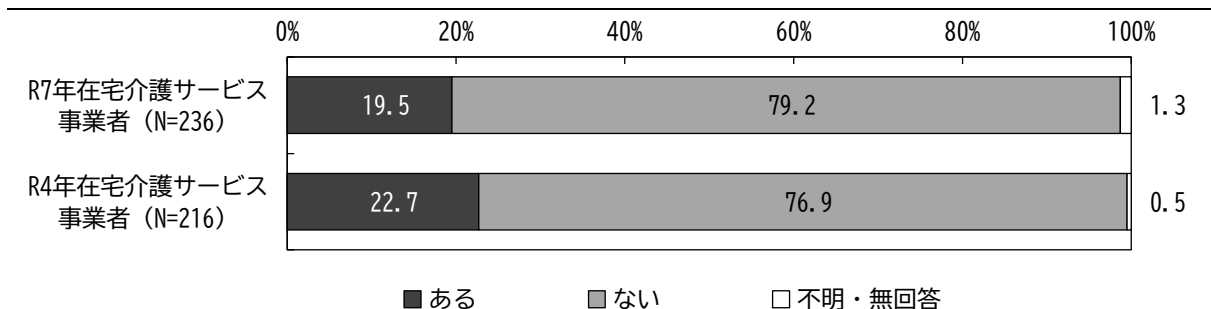
「あった」が 19.5% となっています。



3 高齢者虐待・リスクマネジメントについて

問 19. サービスを提供している要介護者の中で、高齢者虐待を受けている又は受け
ていると思われる事例がありますか。

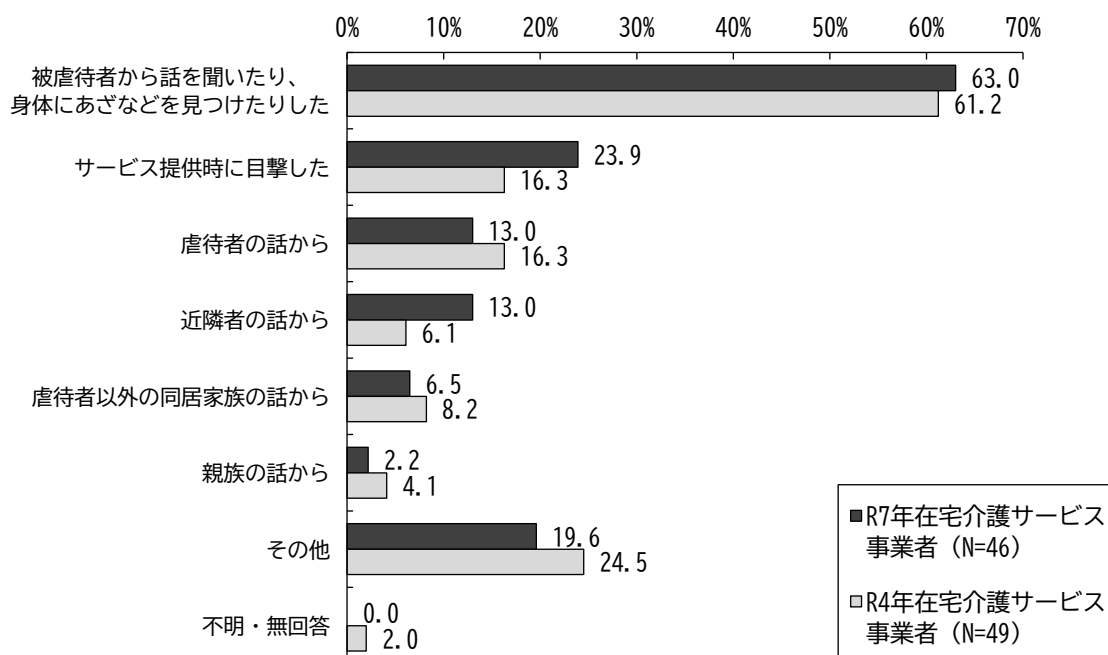
「ある」が19.5%となっています。



【問 19 で「ある」と回答した事業者のみ】

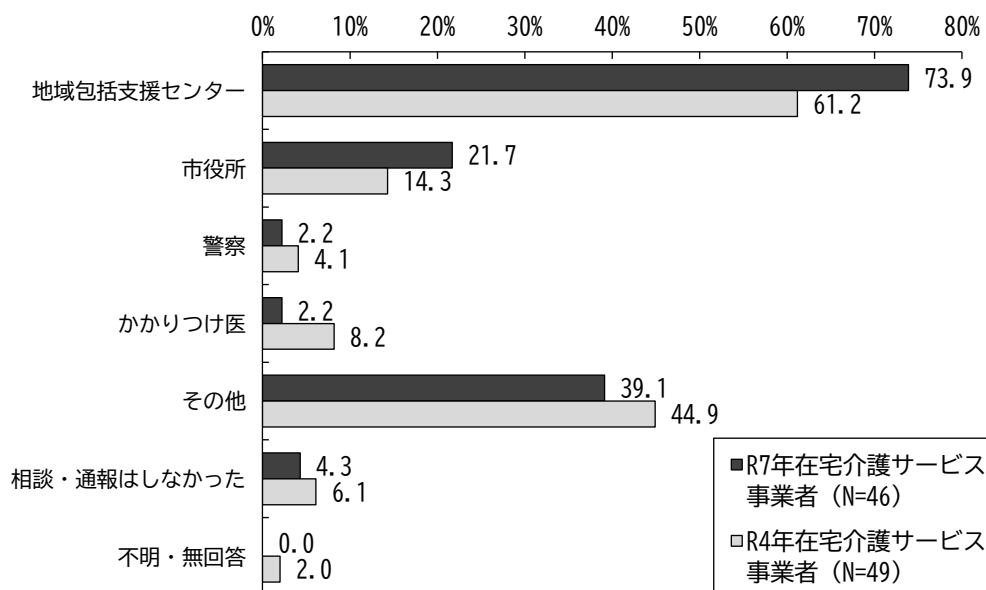
①それは、どのようにしてわかりましたか。【複数回答】

「被虐待者から話を聞いたり、身体にあざなどを見つけたりした」が63.0%で最も多く、
次いで「サービス提供時に目撃した」が23.9%となっています。



②相談・通報先はどこですか。【複数回答】

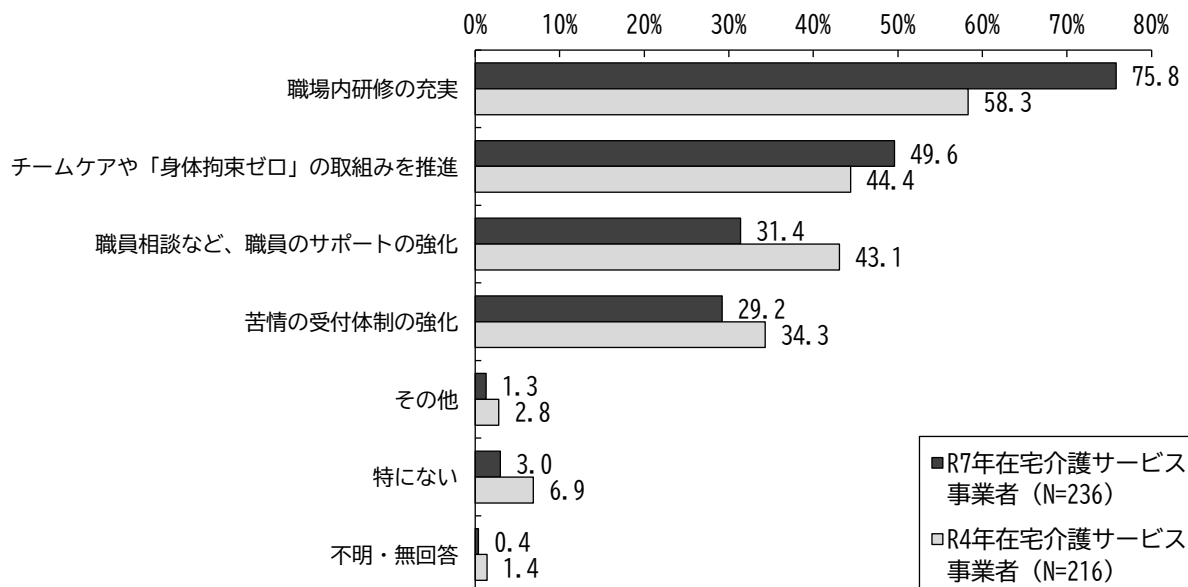
「地域包括支援センター」が73.9%で最も多く、次いで「その他」が39.1%となっています。



問 20. 虐待予防に関して、どのような取組みをしていますか。【複数回答】

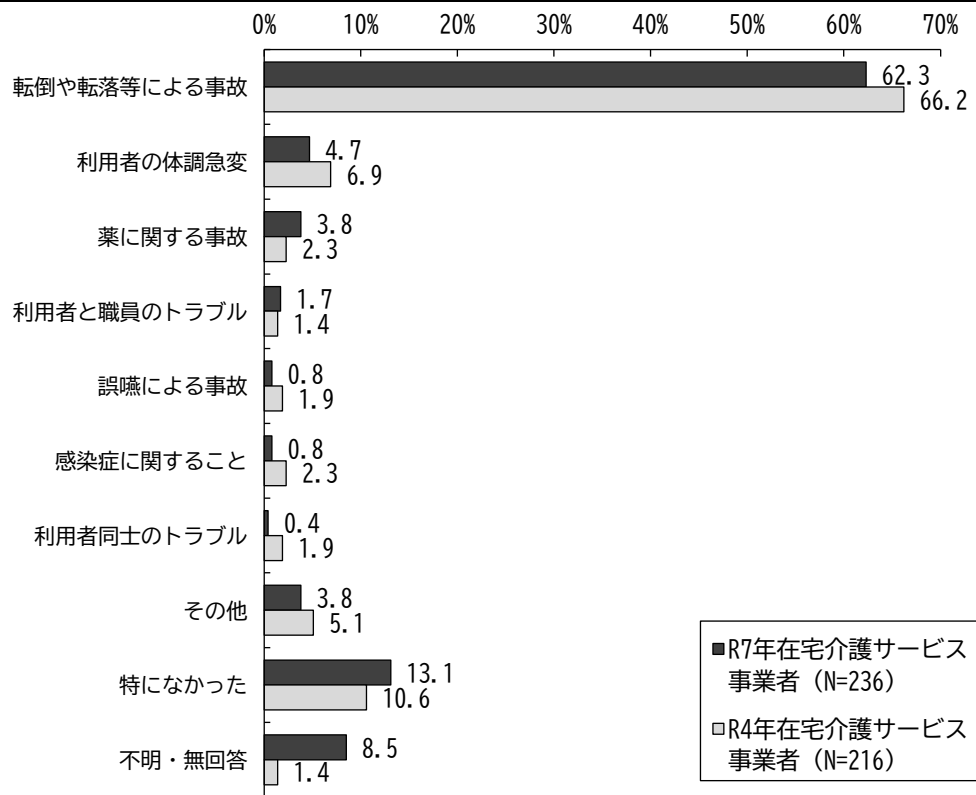
「職場内研修の充実」が75.8%で最も多く、次いで「チームケアや「身体拘束ゼロ」の取組みを推進」が49.6%となっています。

前回調査と比べると「職場内研修の充実」が増加しています。



問 21. 事故や事故につながりかねない事柄（ヒヤリハット）についての報告で、最も多かった報告事例は何ですか。

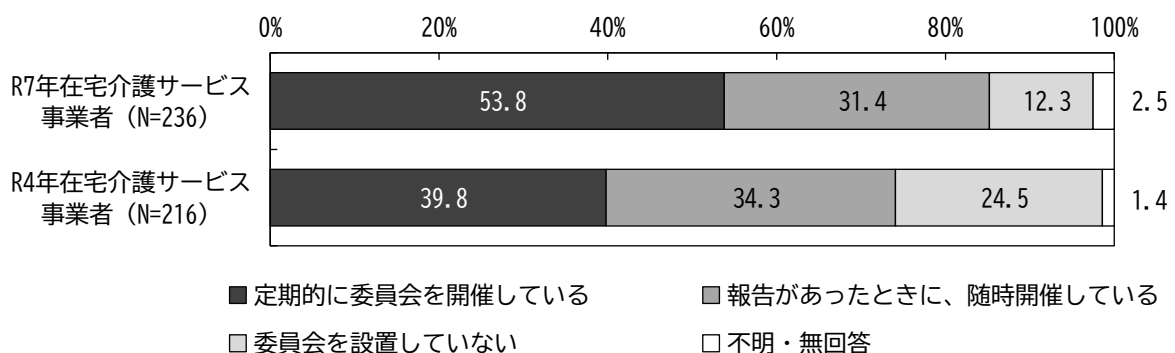
「転倒や転落等による事故」が62.3%で最も多くなっています。



問 22. 現場から出された報告書を分析・検討する安全管理のための委員会（またはリスク管理委員会）を開催していますか。

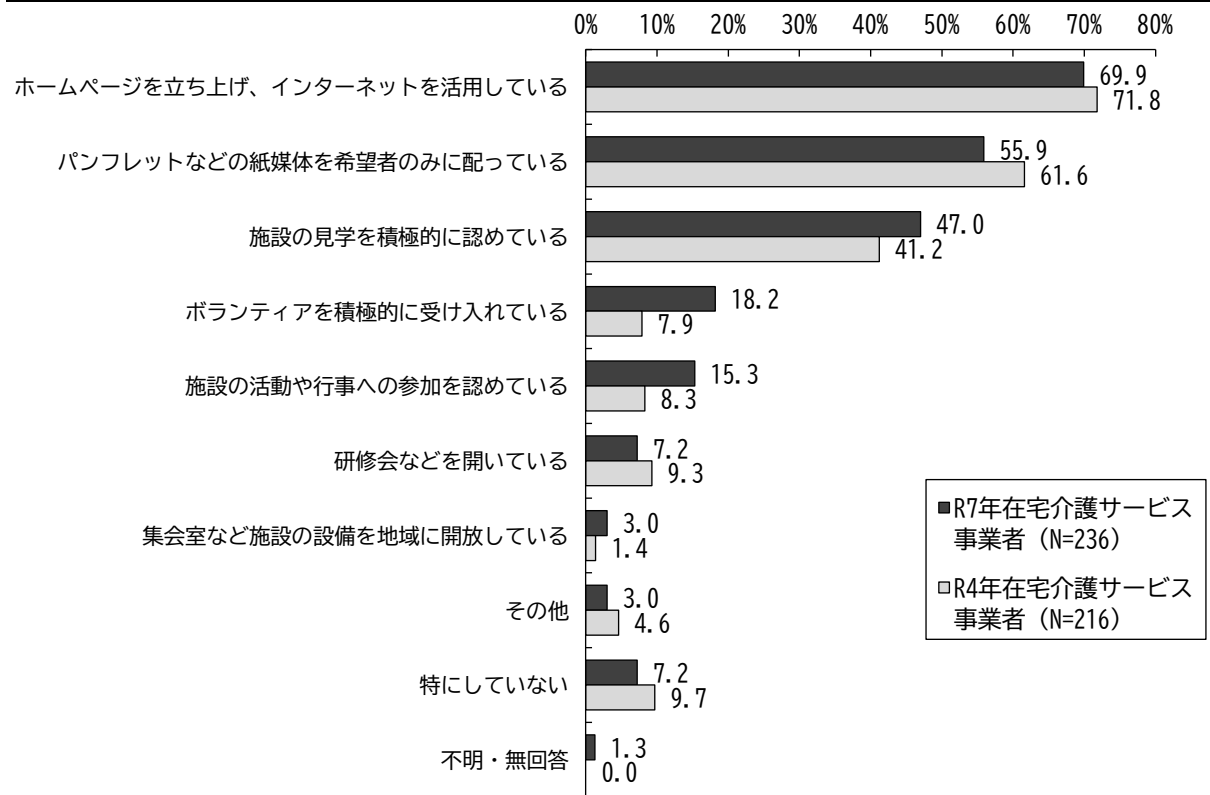
「定期的に委員会を開催している」が53.8%で最も多くなっています。

前回調査と比べると、「定期的に委員会を開催している」が増加し、「委員会を設置していない」が減少しています。



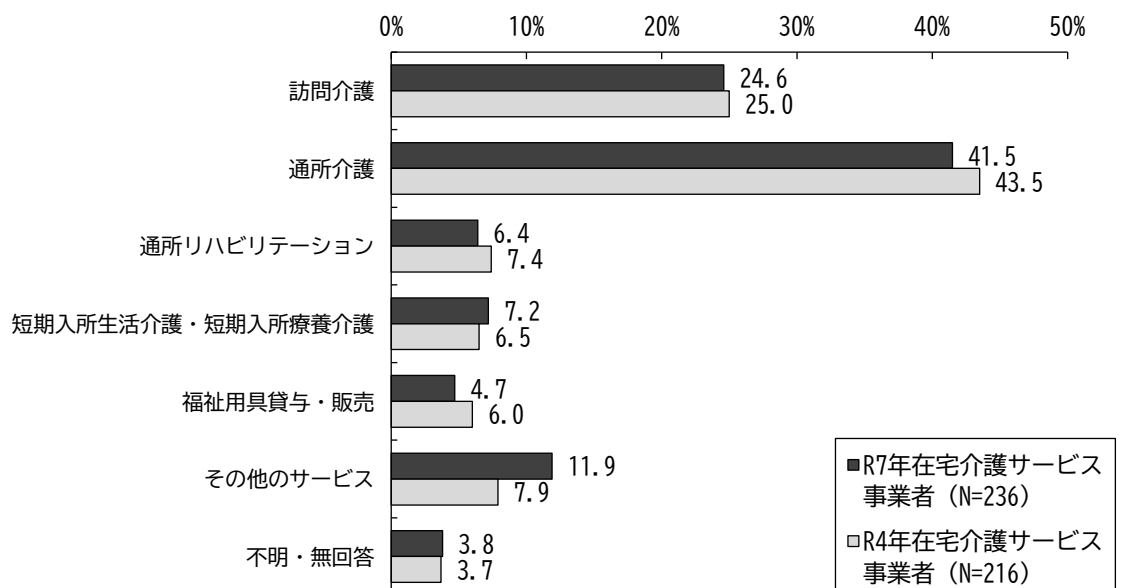
問 23. 施設やサービスについて、どのように情報発信していますか。【複数回答】

「ホームページを立ち上げ、インターネットを活用している」が69.9%で最も多く、次いで「パンフレットなどの紙媒体を希望者のみに配っている」が55.9%となっています。



問 24. 貴事業所の事業種別をお答えください。

「通所介護」が41.5%で最も多く、次いで「訪問介護」が24.6%となっています。

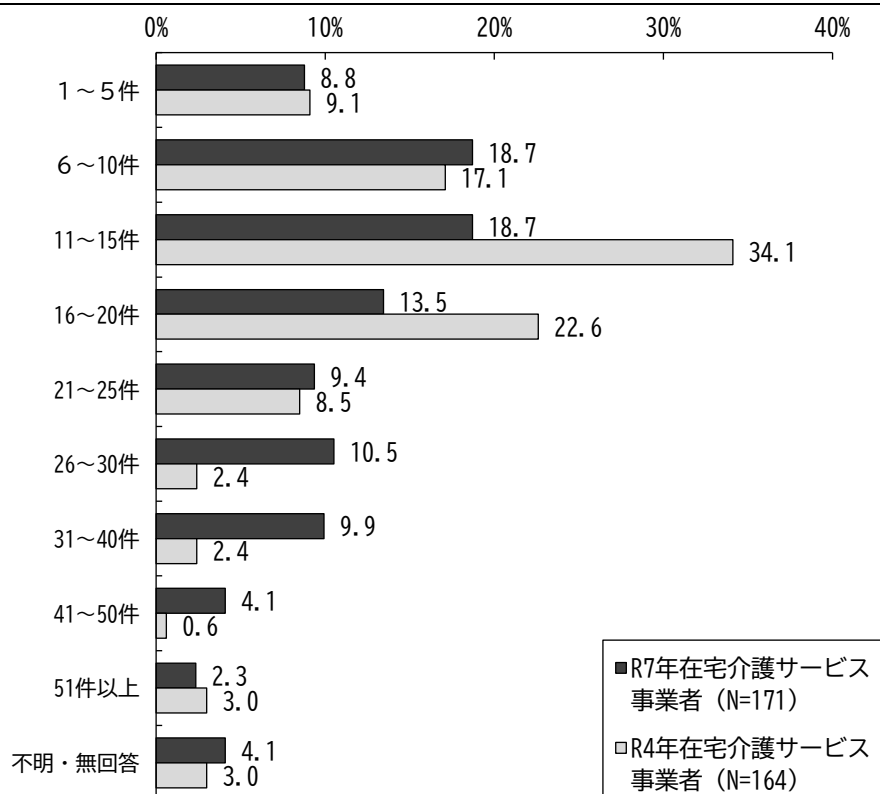


4 事業種別の状況について

【問 25、26 は訪問介護事業者、通所介護事業者、通所リハビリテーション事業者のみ】

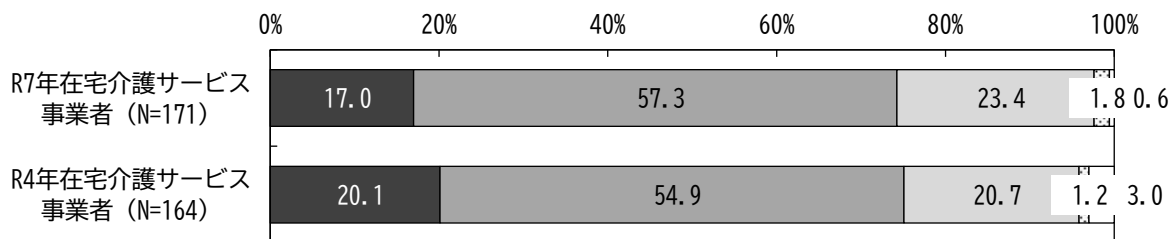
問 25. 貴事業所全体における1日あたりのサービス実施件数（人数）は、平均で何件（人）程度ですか。【数量回答】

「6～10件」と「11～15件」が18.7%で最も多くなっています。



問 26. サービスの提供状況について、次のどれに近いですか。

「手一杯の時期もあるが、若干余裕がある時期もある」が57.3%で最も多くなっています。



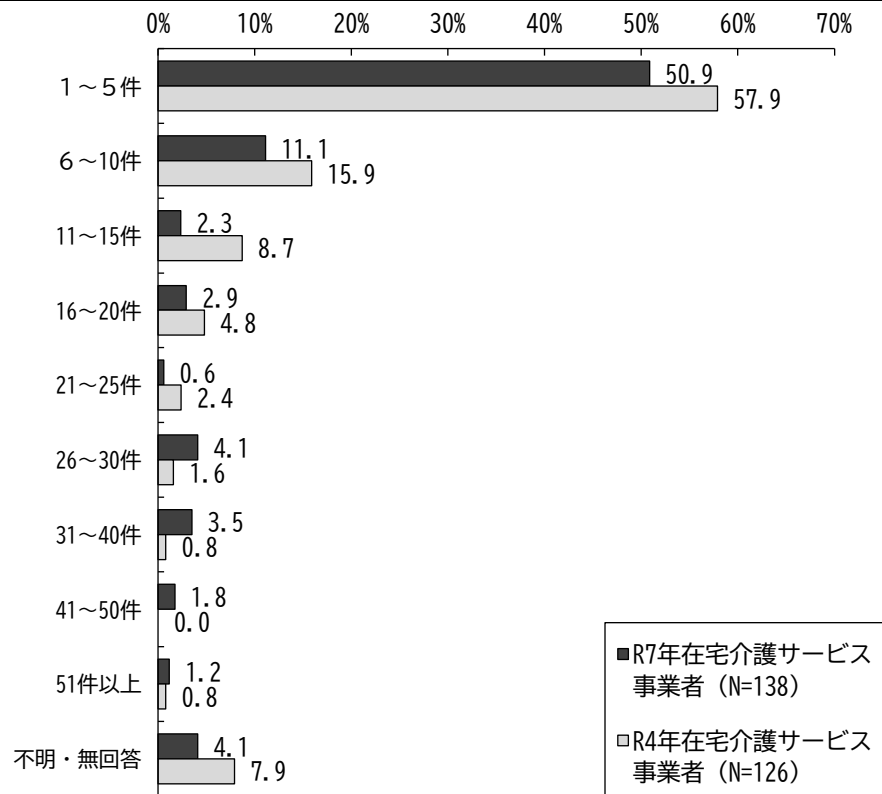
- 手一杯であり、現行の体制ではこれ以上対応できない
- 手一杯の時期もあるが、若干余裕がある時期もある
- 余裕があり、もっと対応できる状況である
- その他
- 不明・無回答

【問 26 で「手一杯であり、現行の体制ではこれ以上対応できない」以外に回答した事業者のみ】

事業所全体で、1日あたりあと何件（人）程度のサービス提供が可能ですか。

【数量回答】

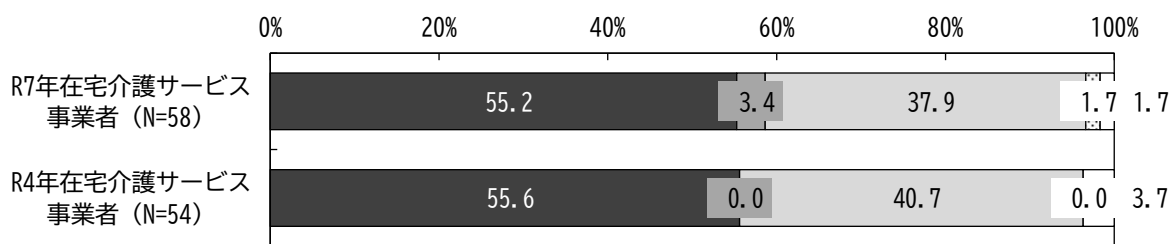
「1～5件」が50.9%で最も多くなっています。



【問 27～問 30 は訪問介護事業者のみ】

問 27. 夜間、早朝、深夜の訪問介護の実施予定はありますか。

「すでに実施している」が55.2%、「予定している」が3.4%となっています。

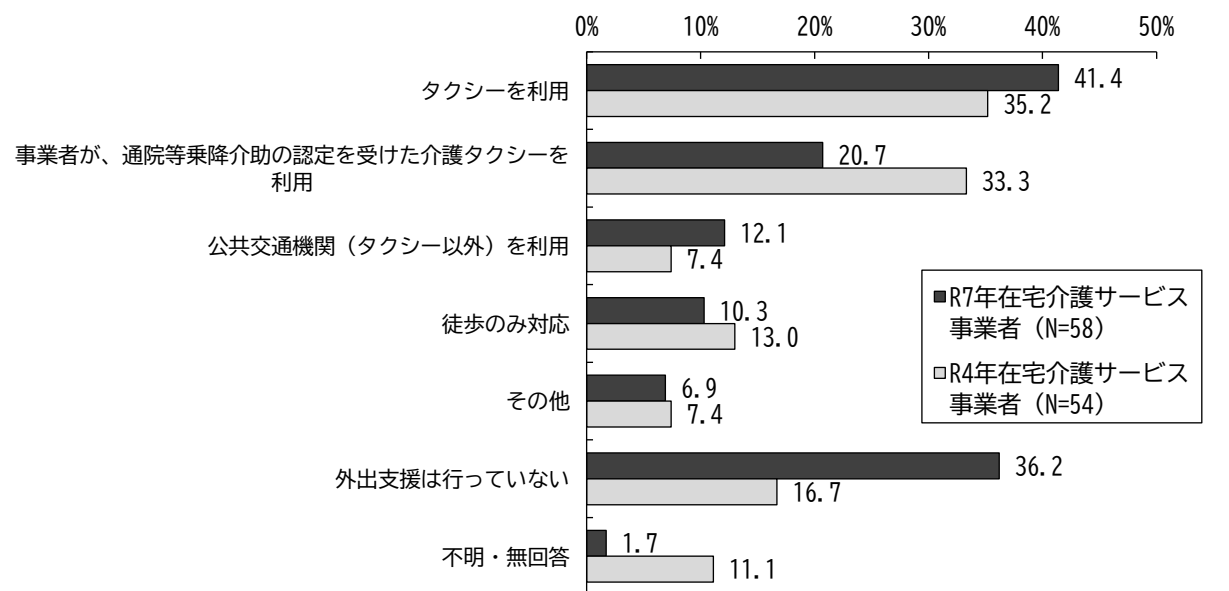


■すでに実施している ■ 予定している □ 予定はない ▨ その他 □ 不明・無回答

問 28. 通院等の外出支援時の交通手段について、どのように対応していますか。

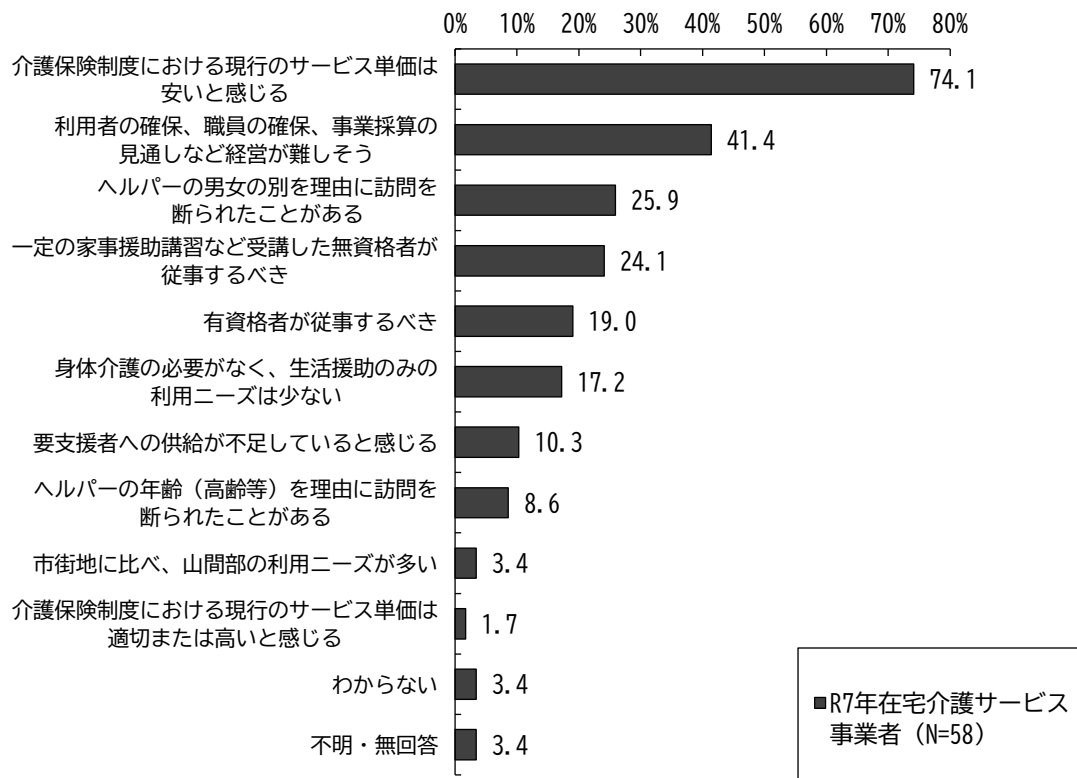
【複数回答】

「タクシーを利用」が41.4%で最も多く、次いで「外出支援は行っていない」が36.2%となっています。



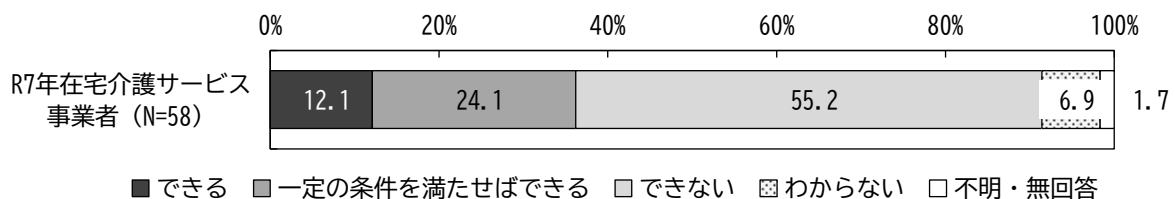
問 29. 生活援助（家事援助）のサービス提供体制の考え方や利用ニーズについて、
あてはまるものをお答えください。【複数回答】

「介護保険制度における現行のサービス単価は安いと感じる」が74.1%で最も多く、次いで「利用者の確保、職員の確保、事業採算の見通しなど経営が難しそう」が41.4%となっています。



問 30. 無資格の方を採用することはできますか。

「できない」が55.2%で最も多く、次いで「一定の条件を満たせばできる」が24.1%となっています。



【問 31～33 は短期入所生活介護事業者・短期入所療養介護事業者のみ】

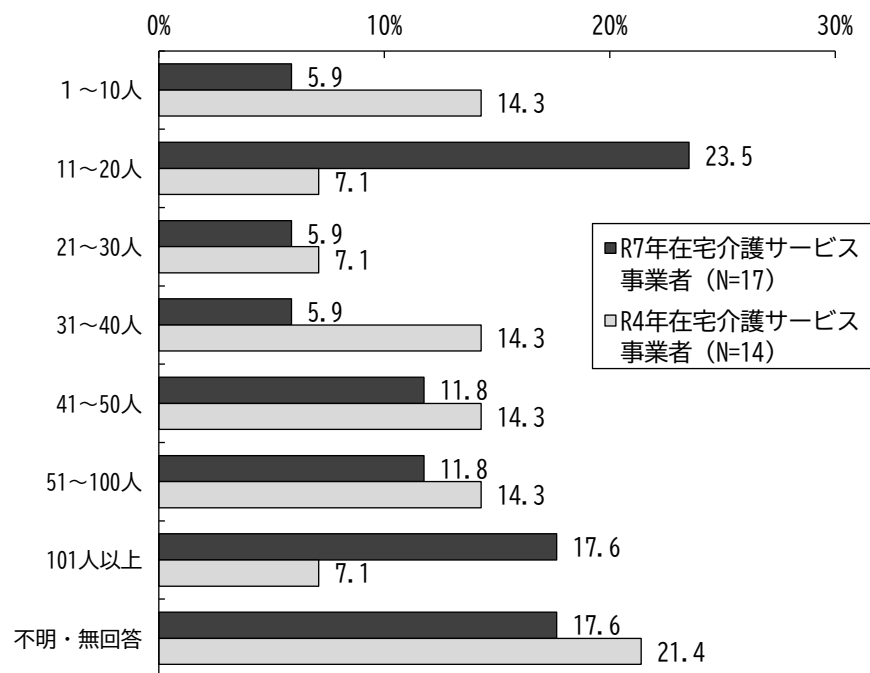
問 31. 貴事業所におけるサービス実施件数について、月あたりの実利用人数は平均で何人くらいですか。また、延べ利用人数は、平均で何人くらいですか。

【数量回答】

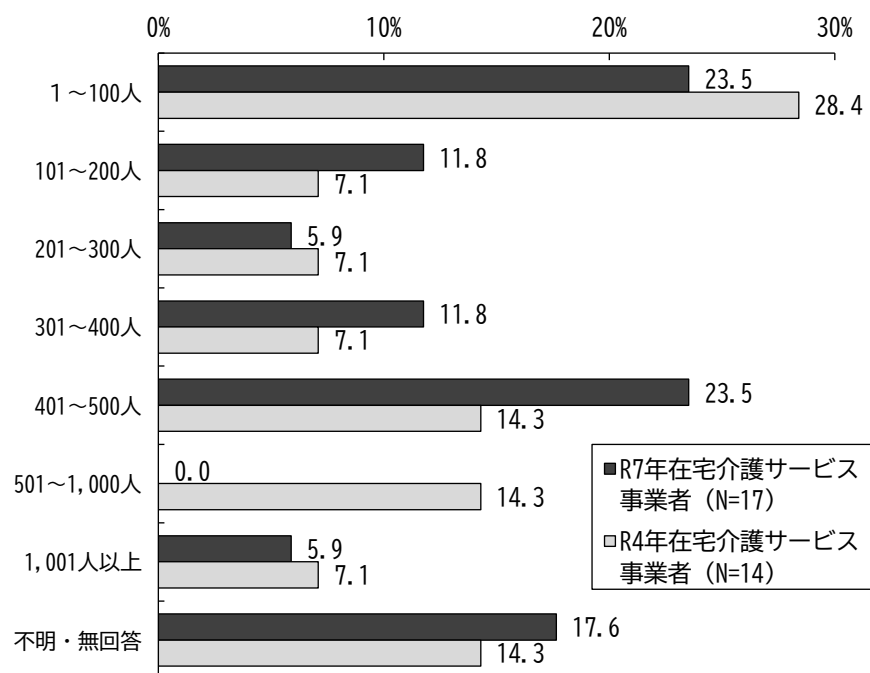
月あたり実利用人数は、「11～20人」が23.5%で最も多くなっています。

月あたり延べ利用人数は「1～100人」と「401～500人」が23.5%で最も多くなっています。

①月あたり実利用人数

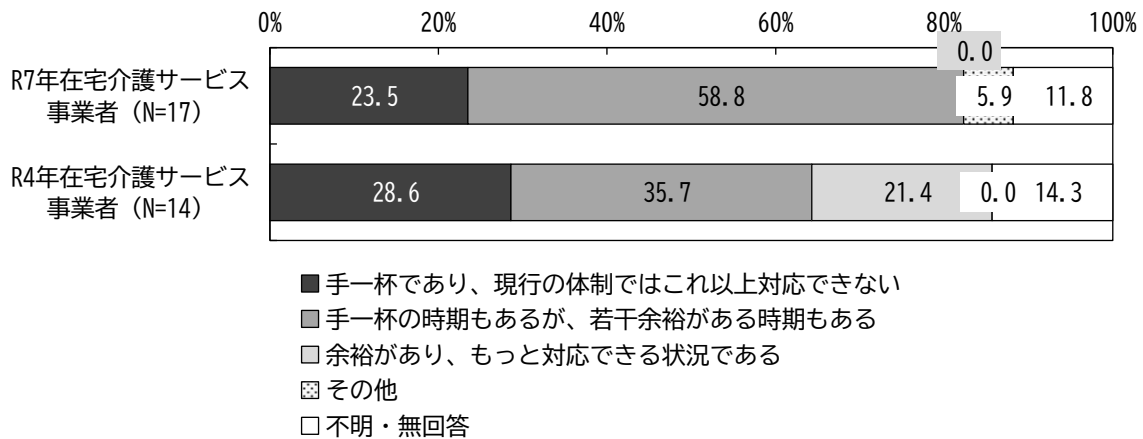


②月あたり延べ利用人数



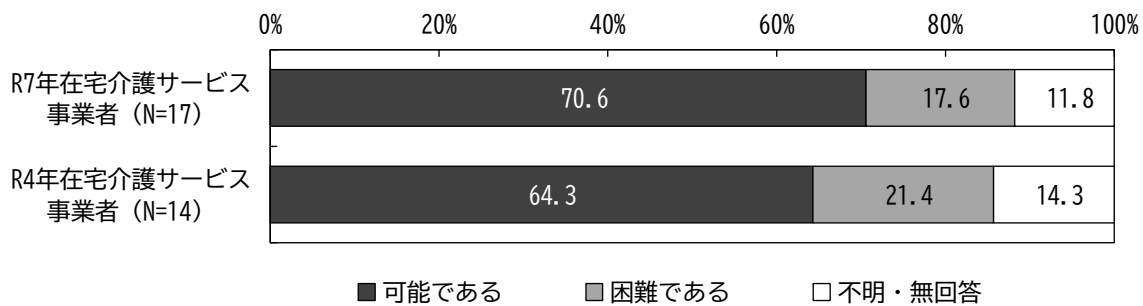
問 32. サービスの提供状況について、次のどれに近いですか。

「手一杯の時期もあるが、若干余裕がある時期もある」が58.8%で最も多くなっています。



問 33. 緊急に利用が必要となった時の対応は可能ですか。

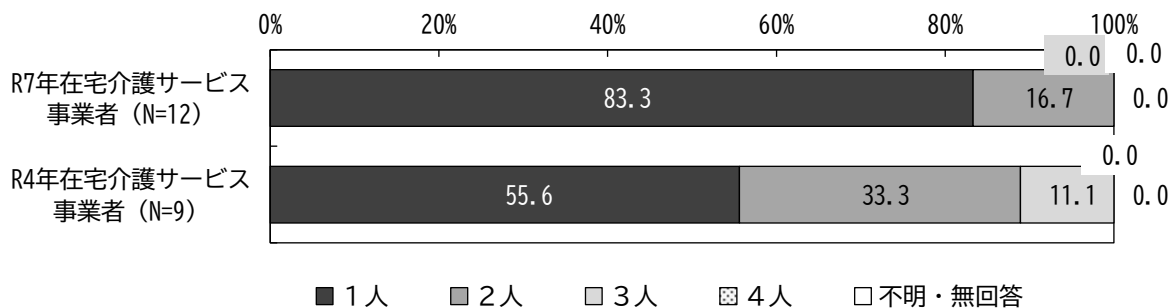
「可能である」が70.6%となっています。



【問 33 で「可能である」と回答した事業者のみ】

緊急時に1日あたり何人程度のサービス提供が可能ですか。【数量回答】

「1人」が83.3%、「2人」が16.7%となっています。



【問 34～36 は福祉用具貸与・販売事業者のみ】

問 34. 貸与件数の多い上位5種目について、その名称、月あたりの平均貸与件数、平均貸与金額をお答えください。

回答のあった11事業所の合計で、最も貸与件数が多かったのは「手すり」の4,118件で、平均貸与金額は3,461円、次いで「特殊寝台付属品」が2,403件で平均貸与金額は2,352円となっています。

回答事業所数：11	月あたりの平均貸与件数合計（件）	平均貸与金額（円）
手すり	4,118	¥3,461
特殊寝台付属品	2,403	¥2,352
歩行器	1,972	¥2,581
特殊寝台	1,678	¥7,308
車いす	1,560	¥7,068
歩行補助杖	269	¥595
スロープ	110	¥1,650

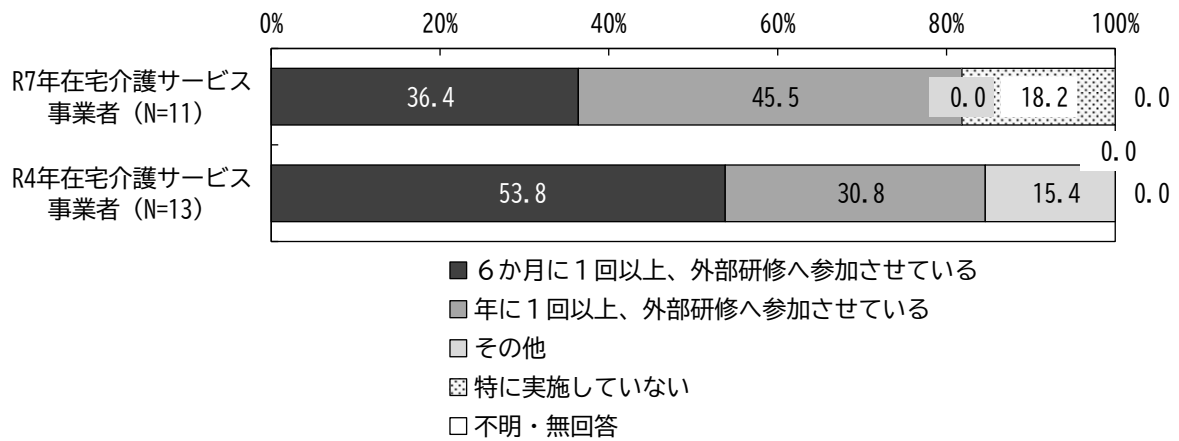
問 35. 販売件数の多い上位5種目について、その名称、月あたりの平均販売件数、平均販売金額をお答えください。

回答のあった11事業所の合計で、最も貸与件数が多かったのは「入浴補助用具」の176件で、平均販売金額は29,441円、次いで「スロープ」が49件で平均販売金額は8,898円となっています。

回答事業所数：11	月あたりの平均販売件数合計（件）	平均販売金額（円）
入浴補助用具	176	¥29,441
スロープ	49	¥8,898
腰掛便座	39	¥40,216
歩行器・歩行補助杖	26	¥19,067
ポータブルトイレ	15	¥38,450
おむつ	10	¥3,000
靴	10	¥5,000
消臭剤	10	¥800
浴槽台	4	¥21,300

問 36. 最新の福祉用具の構造や使用方法等の専門的な知識を習得するため、福祉用具専門相談員の研修を実施していますか。

「年に1回以上、外部研修へ参加させている」が45.5%で最も多く、次いで「6か月に1回以上、外部研修へ参加させている」が36.4%となっています。

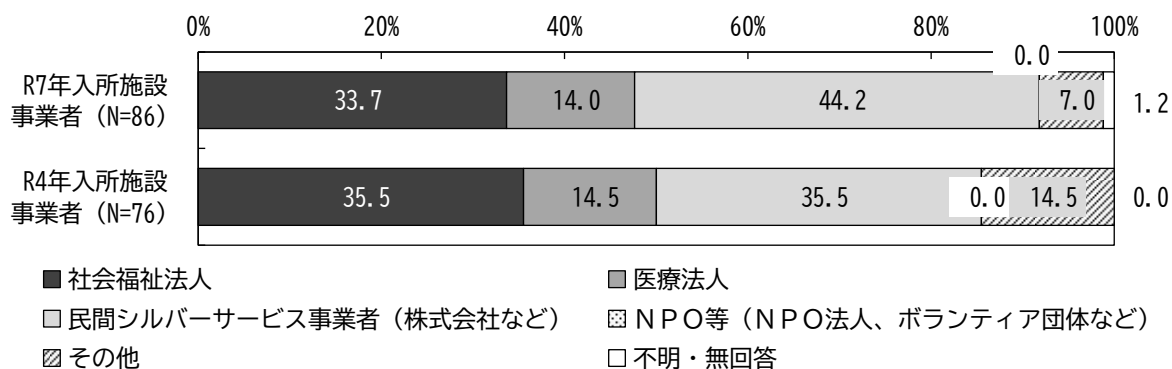


VII 入所施設事業者調査の結果

1 サービス事業者の運営形態や状況について

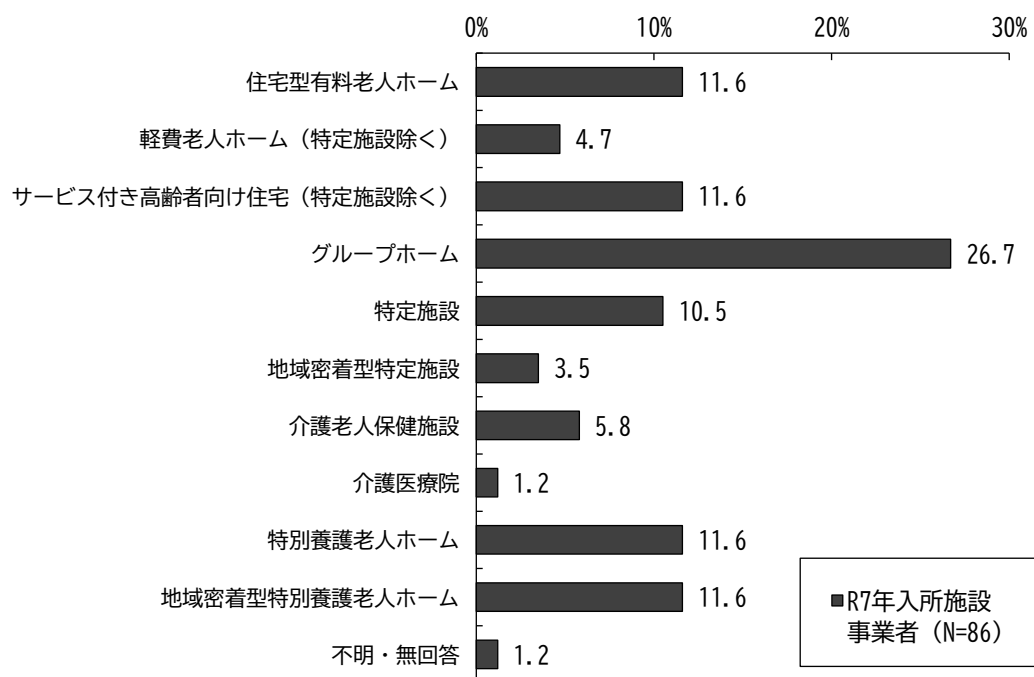
問1. 運営形態はどれにあてはまりますか。

「民間シルバーサービス事業者（株式会社など）」が44.2%で最も多く、次いで「社会福祉法人」が33.7%となっています。



問2. 貴事業所が該当するサービス種別を、ご回答ください。

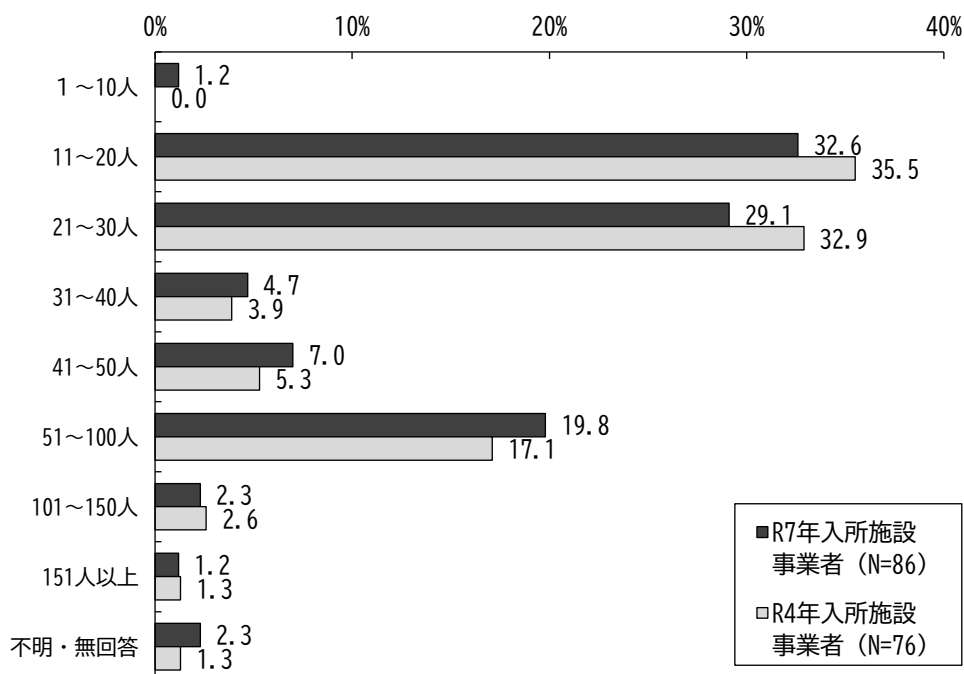
「グループホーム」が26.7%で最も多くなっています。



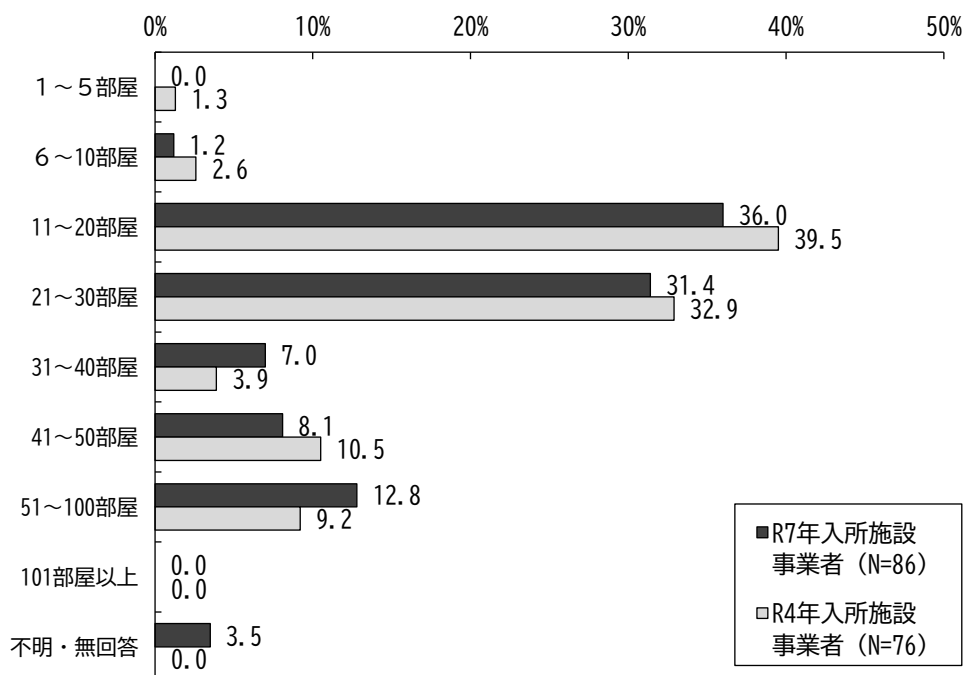
問3. 入所定員、部屋数等について数字でご記入ください。【数量回答】

①入所定員については「11～20人」、②部屋数については「11～20部屋」、③入所者数については「11～20人」、④入所を申し込んでいる人数（待機者）については「1～10人」がそれぞれ最も多くなっています。

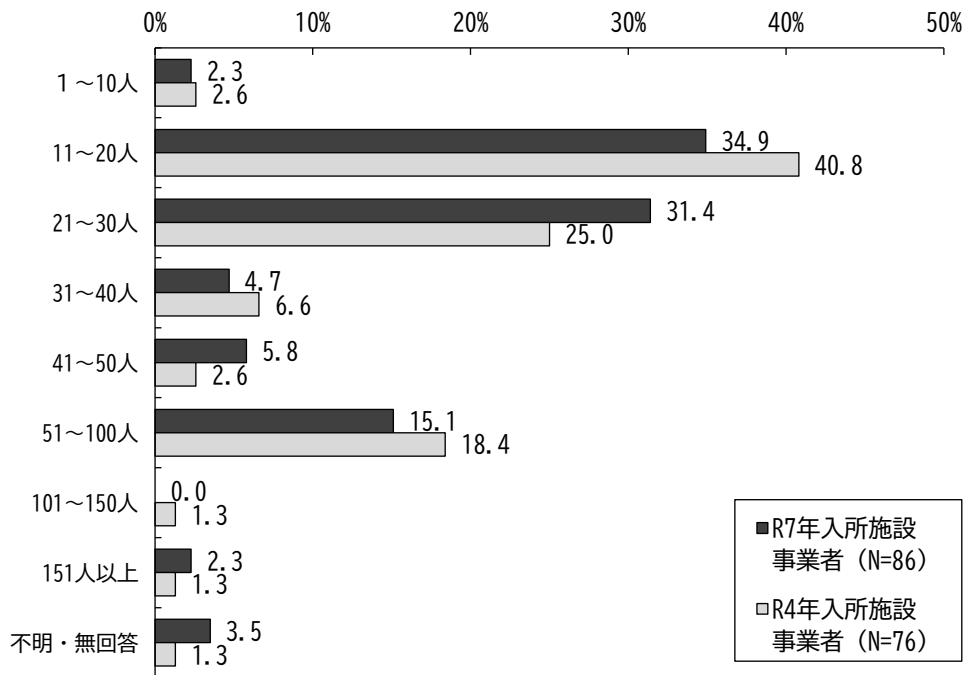
①入所定員数



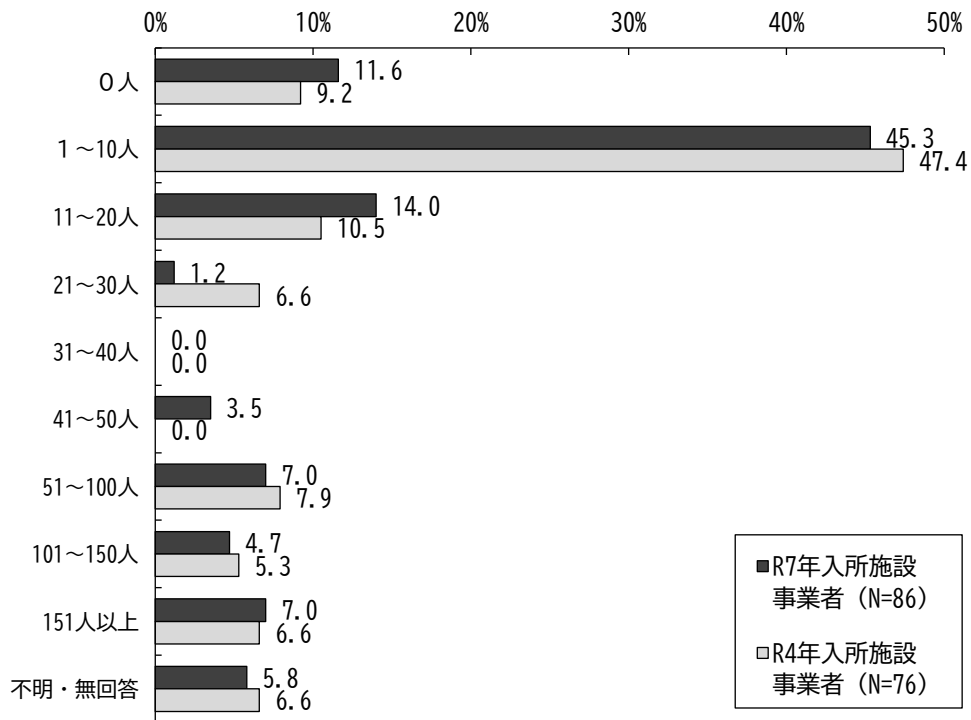
②部屋数



③入所者数（令和7年11月1日現在）



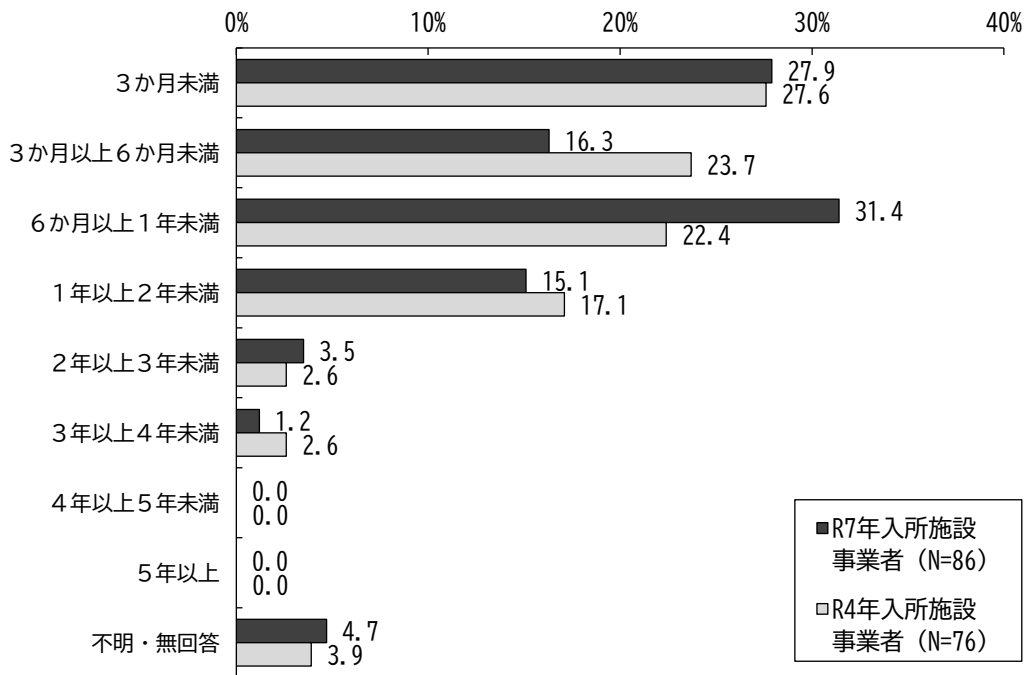
④入所を申し込んでいる人数（待機者）



問4. 入所申込みを受け付けてから実際に入所できるまでに、平均でどのくらいかかりますか。

「6か月以上1年未満」が31.4%で最も多くなっています。

前回調査と比べると、「6か月以上1年未満」が増加し、「3か月以上6か月未満」が減少しています。

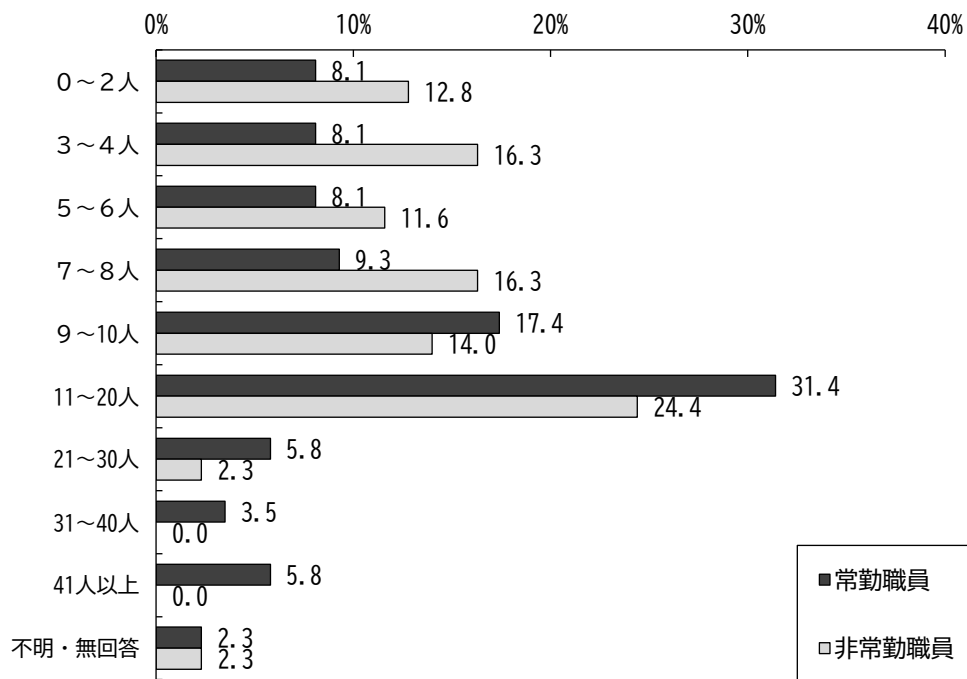


問5. 介護職員の総数を数字でお答えください。【数量回答】

※介護職員には、看護職・リハ職等のケアに携わる職員を含めてお答えください（以下同様）。

常勤職員、非常勤職員ともに「11～20人」が最も多くなっています。

R7年入所施設事業者 (N=86)

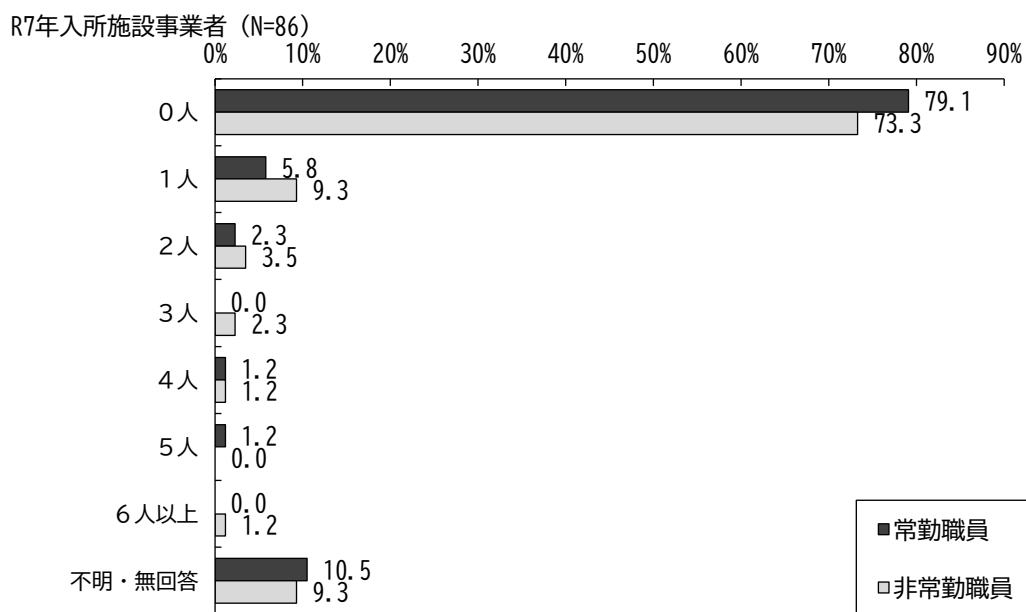


問6. 問5でご回答いただいた職員のうち、派遣職員、外国人職員はそれぞれ何人いますか。

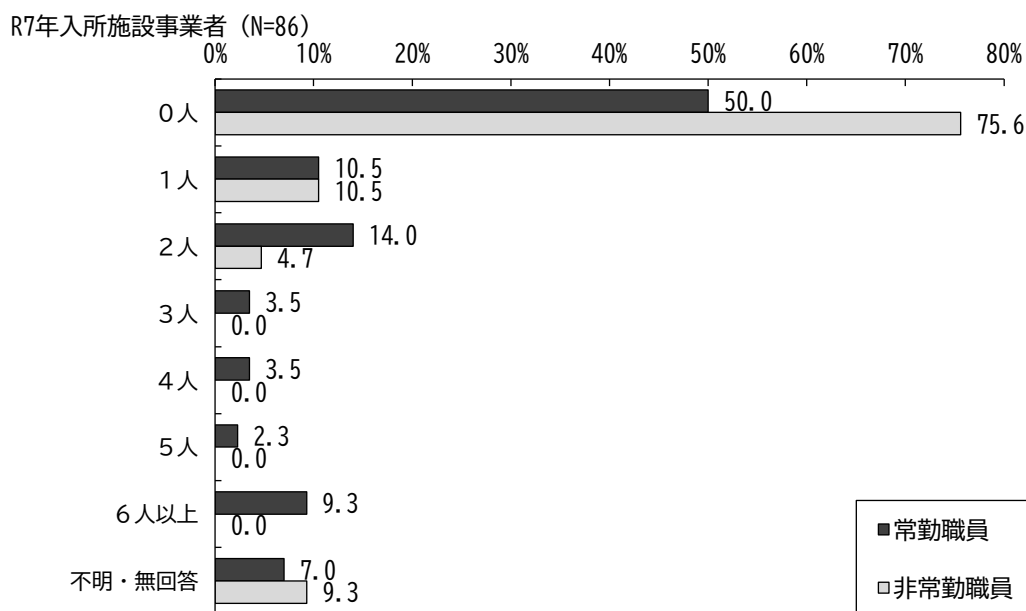
①派遣職員については、常勤・非常勤ともに「0人」が最も多く、派遣職員がいる事業所では、それぞれ「1人」が多くなっています。

②外国人職員については、常勤・非常勤ともに「0人」が最も多く、外国人職員がいる事業所では、常勤職員は「2人」、非常勤職員は「1人」が多くなっています。

①派遣職員



②外国人職員



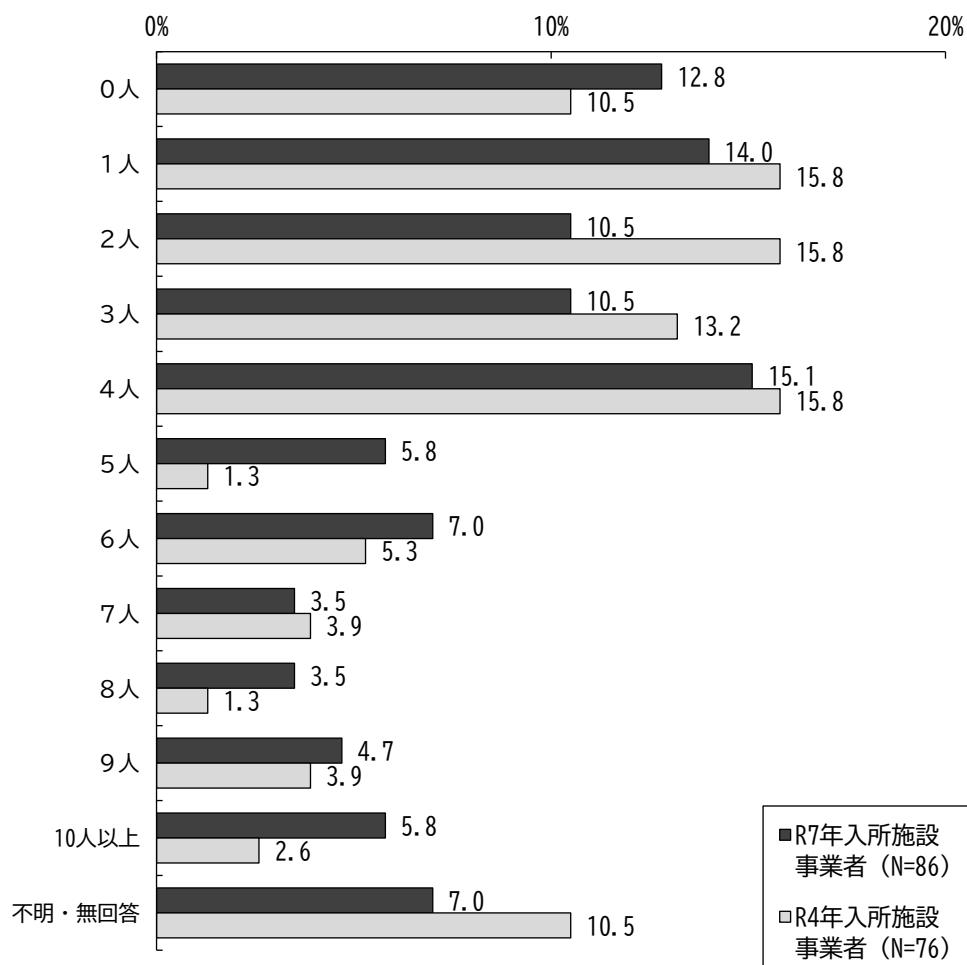
問7. 令和7年11月1日時点で、開設から1年以上を経過している事業所にお聞きます。

過去1年間（令和6年11月1日～令和7年10月31日）の介護職員（看護職・リハ職等を含む）の採用者数と離職者数をご記入ください。

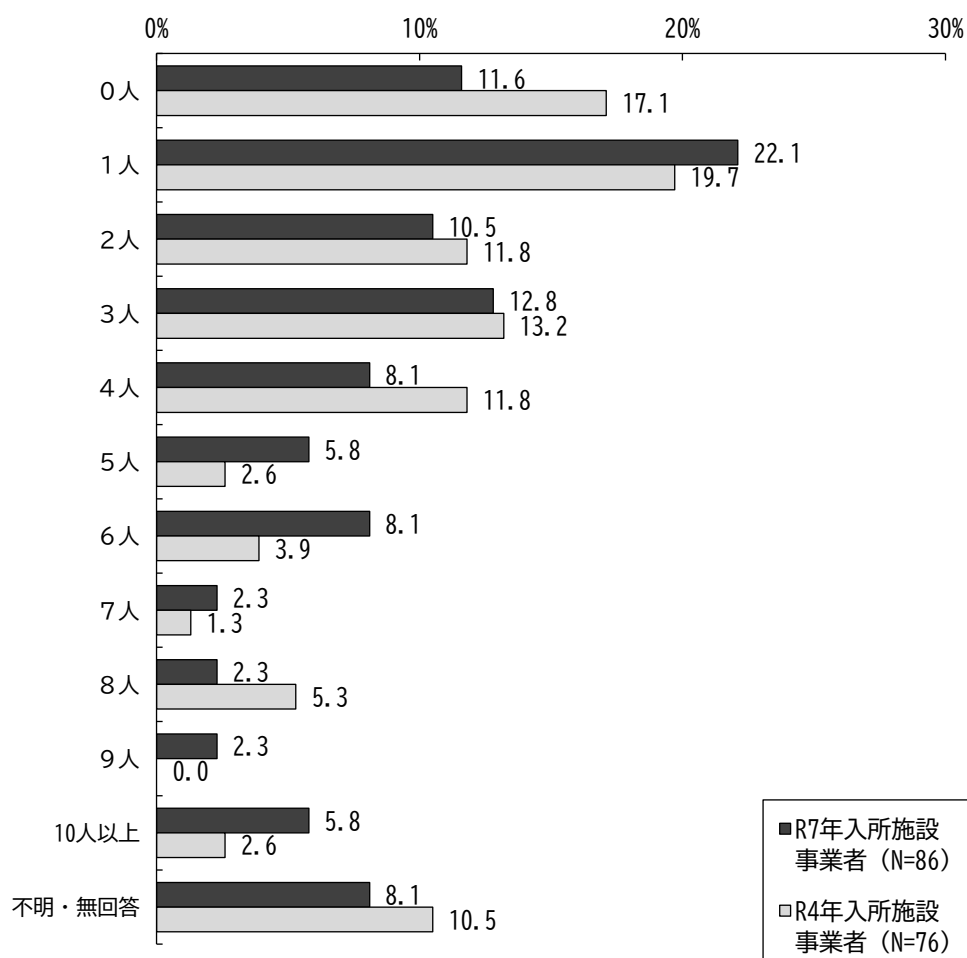
①採用者数については、「4人」が15.1%で最も多くなっています。

②離職者数については、「1人」が22.1%で最も多くなっています。

①採用者



②離職者



問8. 問7の採用者・離職者について、常勤・非常勤の別・年齢別をご記入ください。

勤務形態別に、回答された年齢別の人数を合計し、それぞれの年齢別割合を集計しました。

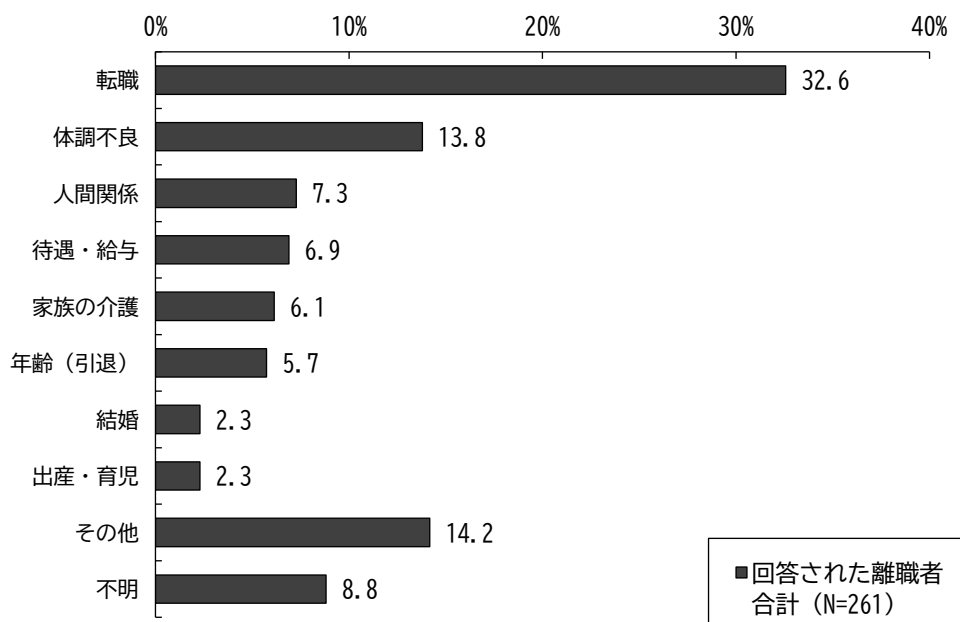
常勤職員の採用については「20～29歳」、非常勤職員の採用については「50～59歳」、常勤職員の離職については「50～59歳」、非常勤職員の離職については「50～59歳」がそれぞれ最も多くなっています。

		回答事業所数 (事業所)	合計人数 (人)	年齢別割合 (%)							
				20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	年齢不明
採用	常勤職員	56	207	2.4	30.9	19.3	20.8	19.8	6.8	0.0	0.0
	非常勤職員	51	165	1.8	9.7	17.0	23.6	27.9	14.5	4.8	0.6
離職	常勤職員	61	147	1.4	23.8	15.0	17.0	30.6	12.2	0.0	0.0
	非常勤職員	52	125	1.6	12.0	12.0	19.2	28.0	20.8	4.8	1.6

問9. 問8で回答した離職者の離職理由について、可能な範囲で件数をお答えください。1人の退職者につき、主なもの1つを数えてください。

離職者の離職理由別の人数について、回答された人数の合計である261人について、理由別の割合を集計しました。

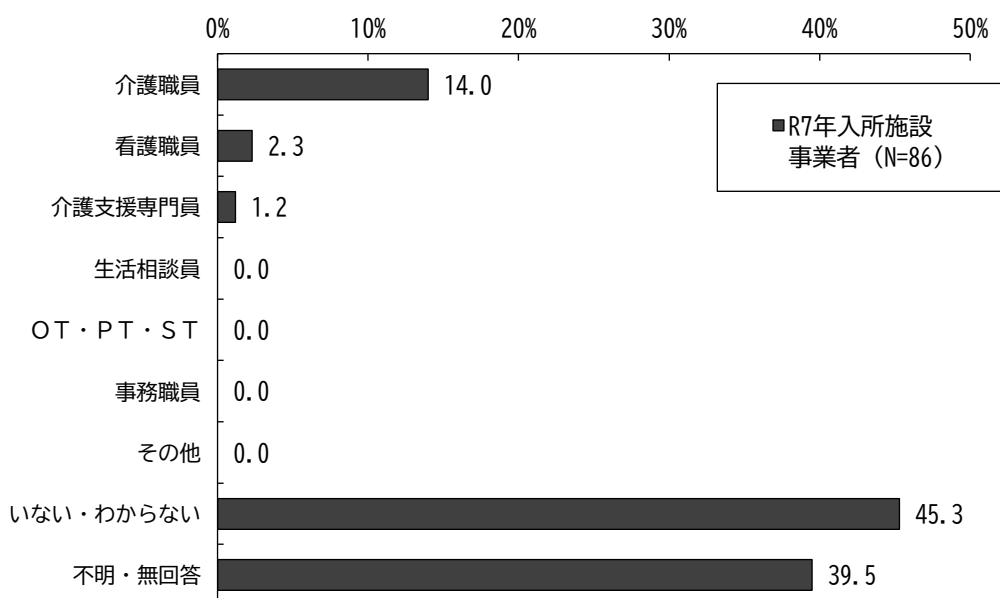
「転職」が32.6%で最も多く、次いで「体調不良」が13.8%となっています。



問10. 家族の介護で離職された職員がいた場合、その職種をお聞かせください。

【複数回答】

「介護職員」が14.0%、「看護職員」が2.3%となっています。

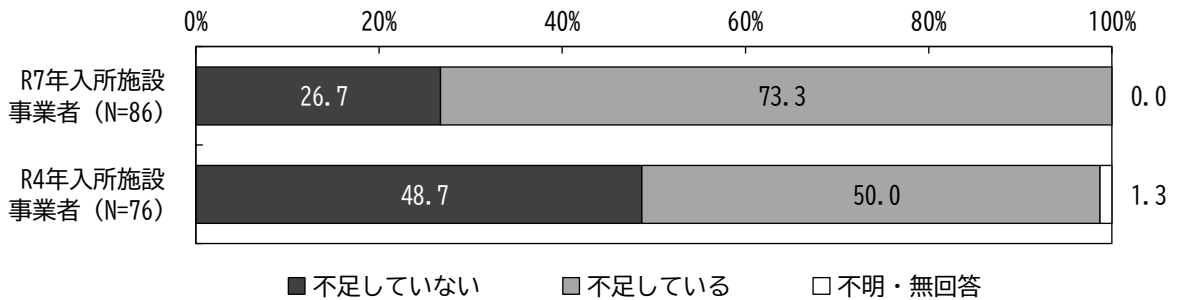


問 11. 現在の業務を行ううえで、介護職員（看護職・リハ職等を含む）の人数が不足していますか。不足している場合は、不足人数（常勤職員として）もお答えください。

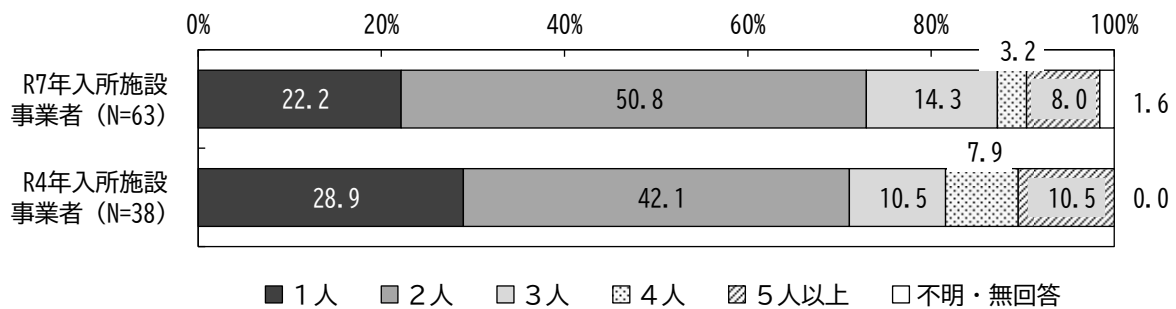
「不足している」が73.3%となっています。

前回調査と比べると「不足している」が増加しています。

不足している人数については、「2人」が50.8%で最も多くなっています。

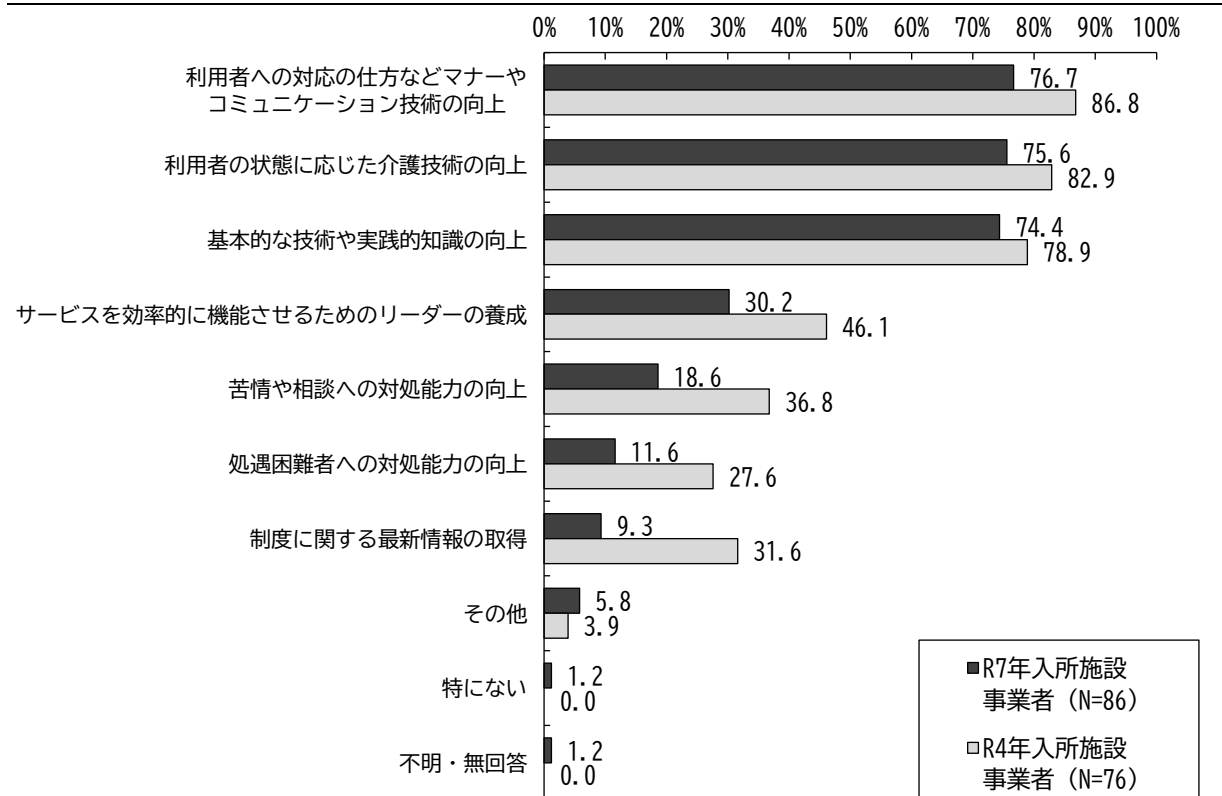


不足人数



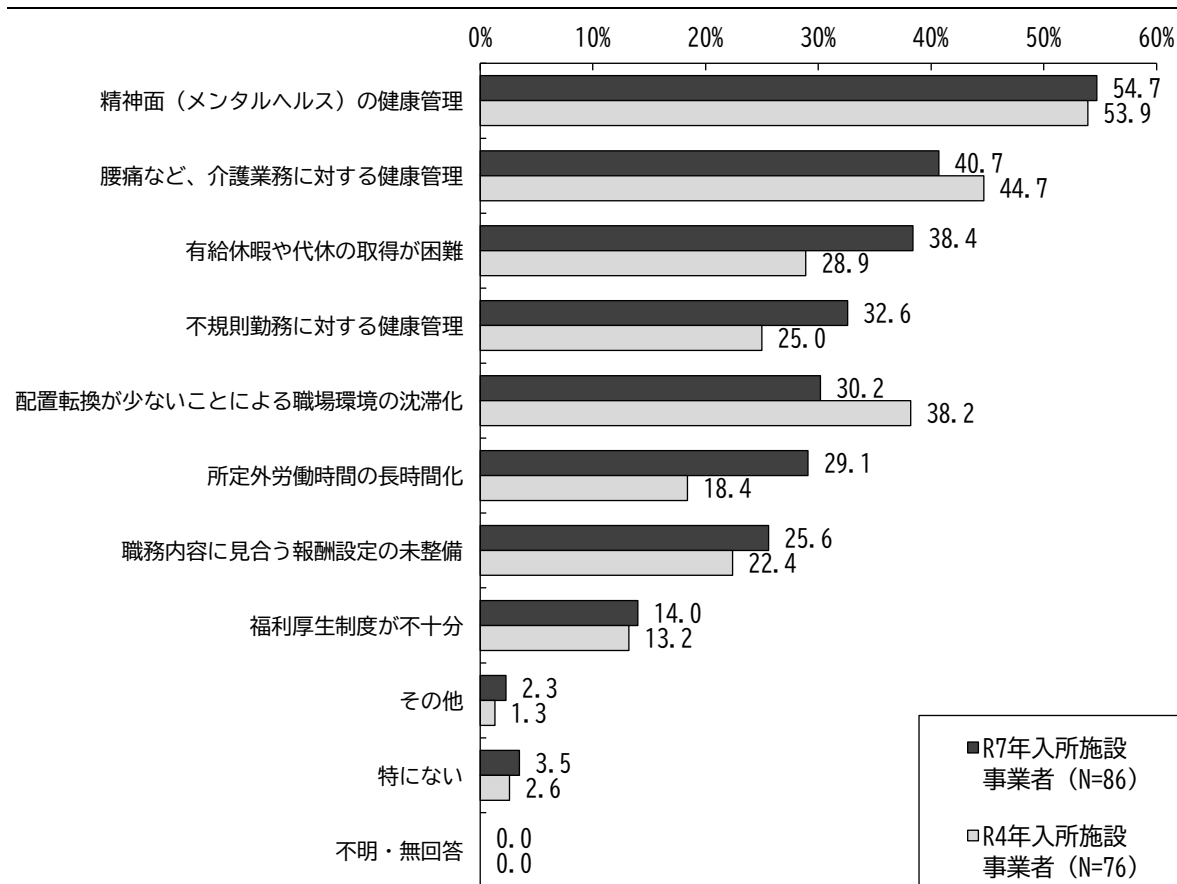
問 12. 職員の質の確保・向上を図るために、どのような点を重視して取り組んでいますか。【複数回答】

「利用者への対応の仕方などマナーやコミュニケーション技術の向上」が76.7%で最も多く、次いで「利用者の状態に応じた介護技術の向上」が75.6%、「基本的な技術や実践的知識の向上」が74.4%となっています。



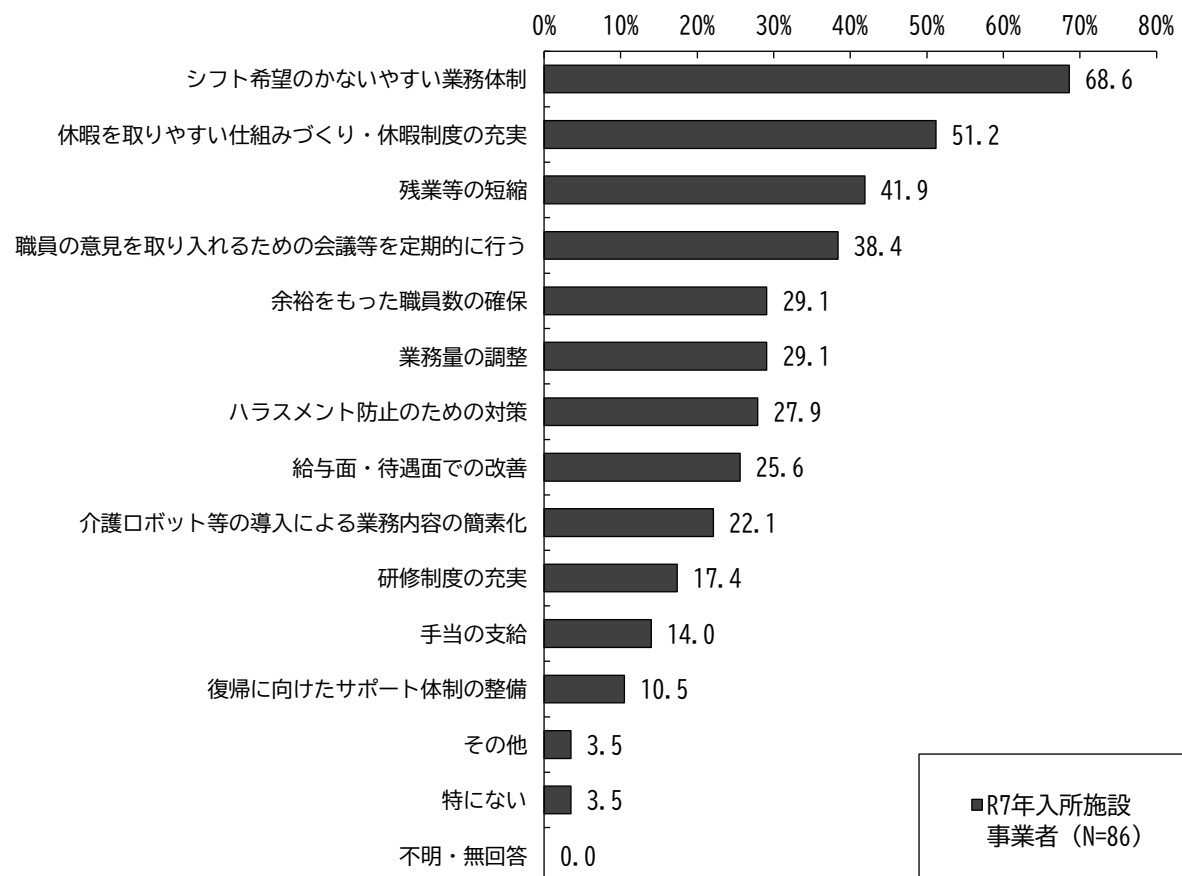
問 13. 職員の処遇における課題は何ですか。【複数回答】

「精神面（メンタルヘルス）の健康管理」が54.7%で最も多く、次いで「腰痛など、介護業務に対する健康管理」が40.7%、「有給休暇や代休の取得が困難」が38.4%となっています。



問 14. 職員の労働条件、労働環境の改善及び定着促進、離職防止のために工夫していることは何ですか。【複数回答】

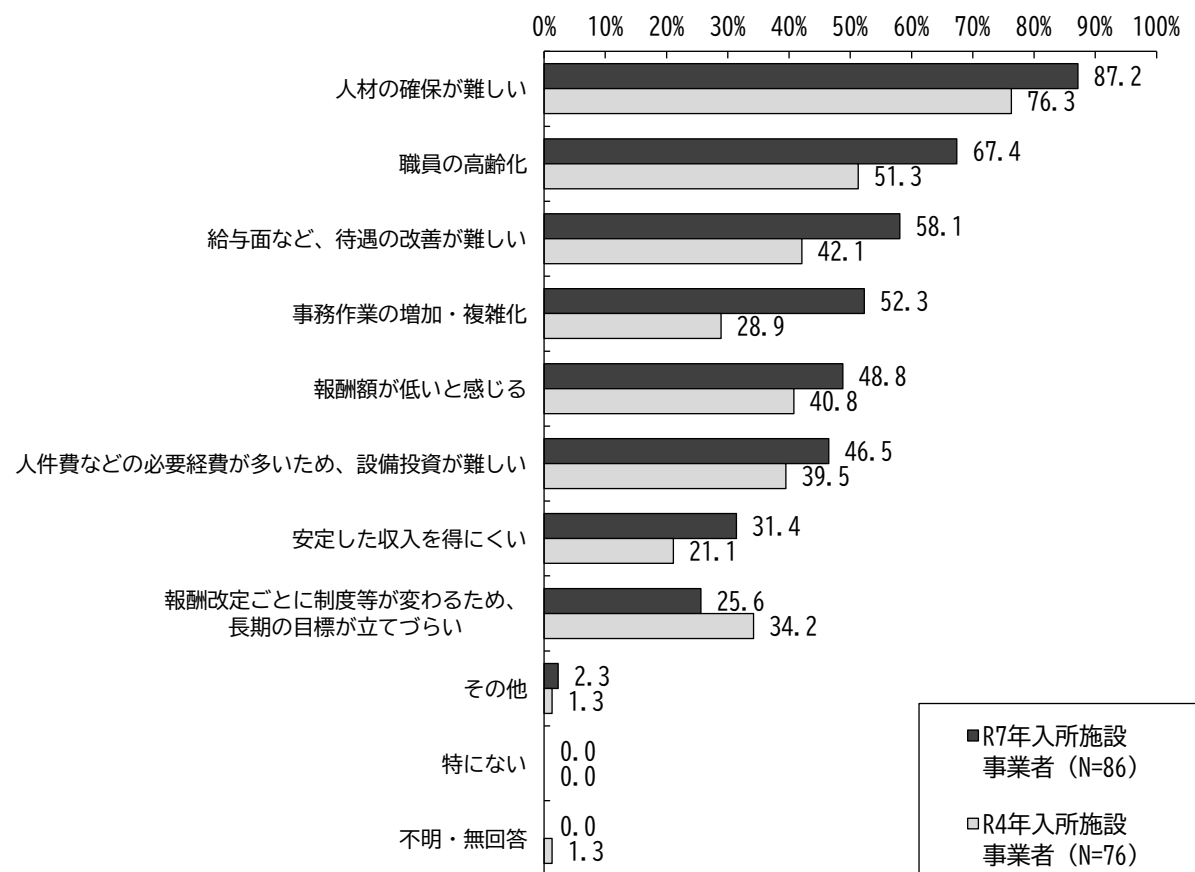
「シフト希望のかないやすい業務体制」が68.6%で最も多く、次いで「休暇を取りやすい仕組みづくり・休暇制度の充実」が51.2%、「残業等の短縮」が41.9%となっています。



問 15. 経営面における問題点や課題は何ですか。【複数回答】

「人材の確保が難しい」が 87.2%で最も多く、次いで「職員の高齢化」が 67.4%、「給与面など、待遇の改善が難しい」が 58.1%となっています。

前回調査と比べると、「人材の確保が難しい」「職員の高齢化」「給与面など、待遇の改善が難しい」「事務作業の増加・複雑化」「安定した収入を得にくい」が 10 ポイント以上増加しています。

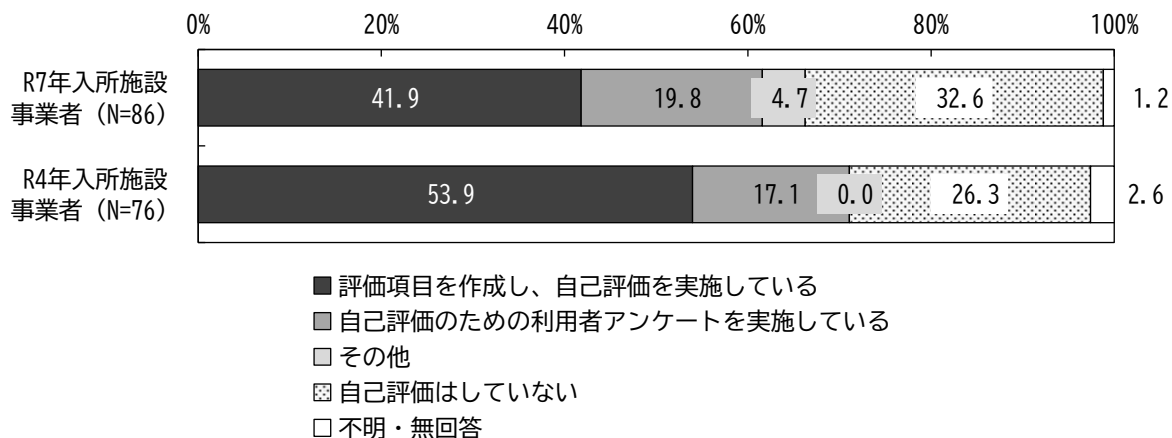


2 提供サービスの状況について

問 16. サービスの自己評価をしていますか。

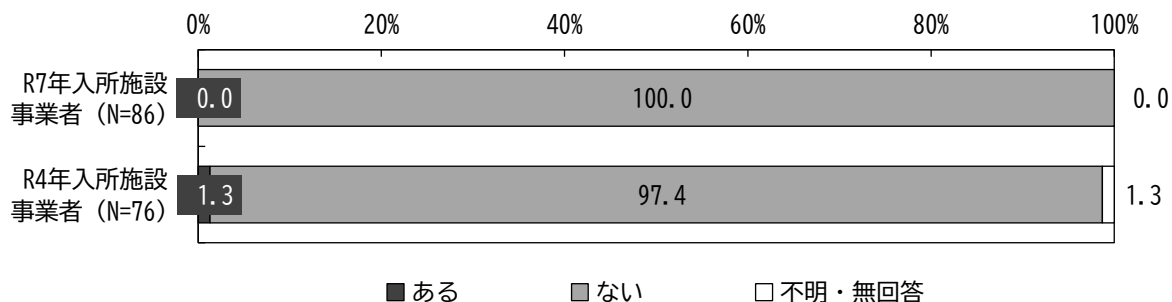
「評価項目を作成し、自己評価を実施している」が41.9%で最も多く、次いで「自己評価はしていない」が32.6%となっています。

前回調査と比べると「評価項目を作成し、自己評価を実施している」が減少しています。



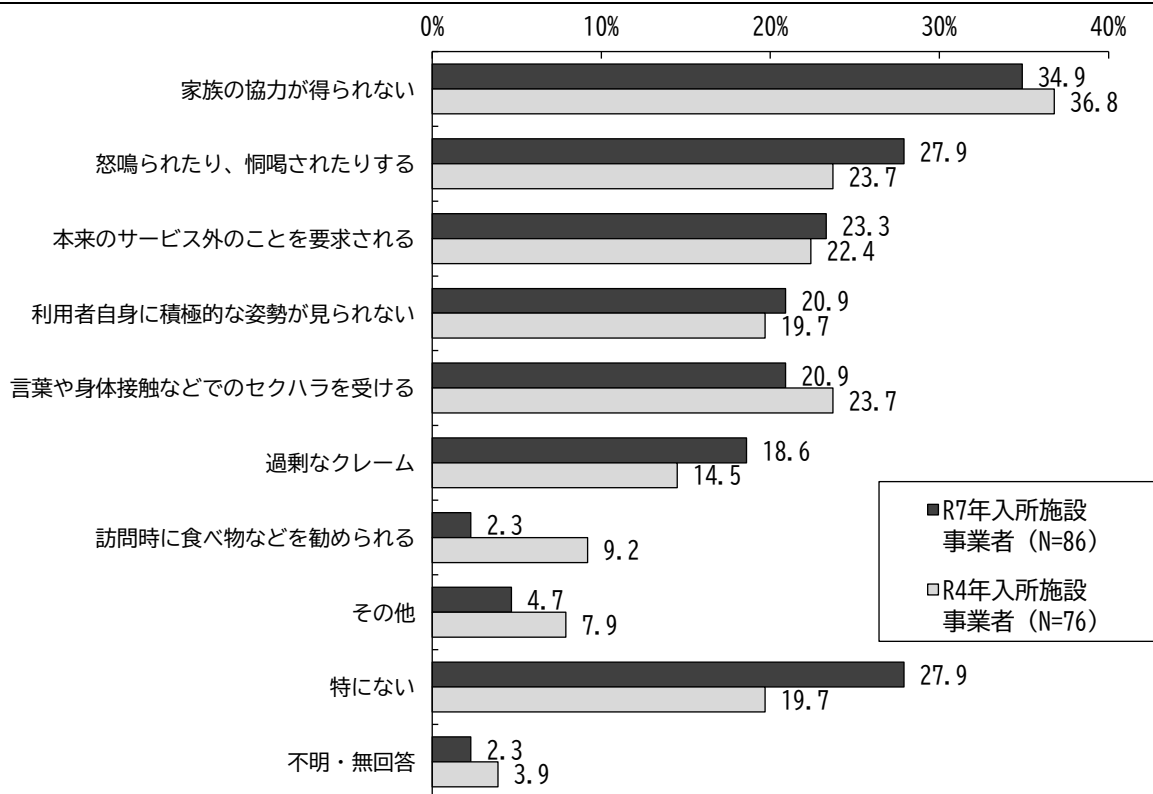
問 17. 利用者等の苦情から、第三者機関の介入や訴訟などに発展した事例はありますか。

「ない」が100.0%となっています。



問 18. 利用者に関することで、お困りのことは何ですか。【複数回答】

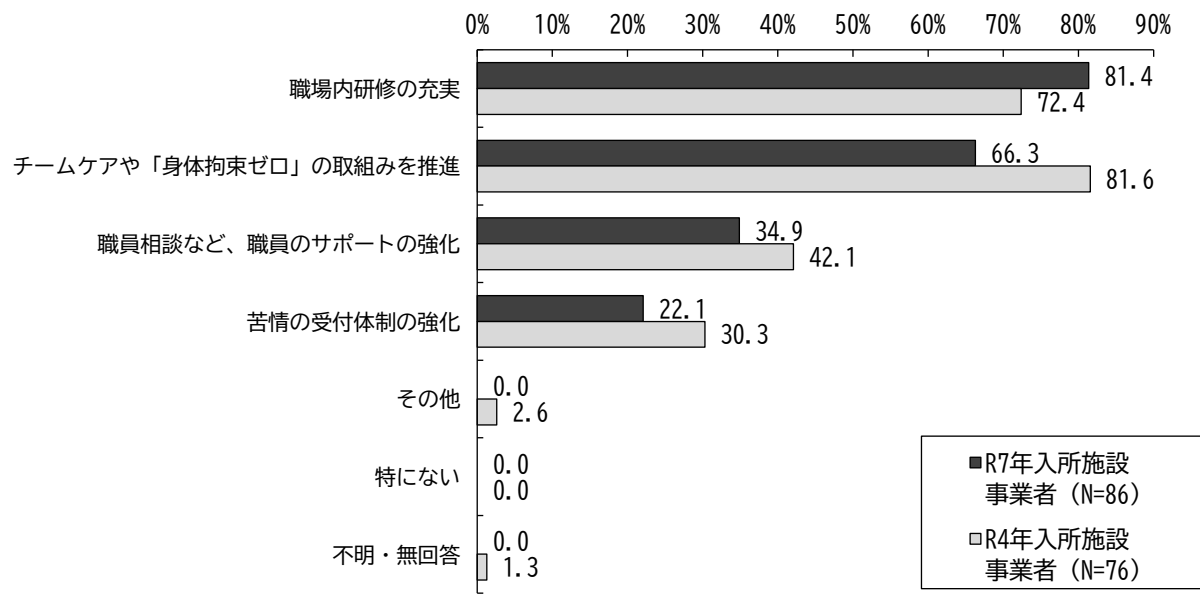
「家族の協力が得られない」が34.9%で最も多く、次いで「怒鳴られたり、恫喝されたりする」「特にない」が27.9%、「本来のサービス外のことを要求される」が23.3%となっています。



問 19. 虐待予防に関して、どのような取組みをしていますか。【複数回答】

「職場内研修の充実」が81.4%で最も多く、次いで「チームケアや「身体拘束ゼロ」の取組みを推進」が66.3%となっています。

前回調査と比べると「チームケアや「身体拘束ゼロ」の取組みを推進」が減少しています。

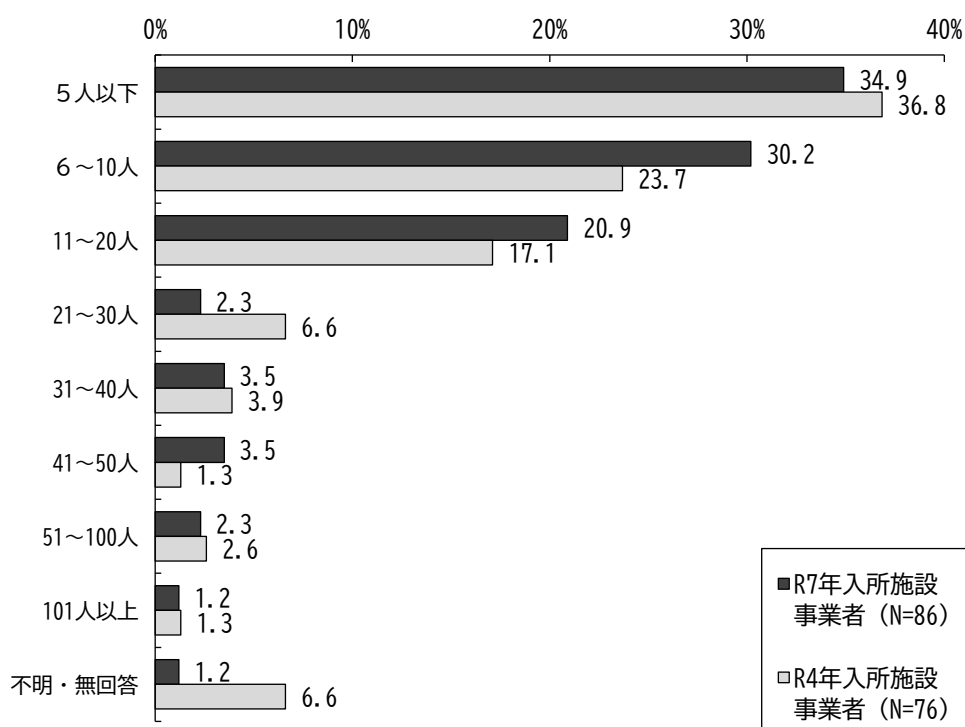


3 過去1年間の新規の入居者・退去者について

問 20. 過去1年間（令和6年11月1日～令和7年10月31日）に貴施設等に、新規で入所・入居した人の人数をお答えください。【数量回答】

※貴施設等に入所・入居している方で、一時的な入院等で貴施設等に戻った方は含めないでください。

「5人以下」が34.9%で最も多く、次いで「6～10人」が30.2%となっています。



問 21. 問 20 でご記入いただいた過去 1 年間の新規の入所・入居者について、入所・入居する前の居場所別の人数をご記入ください。【数量回答】

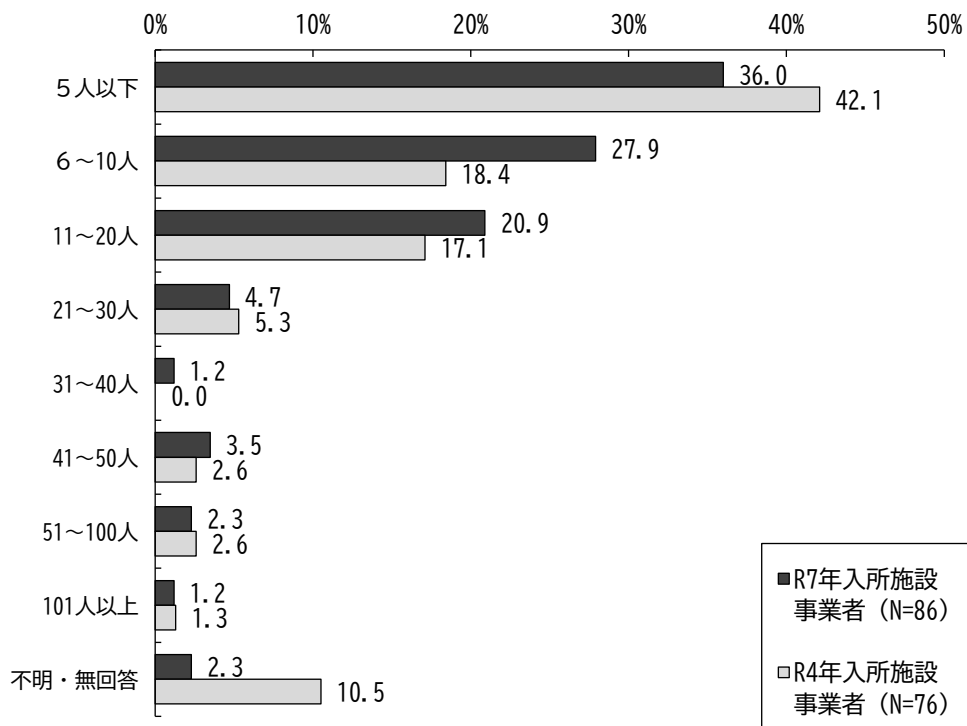
各事業所から回答された人数を集計しています。

入居者数内訳（人）

入所・入居前の居場所	岡崎市内	岡崎市外
1)自宅（※兄弟・子ども・親戚等の家含む）	504	29
2)住宅型有料老人ホーム	38	1
3)軽費老人ホーム（特定施設除く）	6	0
4)サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	16	5
5)グループホーム	21	1
6)特定施設	3	1
7)地域密着型特定施設	0	0
8)介護老人保健施設	40	6
9)介護医療院	1	0
10)特別養護老人ホーム	3	0
11)地域密着型特別養護老人ホーム	2	0
12)病院・診療所（一時的な入院を除く）	471	15
13)その他	9	0
14)入居・入所する前の居場所を把握していない	1	
15)合計	1,173	

問 22. 過去1年間（令和6年11月1日～令和7年10月31日）に貴施設等を退去した人の人数をお答えください。【数量回答】

「5人以下」が36.0%で最も多く、次いで「6～10人」が27.9%となっています。



問 23. 問 22 でご記入いただいた過去 1 年間の退去者について、退去先別の人数をご記入ください。【数量回答】

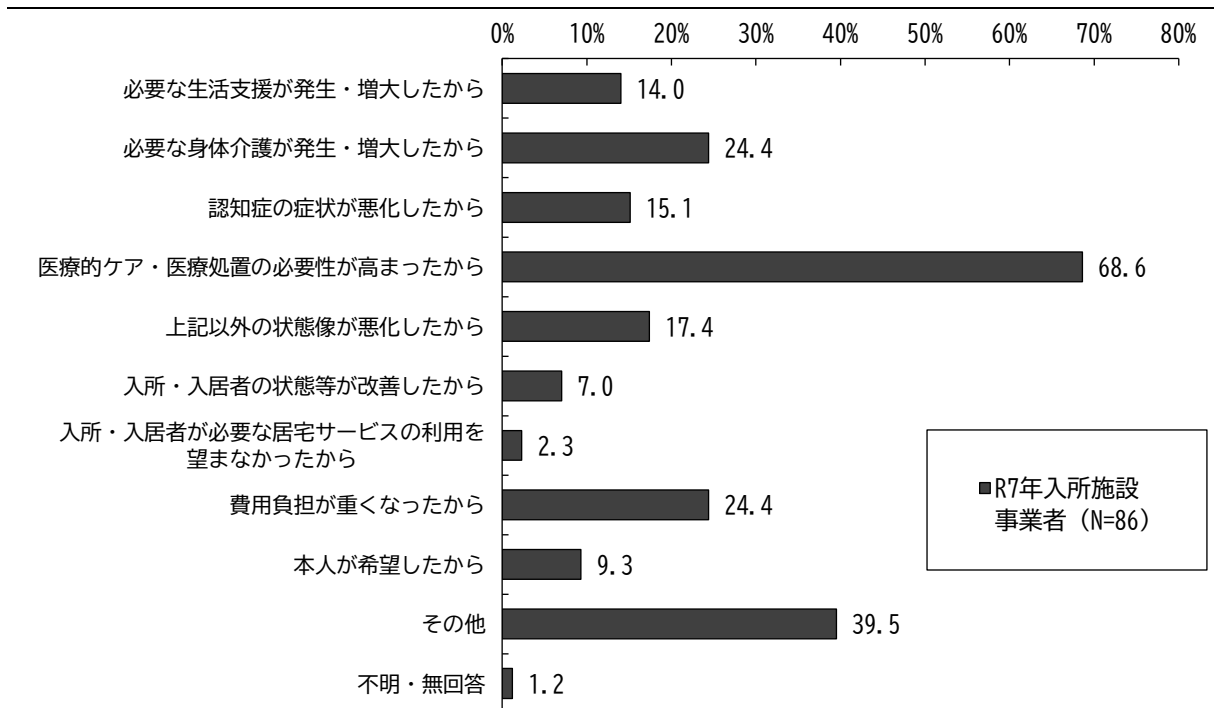
各事業所から回答された人数を集計しています。

退去者数内訳（人）

退去先	岡崎市内	岡崎市外
1)自宅（※兄弟・子ども・親戚等の家含む）	107	9
2)住宅型有料老人ホーム	34	5
3)軽費老人ホーム（特定施設除く）	1	1
4)サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	5	3
5)グループホーム	17	0
6)特定施設	6	1
7)地域密着型特定施設	4	0
8)介護老人保健施設	7	1
9)介護医療院	8	0
10)「9」を除く病院・診療所（一時的な入院を除く）	306	3
11)特別養護老人ホーム	58	13
12)地域密着型特別養護老人ホーム	6	1
13)その他	5	2
14)行先を把握していない	7	
15) 死亡（搬送先での死亡を含む）	456	
16)合計	1,066	

問 24. 貴施設等の入居・入所者が、退去する理由は何ですか。退去理由として多いものを上位3つまでお答えください。【3つまで複数回答】

「医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから」が68.6%で最も多く、次いで「その他」が39.5%となっています。

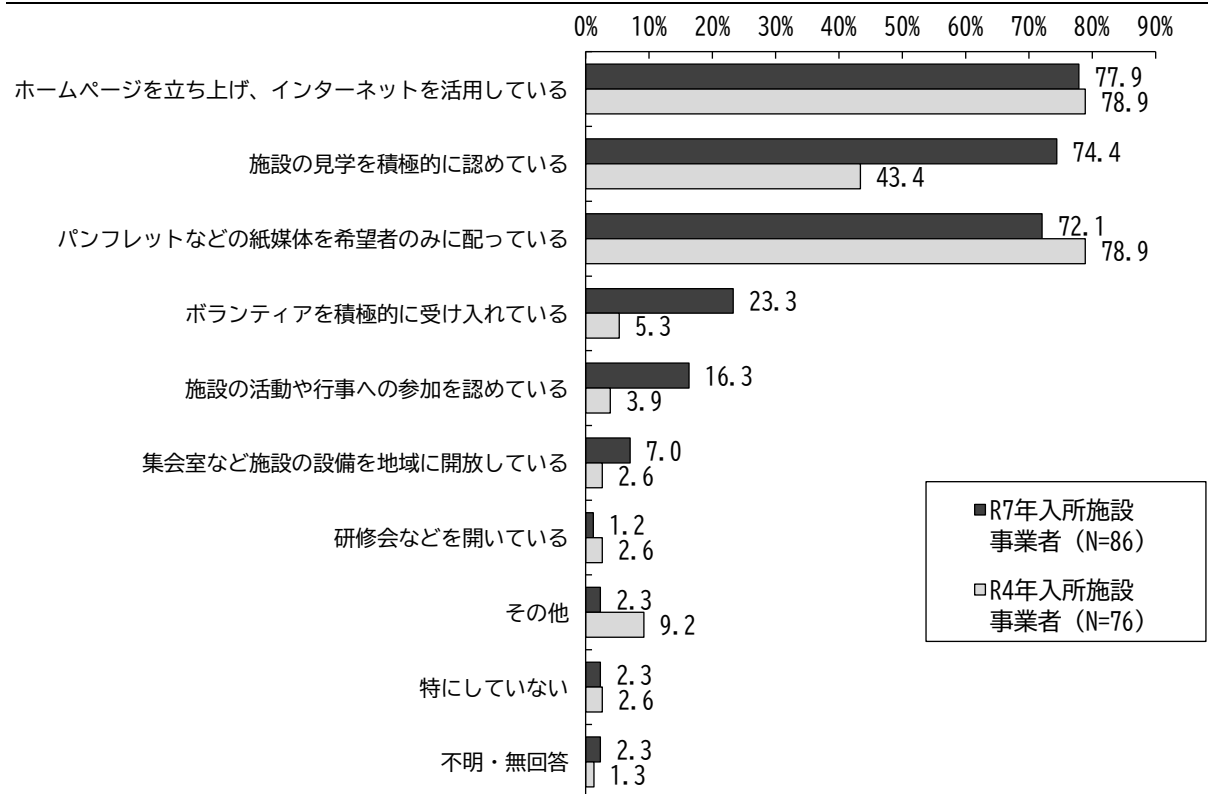


4 その他

問 25. 施設やサービスについて、どのように情報発信していますか。【複数回答】

「ホームページを立ち上げ、インターネットを活用している」が77.9%で最も多く、次いで「施設の見学を積極的に認めている」が74.4%、「パンフレットなどの紙媒体を希望者のみに配っている」が72.1%となっています。

前回調査と比べると、「施設の見学を積極的に認めている」「ボランティアを積極的に受け入れている」「施設の活動や行事への参加を認めている」が増加しており、これらは前回調査時には感染症の影響で実施できなかった施設が多かったと考えられます。



Ⅷ 介護支援専門員調査の結果

1 ケアプラン業務の状況について

問1. 勤務形態はどれにあてはまりますか。

「専従（常勤）」が73.9%で最も多くなっています。

前回調査と比べると「専従（常勤）」が増加しています。



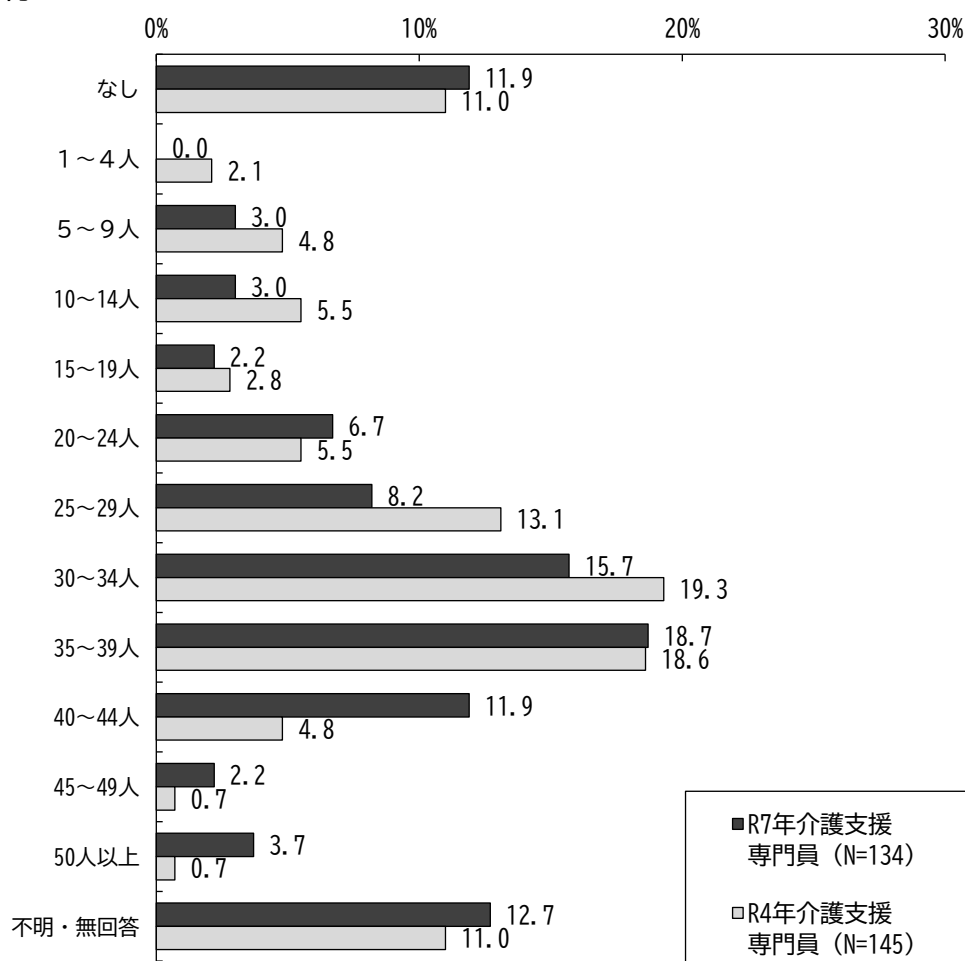
■ 専従（常勤） ■ 専従（非常勤） □ 兼務（常勤） ▨ 兼務（非常勤） □ 不明・無回答

問2. 令和7年11月1日現在、何人の給付管理を行っていますか。

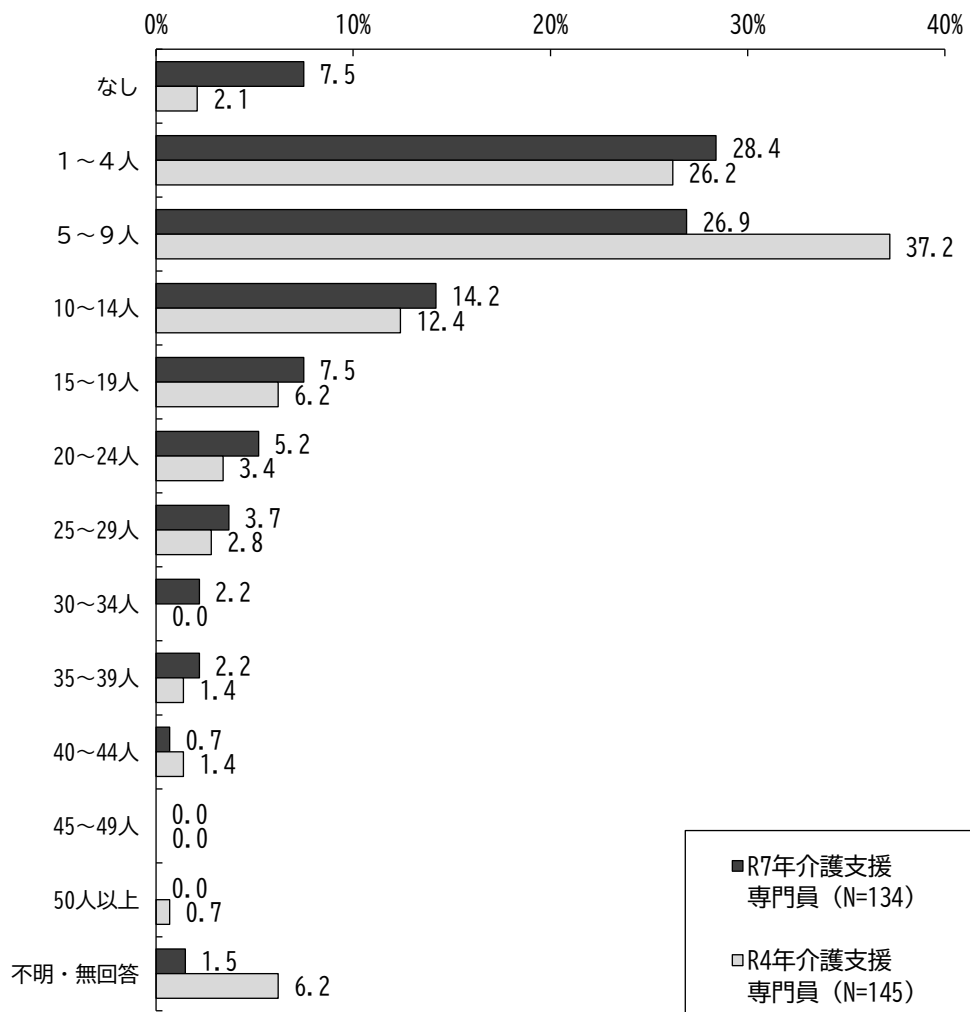
それぞれ数字でご記入ください。【数量回答】

①介護給付については「35～39人」、②予防給付については「1～4人」がそれぞれ最も多くなっています。

①介護給付



②予防給付

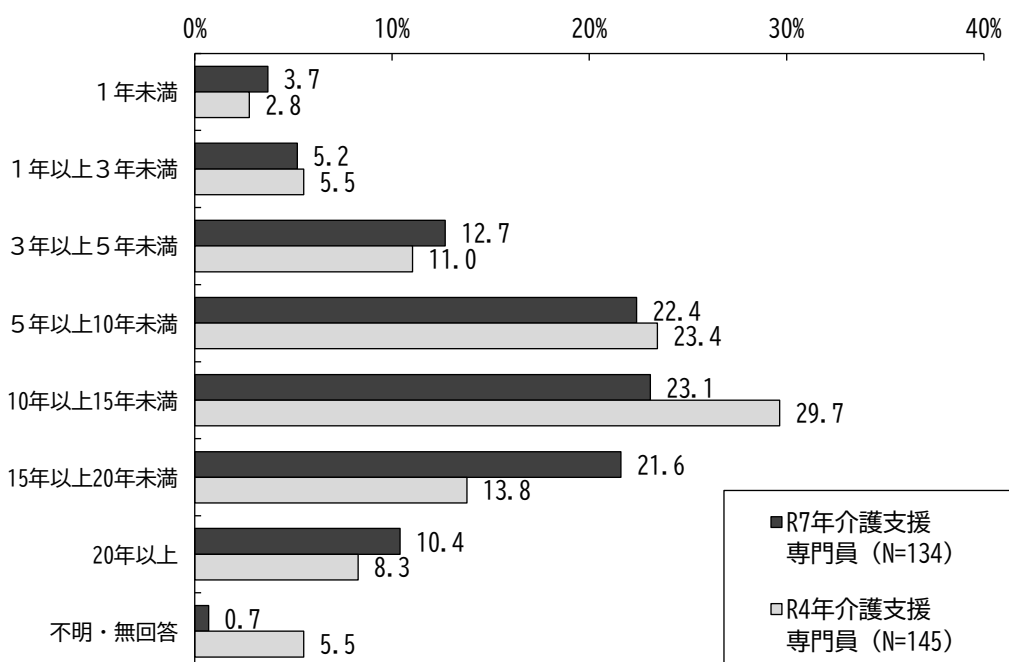


問3. 令和7年11月1日現在、介護支援専門員としての経験はどれくらいになりますか。それぞれ数字でご記入ください。【数量回答】

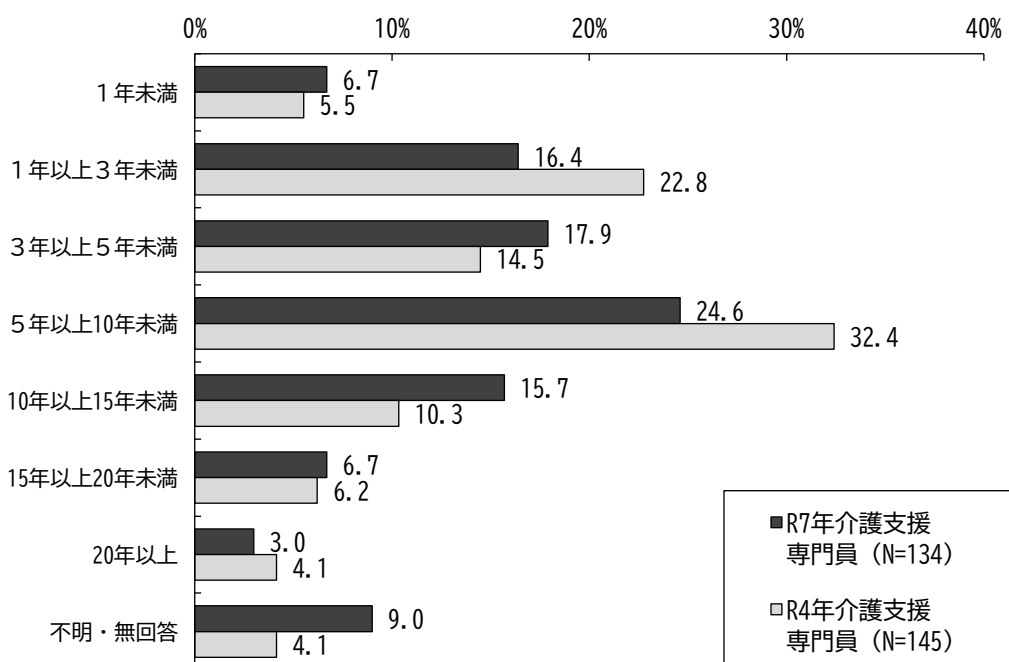
①介護支援専門員としての通算経験については、「10年以上15年未満」が23.1%で最も多く、②現在の事業所における介護支援専門員としての経験については、「5年以上10年未満」が24.6%で最も多くなっています。

前回調査と比べると、①介護支援専門員としての通算経験について、「10年以上15年未満」が減少し、「15年以上20年未満」が増加しています。

①介護支援専門員としての通算経験



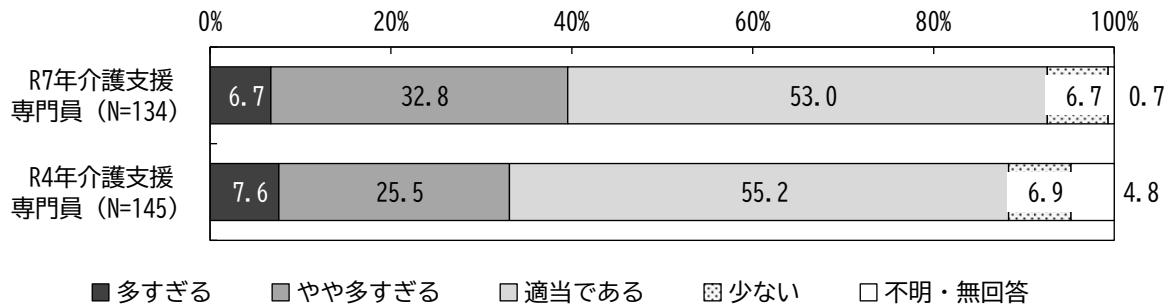
②現在の事業所における介護支援専門員としての経験



問4. 担当している利用者の人数は、適当ですか。

「適当である」が53.0%で最も多くなっており、次いで「やや多すぎる」が32.8%となっています。

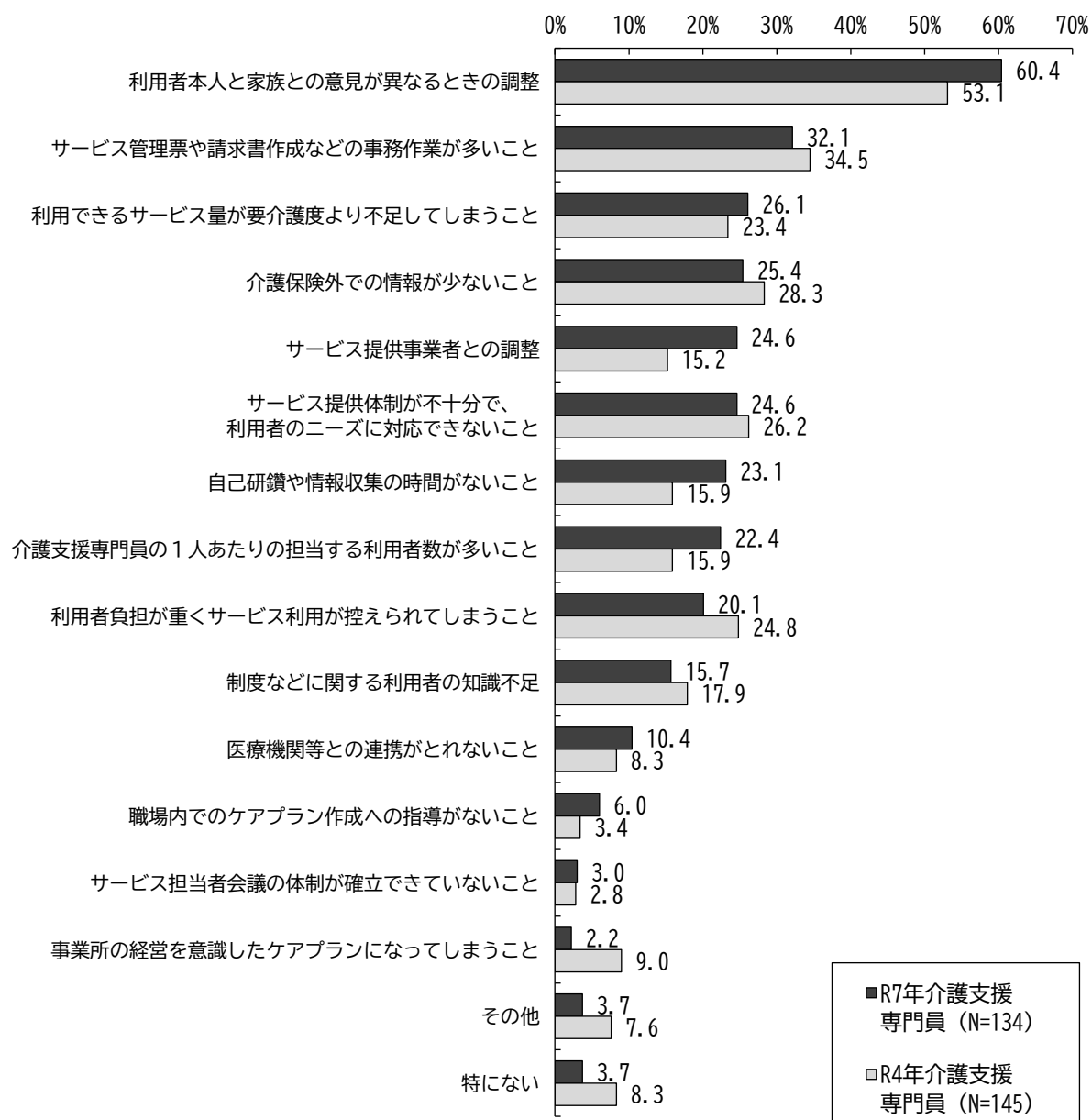
前回調査と比べると「やや多すぎる」がやや増加しています。



問5. ケアプランの作成時に困っていることは何ですか。【複数回答】

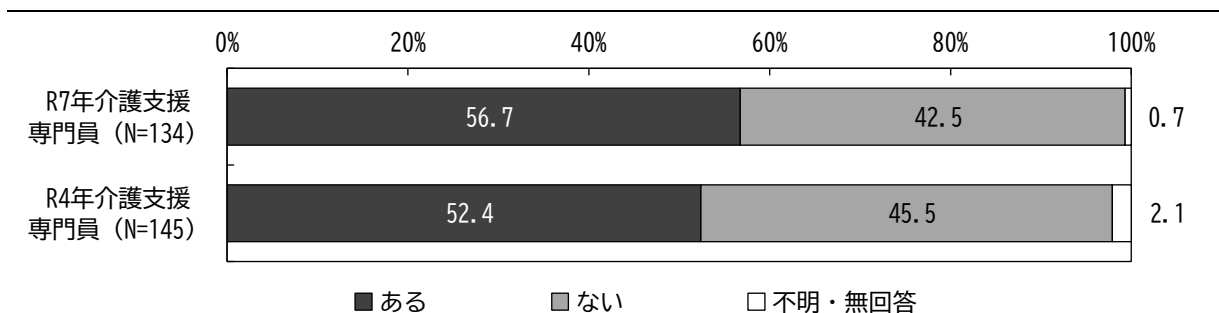
「利用者本人と家族との意見が異なるときの調整」が60.4%で最も多く、次いで「サービス管理票や請求書作成などの事務作業が多いこと」が32.1%となっています。

前回調査と比べると「サービス提供事業者との調整」「自己研鑽や情報収集の時間がないこと」「介護支援専門員の1人あたりの担当する利用者数が多いこと」がやや増加しています。



問6. これまでに、居宅サービス計画の作成の依頼を断ったことはありますか。

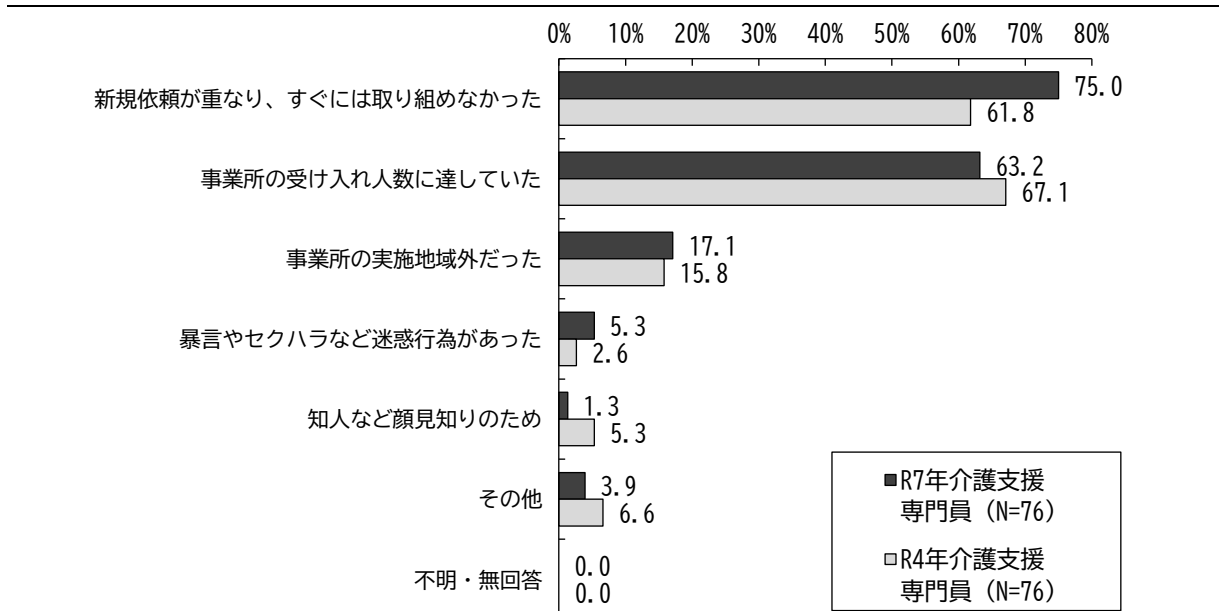
「ある」が56.7%となっています。



【問6で「1. ある」と回答した人のみ】

①それはどのような理由でしたか。【複数回答】

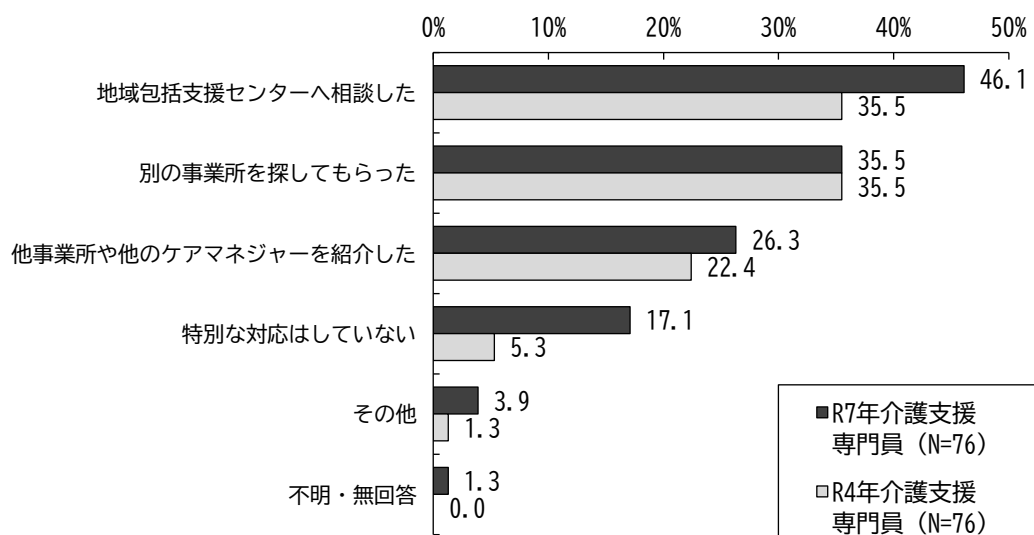
「新規依頼が重なり、すぐには取り組めなかった」が75.0%で最も多く、次いで「事業所の受け入れ人数に達していた」が63.2%となっています。



②その後の対応はどうされましたか。【複数回答】

「地域包括支援センターへ相談した」が46.1%で最も多く、次いで「別の事業所を探してもらった」が35.5%となっています。

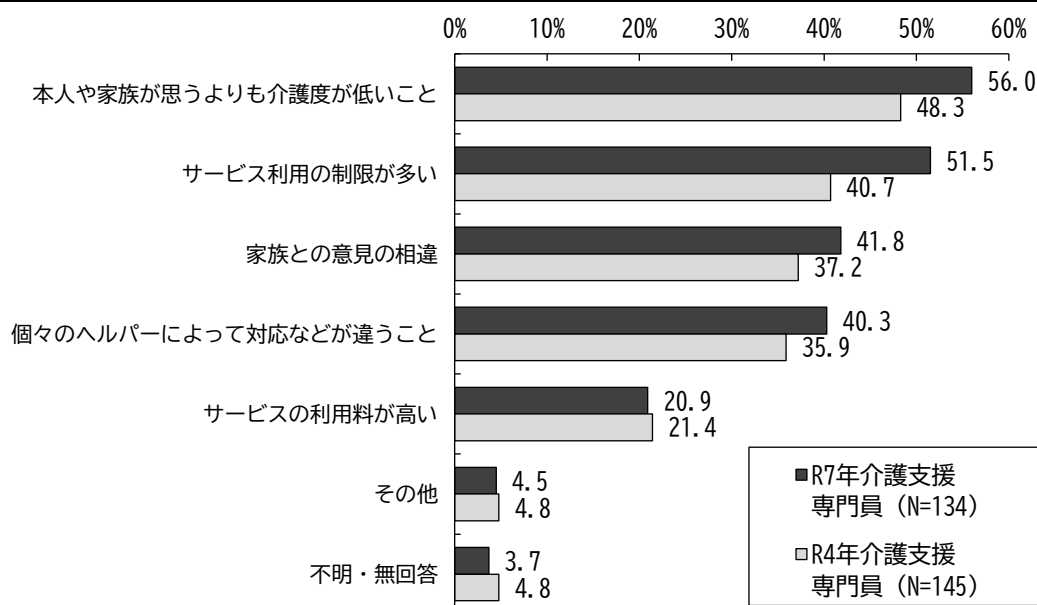
前回調査と比べると「地域包括支援センターへ相談した」がやや増加しています。



問7. 利用者の不満は、どのような内容が多いですか。【複数回答】

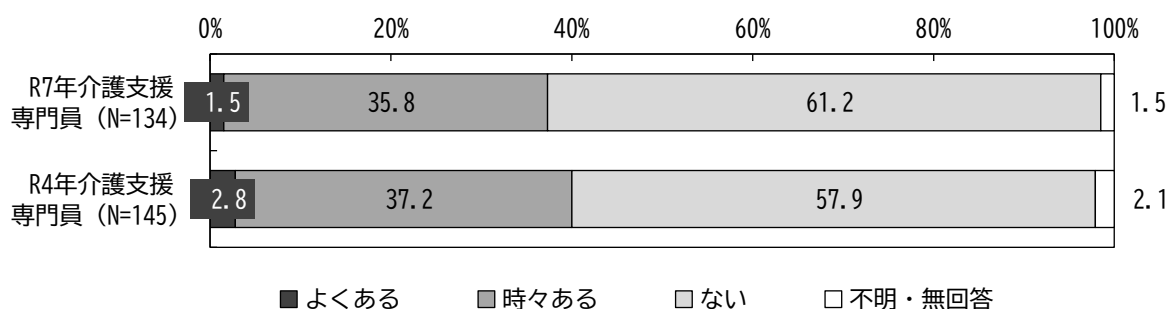
「本人や家族が思うよりも介護度が低いこと」が56.0%で最も多く、次いで「サービス利用の制限が多い」が51.5%となっています。

前回調査と比べると「サービス利用の制限が多い」がやや増加しています。



問8. サービス提供事業者から、利用者が希望していないサービスを、利用票・提供票に組み入れるよう求められたことはありますか。

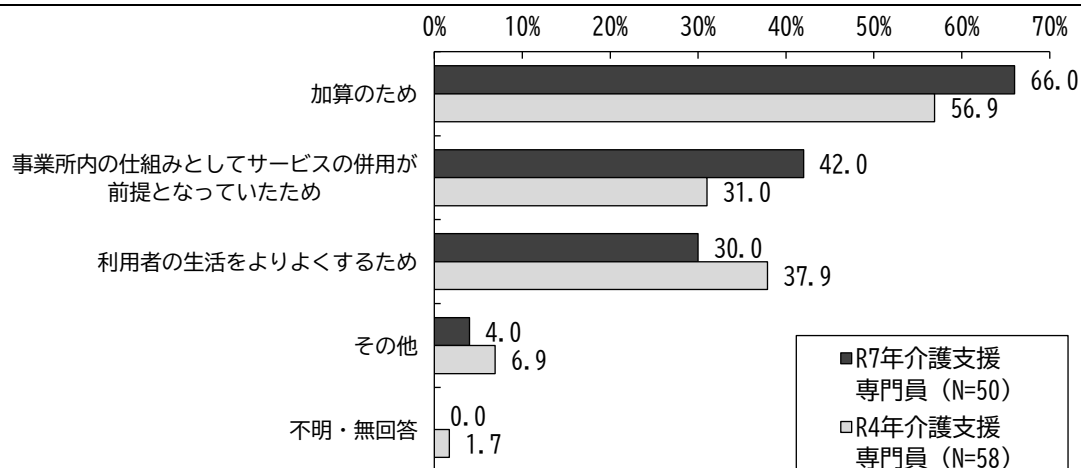
「ない」が61.2%で最も多く、次いで「時々ある」が35.8%となっています。



【問8で「よくある」または「時々ある」と回答した人のみ】

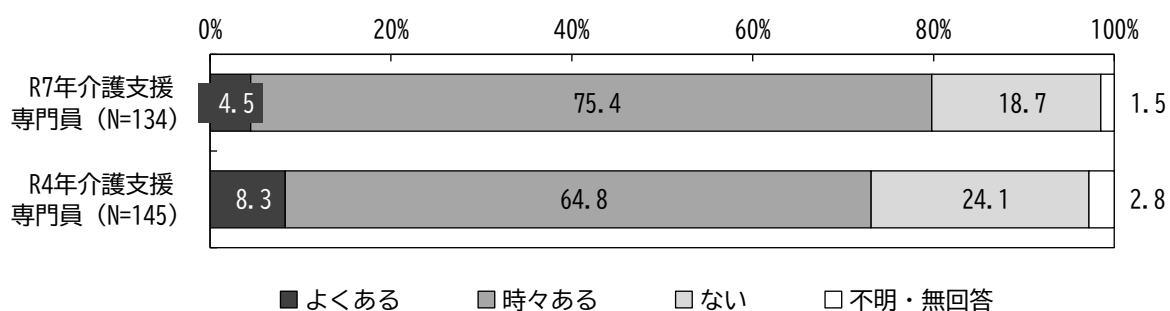
組み入れるよう求められた理由は何ですか。【複数回答】

「加算のため」が66.0%で最も多くなっています。



問9. サービス提供事業者から、サービスを拒否されたことはありますか。

「時々ある」が75.4%で最も多くなっています。

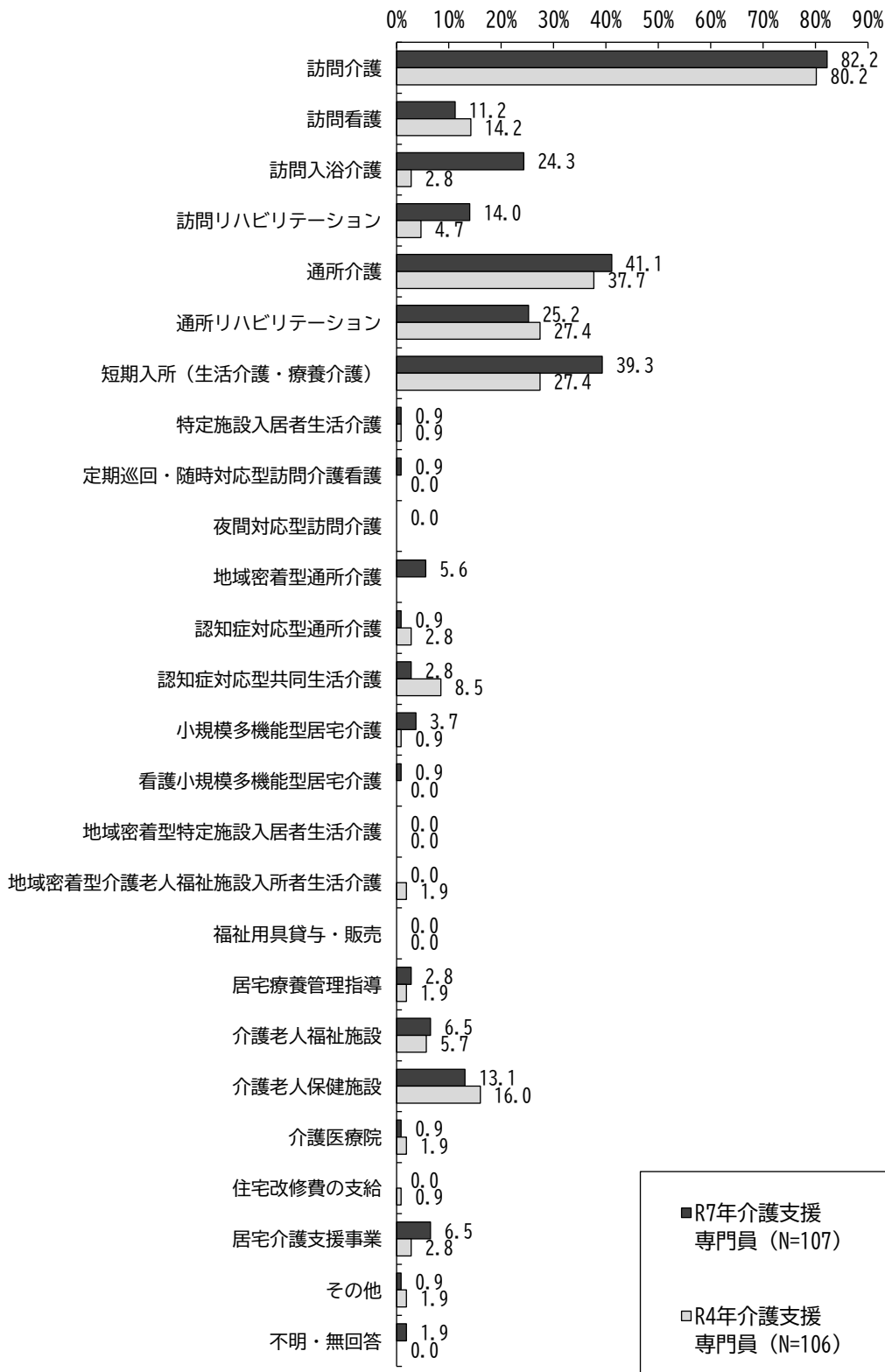


【問9で「よくある」または「時々ある」と回答した人のみ】

①拒否されたサービスは何ですか。【複数回答】

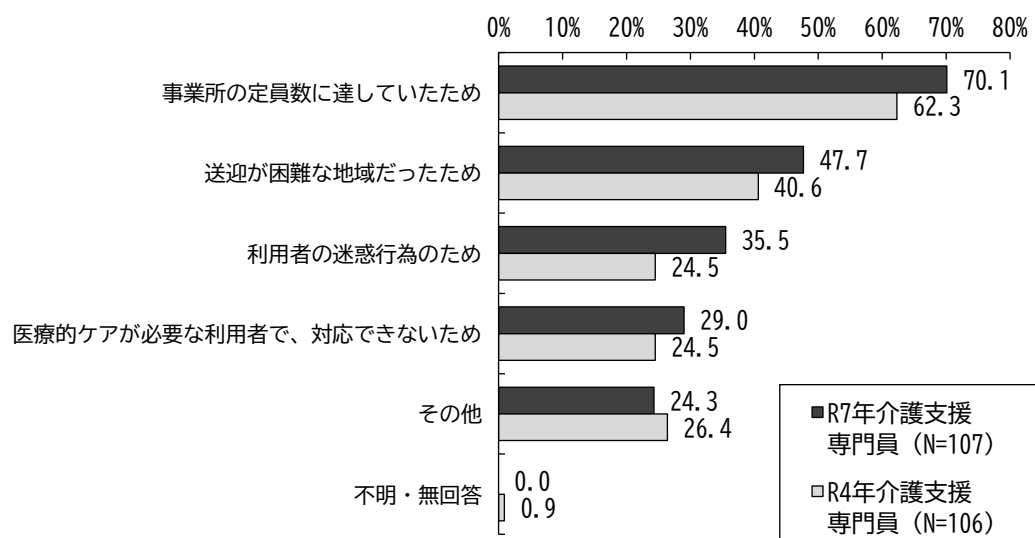
「訪問介護」が82.2%で最も多く、次いで「通所介護」が41.1%、「短期入所（生活介護・療養介護）」が39.3%となっています。

前回調査と比べると「訪問入浴介護」「訪問リハビリテーション」「短期入所（生活介護・療養介護）」が増加しています。



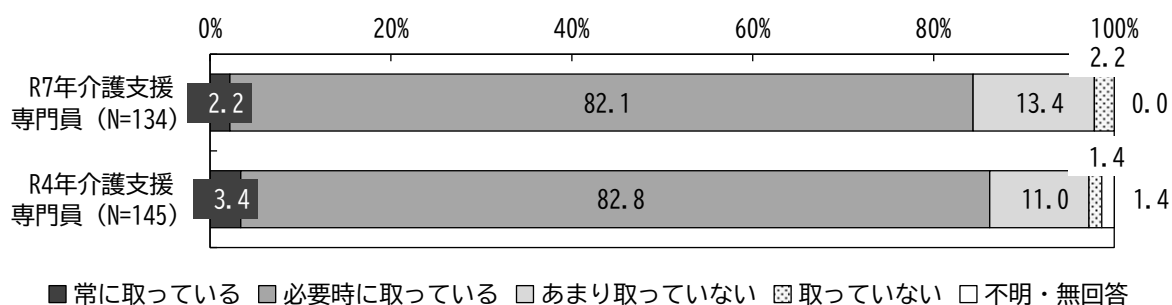
② 拒否された理由は何ですか。【複数回答】

「事業所の定員数に達していたため」が70.1%で最も多く、次いで「送迎が困難な地域だったため」が47.7%となっています。



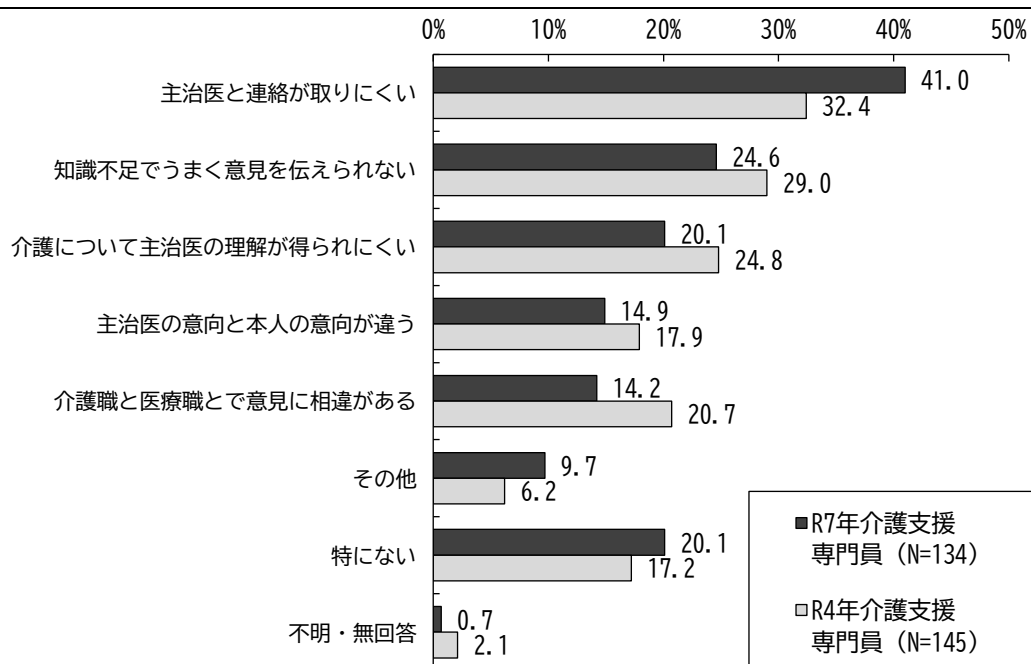
問 10. 利用者の病状や健康状態について、主治医と連絡を取っていますか。

「必要時に取っている」が82.1%で最も多くなっています。



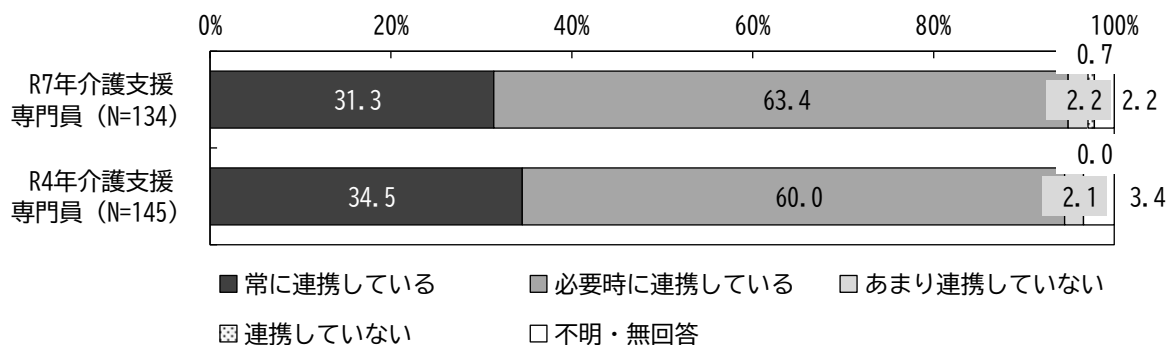
問 11. 主治医との連携が困難に感じるのはどのような場合ですか。【複数回答】

「主治医と連絡が取りにくい」が41.0%で最も多く、次いで「知識不足でうまく意見を伝えられない」が24.6%となっています。



問 12. 地域包括支援センターと連携していますか。

「必要時に連携している」が63.4%で最も多く、次いで「常に連携している」が31.3%となっています。

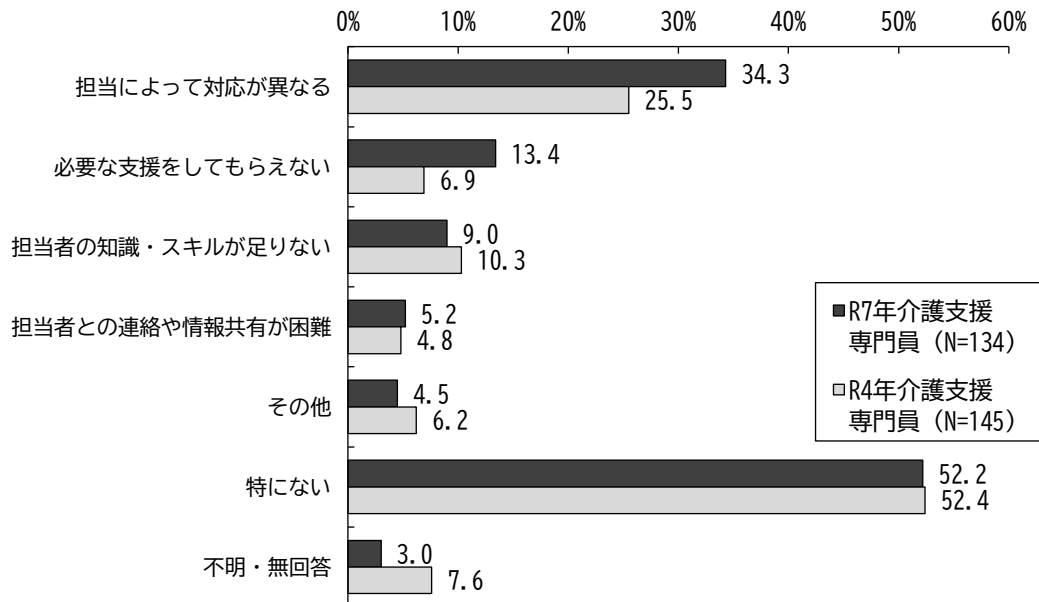


問 13. 地域包括支援センターとの連携が困難に感じるのはどのような場合ですか。

【複数回答】

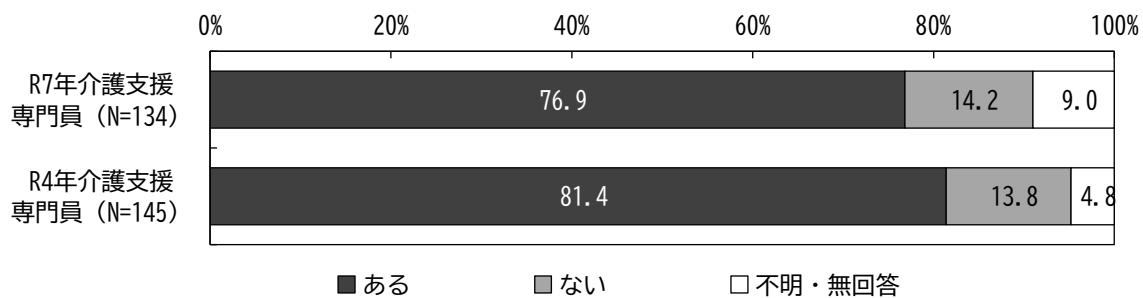
「特にない」が52.2%で最も多く、次いで「担当によって対応が異なる」が34.3%となっています。

前回調査と比べると「担当によって対応が異なる」「必要な支援をしてもらえない」がやや増加しています。



問 14. 困難事例などを地域包括支援センターに相談したことはありますか。

「ある」が76.9%となっています。

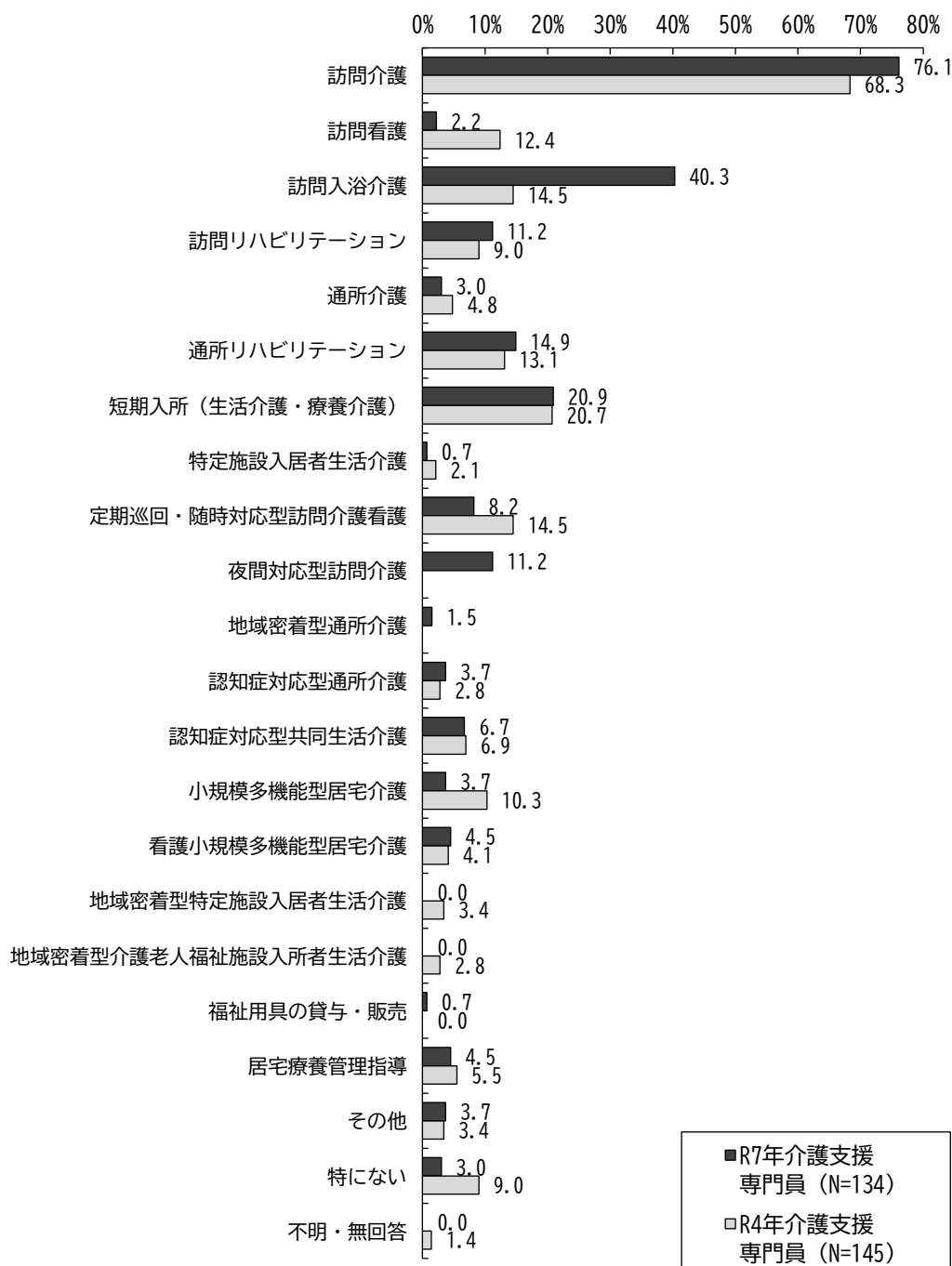


2 介護サービス提供に対する評価・要望等について

問 15. 介護・福祉サービスのうち、供給が不足していると感じるサービスは何ですか。【複数回答】

「訪問介護」が 76.1%で最も多く、次いで「訪問入浴介護」が 40.3%、「短期入所（生活介護・療養介護）」が 20.9%となっています。

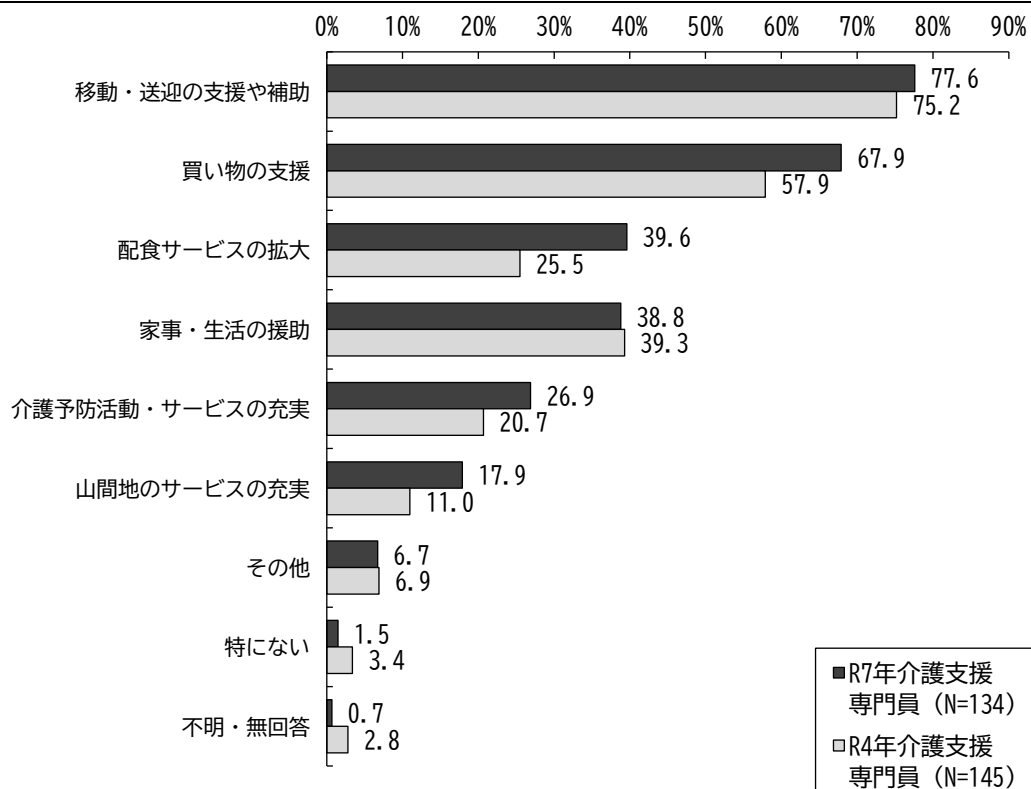
前回調査と比べると「訪問入浴介護」が増加しています。



問 16. 法定の介護保険サービス以外で、市独自で給付してほしいサービスはありますか。【複数回答】

「移動・送迎の支援や補助」が77.6%で最も多く、次いで「買い物の支援」が67.9%となっています。

前回調査と比べると「買い物の支援」「配食サービスの拡大」が増加しています。

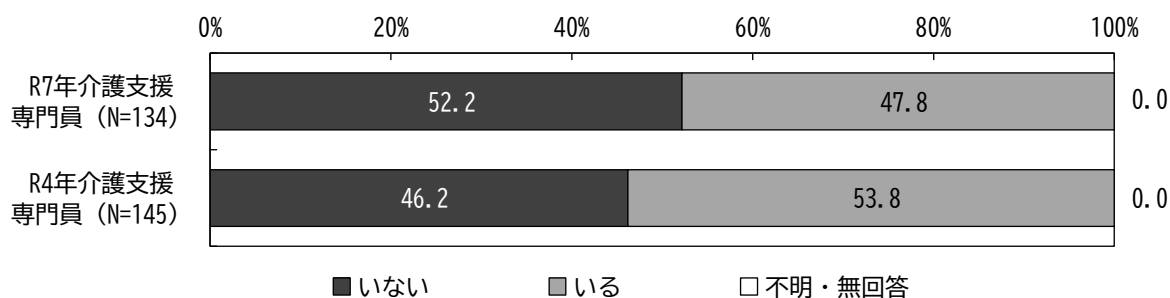


3 在宅介護の継続について

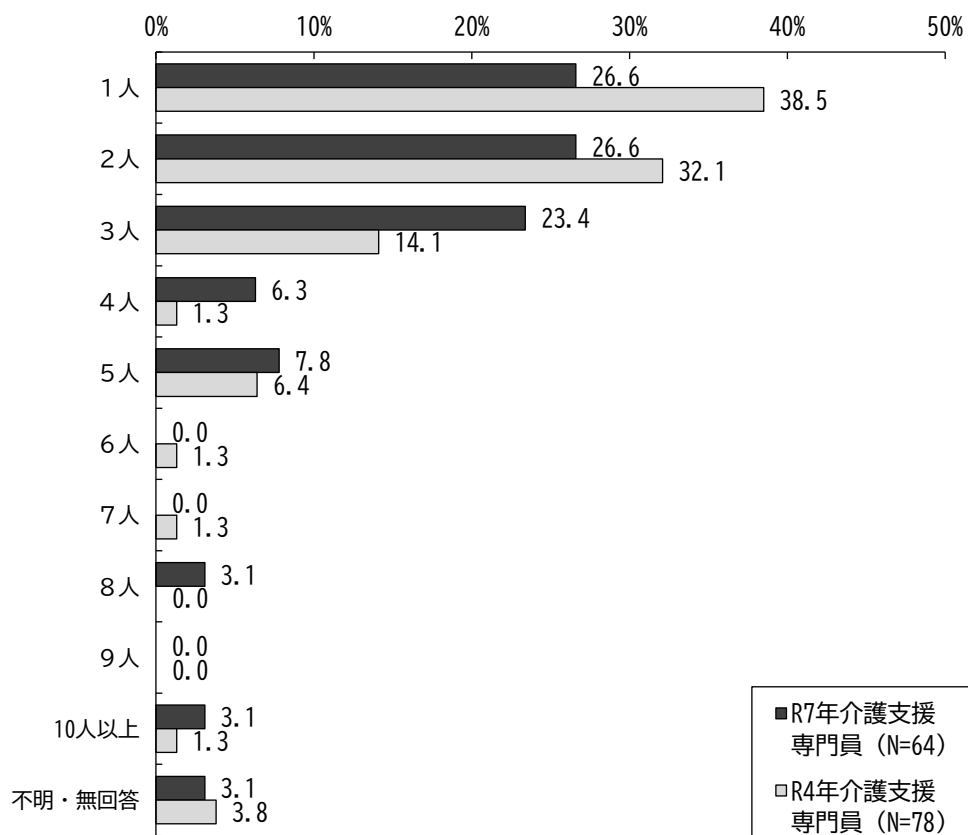
問 17. 現在担当している利用者のうち、「自宅」、「サ高住」、「住宅型有料」、「軽費老人ホーム」にお住まいの方で、生活の維持が難しくなっている人はいますか。いる場合は人数もお答えください。

「いる」が47.8%となっています。

人数については、「1人」と「2人」26.6%で最も多く、次いで「3人」が23.4%となっています。



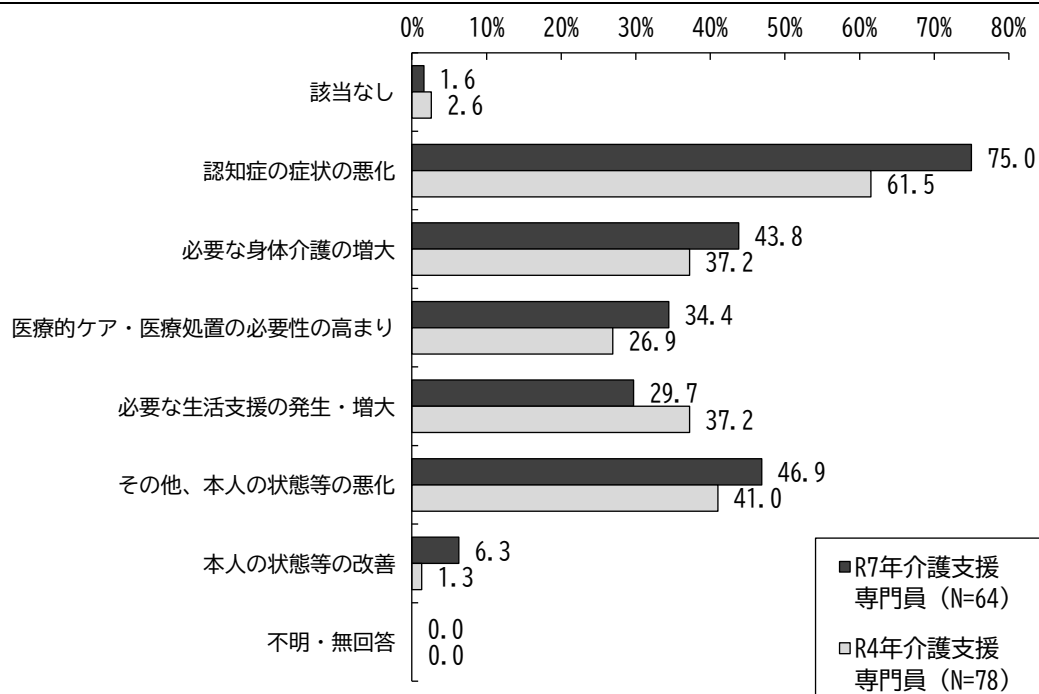
生活の維持が難しくなっている人数



【問 17 で「いる」と回答した人のみ】

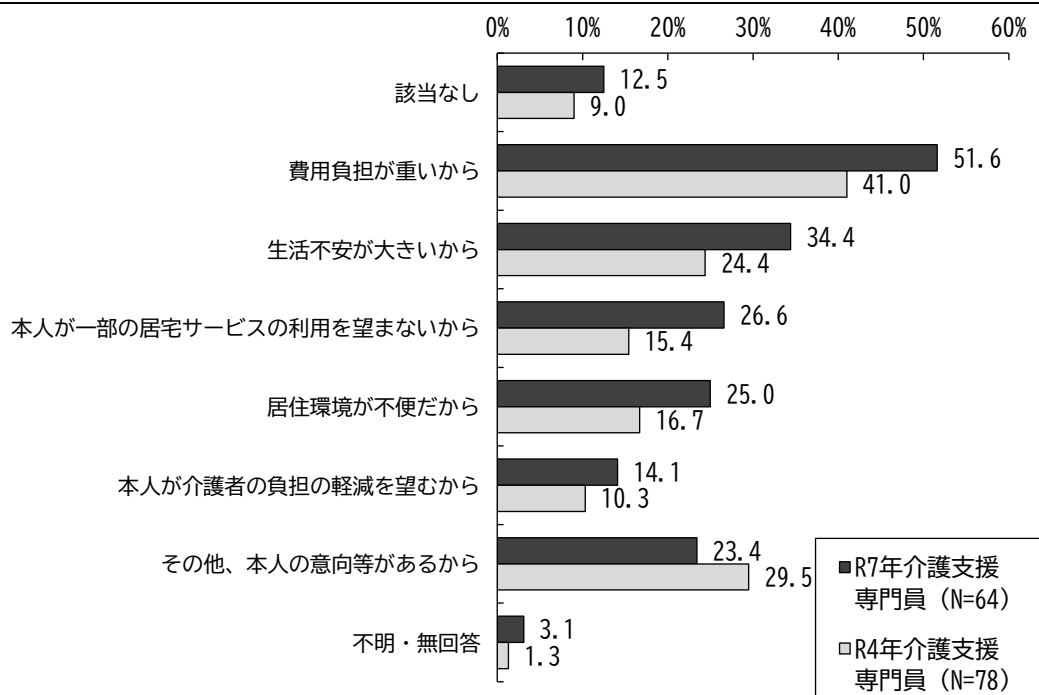
①生活の維持が難しくなっている理由のうち、本人の状態等に属するものは何ですか。【複数回答】

「認知症の症状の悪化」が 75.0% で最も多くなっています。



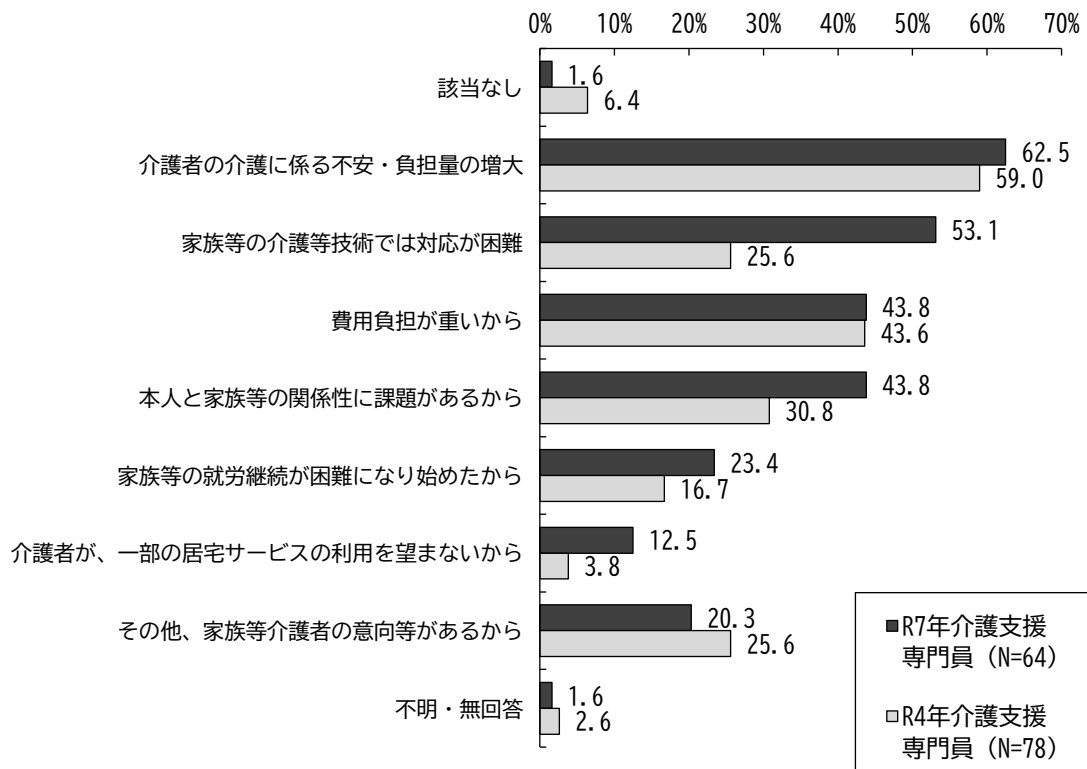
②生活の維持が難しくなっている理由のうち、主に本人の意向等に属するものは何ですか。【複数回答】

「費用負担が重いから」が 51.6% で最も多くなっています。



③生活の維持が難しくなっている理由のうち、主に家族等介護者の意向・負担等に属するものは何ですか。【複数回答】

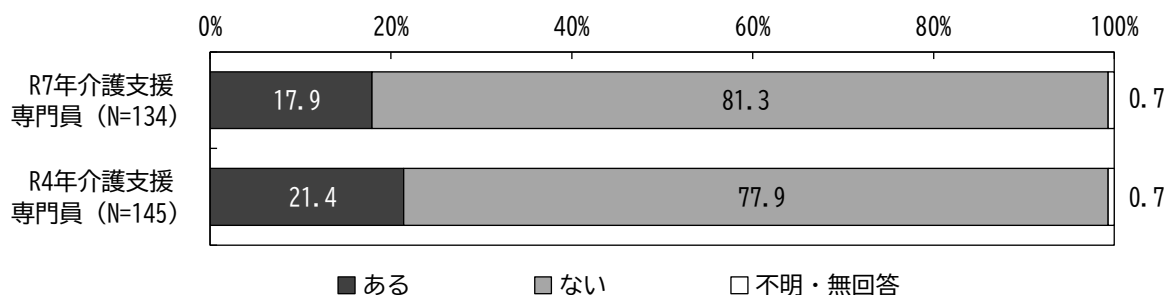
「介護者の介護にかかる不安・負担量の増大」が62.5%で最も多くなっています。
 前回調査と比べると「家族等の介護等技術では対応が困難」が増加しています。



4 高齢者虐待の状況について

問 18. 受けもっている要介護者の中で、高齢者虐待を受けている又は受けていると思われる事例がありますか。

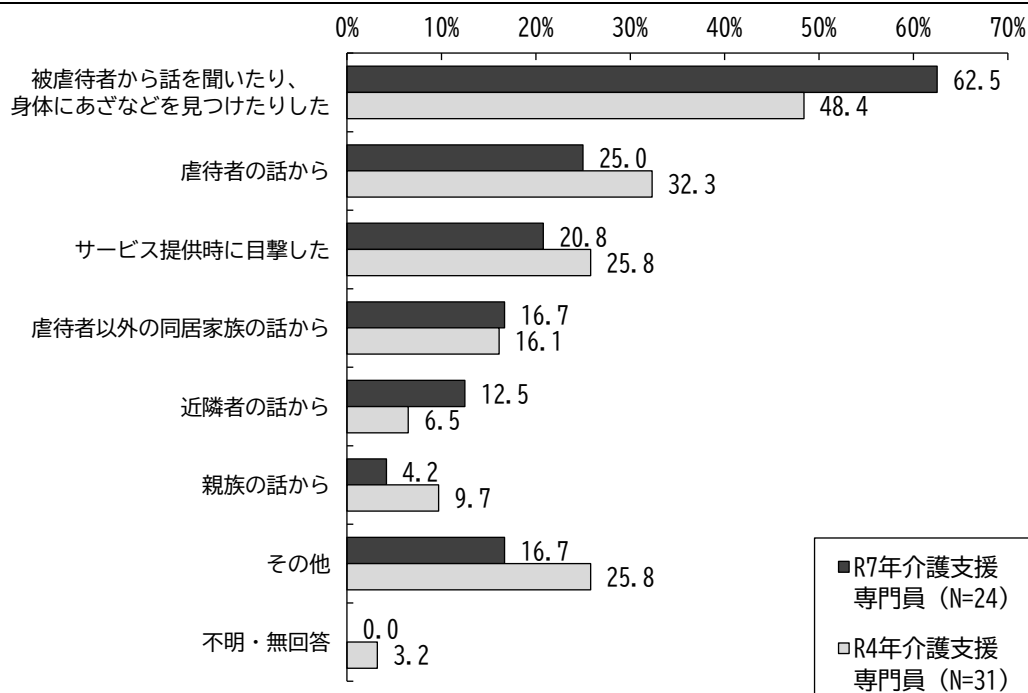
「ある」が17.9%となっています。



【問 18 で「ある」と回答した人のみ】

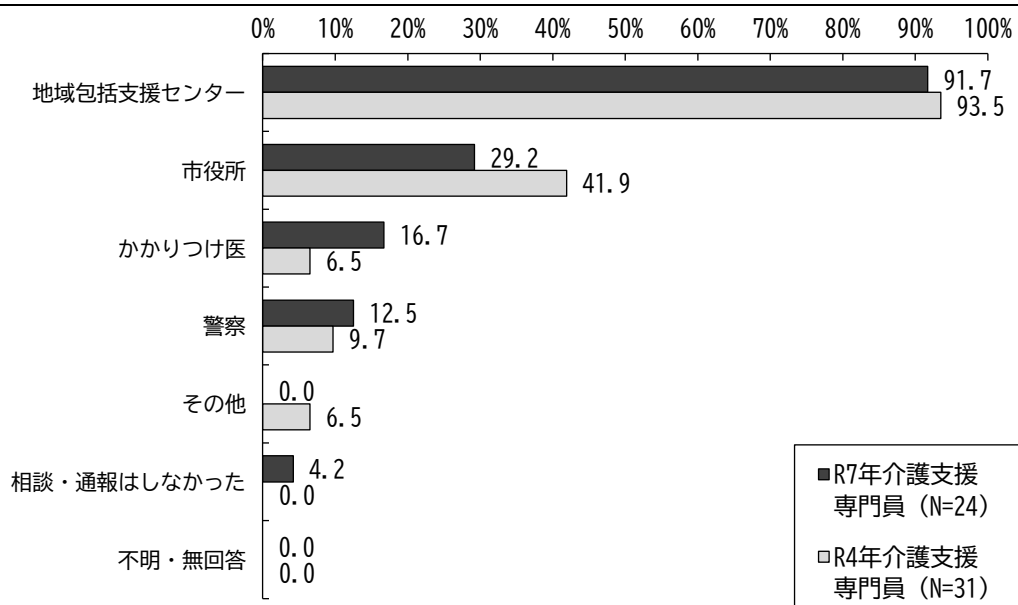
①それは、どのようにしてわかりましたか。【複数回答】

「被虐待者から話を聞いたり、身体にあざなどを見つけたりした」が62.5%で最も多くなっています。



②相談・通報先はどこですか。【複数回答】

「地域包括支援センター」が91.7%で最も多く、次いで「市役所」が29.2%となっています。

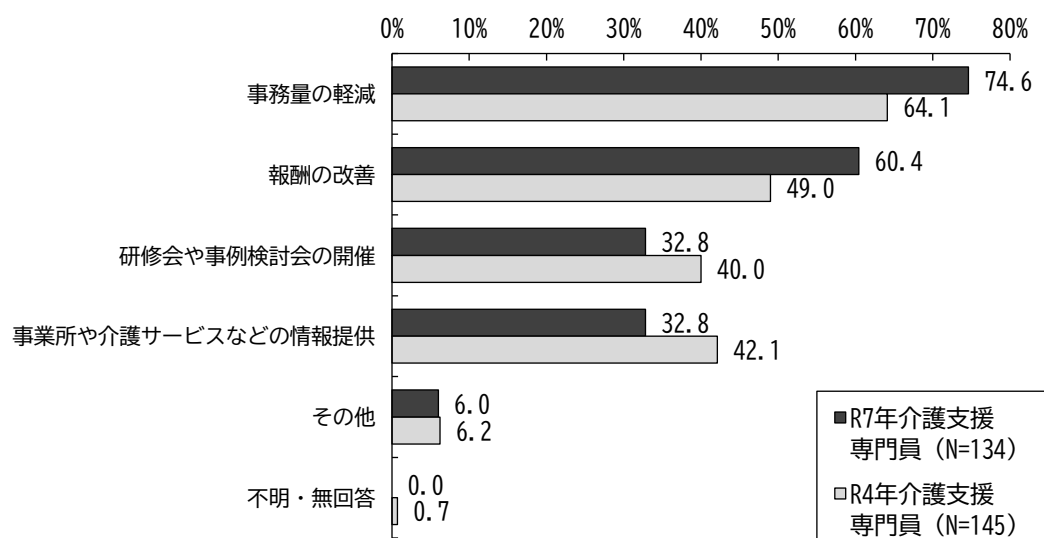


5 介護支援専門員の資質向上のための対策について

問 19. ケアマネジャーの資質向上のため、市や事業所に求めることは何ですか。

【複数回答】

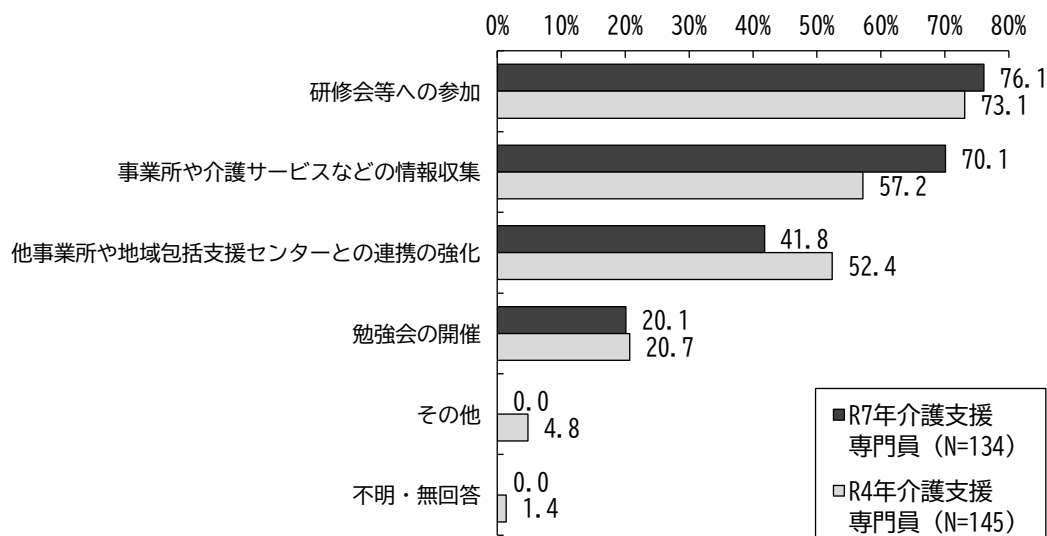
「事務量の軽減」が74.6%で最も多く、次いで「報酬の改善」が60.4%となっています。前回調査と比べると、「事務量の軽減」「報酬の改善」が増加しています。



問 20. ケアマネジャーの資質向上のため、ご自身が工夫していることは何ですか。

【複数回答】

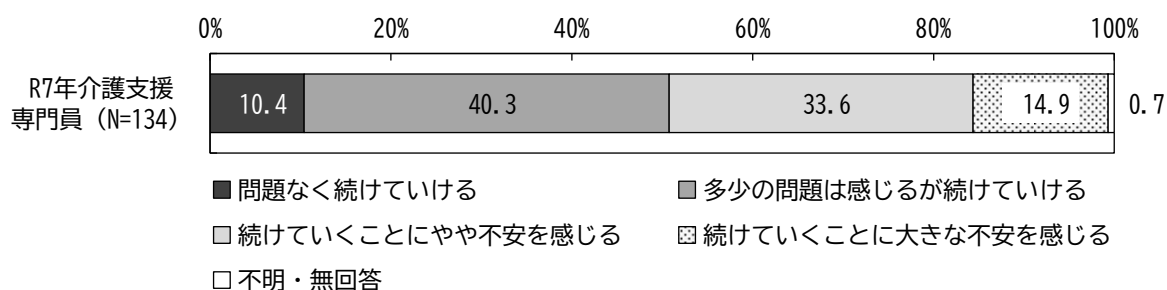
「研修会等への参加」が76.1%で最も多く、次いで「事業所や介護サービスなどの情報収集」が70.1%となっています。



問 21. 引き続きケアマネジャーとして働くことをどう思いますか。

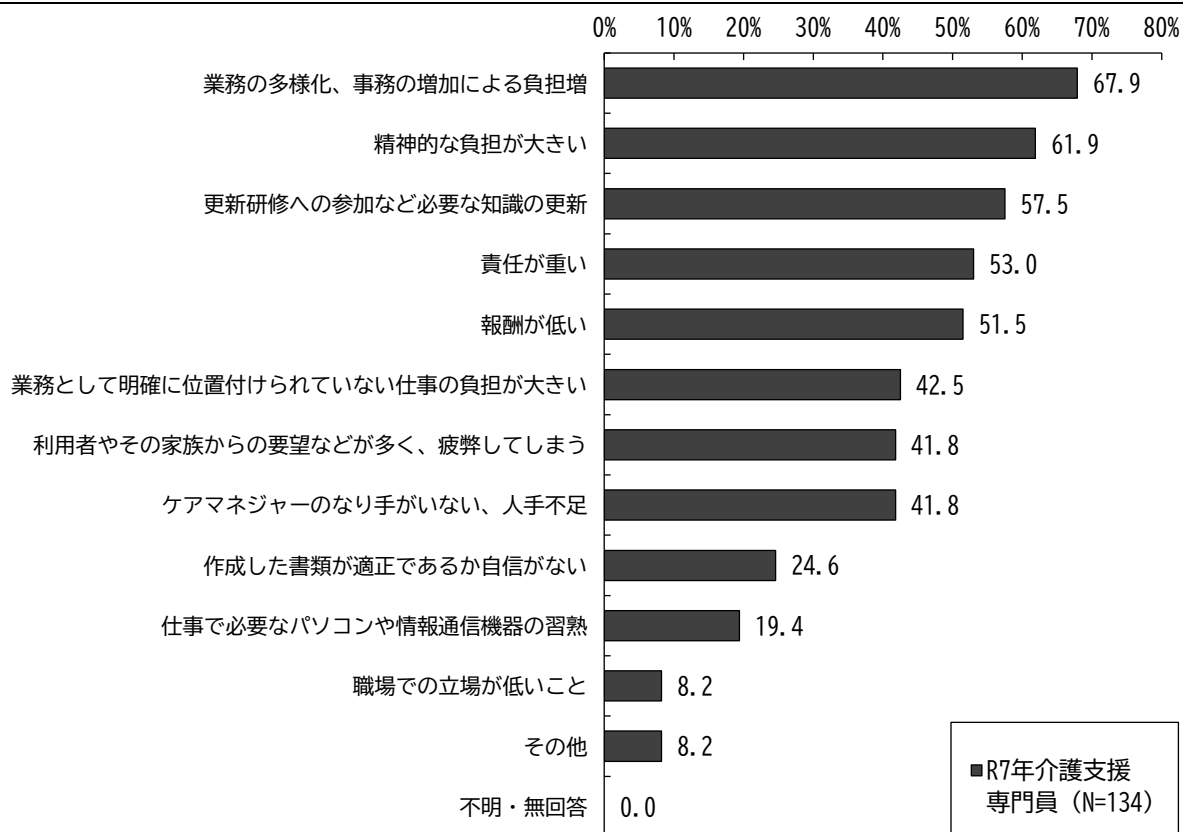
「多少の問題は感じるが続けていける」が40.3%で最も多く、次いで「続けていくことにやや不安を感じる」が33.6%となっています。

続けていけるという回答は50.7%、続けていくことに不安を感じるという回答は48.5%となっています。



問 22. ケアマネジャーとして働く上で、不安や不満を感じるのはどのようなことですか。【複数回答】

「業務の多様化、事務の増加による負担増」が67.9%で最も多く、次いで「精神的な負担が大きい」が61.9%、「更新研修への参加など必要な知識の更新」が57.5%となっています。



IX 調査結果のまとめ

1 本市の高齢者の状況

- 前回調査と比べて、回答者の年齢構成がやや高齢化し、単身世帯の割合がやや増加しています。在宅サービス利用者においても、高齢者のみの世帯の割合が増加しています。
- 年齢構成の高齢化の一方で、「閉じこもり傾向」「口腔機能の低下」「認知機能の低下」「IADLの低下」等のリスク判定において、前回調査より要支援リスクに該当する人の割合が下がっています。
- 外出については、前回調査で顕著にみられた感染症の影響が払拭され、高齢者の外出傾向が感染症拡大前の状況に回復してきていることがうかがえます。

⇒団塊の世代が75歳以上となる2025年が過ぎ、人口の多い世代の高齢化に伴って高齢者の単身世帯の増加や支援を必要とする高齢者の増加が見込まれます。一方で、支援リスクの低下や外出傾向の回復は、感染症の影響からの回復や各種の介護予防の取組の成果を示唆するものとなっており、引き続き介護予防を推進していくことが重要となります。

2 2040年を見据えた若年者の状況

- 普段気軽に話せる人がいない人は、若年者の中でも上の年齢ほど多い傾向となっており、高齢期を迎える前の段階で社会的な孤立が懸念される人がいることが示されています。
- 相談窓口等については若年者の中でも年齢が上になるほど認知が上がっている一方、総合相談窓口「ふくさぼ」を知っている若年者がわずかにとどまっているなど、周知が進んでいない状況がうかがえます。
- 若年者自身が受けたい介護については、施設入所を希望する人が最も多くなっており、在宅介護の継続を進めてきた近年の動向とは異なる傾向がうかがえます。

⇒団塊ジュニア世代が65歳以上となっていく2040年を見据え、高齢期を迎える前の段階における社会的孤立の防止や、福祉分野の制度・理念の周知が課題となることが考えられます。

3 認知症について

- 高齢者における認知症の相談窓口の認知が大幅に進んでおり、周知の成果が表れてきたことがうかがえます。
- いわゆる「新しい認知症観」に属する考え方については、高齢者においては4割台、若年者において3割台となっており、特に若年世代において認知症に否定的な見方をしている人が多いことが示されています。
- 在宅介護において、介護者が不安を感じる介護では、「認知症状への対応」という回答が最も多くなっています。

⇒共生社会の実現を推進するための認知症基本法や同法に基づく国の認知症施策推進基本計画を踏まえ、本市においても認知症施策推進計画の策定が必要となっています。新しい認知症観の普及・啓発や、認知症の人の在宅生活の支援の充実等について、今回の調査結果を踏まえた取組の充実が求められます。

4 介護サービス等の状況

- 在宅サービス利用者における家族・親族の主な介護者については、4割が70歳以上となっており、前回調査と変わらず、老老介護の状況が少なくないことが示されています。
- 在宅サービス利用者の主な介護者については、フルタイムで就労している人が増加している一方、働きながらの介護を「問題なく続けていける」という回答が減少しています。
- 介護サービスを提供する事業者においては、入所施設を含めて、介護職員が不足しているという回答が前回調査より増加しており、人材確保が困難な状況が拡大していることがうかがえます。経営面での課題についても、職員の確保や高齢化に関わる回答が多くなっています。
- 供給が不足しているサービスについて、「訪問入浴介護」という回答が、事業者においても、ケアマネジャーにおいても大幅に増加しています。
- ケアマネジャーについては、続けていくことに不安を感じている人が全体の半数近くを占めており、特に業務の多様化・増加や必要な知識の更新といった、近年の変化について不安や不満を感じている人が多くなっています。

⇒要介護となってからの在宅生活の継続については、働きながら介護をする家族の増加や老々介護といった状況を踏まえ、効果的なサービスの確保が課題となります。事業所における人材不足は深刻化していることがうかがえ、生産年齢人口が減少する2040年を見据えた取組が求められます。また、ケアマネジャーの負担軽減や知識更新等を支援していく取組も、人材確保における課題となります。

X 資料編

1 一般高齢者調査 調査票

一般高齢者

介護保険等実態調査（アンケート調査）

調査協力をお願い

日頃から、本市の高齢者福祉行政の推進にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。このたび、本市では、令和7年11月1日現在で「介護保険等実態調査」を実施します。この調査は、令和9年度を初年度とする第10期の「岡崎市地域包括ケア計画」の策定に向けた基礎資料とするものです。

調査の実施にあたり、調査対象として満65歳以上の市民3,600人の皆様を無作為に選ばせていただきました。ご記入いただいた内容につきましては、本事業の目的以外には使用しませんので、皆様の貴重なご意見やご要望をお聞かせください。ご多用のところ、大変お手数を重ねたいと思いますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年11月

岡崎市長 内田 康宏

※対象者ご本人が何らかの事情により調査できない場合には、下の枠内のいずれかの番号に○をつけ、回答せずに返信用封筒に入れて郵便ポストへご投函ください。

- 1. 病院へ入院
- 2. 施設へ入所
- 3. 市外へ転居
- 4. その他()

ご記入にあたってのお願い

- この調査は**令和7年11月1日現在**の内容でご記入ください。
- 黒色の鉛筆又はボールペン等でご記入ください。
- 回答は、対象者ご本人がご記入ください。なお、ご本人お一人での回答が難しい場合は、ご家族の方などがお手伝いのうえ、ご回答ください。
- 回答は、あてはまる番号に○をつけていただくものと、数値などを記入いただくものがあります。（○は1つだけ、（○はいくつでも）などの指示にしたがってご回答ください。
- 回答が「その他」にあてはまる場合は、()内に具体的にご記入ください。
- わからない点や質問等がありましたら、下記までお問い合わせください。
- ご記入後、お手数ですが、このアンケートを同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、**令和7年11月26日（水）**までに郵便ポストへご投函ください。

<この調査に関するお問い合わせ先>

岡崎市 福祉部 長寿課 施策係
電話：(0564) 23-6149 FAX：(0564) 23-6520

個人情報取り扱いについて

個人情報保護法および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。
なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

【個人情報の保護および活用目的について】

・この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、市町村による介護保険事業計画策定の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、市町村内で適切に管理いたします。
・ただし、介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する市町村外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析するなど、個人が識別されない形で利用することがあります。

1 宛名の方ご自身についてお聞きします。

問1. 現在の世帯状況をお答えください。（○は1つだけ）

- 1. 1人暮らし
- 2. 夫婦2人暮らし
(配偶者は65歳以上)
- 3. 夫婦2人暮らし
(配偶者は64歳以下)
- 4. 息子・娘との2世帯
- 5. その他()

問2. 今の暮らしは、経済的にみてどう感じますか。（○は1つだけ）

- 1. 大変苦しい
- 2. やや苦しい
- 3. ふつう
- 4. ややゆとりがある
- 5. 大変ゆとりがある

問3. 普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。（○は1つだけ）

- 1. 介護・介助は必要ない
- 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
- 3. 現在、何らかの介護を受けている
(介護認定を受けずに、家族などの介護を受けている場合も含む)

問4. 現在のあなたの就労状態はどれですか。(○はいくつでも)

1. 職に就いたことがない
2. 引退した
3. 常勤(フルタイム)
4. 非常勤(パート・アルバイト等)
5. 自営業
6. 休職中
7. その他()

2 からだを動かすことや食べることについてお聞きします。

問5. 階段をすすりや壁をつたわらずに昇っていますか。(○は1つだけ)

1. できるし、している
2. できるが、していない
3. できない

問6. 椅子に座った状態から何にもつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つだけ)

1. できるし、している
2. できるが、していない
3. できない

問7. 15分くらい続けて歩いていきますか。(○は1つだけ)

1. できるし、している
2. できるが、していない
3. できない

問8. 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つだけ)

1. 何度もある
2. 1度ある
3. ない

問9. 転倒することへの不安は大きいですか。(○は1つだけ)

1. とても不安である
2. やや不安である
3. あまり不安ではない
4. 不安ではない

問10. 週に1回以上は外出していますか。(○は1つだけ)

1. ほとんど外出しない
2. 週1回
3. 週2~4回
4. 週5回以上

問11. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つだけ)

1. とても減っている
2. 減っている
3. あまり減っていない
4. 減っていない

問12. 身長・体重をご記入ください。

(小数点以下は切り捨て、整数でご記入ください)

身長 cm 体重 kg

問13. 6か月間で2~3kg以上の体重減少がありますか。(○は1つだけ)

1. はい
2. いいえ

問14. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つだけ)

1. はい
2. いいえ

問15. お茶や汁物等でむせることがありますか。(○は1つだけ)

1. はい
2. いいえ

問16. 口の渇きが強くなりましたか。(○は1つだけ)

1. はい
2. いいえ

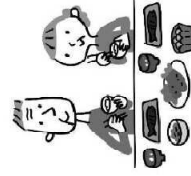
問17. 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(○は1つだけ)

[※成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。]

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用はなし
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用はなし

問18. どなたかと食事をもとにする機会がありますか。(○は1つだけ)

1. 毎日ある
2. 週に何度かある
3. 月に何度かある
4. 年に何度かある
5. ほとんどない



3 毎日の生活についてお聞きします。

問 19. 心身の状態等により、外出を控えていますか。(○は1つだけ)
 1. 控えている 2. 控えていない ⇒問 20へ

【問 19 において「1. 控えている」と回答された方にお聞きします。
 外出を控えている理由は、次のどれですか。(○はいくつでも)

1. 病氣
2. 体の障がい(脳卒中の後遺症など)
3. 足腰などの痛み
4. トイレの心配(失禁など)
5. 耳の障がい(聞こえの問題など)
6. 目の障がい
7. 外での楽しみがない
8. 経済的に出られない
9. 移動手段がない
10. その他()

問 20. 外出する際の移動手段は何ですか。(○はいくつでも)

1. 徒歩
2. 自転車
3. バイク
4. 自動車(自分で運転する)
5. 自動車(人に乗せてもらう)
6. 電車
7. 路線バス
8. 病院や施設のバス
9. 車いす
10. 電動車いす(カート)
11. 歩行器・シルバーカー
12. タクシー
13. その他()

問 21. 物忘れが多いと感じますか。(○は1つだけ)

1. はい
2. いいえ

問 22. バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)
 (○は1つだけ)

1. できるし、している
2. できるが、していない
3. できない

問 23. 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。(○は1つだけ)

1. できるし、している
2. できるが、していない
3. できない

問 24. 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つだけ)

1. できるし、している
2. できるが、していない
3. できない

問 25. 自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つだけ)

1. できるし、している
2. できるが、していない
3. できない

問 26. 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つだけ)

1. できるし、している
2. できるが、していない
3. できない

問 27. 日常生活において困っていることは何ですか。(○はいくつでも)

1. 高いところの作業(電球の交換等)
2. 重いものの運搬(布団、灯油、米、相犬こみなど)
3. 屋外作業(草刈、庭木の手入れ等)
4. 部屋の掃除
5. 電化製品の操作
6. 書類整理・事務手続き
7. 食事の支度
8. 外出の移動手段(買い物・通院等)
9. 話し相手・相談相手がいない
10. ペットの世話
11. その他()
12. 困っていることは特になし

問 28. あなたは、パソコン、スマートフォンやタブレット端末等の情報通信機器
 を利用していますか。(○は1つだけ)

1. よく利用している
2. ときどき利用している
3. ほとんど利用していない
4. 利用していない

問 29. あなたは普段、パソコンやスマートフォン等の情報通信機器を利用して、
 次のようなことをしていますか。(○はいくつでも)

1. メール・ライン等を利用した家族・知人との連絡・通信や情報収集
2. ウェブサイト等の利用による調べもの
3. フェイスブック・インスタグラム・エック
ス(旧ツイッター)等のSNS(会員交流
 サイト)の利用
4. 動画サイトの利用やインターネット配信
による講演・演奏等の視聴
5. 買い物・ショッピング
6. オンラインの相談や診療の利用
7. その他()
8. 利用していない



4 地域での活動についてお聞きします。

問 30. 以下のような会、グループ等にとのくらの頻度で参加していますか。

- ① ボランティアのグループ (○は1つだけ)
1. 週4回以上
 2. 週2~3回
 3. 週1回
 4. 月1~3回
 5. 年に数回
 6. 参加していない
- ② スポーツ関係のグループやクラブ (○は1つだけ)
1. 週4回以上
 2. 週2~3回
 3. 週1回
 4. 月1~3回
 5. 年に数回
 6. 参加していない
- ③ 趣味関係のグループ (○は1つだけ)
1. 週4回以上
 2. 週2~3回
 3. 週1回
 4. 月1~3回
 5. 年に数回
 6. 参加していない
- ④ 学習・教養サークル (○は1つだけ)
1. 週4回以上
 2. 週2~3回
 3. 週1回
 4. 月1~3回
 5. 年に数回
 6. 参加していない
- ⑤ 介護予防のための通いの場 (○は1つだけ)
- ※「通いの場」とは、地域に住む高齢者が定期的に集まり、さまざまな運動やレクリエーションを通じて仲間と楽しみながらリフレッシュしたり、日々の生活に活力をとり入れてもらうための地域の皆さんの取組みです。岡崎市では「岡崎さんぞく体操」「いきいきクラブ」等の名称で実施されています。また、地域の茶話会等も含まれます。
1. 週4回以上
 2. 週2~3回
 3. 週1回
 4. 月1~3回
 5. 年に数回
 6. 参加していない
- ⑥ 老人クラブ (○は1つだけ)
1. 週4回以上
 2. 週2~3回
 3. 週1回
 4. 月1~3回
 5. 年に数回
 6. 参加していない
- ⑦ 町内会・自治会 (○は1つだけ)
1. 週4回以上
 2. 週2~3回
 3. 週1回
 4. 月1~3回
 5. 年に数回
 6. 参加していない
- ⑧ 収入のある仕事 (○は1つだけ)
1. 週4回以上
 2. 週2~3回
 3. 週1回
 4. 月1~3回
 5. 年に数回
 6. 参加していない

問 31. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(○は1つだけ)

1. ぜひ参加したい
2. 参加してもよい
3. 参加したくない
4. 既に参加している

問 32. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。

(○は1つだけ)

1. ぜひ参加したい
2. 参加してもよい
3. 参加したくない
4. 既に参加している

5 たすけあいについてお聞きします。

問 33. あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人は誰ですか。(○はいくつでも)

1. 配偶者
2. 同居の子ども
3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣の人
6. 友人
7. その他()
8. そのような人はいない

問 34. 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人は誰ですか。

(○はいくつでも)

1. 配偶者
2. 同居の子ども
3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣の人
6. 友人
7. その他()
8. そのような人はいない

問 35. あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人は誰ですか。(○はいくつでも)

1. 配偶者
2. 同居の子ども
3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣の人
6. 友人
7. その他()
8. そのような人はいない

問 36. 反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人は誰ですか。(○はいくつでも)

1. 配偶者
2. 同居の子ども
3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣の人
6. 友人
7. その他()
8. そのような人はいない

6 健康についてお聞きします。

問 37. 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つだけ)

1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない

問 38. あなたは、現在のどの程度幸せですか。(○は1つだけ)
 (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として回答してください)

とても不幸	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	とても幸せ
-------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-------

問 39. この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○は1つだけ)

1. あった 2. なかった

問 40. この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つだけ)

1. あった 2. なかった

問 41. タバコは吸っていますか。(○は1つだけ)

1. ほほ毎日吸っている 2. 時々吸っている
 3. 吸っていたがやめた 4. もともと吸っていない

問 42. 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(○はいくつでも)

1. ない 2. 高血圧
 3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞など) 4. 心臓病
 5. 糖尿病 6. 高脂血症(脂質異常)
 7. 呼吸器の病気(肺炎・気管支炎など) 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気
 9. 胃臓・前立腺の病気 10. 筋骨格の病気(骨粗しょう症・関節症など)
 11. 外傷(転倒・骨折など) 12. がん(悪性新生物)
 13. 血液・免疫の病気 14. うつ病
 15. 認知症(アルツハイマー病など) 16. パーキンソン病
 17. 目の病気 18. 耳の病気
 19. その他()

問 43. かかりつけの医師がいますか。(○は1つだけ)

1. いる 2. いない

問 44. 高齢者の生活について相談ができる「地域包括支援センター」が市内にあるのを知っていますか。(○は1つだけ)

1. 知っている 2. 知らない

問 45. 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(○は1つだけ)

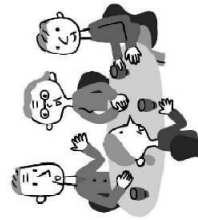
1. はい 2. いいえ

問 46. 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つだけ)

1. はい 2. いいえ

問 47. あなたは認知症に対してどのようなイメージを持っていますか。あなたが思う最も近いものを1つだけお答えください。(○は1つだけ)

1. 認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活できる
 2. 認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってから、今まで暮らしてきた地域で生活していく
 3. 認知症になると、鼻息、鼻汁など周りの人に迷惑をかけてしまうので、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる
 4. 認知症になると、鼻息、鼻汁など周りの人に迷惑をかけてしまうので、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる
 5. 認知症になると、症状が進行してゆき、何もできなくなってしまう
 6. その他()
 7. わからない



問 48. もし、あなたが認知症になったらとしたら、どのように暮らしたいと思
いますか。あなたが思う最も近いものを1つだけお答えください。
(○は1つだけ)

1. 認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地
域で、今までどおり自立的に生活していきたい
2. 認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた
地域で生活していきたい
3. 認知症になると、身の回りのことができなくなってしまうので、介護施設で必要なサ
ポートを利用しながら暮らしたい
4. 認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうので、介護施設で必要なサポートを
利用しながら暮らしたい
5. 認知症になったら、誰にも迷惑をかけないよう、ひとり暮らししていきたい
6. その他()
7. わからない

7 居場所や通いの場についてお聞きします。

問 49. 自宅以外で居場所(通いの場)はありますか。(○はいくつでも)

1. 趣味の講座
2. スポーツジム
3. グラウンド・ゴルフなど地域の運動の場
4. 地域の茶話会
5. 岡崎ごまんぞく体操
6. いきいきクラブ
7. 図書館
8. 喫茶店
9. その他()
10. どこにも行ってない ⇒ 問50へ

【問 49 において「1.」～「9.」のいずれかに回答された(どこかに行っている)
方にお聞きします。】

通いの場に行く理由は何か。(○はいくつでも)

1. 仲間づくり
2. 知識などの習得
3. 健康づくり
4. 特にないが、時間があるため
5. その他()

10

問 50. 近所に気軽に集まることができ「通いの場」があったら、行ってみたい
と思いますか。(○は1つだけ)

1. 行ってみたい
2. 行きたくない ⇒ 問51へ

【問 50 において「1. 行ってみたい」と回答された方にお聞きします。】

① どのような「通いの場」が欲しいと思いますか。(○はいくつでも)

1. おしゃべり
2. 体操
3. 食事
4. その他()

② どれくらいの頻度で通いたいと思いますか。(○は1つだけ)

1. 週4回以上
2. 週2～3回
3. 週1回
4. 月1～3回
5. 年に数回

8 最後に

問 51. 将来あなたが人生の最期を迎えるとき、それをどこで迎えたいですか。

(○は1つだけ)

1. 自宅
2. 子ども、兄弟姉妹など親族の家
3. 病院などの医療施設
4. 特別養護老人ホームなどの介護保険施設
5. その他()

問 52. もし、あなたが終末期医療の希望を明示できなくなったとき、あなたの代
理人となる方は、あなたの人生最期の迎え方の希望(終末期医療や最期を
迎えたい場所)を知っていますか。(○は1つだけ)

1. 知っている
2. 知らない

問 53. 充実した老後を過ごすために、あなたがしたいことは何ですか。

(○は1つだけ)

1. 介護予防、健康づくり
2. 仕事
3. 趣味
4. 地域活動やボランティア
5. その他()
6. わからない

11

問 54. 本市の介護保険、高齢者福祉について、ご意見などがありましたら
ご自由にお書きください。

[]

ご協力ありがとうございました。
記入もれがないか、今一度お確かめください。

同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、

令和7年11月26日（水）までに、郵便ポストへご投函ください。

※次のページに、アンケート回答者へのプレゼント（抽選）の案内があります。
よろしければご記入ください。

プレゼントのご案内

協賛：マルサンアイ株式会社



このアンケートにご回答いただいた方のうち、希望の方の中から抽選で、10名の方にマルサン豆乳（125ml×6本）をお送りします（上記の3種を各2本です）。ご希望の方は下記にお名前とご連絡先のご記入をお願いします。

お名前
ご住所（このアンケートの送付先の住所でよろしければ、記入不要です）
電話番号

※当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。また、プレゼント発送等の件で改めて個人情報をお聞きすることはありません。

2 若年者調査 調査票

若年者

介護保険等実態調査（アンケート調査）

調査協力をお願い

日頃から、本市の高齢者福祉行政の推進にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。このたびは、令和7年11月1日現在で「介護保険等実態調査」を実施します。この調査は、令和9年度を初年度とする第10期の「岡崎市地域包括ケア計画」の策定に向けた基礎資料とするものです。

調査の実施にあたり、調査対象として満40歳以上64歳以下の市民1,500人の皆様を無作為に選ばせていただきました。ご記入いただいた内容につきましては、本事業の目的以外には使用しませんので、皆様の率直なご意見やご要望をお聞かせください。

ご多用のところ、大変お手数をお掛けいたしますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年11月

岡崎市長 内田 康宏

ご記入にあたってのお願い

○この調査は**令和7年11月1日現在**の内容でご記入ください。

○黒色の鉛筆又はボールペン等でご記入ください。

○回答は、対象者ご本人がご記入ください。なお、ご本人お一人での回答が難しい場合は、ご家族の方などがお手伝いのうえ、ご回答ください。

○回答は、あてはまる番号に○をつけていただくものと、数値などをご記入いただくものがあります。(○は1つだけ)、(○はいくつでも) などの指示にしたがってご回答ください。

○回答が「その他」にあてはまる場合は、() 内に具体的に記入ください。

○本調査は、お手持ちのスマートフォンやパソコンから、WEB上で回答することができます。右のQRコードを読み取るか、下記URLからアンケートのページにアクセスして、ご回答ください。この場合は**アンケートのご返送は不要です。**

[https://questant.jp/q/70kazaki_kaigo_jakunen]



○わからない点や質問等がありましたら、下記までお問い合わせください。

○ご記入後、お手数ですが、このアンケートを同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、**令和7年11月26日（水）**までに郵便ポストへご投函ください。

<この調査に関するお問い合わせ先>

岡崎市 福祉部 長寿課 施策係

電話：(0564) 23-6149 FAX：(0564) 23-6520

1 対象者ご本人についてお聞きします。

問1. あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)

1. 男性
2. 女性

問2. あなたの年齢（令和7年11月1日現在）をお答えください。

(○は1つだけ)

1. 40歳～44歳
2. 45歳～49歳
3. 50歳～54歳
4. 55歳～59歳
5. 60歳～64歳

問3. あなたはどの小学校区にお住まいですか。(○は1つだけ)

本庁区域	1. 梅園 4. 三島 7. 常盤東 10. 広幡	2. 根石 5. 竜美丘 8. 常盤 11. 巖岩	3. 六名 6. 常盤南 9. 連尺 12. 井田
岡崎支所区域	13. 上地 16. 羽根	14. 福岡 17. 岡崎	15. 小豆坂 18. 城南
大平支所区域	19. 生平 22. 美合	20. 養梨 23. 緑丘	21. 男川 26. 本宿
東部支所区域	24. 竜谷 27. 山中	25. 藤川	
岩津支所区域	28. 岩津 31. 大門	29. 恵田 32. 奥殿	30. 大樹寺 33. 細川
矢作支所区域	34. 矢作西 37. 矢作北	35. 矢作南 38. 北野	36. 矢作東
六ツ美支所区域	39. 六ツ美北部 42. 六ツ美南部	40. 六ツ美西部 44. 夏山	41. 六ツ美中部 45. 宮崎
額田支所区域	43. 豊富 46. 形埜	47. 下山	
48. わからない（町名を記入してください）			町

岡崎市

2 日常生活の状況や介護予防についてお聞きします。

問4. 現在の健康状態はどのような状況ですか。(○は1つだけ)

1. 非常に健康
2. まあ健康
3. あまり健康でない
4. 健康ではない

問5. 人間ドックや特定健診などの健康診査(検尿、血圧測定、血液検査等)を定期的に受けていますか。(○は1つだけ)

1. 毎年受けている ⇒問6へ
2. 受けたり受けなかったりする(最後に受けたのは__年前) ⇒問6へ
3. 受けたことがない

【問5で「3. 受けたことがない」と回答された方にお聞きします。】
あなたが健康診査を受診しない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 忙しいから
2. 費用がかかるから
3. 自覚症状がないから
4. 医療機関で治療しているから
5. 受診方法がわからないから
6. 健診会場に行くのが大変だから
7. 必要と思わないから
8. 結果を知るのが不安だから
9. その他()

問6. 要介護状態にならないために、何を心がけていますか。(○はいくつでも)

1. できるだけ体を動かす
2. 食事の栄養バランスをとる
3. 飲酒量を減らす(飲酒をしない)
4. タバコの量を減らす(喫煙しない)
5. 十分な睡眠をとる
6. 体重の管理をする
7. その他()
8. 特に何もしていない

問7. 地域住民の力を生かしたさまざまな活動で、あなたがやってみたいと思うことはどれですか。(○はいくつでも)

1. ゴミ出し・電球交換などの軽作業
2. 高齢者や子どもの見守り
3. 買い物支援
4. 移動支援
5. 食事の支援
6. ペットの世話
7. 交通安全立哨や防犯パトロール
8. 地域の防災活動
9. 地域の美化清掃活動
10. その他()
11. 特にない(できない)

問8. あなたは、パソコン、スマートフォンやタブレット端末等の情報通信機器を利用していますか。(○は1つだけ)

1. よく利用している
2. とどき利用している
3. ほとんど利用していない
4. 利用していない

問9. あなたは、どのような情報通信機器を利用していますか。普段利用している機器をお答えください。(○はいくつでも)

1. パソコン
2. スマートフォン
3. 携帯電話(スマートフォン以外)
4. タブレット端末
5. その他の機器
6. 利用していない

問10. あなたは普段、パソコンやスマートフォン等の情報通信機器を利用して、次のようなことをしていますか。(○はいくつでも)

1. メール・ライン等を利用した家族・知人との連絡・通信
2. ウェブサイト等による調べものや情報収集
3. フェイスブック・インスタグラム・エック(旧ツイッター)等のSNS(会員交流サイト)の利用
4. 動画サイトの利用やインターネット配信による講演・演奏等の視聴
5. 買い物・ショッピング
6. オンラインの相談や診療の利用
7. その他()
8. 利用していない

問11. あなたには、困った時に頼れる人はいますか。(○はいくつでも)

1. 家族・親族
2. 友人・知人
3. 自治会・町内会・近所の人
4. 行政機関(国や自治体)
5. 仕事・学校関係者(職場の同僚・学校の先生等)
6. NPO等の民間団体・ボランティア団体
7. 社会福祉協議会
8. 病院・診療所の医師
9. その他()
10. いない

問12. あなたには、ふだん気軽に話せる相手はいますか。(○は1つだけ)

1. いる
2. いない

3 介護・介護サービスについてお聞きします。

問 13. 家族に介護が必要となった場合、主としてどのようなように介護したいですか。
(○は1つだけ)

1. 介護保険などのサービスは利用せずに家族等を中心に自宅で介護したい
2. 介護保険制度や保健福祉のサービスを活用しながら自宅で介護したい
3. 特別養護老人ホームなどの施設に入所させたい
4. その他()
5. わからない

問 14. あなた自身に介護が必要となった場合、主としてどのように介護してほしいですか。(○は1つだけ)

1. 介護保険などのサービスは利用せずに家族等を中心に自宅で介護してほしい
2. 介護保険制度や保健福祉のサービスを活用しながら自宅で介護してほしい
3. 特別養護老人ホームなどの施設に入所したい
4. その他()
5. わからない

問 15. 家族に介護が必要になった場合、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(○は3つまで)

1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
3. 制度を利用しやすい職場づくり
4. 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)
5. 仕事と介護に関する情報の提供
6. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
7. 介護をしている従業員への経済的な支援
8. その他()
9. 特にない

問 16. 家族に介護が必要になった場合、不安に感じる介護等についてお答えください。(○はいいくつでも)

1. 日中の排泄
2. 夜間の排泄
3. 食事の介助(食べる時)
4. 入浴・洗身
5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)
6. 衣服の着脱
7. 屋内の移乗・移動
8. 外出の付き添い、送迎等
9. 服薬管理
10. 認知症状への対応
11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)
12. 食事の準備(調理等)
13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
15. 自身の仕事と介護の両立
16. その他()
17. 特にない

問 17. 介護のことで相談するとしたら、誰に(どこに)相談しますか。
(○はいいくつでも)

1. 家族・親族
2. 友人
3. 近所の人、または町内の人(町内の役員を含む)
4. 民生委員
5. 学区福祉委員
6. 市役所の窓口
7. 地域包括支援センター
8. 医師・医療機関
9. 歯科医師・歯科医療機関
10. 薬剤師・薬局
11. その他()
12. わからない

問 18. 福祉の総合相談窓口「ふくサポ」を知っていますか。(○は1つだけ)

1. はい
2. いいえ

問 19. 高齢者の生活について相談ができる「地域包括支援センター」が市内にあるのを知っていますか。(○は1つだけ)

1. 知っている
2. 知らない

4 認知症についてお聞きします。

問 20. 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つだけ)

1. はい
2. いいえ

- 問 21. あなたは認知症に対してどのようなイメージを持っていますか。あなたが思う最も近いものを1つだけお答えください。(○は1つだけ)
1. 認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活できる
 2. 認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける
 3. 認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる
 4. 認知症になると、暴言、暴力など周りの人に迷惑をかけてしまうので、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる
 5. 認知症になると、症状が進行してゆき、何もできなくなってしまう
 6. その他()
 7. わからない

- 問 22. もし、あなたが認知症になったらとしたら、どのように暮らしたいと思いますか。あなたが思う最も近いものを1つだけお答えください。(○は1つだけ)

1. 認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活していきたい
2. 認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していきたい
3. 認知症になると、身の回りのことができなくなってしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい
4. 認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい
5. 認知症になったら、誰にも迷惑をかけないよう、ひとりで暮らしていきたい
6. その他()
7. わからない

5 最後に

- 問 23. 充実した老後を過ごすために、あなたがしたいことは何ですか。(○は1つだけ)

1. 介護予防、健康づくり
2. 仕事
3. 趣味
4. 地域活動やボランティア
5. その他()
6. わからない

6

- 問 24. 本市の介護保険、高齢者福祉について、ご意見などがありましたらご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございます。
記入もれがないか、今一度お確かめください。

同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、**令和7年11月26日(水)**までに、郵便ポストへご投函いただくか、表紙QRコードからご回答ください。

プレゼントのご案内

協賛：マルサンアイ株式会社



このアンケートにご回答いただいた方のうち、希望する方の中から抽選で、10名の方にマルサン豆乳(125ml×6本)をお送りします(上記の3種を各2本です)。ご希望の方は下記にお名前とご連絡先のご記入をお願いします。

お名前	
ご住所	
電話番号	

※当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。また、プレゼント発送等
の件で改めて個人情報をお聞きすることはありません。

7

3 在宅サービス利用者調査 調査票

在宅サービス利用者

介護保険等実態調査（アンケート調査）

調査協力をお願い

日頃から、本市の高齢者福祉行政の推進にご理解ご協力をお願いします。厚くお礼申し上げます。
このたびは、令和7年11月1日現在で「介護保険等実態調査」を実施します。
この調査は、令和9年度を初年度とする第10期の「岡崎市地域包括ケア計画」の策定に向けた基礎資料とするものです。

調査の実施にあたり、調査対象として、今年度になってから認定調査を受けた方で、在宅で介護サービスを利用されている市民1,500人の皆様を無作為に選ばせていただきました。ご紹介いただいた内容につきましては、本事業の目的以外には使用いたしませんので、皆様の率直なご意見やご要望をお聞かせください。

ご多用のところ、大変お手数をお掛けいたしますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいませうよろしくお願ひ申し上げます。

令和7年11月

岡崎市長 内田 康宏

※対象者ご本人が何らかの事情により調査できない場合には、下の枠内のいずれかの番号に○をつけ、回答せずに返信用封筒に入れて郵便ポストへご投函ください。

- 1. 病院へ入院
- 2. 施設へ入所
- 3. 市外へ転居
- 4. その他()

ご記入にあたってのお願い

- この調査は**令和7年11月1日現在**の内容でご記入ください。
- 黒色の鉛筆又はボールペン等でご記入ください。
- 回答は、対象者ご本人がご記入ください。なお、ご本人一人での回答が難しい場合は、ご家族の方などがお手伝いのうえ、ご回答ください。
- 回答は、あてはまる番号に○をつけていただくものと、数値などをご記入いただくものがあります。(○は1つだけ)。(○はいくつでも)などの指示にしたがってご回答ください。
- 回答が「その他」にあてはまる場合は、()内に具体的に記入ください。
- わからない点や質問等がありましたら、下記までお問い合わせください。
- ご記入後、お手数ですが、このアンケートを同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、**令和7年11月26日(水)**までに郵便ポストへご投函ください。

<この調査に関するお問合せ先>

岡崎市 福祉部 長寿課 施策係
電話：(0564)23-6149 FAX：(0564)23-6520

個人情報の取り扱いについて

個人情報保護法および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。
なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

【個人情報の保護および活用目的について】

- ・この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、市町村による介護保険事業計画策定の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、市町村内で適切に管理いたします。
- ・ただし、介護保険事業計画策定期に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する市町村外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析するなど、個人が識別されない形で利用することがあります。

1 対象者の方（死名の方）についてお聞きします。

問1. この調査票の記入者は、ご本人（死名の方）からみて、どれにあてはまりますか。(○は1つだけ)

- 1. 調査対象者本人
- 2. 主な介護者となっている家族・親族
- 3. 主な介護者以外の家族・親族
- 4. 調査対象者のケアマネジャー
- 5. その他()

問2. 現在の世帯状況をお答えください。(○は1つだけ)

- 1. 1人暮らし
- 2. 夫婦2人暮らし (配偶者は65歳以上)
- 3. 夫婦2人暮らし (配偶者は64歳以下)
- 4. 息子・娘との2世帯
- 5. その他()

問3. ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居してはいない子どもや親族等からの介護を含む)。(○は1つだけ)

- 1. ない
- 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない
- 3. 週に1~2日ある
- 4. 週に3~4日ある
- 5. ほぼ毎日ある

2 高齢者福祉・介護サービスについてお聞きします。

問4. 市が実施している介護保険対象外のサービスの利用状況をお答えください。
 (項目①～④について○はそれぞれ1つずつ)

※各サービスは、それぞれ利用するときに条件があります。

① **さわやか(ごみ)収集** (ひとり暮らしで要介護認定を受けている方などを対象に、玄関先まで荷い、ごみや資源物を回収します。)

1. 利用している、または利用したことがある 2. 利用したことはないが知っている
 3. 知らない

② **見守り配食サービス** (日常的に見守りが必要な高齢者の方を対象に、毎日1食を、自宅までお届けし、手渡しによる安全の確認をします。)

1. 利用している、または利用したことがある 2. 利用したことはないが知っている
 3. 知らない

③ **緊急通報システム設置(貸与)** (ひとり暮らしで心臓等に持病がある方などを対象に、ボタンを押すと24時間体制の専門業者につながる緊急通報装置をお貸しします。)

1. 利用している、または利用したことがある 2. 利用したことはないが知っている
 3. 知らない

④ **家具転倒防止金具の取付け** (高齢者のみの世帯の方などを対象に、地震による家具転倒を防止する金具の取付けを行います。)

1. 利用している、または利用したことがある 2. 利用したことはないが知っている
 3. 知らない

問5. 今後の在老生活の継続に必要と感ずる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感ずる支援・サービスを含む)について、ご回答ください。(○はいくつでも)

1. 配食
 2. 調理
 3. 掃除・洗濯
 4. 買い物(宅配は含まない)
 5. ゴミ出し
 6. 外出同行(通院、買い物など)
 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等)
 8. 見守り、声かけ
 9. サロンなどの定期的な通いの場
 10. その他()
 11. 特になし

問6. 現在、訪問診療を利用していますか。(○は1つだけ)

1. 利用している 2. 利用していない

※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

問7. 現在、住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスを利用していますか。(○は1つだけ)

1. 利用している ⇒問8へ 2. 利用していない

【問7において「2. 利用していない」と回答された方にお聞きします。】

利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
 2. 本人にサービス利用の希望がない
 3. 家族が介護をするため必要ない
 4. 以前、利用していたサービスに不満があった
 5. 利用料を支払うのが難しい
 6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
 7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
 8. サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない
 9. その他()

問8. 介護サービスを利用する前と比べて、身体の状態は良くなりましたか。

(○は1つだけ)

1. 良くなった
 2. やや良くなった
 3. 変わらない
 4. やや悪くなった
 5. 悪くなった
 6. わからない

問9. 介護サービスに不満があるとき、どこに相談していますか。(○はいくつでも)

1. 介護サービス事業者
 2. ケアマネジャー
 3. 主治医(かかりつけ医)
 4. 市役所の窓口
 5. 国民健康保険団体連合会
 6. 地域包括支援センター
 7. その他()
 8. どこに相談すればいいのかわからない ⇒問10へ
 9. 特に不満はない ⇒問10へ

【問9において「1.」～「7.」のいずれかに回答された方にお聞きします。】
相談後、不満は解消しましたか。(○は1つだけ)

1. 解消した
2. ほぼ解消した
3. あまり解消していない
4. 解消していない
5. その他()

問10. 今後、どのように介護を受けたいですか。(○は1つだけ)

1. 介護保険などのサービスは利用せずに自宅で介護してほしい
2. 介護保険などのサービスを利用しながら自宅で介護してほしい
3. 特別養護老人ホームなどの施設に入所したい
4. その他()
5. わからない

問11. 介護保険料は、市全体の介護サービスの利用量に比例して決まります。

あなたの考えは次のどれに近いですか。(○は1つだけ)

1. 保険料が高くなって、サービス量を増やしてほしい
2. サービス量は増やさず、保険料を低く抑えてほしい
3. どちらとも言えない
4. その他()

問12. 今後の介護サービスの利用をどう考えていますか。(○は1つだけ)

1. 利用限度額を超えても増やしたい
(※利用限度額を超えた分については、全額自己負担となります)
2. 利用限度額の範囲内で増やしたい
3. 今のままでよい ⇒問13へ
4. 減らしたい ⇒問13へ

【問12において「1.」または「2.」と回答された方にお聞きします。】
介護サービスの利用を増やしたいと思う理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 希望するサービス量を受けていないから
2. 希望するサービス(種類)を受けていないから
3. 現在の生活に不自由を感じるから
4. 介護者の負担をもっと軽減したいから
5. ケアマネジャーの勧めがあったから
6. その他()

4

3 施設への入所意向についてお聞きします。

問13. 現時点で、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。
(○は1つだけ)

1. 入所・入居を検討していない ⇒問14へ
2. 入所・入居を検討している ⇒問14へ
3. すでに入所・入居申し込みをしている

【問13において「3.」すでに入所・入居申し込みをしている」と回答された方にお聞きします。】

① 申込みをしている施設をお答えください。(○はいくつでも)

1. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)
2. 介護老人保健施設
3. 介護医療院
4. 小規模特養(地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)
5. グループホーム(認知症対応型共同生活介護)
6. 有料老人ホーム(特定施設入居者生活介護施設/地域密着型特定施設入居者生活介護)
7. わからない

② 最初の入所・入居の申込みから、どれくらいたちましたか。(○は1つだけ)

1. 6か月未満
2. 6か月以上、1年未満
3. 1年以上、2年未満
4. 2年以上、3年未満
5. 3年以上

③ 施設への入所を希望されている理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 介護する家族がいないから
2. 家族はあるが、住居の都合で介護ができないから
3. 家族はあるが、住居の都合以外の理由で介護ができないから
4. 24時間の介護が必要だから
5. 今すぐは必要ないが、先のことから心配だから
6. その他()

④ 施設への入所を希望する時期は何ですか。(○は1つだけ)

1. 今すぐにも入所したい
2. 今後、数か月以内に入所したい
3. 今後、1年以上に入所したい
4. 当面は入所するつもりはないが、必要となったら入所したい
5. その他()

5

問3で「1. ない」と回答した方(ふだん家族や親族からの介護を受けていない方)は、問11に進んでください。

※ここからは、普段、ご本人を介護されている方にお聞きします。

4 対象者の方(宛名の方)の主な介護者について

問14. 家族や親族の中の主な介護者についてご回答ください。

① 主な介護者の方は、どなたですか。(○は1つだけ)

1. 配偶者
2. 子
3. 子の配偶者
4. 孫
5. 兄弟・姉妹
6. その他()

② 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(○は1つだけ)

1. 男性
2. 女性

③ 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(○は1つだけ)

1. 20歳未満
2. 20歳代
3. 30歳代
4. 40歳代
5. 50歳代
6. 60歳代
7. 70歳代
8. 80歳以上
9. わからない

④ 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。

(○はいくつでも)

1. 日中の排泄
2. 夜間の排泄
3. 食事の介助(食べる時)
4. 入浴・洗身
5. 身だしなみ(洗頭・歯磨き等)
6. 衣服の着脱
7. 屋内の移乗・移動
8. 外出の付き添い、送迎等
9. 服薬
10. 認知症への対応
11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)
12. 食事の準備(調理等)
13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)
14. 金銭管理や生活面に必要を請手続き
15. その他()
16. わからない

⑤ ご家族やご親族の中で、ご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)。(○はいくつでも)

1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)
3. 主な介護者が転職した

4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
6. わからない

※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

問15. 介護をするようになってから、どのくらいになりましたか。(○は1つだけ)

1. 3か月未満
2. 3か月以上6か月未満
3. 6か月以上1年未満
4. 1年以上1年6か月未満
5. 1年6か月以上2年未満
6. 2年以上3年未満
7. 3年以上5年未満
8. 5年以上10年未満
9. 10年以上

問16. 主に介護をしている時間は、1日あたり何時間くらいですか。

(○は1つだけ)

1. 4時間未満
2. 4、5時間程度
3. 6、7時間程度
4. 8時間～12時間
5. 12時間以上

問17. 主に介護をしている方の健康状態は、どれにあてはまりますか。

(○は1つだけ)

1. とてもよい
2. まあよい
3. あまりよくない
4. 健康ではない

問18. 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。

(○は1つだけ)

1. フルタイムで働いている
2. パートタイムで働いている
3. 働いていない ⇒問19へ
4. 主な介護者に確認しないと、わからない ⇒問19へ

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短く」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」、「パートタイム」のいずれかを選択してください。

【問 18 において「1.」または「2.」と回答された方にお聞きします。】

① 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていきますか。(○はいくつでも)

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

② 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(○は3つまで)

1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
3. 制度を利用しやすい職場づくり
4. 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)
5. 働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど)
6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
8. 介護をしている従業員への経済的な支援
9. その他()
10. 特になし
11. 主な介護者に確認しないと、わからない

③ 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか(○は1つだけ)

1. 問題なく、続けていける
2. 問題はあるが、何とか続けていける
3. 続けていくのは、やや難しい
4. 続けていくのは、かなり難しい
5. 主な介護者に確認しないと、わからない

問 19. 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください(現状で行っているか否かは問いません)。(○は3つまで)

1. 日中の排泄
2. 夜間の排泄
3. 食事の介助(食べる時)
4. 入浴・洗身
5. 身だしなみ(洗髪・歯磨き等)
6. 衣服の着脱
7. 屋内の移乗・移動
8. 外出の付き添い、送迎等
9. 服薬
10. 認知症状への対応
11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)
13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)
14. 金銭管理や生活に必要な手続き
15. その他()
16. 不安に感じていることは、特になし
17. 主な介護者に確認しないと、わからない

問 20. 主に介護をしている方は、介護のことで相談するとしたら、誰に(どこ)に相談しますか。(○はいくつでも)

1. 家族・親族
2. 友人
3. 近所の人、または町内の人(町内の役員を含む)
4. 民生委員
5. 学区福祉委員
6. 市の長寿課・介護保険課
7. 地域包括支援センター
8. ケアマネジャー
9. 介護サービス事業者
10. 医師・医療機関
11. 歯科医師・歯科医療機関
12. 薬剤師・薬局
13. その他()
14. わからない

5 最後に

問 21. 本市の介護保険、高齢者福祉について、ご意見などがありましたらご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。
記入もれがないか、今一度お確かめください。

同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、

令和7年11月26日（水）までに、郵便ポストへご投函ください。

プレゼントのご案内

協賛：マルサンアイ株式会社



このアンケートにご回答いただいた方のうち、希望する方の中から抽選で、10名の方にマルサン豆乳（125ml×6本）をお送りします（上記の3種を各2本です）。
ご希望の方は下記にお名前とご連絡先のご記入をお願いします。

お名前
ご住所（このアンケートの送付先の住所でよろしければ、記入不要です）
電話番号

※当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。また、プレゼント発送等の件で改めて個人情報をお聞きすることはありません。

4 居宅介護支援事業者調査 調査票

居宅介護支援事業者

介護保険等実態調査（アンケート調査）

調査協力をお願い

日頃から、本市の高齢者福祉行政の推進にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。このたび、本市では、令和7年11月1日現在で「介護保険等実態調査」を実施します。この調査は、令和9年度を初年度とする第10期の「岡崎市地域包括ケア計画」の策定に向けた基礎資料とするものです。

調査の実施にあたり、調査対象として居宅介護支援事業者の皆様を選ばせていただきました。ご記入いただいた内容につきましては、本事業の目的以外には使用しませんので、皆様の率直なご意見やご要望をお聞かせください。

ご多用のところ、大変お手数をお掛けいたしますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年 11月

岡崎市長 内田 康宏

ご記入にあたってのお願い

○この調査は**令和7年11月1日現在**の内容でご記入ください。

○黒色の鉛筆又はボールペン等でご記入ください。

○回答は、あてはまる番号に○をつけてください。数字などを記入いただくものがあります。(○は1つだけ)、(○はいくつでも)などの指示にしたがって回答ください。

○回答が「その他」にあてはまる場合は、() 内に具体的に記入ください。

○本調査は、お手持ちのスマートフォンやパソコンから、WEB上で回答することができます。右のQRコードを読み取るか、下記URLからアンケートのページにアクセスして、ご回答ください。この場合はアンケートのご返送は不要です。
[https://questant.jp/q/7okazaki_kaigo_shien]



○わからない点や質問等がありましたら、下記までお問い合わせください。

○ご記入後、お手数ですが、このアンケートを同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、**令和7年11月26日（水）**までに郵便ポストへご投函ください。

<この調査に関するお問合せ先>

岡崎市 福祉部 長寿課 施策係

電話：(0564) 23-6149 FAX：(0564) 23-6520

1 サービス事業者の運営形態や状況についてお聞きます。

問1. 運営形態はどれにあてはまりますか。(○は1つだけ)

1. 社会福祉法人
2. 医療法人
3. 民間シブパースサービス事業者(株式会社など)
4. NPO等(NPO法人、ボランティア団体など)
5. その他()

問2. 主なサービス提供エリアはどこですか。(○はいくつでも)

1. 本庁区域
2. 岡崎支所区域
3. 大平支所区域
4. 東部支所区域
5. 岩津支所区域
6. 矢作支所区域
7. 六ツ美支所区域
8. 額田支所区域
9. その他()

問3. 所属するケアマネジャーの人数は何人ですか。(数値を記入)

	1. 専従	2. 兼務
①常勤	()人	()人
②非常勤	()人	()人

問4. 1人のケアマネジャーが担当する月平均の実施件数は何件ですか。(数値を記入)

	1. 要支援	2. 要介護
①事務所全体	()件	()件
常勤	()件	()件
③兼務	()件	()件
④専従	()件	()件
非常勤	()件	()件

問5. ケアプランの作成について、貴事業所の現状をお答えください。(○は1つだけ)

1. 手一杯であり、現行の体制ではこれ以上対応できない
2. 手一杯の時期もあるが、若干余裕のある時期もある
3. 余裕があり、もっと対応できる状況である
4. その他()

<p>問 12. 利用者に関することで、お困りのことは何ですか。(○はいくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 過剰なクレーム 2. 家族の協力が得られない 3. 利用者自身に種々の不適切な姿勢が見られない 4. 本来のサービス外のことを要求される 5. 言葉や身体接触などのセクハラを受ける 6. 怒鳴られたり、叫ばれたりする 7. 訪問時に食べ物などを勧められる 8. その他() 9. 特になし <p>問 13. サービス提供を断っている事例はありますか。(○は1つだけ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ある 2. ない ⇒問 14へ <p>【問 13 において「1. ある」と回答された方にお聞きします。】 それはどのような内容でしたか。(○はいくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ケアマネジャーの受け入れ状況がいまいちのため 2. 事業所の実施地域外だった 3. 知人など顔見知りのため 4. 新規依頼が重なり、すぐには取り組みなかった 5. 暴言やセクハラなど迷惑行為があった 6. その他() <p>問 14. 利用者への指定居宅介護支援の提供が困難なときの主な対応について、お答えください。(○は1つだけ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 可能な範囲で待ってもらう 2. 適当な他の居宅介護支援事業者を紹介している 3. 利用者に丁寧に丁寧に断りして、特に何もしていない 4. その他() 	<p>問 15. ケアマネジャーの質の確保・向上を図るために、どのような点を重視して取り組んでいますか。(○はいくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な技術や実践的知識の向上 2. 利用者の状態に応じた介護技術の向上 3. ケアマネジメント技術の向上 4. 利用者への対応の仕方などマナーやコミュニケーション技術の向上 5. 苦情や相談への対応能力の向上 6. 処遇困難者への対応能力の向上 7. ケアマネジャーとしての基本姿勢の徹底 8. 制度に関する最新情報の取得 9. その他() 10. 特になし <p>問 16. かかりつけ医との連携を進めていますか。(○は1つだけ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 十分に連携できている 2. まだ十分ではないが連携を進めており、今のところ業務に支障はない 3. 特に連携を進めていないが、今のところ業務に支障はない 4. 連携が進んでおらず、時折業務に支障が生じることがある 5. その他() <p>問 17. 小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護について、特にあてはまるものをお答えください。(○は3つまで)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 利用ニーズは高いと感じているが、事業者数が少なく、利用の検討ができない状況である 2. (看護)小規模多機能型居宅介護のサービス内容についてあまり把握できておらず、サービス利用を考える際に必要性の検討をおこなったことがない 3. (看護)小規模多機能型居宅介護で受けられるサービス内容について、岡崎市にはそれぞれのサービスが充実しているため、利用を検討する必要がない 4. それぞれのサービスは充実しているが、同じ職員がすべてのサービスを提供できる(看護)小規模多機能型居宅介護は、利用者の安心感が高いと思われるため、事業者が増えていくとよい 5. 受け持ちの利用者を別の事業所へお願いすることにケアマネジャーが抵抗を感じる 6. それまで利用したケアマネジャーから変更することに利用者が抵抗を感じる 7. 在宅で看取りを含めた療養生活を支えるため必要なサービスである 8. 家族の介護負担・不安感を鑑み、レスパイトも提供できるため必要なサービスである 9. 利用料が高額なイメージがある 10. 利用ニーズが少ない 11. 必要性を感じない 12. その他()
--	--

3 高齢者虐待の状況についてお聞きします。

問 18. サービスを提供している要介護者の中で、高齢者虐待を受けている又は受けていると思われる事例がありますか。(○は1つだけ)

1. ある
2. ない ⇒問 19へ

【問 18 において「1. ある」と回答された方にお聞きします。】

① それは、どのようにしてわかりましたか。(○はいくつでも)

1. サービス提供時に目撃した
2. 被虐待者から話を聞いたり、身体にあざなどを見つけたりした
3. 虐待者の話から
4. 虐待者以外の同居家族の話から
5. 親族の話から
6. 近隣者の話から
7. その他()

② 相談・通報先はどこですか。(○はいくつでも)

1. 市役所
2. 地域包括支援センター
3. 警察
4. かかりつけ医
5. その他()
6. 相談・通報はしなかった

4 その他

問 19. 介護サービスのうち、供給が不足していると感じるサービスは何ですか。(○はいくつでも)

1. 訪問介護
2. 訪問看護
3. 訪問入浴介護
4. 訪問リハビリテーション
5. 通所介護
6. 通所リハビリテーション
7. 短期入所(生活介護・療養介護)
8. 特定施設入居者生活介護
9. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
10. 夜間対応型訪問介護
11. 地域密着型通所介護
12. 認知症対応型通所介護
13. 認知症対応型共同生活介護
14. 小規模多機能型居宅介護
15. 看護小規模多機能型居宅介護
16. 地域密着型特定施設入居者生活介護
17. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
18. 福祉用具の貸与・販売
19. 居宅療養管理指導
20. その他()
21. 特にない

6

問 20. 法定の介護保険サービス以外で、岡崎市内で供給が不足していると考えるサービスはありますか。(○はいくつでも)

1. 移動・外出の支援や補助
2. 買い物支援
3. 家事・生活の援助
4. 介護予防活動・サービスの充実
5. 配食サービス
6. 山間地のサービスの充実
7. その他()
8. 特にない

問 21. 本市の介護保険、高齢者福祉について、ご意見などがありましたらご自由にお書きください。

[]

ご協力ありがとうございます。

記入もれがないか、今一度お確かめください。

同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、令和7年11月26日(水)

までに、郵便ポストへご投函いただくか、表紙QRコードからご回答ください。

7

5 在宅介護サービス事業者調査 調査票

在宅介護サービス事業者

介護保険等実態調査（アンケート調査）

調査協力をお願い

日頃から、本市の高齢者福祉行政の推進にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。このたび、本市では、令和7年11月1日現在で「介護保険等実態調査」を実施します。この調査は、令和9年度を初年度とする第10期の「岡崎市地域包括ケア計画」の策定に向けた基礎資料とするものです。

調査の実施にあたり、調査対象として在宅介護サービス事業者の皆様を選ばせていただきました。ご記入いただいた内容につきましては、本事業の目的以外には使用しませんので、ご様の率直なご意見やご要望をお聞かせください。

ご多用のところ、大変お手数をお掛けいたしますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年11月

岡崎市長 内田 康宏

ご記入にあたってのお願い

○この調査は**令和7年11月1日現在**の内容でご記入ください。

○黒色の鉛筆又はボールペン等でご記入ください。

○回答は、あてはまる番号に○をつけてください。数字などを記入いただくものがあります。(○は1つだけ)、(○はいくつでも) などの指示にしたがってご回答ください。

○回答が「その他」にあてはまる場合は、() 内に具体的に記入ください。

○本調査は、お手持ちのスマートフォンやパソコンから、WEB上で回答することができます。右のQRコードを読み取るか、下記URLからアンケートのページにアクセスして、ご回答ください。この場合はアンケートのご返送は不要です。

[https://questant.jp/q/7okazaki_kaigo_zaitaku]

○わからない点や質問等がありましたら、下記までお問い合わせください。

○ご記入後、お手数ですが、このアンケートを同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、**令和7年11月26日（水）**までに郵便ポストへご投函ください。

<この調査に関するお問合せ先>

岡崎市 福祉部 長寿課 施策係

電話：(0564) 23-6149 FAX:(0564) 23-6520

※在宅介護サービス事業者には、「訪問介護事業者」「通所介護事業者」「通所リハビリテーション事業者」「短期入所生活介護事業者」「短期入所療養介護事業者」「福祉用具貸与・販売事業者」が含まれます。

1 サービス事業者の運営形態や状況についてお聞きします。

問1～問24までは共通設問であり、全事業者の方が回答してください。

問1. 運営形態はどれにあてはまりますか。(○は1つだけ)

1. 社会福祉法人
2. 医療法人
3. 民間シルバーサービス事業者(株式会社など)
4. NPO等(NPO法人、ボランティア団体など)
5. その他()

問2. 介護職員*の総数を数字でお答えください。(数値を記入)

*介護職員には、看護職・リハ職等のケアに携わる職員を含めてお答えください(以下同様)。

常勤職員[]人 非常勤職員[]人

問3. 問2でご回答いただいた職員のうち、派遣職員、外国人職員はそれぞれ何人いますか。(数値を記入)

派遣職員: 常勤職員[]人 非常勤職員[]人

外国人職員: 常勤職員[]人 非常勤職員[]人

問4. 令和7年11月1日時点で、開設から1年以上を経過している事業所にお伺いします。過去1年間(令和6年11月1日～令和7年10月31日)の介護職員(看護職・リハ職等を含む)の採用者数と離職者数をご記入ください。(数値を記入)

採用者[]人 離職者[]人

問5. 問4の採用者・離職者について、常勤・非常勤の別・年齢別をご記入ください。(数値を記入)

年齢 (採用・離職時)	採用者数		離職者数	
	常勤職員	非常勤職員	常勤職員	非常勤職員
20歳未満	[]人	[]人	[]人	[]人
20～29歳	[]人	[]人	[]人	[]人
30～39歳	[]人	[]人	[]人	[]人
40～49歳	[]人	[]人	[]人	[]人
50～59歳	[]人	[]人	[]人	[]人
60～69歳	[]人	[]人	[]人	[]人
70歳以上	[]人	[]人	[]人	[]人
年齢不明	[]人	[]人	[]人	[]人

<p>問6. 問5で回答した職員の離職理由について、可能な範囲で件数をお答えください。 1人の退職者につき、主なもの1つを教えてください。(数値を記入)</p> <p>1. 結婚 []人 2. 出産・育児 []人 3. 体調不良 []人 4. 家族の介護 []人 5. 人間関係 []人 6. 待遇・給与 []人 7. 年齢(引退) []人 8. 転職 []人 9. その他 []人 10. 不明 []人</p> <p>問7. 家族の介護で離職された職員がいた場合、その職種をお聞かせください。 (〇はいくつでも)</p> <p>1. 介護職員 2. 看護職員 3. 生活相談員 4. OT・PT・ST 5. 介護支援専門員 6. 事務職員 7. その他() 8. いない/わからない</p> <p>問8. 現在の業務を行ううえで、介護職員(看護職・リハ職等を含む)の人数が不足していますか。不足している場合は、不足人数(常勤職員として)もお答えください。 (〇は1つだけ)</p> <p>1. 不足していない 2. []人不足している</p> <p>問9. 職員の質の確保・向上を図るために、どのような点を重視して取り組んでいますか。 (〇はいくつでも)</p> <p>1. 基本的な技術や実践的知識の向上 2. 利用者の状態に応じた介護技術の向上 3. 利用者への対応の仕方などマナーやコミュニケーション技術の向上 4. 苦情や相談への対応能力の向上 5. 処遇困難者への対応能力の向上 6. サービスを効率的に機能させるためのリーダーの養成 7. 制度に関する最新情報の取得 8. その他() 9. 特にない</p>	<p>問10. 職員の処遇における課題は何ですか。(〇はいくつでも)</p> <p>1. 所定外労働時間の長時間化 2. 有給休暇や休日の取得が困難 3. 職務内容に見合う報酬設定の未整備 4. 配置転換が少ないことによる職場環境の沈滞化 5. 腰痛など、介護業務に対する健康管理 6. 不規則勤務に対する健康管理 7. 精神面(メンタルヘルス)の健康管理 8. 福利厚生制度が不十分 9. その他() 10. 特にない</p> <p>問11. 職員の労働条件、労働環境の改善及び定着促進、離職防止のために工夫していることは何ですか。(〇はいくつでも)</p> <p>1. 残業等の短縮 2. 休暇を取りやすい仕組みづくり・休暇制度の充実 3. 介護ロボット等の導入による業務内容の簡素化 4. 余裕をもった職員数の確保 5. 職員の意見を取り入れるための会議等を定期的に行う 6. シフト希望の少ないやすい業務体制 7. 業務量の調整 8. 研修制度の充実 9. ハラスメント防止のための対策 10. 給与面・待遇面での改善 11. 手当の支給 12. 復帰に向けたサポート体制の整備 13. その他() 14. 特にない</p>
--	--

問 12. 介護サービス事業者の職員にとって、家族に介護が必要になった場合、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の高立に効果があると思いますか。

(○は3つまで)

1. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
2. 制度を利用しやすい職場づくり
3. 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)
4. 仕事と介護に関する情報の提供
5. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
6. 介護をしている従業員への経済的な支援
7. その他()
8. 特にない

問 13. 経営面における問題点や課題は何ですか。(○はいくつでも)

1. 安定した収入を得にくい
2. 報酬決定ごとに制度等が変わるため、長期の目標が立てづらい
3. 人材の確保が難しい
4. 給与面など、待遇の改善が難しい
5. 事務作業の増加・複雑化
6. 報酬額が低いと感じる
7. 職員の高齢化
8. 人件費などの必要経費が多いため、設備投資が難しい
9. その他()
10. 特にない

2 提供サービスの状況についてお聞きします。

問 14. サービスの自己評価をしていますか。(○は1つだけ)

1. 評価項目を作成し、自己評価を実施している
2. 自己評価のための利用者アンケートを実施している
3. その他()
4. 自己評価していない

問 15. 利用者等の苦情から、第三者機関の介入や訴訟などに発展した事例はありますか。

(○は1つだけ)

1. ある
2. ない ⇒問16へ

【問 15 において「1. ある」と回答された方にお聞きします。】

それはどのような内容でしたか。具体的にお願いします。

問 16. 利用者に関することで、お困りのことは何ですか。(○はいくつでも)

1. 適切なクレーム
2. 家族の協力が得られない
3. 利用者自身に積極的な姿勢が見られない
4. 本来のサービス外のことを要求される
5. 言葉や身体接触などでのセクハラを受ける
6. 怒鳴られたり、恫喝されたりする
7. 訪問時に食べ物などを勧められる
8. その他()
9. 特にない

問 17. サービス提供を断っている事例はありますか。(○は1つだけ)
 1. ある ⇒問 18へ
 2. ない

【問 17 において「1. ある」と回答された方にお聞きします。】
 それはどのような内容でしたか。(○はいくつでも)

1. 事業所の受け入れ人数に達していた
2. 事業所の実施地域外だった
3. 知人など顔見知りのため
4. 新規依頼が重なり、すぐには取り組めなかった
5. 暴言やセクハラなど迷惑行為があった
6. その他()

問 18. 適切な介護サービスを提供することが困難であると自ら認めた場合は、居宅介護支援事業者への連絡や適切な事業所の紹介など、必要な措置を講じることになつていますが、貴事業所でサービス提供が困難な事例がありましたか。
 (○は1つだけ)

1. あった ⇒問 19へ
2. なかった

【問 18 において「1. あった」と回答された方にお聞きします。】
 困難な事例とはどのような内容でしたか。

[]

3 高齢者虐待・リスクマネジメントについてお聞きします。

問 19. サービスを提供している要介護者の中で、高齢者虐待を受けている又は受けていると思われる事例がありますか。(○は1つだけ)

1. ある ⇒問 20へ
2. ない

【問 19 において「1. ある」と回答された方にお聞きします。】

① それは、どのようにしてわかりましたか。(○はいくつでも)

1. サービス提供時に目撃した
2. 被虐待者から話を聞いたり、身体にあざなどを見つけたりした
3. 虐待者の話から
4. 虐待者以外の同居家族の話から
5. 親族の話から
6. 近隣者の話から
7. その他()

② 相談・通報先はどこですか。(○はいくつでも)

1. 市役所
2. 地域包括支援センター
3. 警察
4. かかりつけ医
5. その他()
6. 相談・通報はしなかった

問 20. 虐待予防に関して、どのような取組みをしていますか。(○はいくつでも)

1. チームケアや「身体拘束ゼロ」の取組みを推進
2. 苦情の受付体制の強化
3. 職場内研修の充実
4. 職員相談など、職員のサポートの強化
5. その他()
6. 特にない

問 21. 事故や事故につながるがかりがない事柄（ヒヤリハット）についての報告で、最も多かった報告事例は何ですか。(○は1つだけ)

1. 転倒や転落等による事故
2. 誤嚥による事故
3. 薬に関する事故
4. 利用者の体調急変
5. 感染症に関すること
6. 利用者や職員とのトラブル
7. 利用者同士のトラブル
8. その他()
9. 特になかった

問 22. 現場から出された報告書を分析・検討する安全管理のための委員会（またはリスク管理委員会）を開催していますか。（○は1つだけ）

1. 定期的に委員会を開催している
2. 報告があったときに、随時開催している
3. 委員会を設置していない

問 23. 施設やサービスについて、どのように情報発信していますか。（○はいくつでも）

1. ブログやホームページなどの紙媒体を希望者のみに配っている
2. ホームページを立ち上げ、インターネットを活用している
3. 施設の見学を積極的に認めている
4. 施設の活動や行事への参加を認めている
5. 集会室など施設の設備を地域に開放している
6. 研究会などを開いている
7. ボランティアを積極的に受け入れている
8. その他()
9. 特にしていない

問 24. 貴事業所の事業種別をお答えください。（○は1つだけ）

1. 訪問介護 ⇒問 25 へ
2. 通所介護 ⇒問 25 へ
3. 通所リハビリテーション ⇒問 25 へ
4. 短期入所生活介護・短期入所療養介護 ⇒問 31 へ
5. 福祉用具貸与・販売 ⇒問 34 へ
6. その他のサービス ⇒問 37 へ

4 ここからは事業種別の状況についてお聞きします。

▼訪問介護事業者、通所介護事業者、通所リハビリテーション事業者の方にお聞きします。

問 25. 貴事業所全体における1日あたりのサービス実施件数（人数）は、平均で何件（人）程度ですか。（数値を記入）

()件(人)程度/日

問 26. サービスの提供状況について、次のどれに近いですか。（○は1つだけ）

1. 手一杯であり、現行の体制ではこれ以上対応できない
2. 手一杯の時期もあるが、若干余裕がある時期もある
3. 余裕があり、もっと対応できる状況である
4. その他()

【問 26 において「2.」～「4.」のいずれかに回答された方にお聞きします。】

事業所全体で、1日あたりあと何件（人）程度のサービス提供が可能ですか。（数値を記入）

()件(人)程度/日

⇒訪問介護事業者の方は 問 27 へ

⇒通所介護事業者、通所リハビリテーション事業者の方は 問 37 へ

▼引き続き、訪問介護事業者の方にお聞きします。

問 27. 夜間、早朝、深夜の訪問介護の実施予定はありますか。(○は1つだけ)

- 1. すでに実施している
- 2. 予定している
- 3. 予定はない
- 4. その他()

問 28. 通院等の外出支援時の交通手段について、どのように対応していますか。(○はいくつでも)

- 1. 事業者が、通院等乗降介助の認定を受けた介護タクシーを利用
- 2. タクシーを利用
- 3. 公共交通機関(タクシー以外)を利用
- 4. 徒歩のみ対応
- 5. その他()
- 6. 外出支援は行っていない

問 29. 生活援助(家事援助)のサービス提供体制の考え方や利用ニーズについて、おてはまるものをお答えください。(○はいくつでも)

- 1. 有資格者が従事するべき
- 2. 一定の家事援助講習など受講した無資格者が従事するべき
- 3. 介護保険制度における現行のサービス単価は安いと感じる
- 4. 介護保険制度における現行のサービス単価は適切または高いと感じる
- 5. 利用者の確保、職員の確保、事業採算の見通しなど経営が難しくそう
- 6. ヘルパーの男女の別を理由に訪問を断られたことがある
- 7. ヘルパーの年齢(高齢等)を理由に訪問を断られたことがある
- 8. 身体介護の必要がなく、生活援助のみ利用ニーズは少ない
- 9. 要支援者への供給が不足していると感じる
- 10. 市街地に比べ、山間部の利用ニーズが多い
- 11. わからない

問 30. 無資格の方を採用することはできますか。(○は1つだけ)

- 1. できる
- 2. 一定の条件を満たせばできる
- 3. できない
- 4. わからない

⇒訪問介護事業者の方は 問 37へ

▼短期入所生活介護事業者・短期入所療養介護事業者の方にお聞きします。

問 31. 貴事業所におけるサービス実施件数について、月あたりの実利用人数は平均で何人くらいですか。(数値を記入)

- ①月あたり実利用人数 ()人
- また、延べ利用人数は、平均で何人くらいですか。
- ②月あたり延べ利用人数 ()人

問 32. サービスの提供状況について、次のどれに近いですか。(○は1つだけ)

- 1. 手一杯であり、現行の体制ではこれ以上対応できない
- 2. 手一杯の時期もあるが、若干余裕がある時期もある
- 3. 余裕があり、もって対応できる状況である
- 4. その他()

問 33. 緊急に利用が必要となった時の対応は可能ですか。(○は1つだけ)

- 1. 可能である
- 2. 困難である ⇒問 37へ

【問 33 において「1. 可能である」と回答された方にお聞きします。】

緊急時に1日あたり何人程度のサービス提供が可能ですか。(数値を記入)

- ()人程度

⇒短期入所生活介護事業者・短期入所療養介護事業者の方は 問 37へ

▼福祉用具貸与・販売事業者の方にお聞きします。

問 34. 貸与件数の多い上位5種目について、その名称、月あたりの平均貸与件数、平均貸与金額をお答えください。(数値を記入)

(介護保険の範囲内で計算、金額は税込での記入をお願いします。)

福祉用具の種類	平均貸与件数	平均貸与金額 (1品目あたり)
1	件/月	円
2	件/月	円
3	件/月	円
4	件/月	円
5	件/月	円

問 35. 販売件数の多い上位5種目について、その名称、月あたりの平均販売件数、平均販売金額をお答えください。(数値を記入)

(介護保険の範囲内で計算、金額は税込での記入をお願いします。)

福祉用具の種類	平均販売件数	平均販売金額 (1品目あたり)
1	件/月	円
2	件/月	円
3	件/月	円
4	件/月	円
5	件/月	円

問 36. 最新の福祉用具の構造や使用方法等の専門的な知識を習得するため、福祉用具専門相談員の研修を実施していますか。(○は1つだけ)

1. 6か月に1回以上、外部研修へ参加させている
2. 年に1回以上、外部研修へ参加させている
3. その他()
4. 特に実施していない

→福祉用具貸与・販売事業者の方は 問 37 も回答してください。

5 その他

▼全ての事業者の方にお聞きします。

問 37. 本市の介護保険、高齢者福祉について、ご意見などがありましたらご自由に
お書きください。

ご協力ありがとうございました。
記入もれがないか、今一度お確かめください。

同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、**令和7年11月26日(水)**
までに、郵便ポストへご投函いただくか、表紙QRコードからご回答ください。

6 入所施設事業者調査 調査票

入所施設事業者

介護保険等実態調査（アンケート調査）

調査協力をお願い

日頃から、本市の高齢者福祉行政の推進にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。このたび、本市では、令和7年11月1日現在で「介護保険等実態調査」を実施します。この調査は、令和9年度を初年度とする第10期の「岡崎市地域包括ケア計画」の策定に向けた基礎資料とするものです。

調査の実施にあたり、調査対象として入所施設事業者の皆様を選ばせていただきました。ご記入いただいた内容につきましては、本事業の目的以外には使用いたしませんので、皆様のご意見やご要望をお聞かせください。ご多用のところ、大変お手数をお掛けいたしますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年11月

岡崎市長 内田 康宏

ご記入にあたってのお願い

- この調査は**令和7年11月1日現在**の内容でご記入ください。
- 黒色の鉛筆又はボールペン等でご記入ください。
- 回答は、あてはまる番号に○をつけていただくものと、数値などを記入いただくものがあります。(○は1つだけ)、(○はいくつでも)などの指示にしたがってご回答ください。
- 回答が「その他」にあてはまる場合は、()内に具体的に記入ください。
- 本調査は、お手持ちのスマートフォンやパソコンから、WEB上で回答することができます。右のQRコードを読み取るか、下記URLからアンケートのページにアクセスして、ご回答ください。この場合はアンケートのご返送は不要です。
(https://questant.jp/q/70kazaki_kaigo_shiseisu)
- わからない点や質問等がありましたら、下記までお問い合わせください。
- ご記入後、お手数ですが、このアンケートを同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、**令和7年11月26日（水）**までに郵便ポストへご返送ください。

<この調査に関するお問合せ先>

岡崎市 福祉部 長表課 施策係
電話：(0564) 23-6149 FAX：(0564) 23-6520

1 サービス事業者の運営形態や状況についてお聞きします。

問1. 運営形態はどれにあてはまりますか。(○は1つだけ)

1. 社会福祉法人
2. 医療法人
3. 民間シルバーサービス事業者(株式会社など)
4. NPO等(NPO法人、ボランティア団体など)
5. その他()

問2. 貴事業所が該当するサービス種別を、ご回答ください。(○は1つだけ)

1. 住宅型有料老人ホーム
2. 経費老人ホーム(特定施設除く)
3. サービス付き高齢者向け住宅(特定施設除く)
4. グループホーム
5. 特定施設
6. 地域密着型特定施設
7. 介護老人保健施設
8. 介護医療院
9. 特別養護老人ホーム
10. 地域密着型特別養護老人ホーム

問3. 入所定員、部屋数等について数字でご記入ください。(数値を記入)

① 入所定員数	() 人
② 部屋数	() 部屋
③ 入所者数(令和7年11月1日現在)	() 人
④ 入所を申し込んでいる人数(待機者)	() 人

問4. 入所申込みを受け付けてから実際に入所できるまでに、平均でどのくらいかかりましたか。(○は1つだけ)

1. 3か月未満
2. 3か月以上6か月未満
3. 6か月以上1年未満
4. 1年以上2年未満
5. 2年以上3年未満
6. 3年以上4年未満
7. 4年以上5年未満
8. 5年以上

問5. 介護職員の数をお答えください。(数値を記入)

※介護職員には、看護職員・リハ職等のケアに携わる職員を含めてお答えください(以下同様)。

常勤職員 []人 非常勤職員 []人

問6. 問5でご回答いただいた職員のうち、派遣職員、外国人職員はそれぞれ何人いますか。(数値を記入)

派遣職員: 常勤職員 []人 非常勤職員 []人
外国人職員: 常勤職員 []人 非常勤職員 []人

問7. 令和7年11月1日時点で、開設から1年以上を経過している事業所にお聞きします。
過去1年間（令和6年11月1日～令和7年10月31日）の介護職員（看護職・リハ職等を含む）の採用者数と離職者数をご記入ください。（数値を記入）

採用者 []人 離職者 []人

問8. 問7の採用者・離職者について、常勤・非常勤の別・年齢別をご記入ください。
（数値を記入）

年齢 （採用・離職時）	採用者数		離職者数	
	常勤職員	非常勤職員	常勤職員	非常勤職員
20歳未満	[]人	[]人	[]人	[]人
20～29歳	[]人	[]人	[]人	[]人
30～39歳	[]人	[]人	[]人	[]人
40～49歳	[]人	[]人	[]人	[]人
50～59歳	[]人	[]人	[]人	[]人
60～69歳	[]人	[]人	[]人	[]人
70歳以上	[]人	[]人	[]人	[]人
年齢不明	[]人	[]人	[]人	[]人

問9. 問8で回答した離職者の離職理由について、可能な範囲で件数をお答えください。
1人の退職者につき、主なもの1つを教えてください。（数値を記入）

1. 結婚 []人
2. 出産・育児 []人
3. 体調不良 []人
4. 家族の介護 []人
5. 人間関係 []人
6. 待遇・給与 []人
7. 年齢（引退） []人
8. 転職 []人
9. その他 []人
10. 不明 []人

問10. 家族の介護で離職された職員がいた場合、その職種をお聞かせください。
（〇はいくつでも）

1. 介護職員
2. 看護職員
3. 生活相談員
4. OT・PT・ST
5. 介護支援専門員
6. 事務職員
7. その他 ()
8. いない・わからない

問11. 現在の業務を行ううえで、介護職員（看護職・リハ職等を含む）の人数が不足して
いますか。不足している場合は、不足人数（常勤職員として）もお答えください。
（〇は1つだけ）

1. 不足していない 2. []人不足している

問12. 職員の質の確保、向上を図るために、どのような点を重視して取り組んでいますか。
（〇はいくつでも）

1. 基本的な技術や実践的知識の向上
2. 利用者の状態に応じた介護技術の向上
3. 利用者への対応の仕方などマナーやコミュニケーション技術の向上
4. 苦情や相談への対応能力の向上
5. 処遇困難者への対応能力の向上
6. サービスを効率的に機能させるためのリーダーの養成
7. 制度に関する最新情報の取得
8. その他 ()
9. 特にない

問13. 職員の処遇における課題は何ですか。（〇はいくつでも）

1. 所定外労働時間の長時間化
2. 有給休暇や代休の取得が困難
3. 職務内容に見合う報酬設定の未整備
4. 配置転換が少ないことによる職場環境の停滞化
5. 腰痛など、介護業務に対する健康管理
6. 不規則勤務に対する健康管理
7. 精神面（メンタルヘルス）の健康管理
8. 福利厚生制度が不十分
9. その他 ()
10. 特にない

<p>問 14. 職員の労働条件、労働環境の改善及び定着促進、離職防止のために工夫していることは何ですか。(〇はいくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 残業等の短縮 2. 休暇を取りやすい仕組みづくり・休暇制度の充実 3. 介護ロボット等の導入による業務内容の簡素化 4. 余裕をもった職員数の確保 5. 職員の意見を取り入れるための会議等を定期的に行う 6. シフト希望の少ないやすい業務体制 7. 業務量の調整 8. 研修制度の充実 9. ハラスメント防止のための対策 10. 給与面・待遇面での改善 11. 手当の支給 12. 復帰に向けたサポート体制の整備 13. その他() 14. 特になし <p>問 15. 経営面における問題点や課題は何ですか。(〇はいくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 安定した収入を得にくい 2. 報酬改定ごとに制度等が変わるため、長期の目標が立てづらい 3. 人材の確保が難しい 4. 給与面など、待遇の改善が難しい 5. 事務作業の増加・複雑化 6. 報酬額が低いと感じる 7. 職員の高齢化 8. 人件費などの必要経費が多いため、設備投資が難しい 9. その他() 10. 特になし 	<p style="text-align: center;">2 提供サービスの状況についてお聞きします。</p> <p>問 16. サービスの自己評価をしていますか。(〇は1つだけ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 評価項目を作成し、自己評価を実施している 2. 自己評価のための利用者アンケートを実施している 3. その他() 4. 自己評価はしていない <p>問 17. 利用者等の苦情から、第三者機関の介入や訴訟などに発展した事例はありますか。(〇は1つだけ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ある 2. ない ⇒問 18へ <p>【問 17 において「1. ある」と回答された方にお聞きします。】 それはどのような内容でしたか。具体的にお願いします。 ()</p> <p>問 18. 利用者に関することで、お困りのことは何ですか。(〇はいくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 過剰なクレーム 2. 家族の協力が得られない 3. 利用者自身に積極的な姿勢が見られない 4. 本来のサービス外のことを要求される 5. 言葉や身体接触などでのセクハラを受ける 6. 怒鳴られたり、恫喝されたりする 7. 訪問時に食べ物などを勧められる 8. その他() 9. 特になし <p>問 19. 虐待予防に関して、どのような取り組みをしていますか。(〇はいくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. チームケアや「身体拘束ゼロ」の取り組みを推進 2. 苦情の受付体制の強化 3. 職場内研修の充実 4. 職員相談など、職員のサポートの強化 5. その他() 6. 特になし
---	---

3 過去1年間の新規の入居者・退去者についてお聞きします。

問 20. 過去1年間（令和6年11月1日～令和7年10月31日）に貴施設等に、新規で入所・入居した人の人数をお答えください。（数値を記入）

※貴施設等に入所・入居している方で、一時的な入院等で貴施設等に戻った方は含めなくてください。

新規の入所・入居者数(合計)： []人

問 21. 問 20 でご記入いただいた過去1年間の新規の入所・入居者について、入所・入居する前の居場所別の人数をご記入ください。（数値を記入）

※一時的な入院の後に貴施設等に入所・入居した場合は入院前の居場所をご記入ください。入院前の居場所がわからない場合は、「12)病院」を選択してください。

※ [1] 自宅に、ショートステイの長期利用者の入所・入居も含まれます。

入所・入居前の居場所	岡崎市内	岡崎市外
1)自宅（※兄弟・子ども・親戚等の家含む）	[]人	[]人
2)住宅型有料老人ホーム	[]人	[]人
3)軽費老人ホーム(特定施設除く)	[]人	[]人
4)サービス付き高齢者向け住宅(特定施設除く)	[]人	[]人
5)グループホーム	[]人	[]人
6)特定施設	[]人	[]人
7)地域密着型特定施設	[]人	[]人
8)介護老人保健施設	[]人	[]人
9)介護医療院	[]人	[]人
10)特別養護老人ホーム	[]人	[]人
11)地域密着型特別養護老人ホーム	[]人	[]人
12)病院・診療所(一時的な入院を除く)	[]人	[]人
13)その他	[]人	[]人
14)入居・入所する前の居場所を把握していない	[]人	[]人
15)合計※問 20 の人数と一致することを確認ください	[]人	[]人

6

問 22. 過去1年間（令和6年11月1日～令和7年10月31日）に貴施設等を退去した人の人数をお答えください。（数値を記入）

※一時的な入院等で貴施設等に戻った方、現在一時的に入院中の方(貴施設等との契約が継続している方)は含めなくてください。

退去者数(合計)： []人

問 23. 問 22 でご記入いただいた過去1年間の退去者について、退去先別の人数をご記入ください。（数値を記入）

※一時的に入院して貴施設等以外の居場所に移った場合は、退院後の居場所をご記入ください。

※「死亡」には、「貴施設等で亡くなった方」に加え、「病院等への搬送後に死亡された方」も含まれます。搬送先からの病院等の後に死亡した場合は、死亡ではなく「居所変更」として、該当する先行にカウントしてください。

退去先	岡崎市内	岡崎市外
1)自宅（※兄弟・子ども・親戚等の家含む）	[]人	[]人
2)住宅型有料老人ホーム	[]人	[]人
3)軽費老人ホーム(特定施設除く)	[]人	[]人
4)サービス付き高齢者向け住宅(特定施設除く)	[]人	[]人
5)グループホーム	[]人	[]人
6)特定施設	[]人	[]人
7)地域密着型特定施設	[]人	[]人
8)介護老人保健施設	[]人	[]人
9)介護医療院	[]人	[]人
10)「9」を除く病院・診療所(一時的な入院を除く)	[]人	[]人
11)特別養護老人ホーム	[]人	[]人
12)地域密着型特別養護老人ホーム	[]人	[]人
13)その他	[]人	[]人
14)行先を把握していない	[]人	[]人
15)死亡(搬送先での死亡を含む)	[]人	[]人
16)合計 ※問 22 の人数と一致することを確認ください	[]人	[]人

7

問 24. 貴施設等の入居・入所者が、退去する理由は何ですか。退去理由として多いものを上位3つまでお答えください。(3つに○)

1. 必要な生活支援が発生・増大したから
2. 必要な身体介護が発生・増大したから
3. 認知症の症状が悪化したから
4. 医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから
5. 1～4以外の状態が悪化したから
6. 入所・入居者の状態等が改善したから
7. 入所・入居者が必要な居宅サービスの利用を望まなかったから
8. 費用負担が重くなったから
9. 本人が希望したから
10. その他

4 その他

問 25. 施設やサービスについて、どのように情報発信していますか。(○はいくつでも)

1. パンフレットなどの紙媒体を希望者のみに配っている
2. ホームページを立ち上げ、インターネットを活用している
3. 施設の見学を積極的に認めている
4. 施設の見学や行事への参加を認めている
5. 集客など施設の設備を地域に開放している
6. 研修会などを開いている
7. ボランティアを積極的に受け入れている
8. その他()
9. 他にいない

問 26. 本市の介護保険、高齢者福祉について、ご意見などがありましたらご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。
記入もれがないか、今一度お確かめください。
同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、令和7年11月26日（水）
までに、郵便ポストへご投函いただくか、表紙QRコードからご回答ください。

7 介護支援専門員調査 調査票

介護支援専門員調査

介護保険等実態調査（アンケート調査）

調査協力のお願

日頃から、本市の高齢者福祉行政の推進にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
このたび、本市では、令和7年11月1日現在で「介護保険等実態調査」を実施します。
この調査は、令和9年度を初年度とする第10期の「岡崎市地域包括ケア計画」の策定に向
けた基礎資料とするものです。

調査の実施にあたり、調査対象として介護支援専門員の皆様を選ばせていただきました。
ご記入いただいた内容につきましては、本事業の目的以外には使用しませんので、皆様の
率直なご意見やご要望をお聞かせください。

ご多用のところ、大変お手数をお掛けいたしますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力
くださいますようお願い申し上げます。

令和7年11月

岡崎市長 内田 康宏

ご記入にあたってのお願い

○この調査は**令和7年11月1日現在**の内容でご記入ください。

○黒色の鉛筆又はボールペン等でご記入ください。

○回答は、あてはまる番号に○をつけてください。数字などを記入いただく
ものがあります。(○は1つだけ)、(○はいくつでも) などの指示にしたがってご回
答ください。

○回答が「その他」にあてはまる場合は、() 内に具体的に記入してください。

○本調査は、お手持ちのスマートフォンやパソコンから、WEB上で
回答することができます。右のQRコードを読み取るか、下記UR
Lからアンケートのページにアクセスして、ご回答ください。この
場合はアンケートのご返送は不要です。
(https://questant.jp/q/70kazaki_kaigo_shien)



○わからない点や質問等がありましたら、下記までお問い合わせください。

○ご記入後、お手数ですが、このアンケートを同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、

令和7年11月26日（水）までに郵便ポストへご返郵ください。

<この調査に関するお問合せ先>

岡崎市 福祉部 長寿課 施策係

電話：(0564) 23-6149 FAX：(0564) 23-6520

1 ケアプラン業務の状況についてお聞きします。

問1. 勤務形態はどれにあてはまりますか。(○は1つだけ)

1. 専従(常勤)
2. 専従(非常勤)
3. 兼務(常勤)
4. 兼務(非常勤)

問2. 令和7年11月1日現在、何人の給付管理を行っていますか。
それぞれ数字でご記入ください。(数値を記入)

- ① 介護給付()人 ② 予防給付()人

問3. 令和7年11月1日現在、介護支援専門員としての経験はどれくらいにおりますか。それぞれ数字でご記入ください。(数値を記入)

- ① 介護支援専門員としての運営経験 約()年
② 現在の事業所における介護支援専門員としての経験 約()年

問4. 担当している利用者の人数は、適当ですか。(○は1つだけ)

1. 多すぎる
2. やや多すぎる
3. 適当である
4. 少ない

問5. ケアプランの作成時に困っていることは何ですか。(○はいくつでも)

1. サービス提供事業者との調整
2. 利用者本人と家族との意見が異なること
3. 介護支援専門員の1人あたりの担当する利用者数が多いこと
4. サービス管理票や請求書作成などの事務作業が多いこと
5. 制度などに関する利用者の知識不足
6. サービス提供体制が不十分で、利用者のニーズに対応できないこと
7. 事業所の経営を意識したケアプランにならないうこと
8. 利用できるサービス量が要介護度より不足してしまうこと
9. 利用者負担が重くサービス利用が控えられること
10. サービス担当者会議の体制が確立できていないこと
11. 医療機関等との連携がとれないこと
12. 自己研鑽や情報収集の時間が少ないこと
13. 介護保険外での情報が少ないこと
14. 職場内でのケアプラン作成への指導がないこと
15. その他()
16. 特になし

問 12. 地域包括支援センターと連携していますか。(○は1つだけ)

1. 常に連携している
2. 必要時に連携している
3. あまり連携していない
4. 連携していない

問 13. 地域包括支援センターとの連携が困難に感じるほどのような場合ですか。(○はいくつでも)

1. 担当者との連絡や情報共有が困難
2. 必要な支援をもらえない
3. 担当によって対応が異なる
4. 担当者の知識・スキルが足りない
5. その他()
6. 特になし

問 14. 困難事例などを地域包括支援センターに相談したことはありますか。(○は1つだけ)

1. ある
2. ない

2 介護サービス提供に対する評価・要望等についてお聞きします。

問 15. 介護・福祉サービスのうち、供給が不足していると感じるサービスは何ですか。(○はいくつでも)

1. 訪問介護
2. 訪問看護
3. 訪問入浴介護
4. 訪問リハビリテーション
5. 通所介護
6. 通所リハビリテーション
7. 短期入所(生活介護・療養介護)
8. 特定施設入居者生活介護
9. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
10. 夜間対応型訪問介護
11. 地域密着型通所介護
12. 認知症対応型通所介護
13. 認知症対応型共同生活介護
14. 小規模多機能型居宅介護
15. 看護小規模多機能型居宅介護
16. 地域密着型特定施設入居者生活介護
17. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
18. 福祉用具の貸与・販売
19. 居宅療養管理指導
20. その他()
21. 特になし

問 16. 法定の介護保険サービス以外で、市独自で給付してほしいサービスはありますか。(○はいくつでも)

1. 移動・送迎の支援や補助
2. 買い物物の支援
3. 家事・生活の援助
4. 介護予防活動・サービスの充実
5. 配食サービスの拡大
6. 山間地のサービスの充実
7. その他()
8. 特になし

4

3 在宅介護の継続についてお聞きします。

問 17. 現在担当している利用者のうち、「自宅」、「サ高住」、「住宅型有料」、「軽費老人ホーム」にお住まいの方で、生活の維持が難しくなっている人はいますか。いる場合は人数もお答えください。(○は1つだけ)

1. いない ⇒問 18へ
2. []人いる

【問 17 において「2. いる」と回答された方にお聞きします。】

① 生活の維持が難しくなっている理由のうち、本人の状態等に属するものは何ですか。(○はいくつでも)

1. 該当なし
2. 必要な生活支援の発生・増大
3. 必要な身体介護の増大
4. 認知症の症状の悪化
5. 医療的ケア・医療処置の必要性の高まり
6. その他、本人の状態等の悪化
7. 本人の状態等の改善

② 生活の維持が難しくなっている理由のうち、主に本人の意向等に属するものは何ですか。(○はいくつでも)

1. 該当なし
2. 本人が一部の居宅サービスの利用を望まないから
3. 生活不安が大きいため
4. 居住環境が不便だから
5. 本人が介護者の負担の軽減を望むから
6. 費用負担が重いから
7. その他、本人の意向等があるから

③ 生活の維持が難しくなっている理由のうち、主に家族等介護者の意向・負担等に属するものは何ですか。(○はいくつでも)

1. 該当なし
2. 介護者の介護に係る不安・負担量の増大
3. 介護者が、一部の居宅サービスの利用を望まないから
4. 家族等の介護等技術では対応が困難
5. 費用負担が重いから
6. 家族等の就労継続が困難になり始めたから
7. 本人と家族等の関係性に課題があるから
8. その他、家族等介護者の意向等があるから

5

岡崎市

介護保険等実態調査結果報告書

発行日 令和8年3月

発行 岡崎市 福祉部 長寿課

住所 〒444-8601 愛知県岡崎市十王町二丁目9番地

連絡先 TEL : 0564-23-6149

FAX : 0564-23-6520

